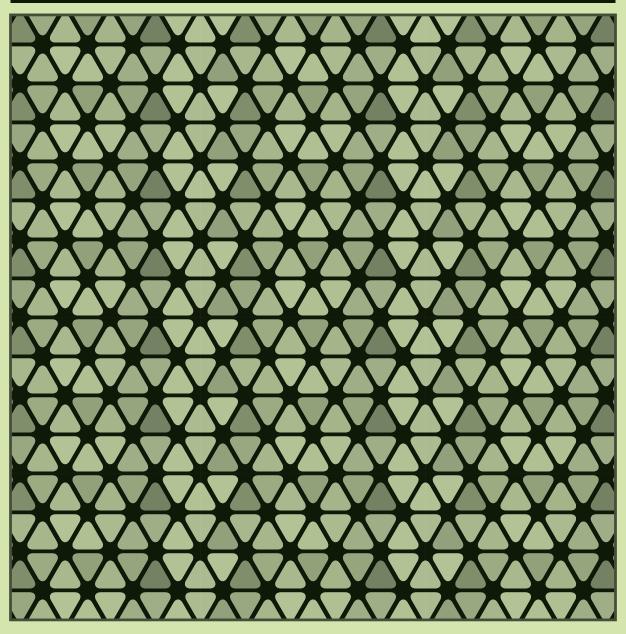
# シラバス

# 経済学部



秋学期は配布しません。1年間必ず保管すること。

シラバスは、科目の担当教員が学期ごとの授業計画、講義概要、評価方法などを学生に周知することにより、受講する際の指針とし、授業の理解を深めることを目的に作成されたものです。

シラバスをよく読んで、計画的な履修登録をしてください。

# 【シラバスの見方】

#### 1. 目次について

①シラバスページの検索方法

ページ端にあるインデックスで自分の入学年度に該当する目次ページを探してください。

目次の科目は、授業科目表(学則別表)と同じ順序で掲載しています。

※入学年度によっては授業科目表とシラバスの順序が一致していない場合があります。ご注意ください。

#### ②履修できない科目

「履修不可」の欄に入学年度・所属学部・学科名等が記されている場合は、該当者はその科目を履修することができません。

#### 〈略称説明〉

外:外国語学部養:国際教養学部経:経済学部法:法学部独:ドイツ語学科済:経済学科律:法律学科

交: 交流文化学科

#### 2. シラバスページの見方(右図参照)

#### ①入学年度

17年度以降……2017~2018年度入学者 16年度以前……2009~2016年度入学者 13年度以降……2013~2018年度入学者 12年度以前……2009~2012年度入学者 09年度以降……2009~2018年度入学者

- ②入学年度に対応した科目名
- ③授業の目的や講義全体の説明、学生への要望
- ④学期の授業計画

各回ごとの講義のテーマ、内容を記載しています。 授業計画回数と実際の回数は必ずしも一致しません。

- ⑤到達目標
- ⑥事前・事後学修の内容
- ⑦授業で使用するテキスト
- ⑧授業で使用する参考文献
- 9評価方法
  - ※「全学総合講座」および一部の科目は、記載方法が異なる場合があります。

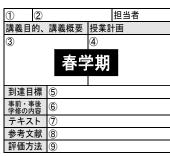
#### 3. 注意事項

#### ①履修条件

担当教員が履修者に対して、その他の科目の履修や単位の修得などを条件としている科目があります。 必ず「講義目的、講義概要」の欄(上図③の部分)および『授業時間割表』を確認してください。

#### ②定員

経済学部の科目は、学習環境および防災上などの観点から「全学共通授業科目」と同様に定員を設けています。 各科目の定員は、『授業時間割表』の「定員」の欄を参照してください。





# 2013年度以降入学者用 経済学科

科目名(13~16入学者用) 科目名(17年度以降入学用) 開講		12 77		1 1							
行目の13~18~19~19~19~19~19~19~19~19~19~19~19~19~19~	<<学部共通科目>>										
クラスセミナー	科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)		担当教員名	曜時		J	履修	不可	•	ページ
プラスセミナー(無尿修者用)     おおき(20つ)     経済学(52つ)     経済学     日田    経済学     日の経済学     日						***					
経済学(27口)						宮	境				
経済学(マクロ) 経済学(マクロ) (兩原体者用)					月2						
経済学(マクロ)(再属修者用) 経済学(マクロ)(再属修者用) 校 黒木 亮 月1 外 養 法 20 経済学(マクロ)(再属修者用) 経済学(マクロ)(再属修者用) 校 黒木 亮 月1 外 養 法 20 経済学の 経営学も 経営学も 税 院山 孔貴 火2 営 環 外 養 法 21 経営学も 経営学本 ・											
経済学(マクロ)(再履修者用) 経済学(マクロ)(再履修者用) 春 黒木 亮 月1 外 養 法 20 経営学品 経営学品 接営学品 核 陰正 九 火2 営 環 外 養 法 22 経営学品 経営学品 経営学品 経営学品 経営学品 経営学品 経営学品											
経営学品 経営学品 経営学品 株											
経営学 経営学			春								
経営学9 経営学9 経営学9 校 平井 岳哉 火2 営 環 外 養 法 24 経営学8 経営学9 経営学9 経営学9 経営学9 校 小林 智也 火2 営 環 外 養 法 24 経営学8 経営学9 経営学9 校 小林 智也 火2 営 環 外 養 法 25 経営学8 経営学9 校 小林 智也 火2 営 環 外 養 法 29 統計学入門 春 各担当教員 火1 営 環 外 養 法 29 統計学入門 林日名(13~16入学者用) 科目名(17年度以降入学用) 学期 担当教員名 曜時 屋体不可 べージ 受力経済学9 表 20年経済学9 春 廃止 英樹 月3 営 外 養 法 30 52 0年経済学9 名の経済学9 春 廃止 英樹 月3 営 外 養 法 31 52 0年経済学9 名の経済学9 春 順森 哲雄 火5 営 外 養 法 31 52 0年経済学9 名の経済学9 初 加森 哲雄 火5 営 労 外 養 法 32 27 0年経済学9 名の経済学9 春 加森 哲雄 火5 営 労 券 法 33 37 07 0年経済学9 マクロ経済学9 表の経済学9 表の経済学9 表の経済学9 表の経済学9 表の経済学9 表の経済学9 表の経済学9 スクロ経済学9 本 山森 哲雄 火5 営 労 外 養 法 32 27 0年経済学9 マクロ経済学9 本 山森 哲雄 火5 営 労 外 養 法 32 27 0年経済学9 マクロ経済学9 本 山森 哲雄 火5 営 労 外 養 法 32 27 0年経済学9 マクロ経済学9 本 担面 尚樹 火1 営 外 養 法 32 27 0年経済学9 マクロ経済学9 本 担面 尚樹 火1 営 外 養 法 34 27 0年経済学9 マクロ経済学9 本 クロ経済学9 本 担面 尚樹 火1 営 外 養 法 34 27 07 0年経済学9 マクロ経済学9 本 クロ経済学9 本 担面 尚樹 火1 営 外 養 法 34 27 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07 07			春								
経営学			秋		火2			外			21
経営学9 経営学9 接送学9 秋 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	経営学a	経営学a	春	鈴木 淳	火2		環	外			23
経営学) 経済経営数学入門 存 名担当教員 火1 営 環 外 養 法 22 経済経営数学入門 存 名担当教員 火1 営 環 外 養 法 29 表	経営学b	経営学b	秋	平井 岳哉	火2			外		法	24
経済経営数学入門 総済経営数学入門 教 各担当教員 火1 営 環 外 養 法 29 統計学入門 秋 各担当教員 火1 営 環 外 養 法 29 統計学入門 秋 各担当教員 火1 営 環 外 養 法 29 ※	経営学a	経営学a	春	陰山 孔貴	火2	営	環	外	養	法	21
秋音学入門   秋音学入門   秋 各担当教員 火1 営 環 外 養 法 29   1 名	経営学b	経営学b	秋	小林 哲也	火2	営	環	外	養	法	22
本学科基礎科目    科目名(17年度以降入学用)   開講   担当教員名 曜時   履修不可 ページ   で   で   で   で   で   で   で   で   で	経済経営数学入門	経済経営数学入門		各担当教員	火1	営	環	外	養	法	29
科目名(13~16入学者用) 科目名(17年度以降入学用)	統計学入門	統計学入門	秋	各担当教員	火1	営	環	外	養	法	29
科目名(13~16入学者用) 科目名(17年度以降入学用)	ノノ光科学株科ロント	** *									
存日の13~10人子自用   存日の11人子自用   存日の11人子自由   存用の11人子自由   存用の11人子自由   存用の11人子自由   存用の11人子自由   存用の11人子自由   存用の11人子自由   存用の11人子自由   存用の11人子自由	<<字科基礎科日 <i>&gt;&gt;</i>										
子利   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講	担当教員名	曜時		J	履修	不可	•	ページ
ミクロ経済学品         まクロ経済学品         表 藤山 英樹 月3         営 外 養 法 30           ミクロ経済学品         こりの経済学品         表 藤山 英樹 月3         営 外 養 法 31           ミクロ経済学品         こりの経済学品         本 藤山 英樹 月3         営 外 養 法 31           ミクロ経済学品         書 山森 哲雄 火5         営 外 養 法 32           マクロ経済学品         春 山下 裕歩 月1         営 外 養 法 32           マクロ経済学品         春 山下 裕歩 月1         営 外 養 法 32           マクロ経済学品         マクロ経済学品         春 山下 裕歩 月1         営 外 養 法 33           マクロ経済学品         マクロ経済学品         春 塩田 尚樹 火1         営 外 養 法 34           マクロ経済学品         マクロ経済学品         春 塩田 尚樹 火1         労 券 法 34           マクロ経済学品         マクロ経済学品         春 塩田 尚樹 火1         労 外 養 法 35           マクロ経済学品         マクロ経済学品         春 塩田 尚樹 火1         労 外 養 法 35           マクロ経済学品         マクロ経済学品         春 大床 太郎 金目         外 養 法 35           マクロ経済学品         マクロ経済学品         春 大床 太郎 金目         ・								tl	*	<b>1</b>	
Eクロ経済学品         まクロ経済学品         春藤川 英樹 月3 営 外養法 31           ミクロ経済学品         秋藤川 英樹 月3 営 外養法 31           ミクロ経済学品         春 山森 哲雄 火5 営 外養法 32           ミクロ経済学品         春 山森 哲雄 火5 営 外養法 32           マクロ経済学品         マクロ経済学品           マクロ経済学品         教養法 34           マクロ経済学品         教養											
ミクロ経済学品         ミクロ経済学品         春 山森 哲雄 火5 営 外 養 法 32           ミクロ経済学品         春 山森 哲雄 火5 営 外 養 法 32           マクロ経済学品         春 山森 哲雄 火5 営 外 養 法 32           マクロ経済学品         中 山森 哲雄 火5 営 外 養 法 32           マクロ経済学品         中 山下 裕歩 月1 営 外 養 法 33           マクロ経済学品         マクロ経済学品         中 山下 裕歩 月1 営 外 養 法 33           マクロ経済学品         マクロ経済学品         春 塩田 尚樹 火1 営 外 養 法 34           マクロ経済学品         マクロ経済学品         春 須藤 時仁 火2 営 外 養 法 35           マクロ経済学品         春 大康 太郎 金1         55           経済経営数学品         春 大康 太郎 金1         55           統計学品         春 極田 勉 水2         36           統計学品         株 福田 勉 水2         36           統計学品         春 極田 勉 水2         36           統計学品         春 長川 文子 火5 営 38           経営学原理品         春 果川 文子 火5 営 38           経営学原理品         春 展川 文子 火5 営 38           経営学原理品         春 内倉 滋 月1 営 法 40           海に原理品         春 内倉 選 月1 営 法 40											
Eクロ経済学品         ミクロ経済学品         春 山森 哲雄 火5 営 外 養 法 32           ミクロ経済学品         マクロ経済学品         秋 山森 哲雄 火5 営 外 養 法 32           マクロ経済学品         マクロ経済学品         春 山下 裕歩 月1 営 外 養 法 33           マクロ経済学品         マクロ経済学品         春 山下 裕歩 月1 営 外 養 法 34           マクロ経済学品         マクロ経済学品         春 塩田 尚樹 火1 営 外 養 法 34           マクロ経済学品         マクロ経済学品         春 須藤 時仁 火2 営 外 養 法 35           マクロ経済学品         マクロ経済学品         春 須藤 時仁 火2 営 外 養 法 35           マクロ経済学品         マクロ経済学品         春 須藤 時仁 火2 営 外 養 法 35           マクロ経済学品         春 大床 太郎 金1         55           - 経済経営数学品         春 大床 太郎 金1         55           - 経済経営数学品         春 大床 太郎 金1         55           - 経済経営数学品         春 大床 太郎 金1         36           統計学品         ・株計学品         株 極田 勉 水2         36           統計学品         ・株計学品         ・株計 金         36           統計学品         ・株計学品         ・株計学品         ・株計学品         ・株計学品         37           経営学原理品         春 大床 太郎 金4         37         33         38         22         営 38         38           経営学原理品         ・株 二 東 金         ・株 三 東 金         営 39         38         22         営 39         38         22         営 39         <											
ミクロ経済学b         ミクロ経済学b         秋 山森 哲雄 火5 営 外 養 法 32           マクロ経済学a         春 山下 裕歩 月1 営 外 養 法 33           マクロ経済学b         マクロ経済学b         秋 山下 裕歩 月1 営 外 養 法 33           マクロ経済学a         春 塩田 尚樹 火1 営 外 養 法 34           マクロ経済学b         マクロ経済学b         秋 塩田 尚樹 火1 営 外 養 法 34           マクロ経済学b         マクロ経済学b         秋 塩田 尚樹 火1 営 外 養 法 35           マクロ経済学b         マクロ経済学b         秋 須藤 時仁 火2 営 外 養 法 35           マクロ経済学b         マクロ経済学b         秋 大床 太郎 金1           - 経済経営数学a         春 大床 太郎 金1         55           - 経済経営数学b         秋 大床 太郎 金1         55           - 経済経営数学b         秋 大床 太郎 金1         55           - 経済経営数学b         秋 大床 太郎 金1         55           統計学a         糖 大床 太郎 金1         55           統計学a         株											
マクロ経済学a マクロ経済学b トーーにはない。 経済経営数学a トーーにはない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
マクロ経済学b マクロ経済学b 秋 山下 裕歩 月1 営 外 養 法 33 マクロ経済学a マクロ経済学a でクロ経済学b 秋 塩田 尚樹 火1 営 外 養 法 34 マクロ経済学b マクロ経済学b 秋 塩田 尚樹 火1 営 外 養 法 34 マクロ経済学a マクロ経済学a 春 須藤 時仁 火2 営 外 養 法 35 マクロ経済学b マクロ経済学b 秋 須藤 時仁 火2 営 外 養 法 35 マクロ経済学b マクロ経済学b 秋 須藤 時仁 火2 営 外 養 法 35 ・ 経済経営数学a 春 九床 太郎 金1 ・ 55 ・ 経済経営数学b 秋 大床 太郎 金1 ・ 55 ・ 統計学a 統計学a 統計学a 統計学b 秋 福田 勉 水2 36 統計学b 秋 結計学b 秋 福田 勉 水2 36 統計学b 秋 計学b 秋 大床 太郎 金4 37 ・ 経営学原理a 春 黒川 文子 火5 営 38 ・ 経営学原理a 経営学原理a 春 黒川 文子 火5 営 38 ・ 経営学原理a 経営学原理a 春 黒川 文子 火5 営 38 ・ 経営学原理a 経営学原理b 経営学原理b 秋 黒川 文子 火5 営 38 ・ 経営学原理b 経営学原理b 秋 黒川 文子 火5 営 38 ・ 経営学原理b 経営学原理b 秋 月1 営 法 40 会計学b 会計学b 会計学a 会計学b 奈 内倉 滋 月1 営 法 40 会計学b 会計学b 分 内倉 滋 月1 営 法 40 会計学b 会計学b 分 内倉 滋 月1 営 法 40 分 養計學a 会計学b 分 合計型教員 41 コンピュータ入門b コンピュータ入門b 秋 各担当教員 外 養 法 42 コンピュータ入門b コンピュータ入門b 秋 各担当教員 外 養 法 42 コンピュータ入門b コンピュータ入門b 秋 各担当教員 外 養 法 42 「積報社会論a 情報社会論a 情報社会論a 春 柴崎 信三 水3 43 情報社会論b 情報社会論b 精社会論b 教 柴崎 信三 木2 外 養 法 43 環境学 環境学 春 中村 健治 水2 44 サステイナビリティ学 春 木原 隆司 木1											
マクロ経済学a マクロ経済学b 秋 塩田 尚樹 火1 営 外 養 法 34 マクロ経済学b マクロ経済学a 春 須藤 時仁 火2 営 外 養 法 35 マクロ経済学b マクロ経済学b 秋 塩田 尚樹 火1 営 外 養 法 35 マクロ経済学b マクロ経済学b 秋 大康 太郎 金1 55 経済経営数学a 春 大康 太郎 金1 55 統計学a 統計学b 秋 大康 太郎 金1 55 統計学b 秋 大康 太郎 金1 36 統計学a 統計学b 秋 大康 太郎 金4 37 統計学b 統計学b 秋 大康 太郎 金2 営 38 経営学原理a 経営学原理a 春 周部 康弘 金2 営 38 経営学原理b 経営学原理b 経営学原理b 校 周部 康弘 金2 営 39 经営学原理b 経営学原理b 校 周部 康弘 金2 営 39 经営学原理b 経営学原理b 校 周部 康弘 金2 営 39 经割学。 会計学a 会計学a 会計学a 春 内倉 滋 月1 営 法 40 会計学b 会計学b 会計学b 教 分倉 送 月1 営 法 40 会計学b 会計学b 教 合計学b 教 合計學b 教 有担当教員 41 コンピュータ入門b コンピュータ入門b 科 各担当教員 外 養 法 42 コンピュータ入門b コンピュータ入門b 秋 各担当教員 外 養 法 42 コンピュータ入門b コンピュータ入門b 秋 各担当教員 外 養 法 42 コンピュータ入門b コンピュータ入門b 秋 各担当教員 外 養 法 42 コンピュータ入門b 対 佐藤論a 情報社会論a 青 柴崎 信三 木3 43 情報社会論a 情報社会論a 青 柴崎 信三 木2 外 養 法 43 情報社会論b 情報社会論b 青報社会論b 青報社会論b 精報社会論b 精報社会論a 青 柴崎 信三 木2 外 養 法 43 情報社会論b 情報社会論b 精報社会論b 精報社会 持知 水2 44 44 45 45 45 45 45 45 45 45 45 45 45											
マクロ経済学b マクロ経済学b 秋 塩田 尚樹 火1 営 外 養 法 34 マクロ経済学a マクロ経済学a マクロ経済学b 初 須藤 時仁 火2 営 外 養 法 35 マクロ経済学b マクロ経済学b 秋 須藤 時仁 火2 営 外 養 法 35 マクロ経済学b 秋 須藤 時仁 火2 営 外 養 法 35 - 経済経営数学a 春 大床 太郎 金1 55 統計学a 統計学a			秋								
マクロ経済学a マクロ経済学a 春 須藤 時仁 火2 営 外 養 法 35 マクロ経済学b マクロ経済学b 秋 須藤 時仁 火2 営 外 養 法 35 - 経済経営数学a 春 大床 太郎 金1 55 - 経済経営数学b 秋 大床 太郎 金1 55 統計学a 統計学a	マクロ経済学a	マクロ経済学a						外			34
マクロ経済学b マクロ経済学b 秋 須藤 時仁 火2 営 外 養 法 35 - 経済経営数学a 春 大床 太郎 金1 55 55 55 計学a 統計学a 精 福田 勉 水2 36 統計学b 統計学b 秋 大床 太郎 金4 37 統計学b 統計学b 秋 大床 太郎 金4 37 統計学b 秋 大床 太郎 金4 37 経営学原理a 経営学原理a 春 黒川 文子 火5 営 38 経営学原理b 経営学原理b 校 黒川 文子 火5 営 38 経営学原理a 経営学原理a 春 岡部 康弘 金2 営 39 经営学原理a 経営学原理a 春 岡部 康弘 金2 営 39 经営学原理b 経営学原理b 校 岡部 康弘 金2 営 39 会計学a 会計学a 会計学a 各 内倉 滋 月1 営 法 40 会計学b 会計学b 会計学b 秋 内倉 滋 月1 営 法 40 簿記原理b 簿記原理a 春 各担当教員 41 第2に原理b 簿記原理b 郑 各担当教員 41 コンピュータ入門a コンピュータ入門a 春 各担当教員 41 コンピュータ入門b ひどュータ入門b 秋 各担当教員 外 養 法 42 情報社会論a 情報社会論a 春 柴崎 信三 水3 43 情報社会論b 情報社会論b 情報社会論b 精報社会論b 教 柴崎 信三 木2 外 養 法 43 精報社会論b 情報社会論b 精報社会論b 精報社会論b 持報社会論b 精報社会論b 精報社会為b 精報社会為b 精報社会為b 精報社会為b 精報社会為b 精報社会為b 精報社会為b 精報社会為b 精報社会 44 程治学学 環境学	マクロ経済学b	マクロ経済学b	秋		火1			外			34
-       経済経営数学a       春 大床 太郎 金1       55         -       経済経営数学b       秋 大床 太郎 金1       55         統計学a       糖 樋田 勉 水2       36         統計学b       秋 樋田 勉 水2       36         統計学a       春 大床 太郎 金4       37         統計学b       秋 大床 太郎 金4       37         統計学b       秋 大床 太郎 金4       37         経営学原理a       春 黒川 文子 火5 営 38         経営学原理b       経営学原理b       秋 黒川 文子 火5 営 38         経営学原理a       春 岡部 康弘 金2 営 39         経営学原理b       秋 園部 康弘 金2 営 39         会計学a       会計学a       表 内倉 滋 月1 営 法 40         会計学b       会計学b       秋 内倉 滋 月1 営 法 40         会計学b       会計学b       秋 内倉 滋 月1 営 法 40         簿記原理b       教 各担当教員       41         コンピュータ入門a       春 各担当教員       41         コンピュータ入門b       教 各担当教員       外 養 法 42         情報社会論a       情報社会論a       春 柴崎 信三 水3       43         情報社会論a       情報社会論a       春 柴崎 信三 木2 外 養 法 43         情報社会論b       情報社会論b       秋 柴崎 信三 木2 外 養 法 43         情報社会論b       情報社会論b       秋 柴崎 信三 木2 外 養 法 43         情境学       環境学       春 中村 健治 水2         環境学       春 中村 健治 水2       44 <tr< td=""><td>マクロ経済学a</td><td>マクロ経済学a</td><td>春</td><td>須藤 時仁</td><td>火2</td><td></td><td></td><td>外</td><td></td><td>法</td><td>35</td></tr<>	マクロ経済学a	マクロ経済学a	春	須藤 時仁	火2			外		法	35
-       経済経営数学b       秋 大床 太郎 金1       55         統計学a       精 樋田 勉 水2       36         統計学b       秋 樋田 勉 水2       36         統計学a       春 大床 太郎 金4       37         統計学b       秋 大床 太郎 金4       37         経営学原理a       春 黒川 文子 火5 営 38         経営学原理a       春 黒川 文子 火5 営 38         経営学原理b       秋 黒川 文子 火5 営 38         経営学原理a       春 岡部 康弘 金2 営 39         経営学原理a       春 岡部 康弘 金2 営 39         経営学原理b       秋 岡市 康弘 金2 営 39         経営学原理b       秋 内倉 滋 月1 営 法 40         会計学a       春 内倉 滋 月1 営 法 40         会計学b       秋 各担当教員       41         コンピュータ入門a       春 各担当教員       外 養 法 42         コンピュータ入門b       秋 各担当教員       外 養 法 42         コンピュータ入門b       秋 各担当教員       外 養 法 42         情報社会論a       情報社会論a       春 柴崎 信三 水3       43         情報社会論a       情報社会論a       春 柴崎 信三 水2       外 養 法 43 <td< td=""><td>マクロ経済学b</td><td>マクロ経済学b</td><td>秋</td><td>須藤 時仁</td><td>火2</td><td>営</td><td></td><td>外</td><td>養</td><td>法</td><td>35</td></td<>	マクロ経済学b	マクロ経済学b	秋	須藤 時仁	火2	営		外	養	法	35
統計学b 統計学b 秋 福田 勉 水2 36 統計学b 秋 福田 勉 水2 36 統計学b 統計学b 秋 福田 勉 水2 36 統計学a 統計学a 統計学a 統計学a 泰 大床 太郎 金4 37 統計学b 統計学b 秋 大床 太郎 金4 37 統計学b 統計学b 秋 大床 太郎 金4 37 経営学原理a 経営学原理a 春 黒川 文子 火5 営 38 経営学原理b 経営学原理a 春 岡部 康弘 金2 営 39 経営学原理b 経営学原理b 秋 黒川 文子 火5 営 38 経営学原理b 経営学原理b 秋 馬川 文子 火5 営 38 経営学原理a 経営学原理b 秋 岡部 康弘 金2 営 39 会計学a 会計学a 会計学a 会計学b 秋 内倉 滋 月1 営 法 40 簿記原理a 7 表1 営 法 40 簿記原理a 7 表1 営 法 40 7 表1 第 表1 営 法 40 7 表1 第 表1 1 営 法 40 7 表1 1 営 3 3 40 7 表1 1 1 営 3 3 40 7 表1 1 1 営 3 3 40 7 表1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	-	経済経営数学a	春	大床 太郎	金1						55
統計学b 統計学a 統計学a 春 大床 太郎 金4 37 統計学b 統計学b 統計学b 校 大床 太郎 金4 37 統計学b 統計学b 校 大床 太郎 金4 37 経営学原理a 経営学原理a 春 黒川 文子 火5 営 38 経営学原理b 経営学原理b 校 黒川 文子 火5 営 38 経営学原理a 経営学原理b 校 黒川 文子 火5 営 38 経営学原理a 経営学原理b 校 黒川 文子 火5 営 38 経営学原理a 経営学原理b 校 周部 康弘 金2 営 39 经営学原理b 経営学原理b 校 同部 康弘 金2 営 39 经営学原理b 经营学原理b 校 同部 康弘 金2 営 39 经营学原理b 经营产原理b 校 同章 旅 月1 営 法 40 会計学b 会計学b 会計学b 教 内倉 滋 月1 営 法 40 簿記原理a 7 年入育 滋 月1 営 法 40 第記原理a 7 年入門 2 第記原理b 7 年 大2 年 4 日 2 プレビュータ入門 3 プレビュータ入門 3 プレビュータ入門 3 日 3 年 5 日 3 年 5 日 5 年 5 年 7 年 7 年 7 年 7 年 7 年 7 年 7 年 7 年	-	経済経営数学b	秋	大床 太郎	金1						55
統計学a 統計学a 統計学b 統計学b 秋 大床 太郎 金4 37 統計学b 統計学b 秋 大床 太郎 金4 37 経営学原理a 経営学原理a 春 黒川 文子 火5 営 38 経営学原理b 経営学原理b 秋 黒川 文子 火5 営 38 経営学原理a 春 岡部 康弘 金2 営 39 経営学原理b 経営学原理b 秋 岡部 康弘 金2 営 39 経営学原理b 経営学原理b 秋 岡部 康弘 金2 営 39 经営学原理b 秋 岡部 康弘 金2 営 39 会計学a 会計学a 会計学a 各計学b 秋 内倉 滋 月1 営 法 40 会計学b 会計学b 秋 内倉 滋 月1 営 法 40 簿記原理a 簿記原理a 春 各担当教員 41 営 法 40 第記原理b 第記原理b 秋 各担当教員 41 コンピュータ入門b コンピュータ入門b オ 各担当教員 外 養 法 42 コンピュータ入門b コンピュータ入門b 秋 各担当教員 外 養 法 42 情報社会論a 情報社会論a 春 柴崎 信三 水3 43 情報社会論b 情報社会論b 精報社会論b 教 柴崎 信三 木2 外 養 法 43 環境学 環境学 春 中村 健治 水2 44 環境学 環境学 禄 濱 健夫 火3 44 サステイナビリティ学 春 木原 隆司 木1 45	統計学a	統計学a	春	樋田 勉	水2						36
統計学b 統計学b 秋 大床 太郎 金4 37 経営学原理a 経営学原理a 春 黒川 文子 火5 営 38 経営学原理b 経営学原理b 秋 黒川 文子 火5 営 38 経営学原理b 経営学原理a 春 岡部 康弘 金2 営 39 経営学原理b 経営学原理b 秋 岡部 康弘 金2 営 39 経営学原理b 経営学原理b 秋 岡部 康弘 金2 営 39 会計学a 会計学a 各計学b 秋 内倉 滋 月1 営 法 40 会計学b 秋 内倉 滋 月1 営 法 40 簿記原理a 春 各担当教員 41 営 法 40 第記原理b 簿記原理b 秋 各担当教員 41 コンピュータ入門a コンピュータ入門a 春 各担当教員 41 コンピュータ入門b コンピュータ入門b オ 各担当教員 外 養 法 42 コンピュータ入門b コンピュータ入門b 秋 各担当教員 外 養 法 42 情報社会論a 情報社会論a 春 柴崎 信三 水3 43 情報社会論b 情報社会論b 情報社会論b 精報社会論a 春 柴崎 信三 木2 外 養 法 43 環境学 環境学 春 中村 健治 水2 44 環境学 環境学 禄 濱 健夫 火3 44 サステイナビリティ学 春 木原 隆司 木1 45	統計学b	統計学b	秋	樋田 勉	水2						36
経営学原理a春黒川 文子 火5営38経営学原理b秋黒川 文子 火5営38経営学原理a春岡部康弘 金2営39経営学原理b秋岡部康弘 金2営39会計学a会計学a春内倉滋月1営法会計学b秋内倉滋月1営法40簿記原理a春各担当教員41簿記原理b簿記原理b秋各担当教員41コンピュータ入門aコンピュータ入門a春各担当教員外養法42コンピュータ入門b取各担当教員外養法42情報社会論a情報社会論a春柴崎信三水343情報社会論b情報社会論b秋柴崎信三木2外養法43情報社会論b情報社会論b秋柴崎信三木2外養法43環境学環境学春中村健治水244環境学環境学秋濱健夫火344サステイナビリティ学サステイナビリティ学春木原隆司木145	統計学a	統計学a	春	大床 太郎	金4						37
経営学原理a経営学原理b校黒川 文子 火5営38経営学原理b校黒川 文子 火5営38経営学原理a春岡部 康弘 金2営39経営学原理b校岡部 康弘 金2営39会計学a会計学a春内倉 滋月1営会計学b校内倉 滋月1営法第記原理a春各担当教員41簿記原理b簿記原理b校各担当教員41コンピュータ入門aコンピュータ入門a春各担当教員外養コンピュータ入門b財各担当教員外養法42情報社会論a情報社会論a春柴崎信三水343情報社会論b情報社会論a春柴崎信三木343情報社会論a情報社会論a春柴崎信三木2外養法43情報社会論b情報社会論b校柴崎信三木2外養法43環境学春中村健治水244環境学環境学校資校44サステイナビリティ学サステイナビリティ学春木原底木145	統計学b	統計学b	秋	大床 太郎	金4						37
経営学原理b 経営学原理a 存 岡部 康弘 金2 営 39 経営学原理b 経営学原理b 経営学原理b 秋 岡部 康弘 金2 営 39 経営学原理b 秋 岡部 康弘 金2 営 39 会計学a 会計学a 存 内倉 滋 月1 営 法 40 会計学b 秋 内倉 滋 月1 営 法 40 簿記原理a 存 各担当教員 41 営 法 40 簿記原理b 簿記原理b 教 各担当教員 41 コンピュータ入門a 日ンピュータ入門a 日ンピュータ入門b 秋 各担当教員 外 養 法 42 コンピュータ入門b 日ンピュータ入門b 秋 各担当教員 外 養 法 42 情報社会論a 情報社会論a 情報社会論b 精報社会論b 技 集崎 信三 木2 外 養 法 43 環境学 環境学 教 濱 健夫 火3 44 サステイナビリティ学 春 木原 隆司 木1 45	経営学原理a	経営学原理a	春	黒川 文子	火5	営					38
経営学原理a春 岡部 康弘 金2 営39経営学原理b秋 岡部 康弘 金2 営39会計学a会計学a春 内倉 滋 月1 営法 40会計学b会計学b秋 内倉 滋 月1 営法 40簿記原理a春 各担当教員41簿記原理b秋 各担当教員41コンピュータ入門aコンピュータ入門b秋 各担当教員外 養 法 42コンピュータ入門bコンピュータ入門b秋 各担当教員外 養 法 42情報社会論a情報社会論a春 柴崎 信三 水343情報社会論b情報社会論b秋 柴崎 信三 水343情報社会論a情報社会論a春 柴崎 信三 木2外 養 法 43情報社会論b情報社会論a春 柴崎 信三 木2外 養 法 43環境学環境学春 中村 健治 水244環境学環境学秋 濱 健夫火344サステイナビリティ学サステイナビリティ学春 木原 隆司 木145	経営学原理b	経営学原理b	秋	黒川 文子	火5	営					38
経営学原理b秋 岡部 康弘 金2 営39会計学a会計学b春 内倉 滋 月1 営法 40会計学b会計学b秋 内倉 滋 月1 営法 40簿記原理a簿記原理a春 各担当教員41簿記原理b瀬 各担当教員41コンピュータ入門a古ンピュータ入門b秋 各担当教員外 養 法 42コンピュータ入門bコンピュータ入門b秋 各担当教員外 養 法 42情報社会論a情報社会論a春 柴崎 信三 水343情報社会論b情報社会論b秋 柴崎 信三 水343情報社会論a情報社会論a春 柴崎 信三 木2外 養 法 43情報社会論b情報社会論b秋 柴崎 信三 木2外 養 法 43環境学環境学春 中村 健治 水244環境学環境学秋 濱 健夫火344サステイナビリティ学春 木原 隆司 木145	経営学原理a		春			営					39
会計学a会計学a春 内倉 滋 月1 営 法 40会計学b会計学b秋 内倉 滋 月1 営 法 40簿記原理a簿記原理a春 各担当教員41簿記原理b類記原理b秋 各担当教員外 養 法 42コンピュータ入門aコンピュータ入門b秋 各担当教員外 養 法 42コンピュータ入門bコンピュータ入門b秋 各担当教員外 養 法 42情報社会論a情報社会論a春 柴崎 信三 水343情報社会論b情報社会論b秋 柴崎 信三 水343情報社会論a情報社会論b秋 柴崎 信三 木2外 養 法 43情報社会論b積報社会論b秋 柴崎 信三 木2外 養 法 43環境学環境学春 中村 健治 水244環境学秋 濱 健夫火344サステイナビリティ学春 木原 隆司 木145	経営学原理b		秋								39
会計学b会計学b秋 内倉 滋 月1 営 法 40簿記原理a春 各担当教員41簿記原理b辣 各担当教員41コンピュータ入門a春 各担当教員外 養 法 42コンピュータ入門b和 各担当教員外 養 法 42情報社会論a情報社会論a春 柴崎 信三 水343情報社会論b情報社会論b秋 柴崎 信三 水343情報社会論a情報社会論b秋 柴崎 信三 木2外 養 法 43情報社会論b精報社会論a春 柴崎 信三 木2外 養 法 43情報社会論b精報社会論b秋 柴崎 信三 木2外 養 法 43環境学環境学春 中村 健治 水244環境学環境学秋 濱 健夫 火344サステイナビリティ学春 木原 隆司 木145			春							法	40
簿記原理a簿記原理b校 各担当教員41簿記原理b秋 各担当教員41コンピュータ入門a春 各担当教員外 養 法 42コンピュータ入門b刊 各担当教員外 養 法 42情報社会論a情報社会論a春 柴崎 信三 水343情報社会論b情報社会論b秋 柴崎 信三 水343情報社会論a情報社会論b秋 柴崎 信三 水343情報社会論a春 柴崎 信三 木2外 養 法 43情報社会論b精報社会論b秋 柴崎 信三 木2外 養 法 43環境学環境学春 中村 健治 水244環境学環境学秋 濱 健夫 火344サステイナビリティ学春 木原 隆司 木145											
簿記原理b類記原理b秋 各担当教員41コンピュータ入門aコンピュータ入門a春 各担当教員外 養 法 42コンピュータ入門bコンピュータ入門b秋 各担当教員外 養 法 42情報社会論a情報社会論a春 柴崎 信三 水343情報社会論b情報社会論b秋 柴崎 信三 水343情報社会論a春 柴崎 信三 水343情報社会論a春 柴崎 信三 木2外 養 法 43情報社会論b秋 柴崎 信三 木2外 養 法 43環境学環境学春 中村 健治 水244環境学環境学秋 濱 健夫 火344サステイナビリティ学春 木原 隆司 木145											
コンピュータ入門a コンピュータ入門a 春 各担当教員 外 養 法 42 コンピュータ入門b 秋 各担当教員 外 養 法 42 情報社会論a 情報社会論a 春 柴崎 信三 水3 43 情報社会論b 情報社会論b 秋 柴崎 信三 水3 43 情報社会論a 情報社会論a 春 柴崎 信三 木2 外 養 法 43 情報社会論b 情報社会論b 秋 柴崎 信三 木2 外 養 法 43 情報社会論b 情報社会論b 秋 柴崎 信三 木2 外 養 法 43 環境学 環境学 春 中村 健治 水2 44 サステイナビリティ学 サステイナビリティ学 春 木原 隆司 木1 45											
コンピュータ入門b秋 各担当教員外 養 法 42情報社会論a情報社会論a春 柴崎 信三 水343情報社会論b積報社会論b秋 柴崎 信三 水343情報社会論a春 柴崎 信三 木2外 養 法 43情報社会論b秋 柴崎 信三 木2外 養 法 43環境学環境学春 中村 健治 水244環境学環境学秋 濱 健夫 火344サステイナビリティ学サステイナビリティ学春 木原 隆司 木145								外	養	法	
情報社会論a     情報社会論a     春 柴崎 信三 水3     43       情報社会論b     秋 柴崎 信三 水3     43       情報社会論a     春 柴崎 信三 木2     外 養 法 43       情報社会論b     秋 柴崎 信三 木2     外 養 法 43       環境学     春 中村 健治 水2     44       環境学     秋 濱 健夫 火3     44       サステイナビリティ学     春 木原 隆司 木1     45											
情報社会論b秋 柴崎 信三 水343情報社会論a情報社会論a春 柴崎 信三 木2外 養 法 43情報社会論b情報社会論b秋 柴崎 信三 木2外 養 法 43環境学環境学春 中村 健治 水244環境学環境学秋 濱 健夫 火344サステイナビリティ学サステイナビリティ学春 木原 隆司 木145					7k3			71	及	14	
情報社会論a春 柴崎 信三 木2外 養 法 43情報社会論b秋 柴崎 信三 木2外 養 法 43環境学環境学春 中村 健治 水244環境学環境学秋 濱 健夫 火344サステイナビリティ学サステイナビリティ学春 木原 隆司 木145											
情報社会論b秋 柴崎 信三 木2外 養 法 43環境学春 中村 健治 水244環境学秋 濱 健夫 火344サステイナビリティ学サステイナビリティ学春 木原 隆司 木145			•••					Ы	美	注	
環境学春 中村 健治 水244環境学秋 濱 健夫 火344サステイナビリティ学サステイナビリティ学春 木原 隆司 木145											
環境学秋 濱 健夫火344サステイナビリティ学春 木原 隆司 木145								71	芨	ıĀ	
サステイナビリティ学 サステイナビリティ学 春 木原 隆司 木1 45											
<u> ソヘナイナレリナイチ                                    </u>											
	ッヘナイナロリナイ子	リステ1テビリテイ子	秋	小原 隆可	/K2						40

<<学科専門科目>> ◇専門外国語◇							
科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履	修不可	ページ
専門英語a(ニュース世界と日本)	専門英語a(ニュース世界と日本)	春	本田 浩邦	月4			46
専門英語a(ニュース世界と日本)	専門英語a(ニュース世界と日本)	秋	本田 浩邦	月4			46
専門英語a(環境·資源経済学)	専門英語a(環境·資源経済学)	春	浜本 光紹	火3			47
専門英語a(環境·資源経済学)	専門英語a(環境·資源経済学)	秋	浜本 光紹	火3			47
専門英語a(社会と会計)	専門英語a(社会と会計)	春	橋本 尚	火5			48
専門英語a(社会と会計)	専門英語a(社会と会計)	秋	橋本 尚	火5			48
専門英語a(自動車産業等の企業経営)	専門英語a(自動車産業等の企業経営)	春	黒川 文子	水1			49
専門英語a(自動車産業等の企業経営)		秋	黒川 文子	水1			49
専門英語a(情報学)	専門英語a(情報学)	春	堀江 郁美	木3			50
専門英語a(情報学)	専門英語a(情報学)	秋	堀江 郁美	木3			50
専門英語a(経済理論)	専門英語a(経済理論)	春	山森 哲雄	木5			51
専門英語a(経済理論)	専門英語a(経済理論)	秋	山森 哲雄	木5			51
専門英語a(持続可能な開発)	専門英語a(持続可能な開発)	春	米山 昌幸	金2			52
専門英語a(持続可能な開発)	専門英語a(持続可能な開発)	秋	米山 昌幸	金2			52
専門英語a(国際資源開発学)	専門英語a(国際資源開発学)	春	加賀爪 優	金2			53
専門英語a(国際資源開発学)	専門英語a(国際資源開発学)	秋	加賀爪 優	金2			53
	専門英語a(持続的開発目標: SDGs)	春	高安 健一	金2			54
	専門英語a(持続的開発目標: SDGs)		高安 健一	金2			54
専門中国語a	専門中国語a		本年度休講				
専門中国語b	専門中国語b		本年度休講				
◇理論·学史◇							
科目名(13~16入学者用)	—————————————————————————————————————	開講	担当教員名	曜時	履	修不可	ページ
		学期					
経済経営数学a	_	春	大床 太郎	金1 金1			55
経済経営数学b		秋		<u>並</u> !			55
上級ミクロ経済学a	上級ミクロ経済学a		本年度休講				
上級ミクロ経済学b	上級ミクロ経済学b	#	本年度休講		тш		E.C.
上級マクロ経済学a	上級マクロ経済学a	春	山下 裕歩	月3	環		56
上級マクロ経済学b	上級マクロ経済学b	秋	山下 裕歩	月3	環		56
ゲーム理論a ゲーム理論b	ゲーム理論a ゲーム理論b	春	藤山 英樹藤山 英樹	水2 水2			57 57
		秋					
経済学史a	経済学史a 経済学史b	春	黒木 亮 黒木 亮	木2 木2			58 58
経済学史b	だ済子史D	秋	羔仆 元	<b>1</b> 1			58
◇経済史◇							
科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履	修不可	ページ
日本社会史a	日本社会史a	春	新井 孝重	水1	環		59
日本社会史b	日本社会史b	秋	新井 孝重	水1	環		59
日本経済史a	日本経済史a	春	市原 博	月4			60
日本経済史b	日本経済史b	秋	市原 博	月4			60
外国経済史a	外国経済史a	春	御園生 眞	火1	環		法 61
外国経済史b	外国経済史b	秋	御園生 眞	火1	環		法 61
社会経済史a	社会経済史a	春	新井 孝重	水2			法 62
11人位为土.	11 A 427 + 1.	- T I	11 +- <del></del>	1		<del>*</del>	·+ 00
社会経済史b	社会経済史b	秋	新井 孝重	水2		か 養	法 62

# ◇統計·計量◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履修不可	ページ
経済統計論a	経済統計論a	春	深江 敬志	金3	環	63
経済統計論b	経済統計論b	秋	深江 敬志	金3	環	63
計量経済学a	計量経済学a	春	藤山 英樹	月1	環	64
計量経済学b	計量経済学b	秋	藤山 英樹	月1	環	64
社会調査論a	社会調査論a	春	大床 太郎	金2		65
社会調査論b	社会調査論b	秋	大床 太郎	金2		65
多変量解析a	多変量解析a	春	樋田 勉	火1	·	66
多変量解析b	多変量解析b	秋	樋田 勉	火1		66

#### ◇経済政策·応用経済◇

科目名(13~16入学者用)	—————————————————————————————————————	開講 学期	担当教員名	曜時		履修不	可	ページ
 日本経済論a	日本経済論a	春	須藤 時仁	火4	環	養	法	67
日本経済論b	日本経済論b	 秋	須藤 時仁	火4	環			67
経済政策論a	経済政策論a	春	童 適平	火4	環		法	68
経済政策論b	経済政策論b	 秋	童 適平	火4	環		法	68
公共経済学a	公共経済学a	春	麻生 良文	月3	環			69
公共経済学b	公共経済学b	秋	麻生 良文	月3	環			69
金融論a	金融論a	春	熊本 尚雄	水2				70
金融論b	金融論b	秋	熊本 尚雄	水1				70
金融システム論a	金融システム論a	春	熊本 尚雄	火2				71
金融システム論b	金融システム論b	秋	熊本 尚雄	火2				71
財政学a	財政学a	春	野村 容康	木2			法	72
財政学b	財政学b	秋	野村 容康	木2			法	72
地方財政論a	地方財政論a	春	金田 美加	月5			法	73
地方財政論b	地方財政論b	秋	金田 美加	月5			法	73
環境経済学a	環境経済学a	春	浜本 光紹	火2	環			74
環境経済学b	環境経済学b	秋	浜本 光紹	火2	環			74
環境政策論a	環境政策論a	春	塩田 尚樹	水1	環		法	75
環境政策論b	環境政策論b	秋	塩田 尚樹	水1	環		法	75
地球環境論a	地球環境論a	春	中村 健治	月1	環			76
地球環境論b	地球環境論b	秋	中村 健治	月1	環			76
資源・エネルギー経済論a	資源・エネルギー経済論a	春	鈴木 滋	火3	環			77
資源・エネルギー経済論b	資源・エネルギー経済論b	秋	鈴木 滋	火3	環			77
都市経済学a	都市経済学a	春	倉橋 透	金1	環		法	78
都市経済学b	都市経済学b	秋	倉橋 透	金1	環		法	78
経済地理学a	経済地理学a	春	大竹 伸郎	火1				79
経済地理学b	経済地理学b	秋	大竹 伸郎	火1				79
経済地誌a	経済地誌a	春	大竹 伸郎	月4	営	外養		80
経済地誌b	経済地誌b	秋	大竹 伸郎	月4	営	外養	法	80
-	農業経済学a	春	加賀爪 優	金3	環			81
_	農業経済学b	秋	加賀爪 優	金3	環			81
労働経済学a	労働経済学a	春	森永 卓郎	木1				82
労働経済学b	労働経済学b	秋	森永 卓郎	木1				82
経済社会学a	経済社会学a	春	森永 卓郎	火1				83
経済社会学b	経済社会学b	秋	森永 卓郎	火1				83
産業政策論a	産業政策論a	春	中藤泉	月2				84
産業政策論b	産業政策論b	秋	中藤泉	月2				84
産業組織論a	産業組織論a		本年度休講					
産業組織論b	産業組織論b		本年度休講					
産業構造論a	-		本年度休講					
産業構造論b			本年度休講					
-	行動経済学a	春	山森 哲雄	火3	環			85
	行動経済学b	秋	山森 哲雄	火3	環			85

# ◇国際経済◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履修不可	ページ
国際経済学a	国際経済学a	春	益山 光央	火2	養法	86
国際経済学b	国際経済学b	秋	益山 光央	火2	養法	86
国際貿易論a	国際貿易論a	春	米山 昌幸	火2		87
国際貿易論b	国際貿易論b	秋	米山 昌幸	火2		87
国際金融論a	国際金融論a	春	徳永 潤二	火1	環法	88
国際金融論b	国際金融論b	秋	徳永 潤二	火1	環法	88
開発経済学a	開発経済学a	春	高安 健一	火2	環	89
開発経済学b	開発経済学b	秋	高安 健一	火2	環	89
アメリカ経済論a	アメリカ経済論a	春	本田 浩邦	月3	環	90
アメリカ経済論b	アメリカ経済論b	秋	本田 浩邦	月3	環	90
ヨ−ロッパ経済論a	ヨ-ロッパ経済論a	春	漆畑 春彦	木5	環	91
ヨ-ロッパ経済論b	∃-ロッパ経済論b	秋	漆畑 春彦	木5	環	91
ラテンアメリカ経済論a	ラテンアメリカ経済論a	春	中村 久美	金3	環	92
ラテンアメリカ経済論b	ラテンアメリカ経済論b	秋	中村 久美	金3	環	92
東アジア・中国経済論a	東アジア・中国経済論a	春	全 載旭	木2	環	93
東アジア・中国経済論b	東アジア・中国経済論b	秋	全 載旭	木2	環	93
東南アジア経済論a	東南アジア経済論a	春	高安 健一	金1	環  養	94
東南アジア経済論b	東南アジア経済論b	秋	高安 健一	金1	環養	94
南アジア経済論a	南アジア経済論a	春	佐藤 慶子	土3	環	95
南アジア経済論b	南アジア経済論b	秋	佐藤 慶子	土3	環	95
オセアニア経済論a	オセアニア経済論a	春	加賀爪 優	金4	環	96
オセアニア経済論b	オセアニア経済論b	秋	加賀爪 優	金4	環	96
アフリカ経済論a	アフリカ経済論a	春	佐野 康子	火1	環	97
アフリカ経済論b	アフリカ経済論b	秋	佐野 康子	火1	環	97
中東経済論a	中東経済論a	春	水口 章	月3	環	98
中東経済論b	中東経済論b	秋	水口 章	月3	環	98

# **◇人口·保健·医療◇**

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履修不可	ページ
精神保健福祉論a	精神保健福祉論a	春	伊藤 晋二	火4		99
精神保健福祉論b	精神保健福祉論b	秋	伊藤 晋二	火4		99
現代人口論a	現代人口論a		本年度休講			
現代人口論b	現代人口論b		本年度休講			
社会保障論a	社会保障論a		本年度休講			
社会保障論b	社会保障論b		本年度休講			
医療経済学a	医療経済学a		本年度休講			
医療経済学b	医療経済学b		本年度休講			

# ◇政治·法律◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時		履修不可	ページ
法学a	法学a	秋	湯川 益英	水1	営	外 養 法	100
法学b	法学b	秋	周 劍龍	水2	営	外 養 法	100
政治学総論a	政治学総論a	春	杉田 孝夫	火2	営	外 養 法	101
政治学総論b	政治学総論b	秋	杉田 孝夫	火2	営	外 養 法	101
国際政治学a	国際政治学a	春	岡垣 知子	水1	営	外 養 法	102
国際政治学b	国際政治学b	秋	山下 光	金5	営	外 養 法	102
民法a	民法a	春	湯川 益英	金4	営	外 養 法	103
民法b	民法b	秋	湯川 益英	金4	営	外 養 法	103
会社法a	会社法a	春	周 劍龍	木1	営	外 養 法	104
会社法b	会社法b	秋	周 劍龍	木1	営	外 養 法	104
著作権法a	著作権法a	春	張 睿暎	火2	営	外 養 法	105
著作権法b	著作権法b	秋	張 睿暎	火2	営	外 養 法	105

# ◇総合講座·特殊講義◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履修不可	ページ
総合講座a	総合講座a	春	経済学部	水3		106
総合講座b	総合講座b	秋	経済学部	水3		106
特殊講義b(資本市場の役割と証券投資)	特殊講義b(資本市場の役割と証券投資)	秋	経済学部	水4		107
特殊講義a(先端科学技術の挑戦と発見)	特殊講義a(先端科学技術の挑戦と発見)	春	山根 一眞	月4		108
特殊講義b(先端科学技術の挑戦と発見)	特殊講義b(先端科学技術の挑戦と発見)	秋	山根 一眞	月4		108
特殊講義a(農業経済学)	-	春	加賀爪 優	金3		81
特殊講義b(農業経済学)	-	秋	加賀爪 優	金3		81
特殊講義a(行動経済学)	-	春	山森 哲雄	火3		85
特殊講義b(行動経済学)	-	秋	山森 哲雄	火3		85
特殊講義a(公会計論)	-	春	鵜川 正樹	火5		141
特殊講義b(公会計論)	-	秋	鵜川 正樹	火5		141
特殊講義a(生命を造るしくみ・生命が造るしくみ)	特殊講義a(生命を造るしくみ・生命が造るしくみ)	春	濱 健夫	火2		109
特殊講義b(生命における水・環境における水)	特殊講義b(生命における水・環境における水)	秋	濱 健夫	火2		109
特殊講義a(海洋環境と生物活動)	特殊講義a(海洋環境と生物活動)	春	濱 健夫	火3		110
特殊講義 (ニュースを読む技術)	特殊講義a(ニュースを読む技術)	春	深澤 真紀	金3		111
特殊講義b(ニュースを読む技術)	特殊講義b(ニュースを読む技術)	秋	深澤 真紀	金3		111
特殊講義a(アナログとデジタルのメディア論)	特殊講義a(アナログとデジタルのメディア論)	春	深澤 真紀	金4		112
特殊講義b(エンタメとサブカルのビジネス論)	特殊講義b(エンタメとサブカルのビジネス論)	秋	深澤 真紀	金4	-	112

### ◇関連専門科目◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期 担当教員名 曜時 履修不可 ページ
日本史概説I	日本史概説 I	免許課程シラバスを参照のこと
日本史概説Ⅱ	日本史概説Ⅱ	免許課程シラバスを参照のこと
外国史概説 I	外国史概説 I	免許課程シラバスを参照のこと
外国史概説Ⅱ	外国史概説Ⅱ	免許課程シラバスを参照のこと
地理学概説 I	地理学概説 I	免許課程シラバスを参照のこと
地理学概説Ⅱ	地理学概説Ⅱ	免許課程シラバスを参照のこと
地誌学概説 I	地誌学概説 I	免許課程シラバスを参照のこと
地誌学概説Ⅱ	地誌学概説Ⅱ	免許課程シラバスを参照のこと
社会学概説 I	社会学概説 I	免許課程シラバスを参照のこと
社会学概説Ⅱ	社会学概説Ⅱ	免許課程シラバスを参照のこと

#### ◇外国人学生・帰国学生(特別入試入学者)について◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履修不可	ページ
外国人学生·帰国学生(特別入試)	入学者)の授業科目履修について					17

# 2013年度以降入学者用 経 営 学 科

<<学部共通科目>>									
科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時		履修	不可		ページ
クラスセミナー	クラスセミナー	春	各担当教員	水1 済	環	外	養	法	18
クラスセミナー(再履修者用)	クラスセミナー(再履修者用)	秋	本田 浩邦	月2		外	養	法	18
経済学(ミクロ)	経済学(ミクロ)	春	各担当教員			外	養	法	19
経済学(マクロ)	経済学(マクロ)	秋	各担当教員			外	養	法	19
経済学(ミクロ)(再履修者用)	経済学(ミクロ)(再履修者用)	秋	黒木 亮	月1		外	養	法	20
経済学(マクロ)(再履修者用)	経済学(マクロ)(再履修者用)	春	黒木 亮	月1		外	養	法	20
経営学a	経営学a	春	上坂 卓郎	水1 済	環	外	養	法	26
経営学b	経営学b	秋	高松 和幸	水1 済	環	外	養	法	28
経営学a	経営学a	春	岡部 康弘	水1 済	環	外	養	法	27
経営学b	経営学b	秋	有吉 秀樹	水1 済	環	外	養	法	25
経営学a	経営学a	春	高松 和幸	水1 済	環	外	養	法	28
経営学b	経営学b	秋	岡部 康弘	水1 済	環	外	養	法	27
経済経営数学入門	経済経営数学入門	春	各担当教員	火2 済	環	外	養	法	29
統計学入門	統計学入門	秋	各担当教員	火2 済	環	外	養	法	29

<<学科基礎科目>>									
科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時		履修	不可	ſ	ページ
簿記原理a	簿記原理a	春	各担当教員						41
簿記原理b	簿記原理b	秋	各担当教員						41
経営学原理a	経営学原理a	春	黒川 文子	火5 済	環	外	養	法	38
経営学原理b	経営学原理b	秋	黒川 文子	火5 氵		外	養	法	38
経営学原理a	経営学原理a	春	岡部 康弘	金2 済		外	養	法	39
経営学原理b	経営学原理b	秋	岡部 康弘	金2 済		外	養	法	39
ミクロ経済学a	ミクロ経済学a	春	麻生 良文	月2 済					30
ミクロ経済学b	ミクロ経済学b	秋	麻生 良文	月2 済					30
ミクロ経済学a	ミクロ経済学a	春	藤山 英樹	月3 済					31
ミクロ経済学b	ミクロ経済学b	秋	藤山 英樹	月3 済					31
ミクロ経済学a	ミクロ経済学a	春	山森 哲雄	火5 氵					32
ミクロ経済学b	ミクロ経済学b	秋	山森 哲雄	火5 氵	環				32
マクロ経済学a	マクロ経済学a	春	山下 裕歩	月1 済	環				33
マクロ経済学b	マクロ経済学b	秋	山下 裕歩	月1 済	環				33
マクロ経済学a	マクロ経済学a	春	塩田 尚樹	火1 済	環				34
マクロ経済学b	マクロ経済学b	秋	塩田 尚樹	火1 済	環				34
マクロ経済学a	マクロ経済学a	春	須藤 時仁	火2 氵	環				35
マクロ経済学b	マクロ経済学b	秋	須藤 時仁	火2 氵	環				35
コンピュータ入門a	コンピュータ入門a	春	各担当教員			外	養	法	42
コンピュータ入門b	コンピュータ入門b	秋	各担当教員			外	養	法	42
情報社会論a	情報社会論a	春	柴崎 信三	水3					43
情報社会論b	情報社会論b	秋	柴崎 信三	水3					43
情報社会論a	情報社会論a	春	柴崎 信三	木2		外	養	法	43
情報社会論b	情報社会論b	秋	柴崎 信三	木2		外	養	法	43
-	経済経営数学a	春	大床 太郎	金1					55
_	経済経営数学b	秋	大床 太郎	金1					55
統計学a	統計学a	春	樋田 勉	水2					36
統計学b	統計学b	秋	樋田 勉	水2					36
統計学a	統計学a	春	大床 太郎	金4					37
統計学b	統計学b	 秋	大床 太郎	金4					37
環境学	環境学		中村 健治	水2					44
環境学	環境学	 秋	濱 健夫	火3					44
サステイナビリティ学	サステイナビリティ学	春	木原 隆司	木1					45
サステイナビリティ学	サステイナビリティ学	秋	木原 隆司	水2					45

# <<学科専門科目>>

#### ◇専門外国語◇

◇41124日四◇		00-#				
科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履修不可	ページ
専門英語a(ニュース世界と日本)	専門英語a(ニュース世界と日本)	春	本田 浩邦	月4		46
専門英語a(ニュース世界と日本)	専門英語a(ニュース世界と日本)	秋	本田 浩邦	月4		46
専門英語a(環境・資源経済学)	専門英語a(環境・資源経済学)	春	浜本 光紹	火3		47
専門英語a(環境・資源経済学)	専門英語a(環境·資源経済学)	秋	浜本 光紹	火3		47
専門英語a(社会と会計)	専門英語a(社会と会計)	春	橋本 尚	火5		48
専門英語a(社会と会計)	専門英語a(社会と会計)	秋	橋本 尚	火5		48
専門英語a(自動車産業等の企業経営)	専門英語a(自動車産業等の企業経営)	春	黒川 文子	水1		49
専門英語a(自動車産業等の企業経営)	専門英語a(自動車産業等の企業経営)	秋	黒川 文子	水1		49
専門英語a(情報学)	専門英語a(情報学)	春	堀江 郁美	木3		50
専門英語a(情報学)	専門英語a(情報学)	秋	堀江 郁美	木3		50
専門英語a(経済理論)	専門英語a(経済理論)	春	山森 哲雄	木5		51
専門英語a(経済理論)	専門英語a(経済理論)	秋	山森 哲雄	木5		51
専門英語a(持続可能な開発)	専門英語a(持続可能な開発)	春	米山 昌幸	金2		52
専門英語a(持続可能な開発)	専門英語a(持続可能な開発)	秋	米山 昌幸	金2		52
専門英語a(国際資源開発学)	専門英語a(国際資源開発学)	春	加賀爪 優	金2		53
専門英語a(国際資源開発学)	専門英語a(国際資源開発学)	秋	加賀爪 優	金2		53
専門英語a(持続的開発目標: SDGs)	専門英語a(持続的開発目標: SDGs)	春	高安 健一	金2		54
専門英語a(持続的開発目標: SDGs)	専門英語a(持続的開発目標: SDGs)	秋	高安 健一	金2		54
専門中国語a	専門中国語a		本年度休講			
専門中国語b	専門中国語b		本年度休講			

#### ◇経営◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履修不可	ページ
経営管理論a	経営管理論a	春	黒川 文子	木3		113
経営管理論b	経営管理論b	秋	黒川 文子	木3		113
経営戦略論a	経営戦略論a	春	陰山 孔貴	月2		114
経営戦略論b	経営戦略論b	秋	陰山 孔貴	月2		114
経営組織論a	経営組織論a	春	高松 和幸	金3		115
経営組織論b	経営組織論b	秋	高松 和幸	金3		115
経営財務論a	経営財務論a	春	細田 哲	木1		116
経営財務論b	経営財務論b	秋	細田 哲	木1		116
人的資源管理論a	人的資源管理論a	春	岡部 康弘	水2		117
人的資源管理論b	人的資源管理論b	秋	岡部 康弘	水2		117
国際経営論a	国際経営論a	春	小林 哲也	火1	環	去 118
国際経営論b	国際経営論b	秋	小林 哲也	火1	環	去 118
NPOマネジメント論a	NPOマネジメント論a	春	高松 和幸	木2	環	119
NPOマネジメント論b	NPOマネジメント論b	秋	高松 和幸	木2	環	119
リスク・マネジメント論a	リスク・マネジメント論a	春	岡村 国和	月3		120
リスク・マネジメント論b	リスク・マネジメント論b	秋	岡村 国和	月3		120
研究・開発マネジメントa	研究・開発マネジメントa	春	鈴木 淳	金2		121
研究・開発マネジメントb	研究・開発マネジメントb	秋	鈴木 淳	金2		121
日本経営史a	日本経営史a	春	平井 岳哉	水1		122
日本経営史b	日本経営史b	秋	平井 岳哉	水1		122
外国経営史a	外国経営史a	春	御園生 眞	火4		123
外国経営史b	外国経営史b	秋	御園生 眞	火4		123

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履修不可	ページ
企業論a	企業論a	春	平井 岳哉	月1		124
企業論b	企業論b	秋	平井 岳哉	月1		124
ベンチャー企業論a	ベンチャー企業論a	春	上坂 卓郎	火3		125
ベンチャー企業論b	ベンチャー企業論b	秋	上坂 卓郎	火3		125
企業文化論a	企業文化論a		本年度休講			
企業文化論b	企業文化論b		本年度休講			
マーケティング論a	マーケティング論a	春	有吉 秀樹	金3		126
マーケティング論b	マーケティング論b	秋	有吉 秀樹	金3		126
広告論a	広告論a	春	清水 公一	月3		127
広告論b	広告論b	秋	清水 公一	月3		127
保険論a	保険論a	春	岡村 国和	木3		128
保険論b	保険論b	秋	岡村 国和	木3		128
証券市場論a	証券市場論a	春	髙橋 元	木2		129
証券市場論b	証券市場論b	秋	髙橋 元	木2		129
国際貿易論a	国際貿易論a	春	米山 昌幸	火2		87
国際貿易論b	国際貿易論b	秋	米山 昌幸	火2		87
企業経済論a	企業経済論a		本年度休講			
企業経済論b	企業経済論b		本年度休講			
行動科学論a	行動科学論a	春	有吉 秀樹	木4		130
行動科学論b	行動科学論b	秋	有吉 秀樹	木4		130
ゲーム理論a	ゲーム理論a	春	藤山 英樹	水2		57
ゲーム理論b	ゲーム理論b	秋	藤山 英樹	水2		57

# ◇会計◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履修不可	ページ
上級簿記(工業)a	上級簿記(工業)a	春	香取 徹	火3		131
上級簿記(工業)b	上級簿記(工業)b	秋	香取 徹	火3		131
上級簿記(商業)a	上級簿記(商業)a	春	山﨑 尚	金2		132
上級簿記(商業)b	上級簿記(商業)b	秋	山﨑 尚	金2		132
会計学原理a	会計学原理a	春	内倉 滋	木3		133
会計学原理b	会計学原理b	秋	内倉 滋	木3		133
国際会計論a	国際会計論a	春	橋本 尚	火4		134
国際会計論b	国際会計論b	秋	橋本 尚	火4		134
財務会計論a	財務会計論a	春	山﨑 尚	金1		135
財務会計論b	財務会計論b	秋	山﨑 尚	金1		135
原価計算論a	原価計算論a	春	大坪 史治	木4		136
原価計算論b	原価計算論b	秋	大坪 史治	木4		136
管理会計論a	管理会計論a	春	香取 徹	火4		137
管理会計論b	管理会計論b	秋	香取 徹	火4		137
社会会計論a	社会会計論a	春	大坪 史治	火2	環	138
社会会計論b	社会会計論b	秋	大坪 史治	火2	環	138
会計監査論a	会計監査論a	春	福薗 健	木1		139
会計監査論b	会計監査論b	秋	福薗 健	木1		139
税務会計論a	税務会計論a	春	平 仁	月4		140
税務会計論b	税務会計論b	秋	平 仁	月4		140
経営分析論a	-		本年度休講			
経営分析論b	-		本年度休講			
	公会計論a	春	鵜川 正樹	火5		141
-	公会計論b	秋	鵜川 正樹	火5		141

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履修不可	「 ページ
経済経営数学a	-	春	大床 太郎	金1		55
経済経営数学b	_	秋	大床 太郎	金1		55
社会調査論a	社会調査論a	春	大床 太郎	金2		65
社会調査論b	社会調査論b	秋	大床 太郎	金2		65
多変量解析a	多変量解析a	春	樋田 勉	火1		66
多変量解析b	多変量解析b	秋	樋田 勉	火1		66
コンピュータ・アーキテクチャ	コンピュータ・アーキテクチャ	春	今福 啓	金5		142
アルゴリズム論a	アルゴリズム論a	春	木村 昌史	月2		143
アルゴリズム論b	アルゴリズム論b	秋	木村 昌史	月2		143
プログラミング論a※	プログラミング論a※	春	柏原 賢二	火2		144
プログラミング論b※	プログラミング論b※	秋	柏原 賢二	火2		144
プログラミング論a※	プログラミング論a※	春	加藤 尚吾	火5		145
プログラミング論b※	プログラミング論b※	秋	加藤 尚吾	火5		145
プログラミング論a※	プログラミング論a※	春	堀江 郁美	木2		145
プログラミング論b※	プログラミング論b※	秋	堀江 郁美	木2		145
プログラミング論a※	プログラミング論a※	春	李 凱	木3		145
プログラミング論b※	プログラミング論b※	秋	李 凱	木3		145
プログラミング応用a※	プログラミング応用a※		白井 裕	木2		146
プログラミング応用b※	プログラミング応用b※	秋	白井 裕	木2		146
情報システム論a	情報システム論a		今福 啓	火2		147
情報システム論b	情報システム論b	秋	今福 啓	火2		147
データベース論a※	データベース論a※	春	堀江 郁美	水1		148
データベース論b※	データベース論b※	秋	堀江 郁美	水1	環	148
データベース論a※	データベース論a※	春	根本 貴弘	金2		149
データベース論b※	データベース論b※	秋	根本 貴弘	金2	環	149
データマイニング論a※	データマイニング 論a※		松田 源立	 木3	環	150
データマイニング論b※	データマイニング論b※	秋	松田 源立	木3	環	150
情報検索論a	情報検索論a		福田 求	火3		151
情報検索論b	情報検索論b		福田 求	火3		151
情報検索論a	情報検索論a	春	福田 求	水1		151
情報検索論b	情報検索論b	秋	福田 求	水1		151
情報通信ネットワークb	情報通信ネットワークb	春	三宅 真	木4		152
情報通信ネットワークa	情報通信ネットワークa	秋	今福 啓	金5		152
マルチメディア論a※	マルチメディア論a※		李 凱	 月2		153
マルチメディア論b※	マルチメディア論b※	秋	李凱	月2	環	153
マルチメディア論a※	マルチメディア論a※	春	柏原賢二	火3	<del></del>	154
マルチメディア論b※	マルチメディア論b※		柏原 賢二	火3	環	154
ウェブデザイン論a※	ウェブデザイン論a※	<u></u>	李 凱	木1	771	155
ウェブデザイン論b※	ウェブデザイン論b※		李凱	木1		155
シミュレーション論a※	シミュレーション論a※	- 春	 市川 新	水4		156
シミュレーション論b※	シミュレーション論b※		市川新	水4		156
情報と職業	情報と職業		小林 哲也	水2		157
情報メディア論	情報メディア論	秋	福田求	火4	外養	
情報メディア論	情報メディア論		福田求	水2	外養	法 158
経営意思決定論a	経営意思決定論a	春	鈴木 淳	水1	/I R	159
経営意思決定論b	経営意思決定論b		鈴木 淳	水1		159
オペレーションズ・リサーチa	オペレーションズ・リサーチa		白井 裕	木1		160
オペレーションズ・リサーチb	オペレーションズ・リサーチb		白井 裕	木1		160
システムズ・エンジニアリングa	システムズ・エンジニアリングa		広瀬 啓雄	月2		161
システムズ・エンジニアリングb	システムズ・エンジニアリングb	秋	広瀬 啓雄	月2		161
フハノムハ エンノーノリンプロ	ノハノムハ エンノーノリンプロ	77	141/19 古唯	Лζ		101

※a,bセット履修

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履修不可	ページ
精神保健福祉論a	精神保健福祉論a	春	伊藤 晋二	火4		99
精神保健福祉論b	精神保健福祉論b	秋	伊藤 晋二	火4		99
現代人口論a	現代人口論a		本年度休講			
現代人口論b	現代人口論b		本年度休講			
社会保障論a	社会保障論a		本年度休講			
社会保障論b	社会保障論b		本年度休講			
医療経済学a	医療経済学a		本年度休講			
医療経済学b	医療経済学b		本年度休講			

# ◇経済・政治・法律◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時		J	覆修	不可		ページ
日本経済史a	日本経済史a	春	市原 博	月4						60
日本経済史b	日本経済史b	秋	市原 博	月4						60
経済地理学a	経済地理学a	春	大竹 伸郎	火1						79
経済地理学b	経済地理学b	秋	大竹 伸郎	火1						79
経済地誌a	経済地誌a	春	大竹 伸郎	月4	済	環	外	養	法	80
経済地誌b	経済地誌b	秋	大竹 伸郎	月4	済	環	外	養	法	80
地域調査論	地域調査論	春	大竹 伸郎	水2		環				162
地理情報システム論	地理情報システム論	秋	秋本 弘章	水2		環				163
国際経済学a	国際経済学a	春	益山 光央	火2				養	法	86
国際経済学b	国際経済学b	秋	益山 光央	火2				養	法	86
法学a	法学a	秋	湯川 益英	水1	済	環	外	養	法	100
法学b	法学b	秋	周 劍龍	水2	済	環	外	養	法	100
政治学総論a	政治学総論a	春	杉田 孝夫	火2	済	環	外	養	法	101
政治学総論b	政治学総論b	秋	杉田 孝夫	火2	済	環	外	養	法	101
国際政治学a	国際政治学a	春	岡垣 知子	水1	済	環	外	養	法	102
国際政治学b	国際政治学b	秋	山下 光	金5	済	環	外	養	法	102
民法a	民法a	春	湯川 益英	金4	済	環	外	養	法	103
民法b	民法b	秋	湯川 益英	金4	済	環	外	養	法	103
会社法a	会社法a	春	周 劍龍	木1	済	環	外	養	法	104
会社法b	会社法b	秋	周 劍龍	木1	済	環	外	養	法	104
著作権法a	著作権法a	春	張 睿暎	火2	済	環	外	養	法	105
著作権法b	著作権法b	秋	張 睿暎	火2	済	環	外	養	法	105

# ◇総合講座・特殊講義◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履修不可	ページ
総合講座a	総合講座a	春	経済学部	水3		106
総合講座b	総合講座b	秋	経済学部	水3		106
特殊講義b(資本市場の役割と証券投資)	特殊講義b(資本市場の役割と証券投資)	秋	経済学部	水4		107
特殊講義a(先端科学技術の挑戦と発見)	特殊講義a(先端科学技術の挑戦と発見)	春	山根 一眞	月4		108
特殊講義b(先端科学技術の挑戦と発見)	特殊講義b(先端科学技術の挑戦と発見)	秋	山根 一眞	月4		108
特殊講義a(農業経済学)	-	春	加賀爪 優	金3		81
特殊講義b(農業経済学)	-	秋	加賀爪 優	金3		81
特殊講義a(行動経済学)	-	春	山森 哲雄	火3		85
特殊講義b(行動経済学)	-	秋	山森 哲雄	火3		85
特殊講義a(公会計論)	_	春	鵜川 正樹	火5		141
特殊講義b(公会計論)	_	秋	鵜川 正樹	火5		141
特殊講義a(生命を造るしくみ・生命が造るしくみ)	特殊講義a(生命を造るしくみ・生命が造るしくみ)	春	濱 健夫	火2		109
特殊講義b(生命における水・環境における水)	特殊講義b(生命における水・環境における水)	秋	濱 健夫	火2		109
特殊講義a(海洋環境と生物活動)	特殊講義a(海洋環境と生物活動)	春	濱 健夫	火3		110
特殊講義a(ニュースを読む技術)	特殊講義a(ニュースを読む技術)	春	深澤 真紀	金3		111
特殊講義b(ニュースを読む技術)	特殊講義b(ニュースを読む技術)	秋	深澤 真紀	金3		111
特殊講義a(アナログとデジタルのメディア論)	特殊講義a(アナログとデジタルのメディア論)	春	深澤 真紀	金4		112
特殊講義b(エンタメとサブカルのビジネス論)	特殊講義b(エンタメとサブカルのビジネス論)	秋	深澤 真紀	金4		112

17

#### ◇関連専門科目◇ 開講 ページ 科目名(13~16入学者用) 科目名(17年度以降入学用) 担当教員名 曜時 履修不可 学期 免許課程シラバスを参照のこと 免許課程シラバスを参照のこと 免許課程シラバスを参照のこと 免許課程シラバスを参照のこと 免許課程シラバスを参照のこと 免許課程シラバスを参照のこと 日本史概説I 日本史概説Ⅱ 外国史概説 I 外国史概説Ⅱ 地理学概説 I 地理学概説Ⅱ 免許課程シラバスを参照のこと 免許課程シラバスを参照のこと 免許課程シラバスを参照のこと 免許課程シラバスを参照のこと 免許課程シラバスを参照のこと 地誌学概説 I 地誌学概説 I 社会学概説 I 社会学概説 I

$\Diamond$	থ	学	牛	$\Diamond$
$\sim$	ш	7	ㅗ	$\sim$

科目名(13~16入学者用) 科目名(175	7年度以降入学用) 開講 担当教員名 曜時 履修不可 ページ 学期
------------------------	--------------------------------------

# 2013年度以降入学者用 国際環境経済学科

<<学部共通科目>>										
科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時			履修	不可		ページ
クラスセミナー	クラスセミナー	春	各担当教員	水1	済	営	外	養	法	18
クラスセミナー(再履修者用)	クラスセミナー(再履修者用)	秋	本田 浩邦	月2			外	養	法	18
経済学(ミクロ)	経済学(ミクロ)	春	各担当教員				外	養	法	19
経済学(マクロ)	経済学(マクロ)	秋	各担当教員				外	養	法	19
経済学(ミクロ)(再履修者用)	経済学(ミクロ)(再履修者用)	秋	黒木 亮	月1			外	養	法	20
経済学(マクロ)(再履修者用)	経済学(マクロ)(再履修者用)	春	黒木 亮	月1			外	養	法	20
経営学a	経営学a	春	平井 岳哉	火2	済	営	外	養	法	24
経営学b	経営学b	秋	鈴木 淳	火2	済	営	外	養	法	23
経済経営数学入門	経済経営数学入門	春	各担当教員	火1	済	営	外	養	法	29
統計学入門	統計学入門	秋	各担当教員	火1	済	営	外	養	法	29

<<学科基礎科目>>						
科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履修不可	ページ
環境学	環境学	春	中村 健治	水2		44
環境学	環境学	秋	濱 健夫	火3		44
サステイナビリティ学	サステイナビリティ学	春	木原 隆司	木1		45
サステイナビリティ学	サステイナビリティ学	秋	木原 隆司	水2		45
ミクロ経済学a	ミクロ経済学a	春	麻生 良文	月2		去 30
ミクロ経済学b	ミクロ経済学b	秋	麻生 良文	月2		去 30
ミクロ経済学a	ミクロ経済学a	春	藤山 英樹	月3		去 31
ミクロ経済学b	ミクロ経済学b	秋	藤山 英樹	月3		去 31
ミクロ経済学a	ミクロ経済学a	春	山森 哲雄	火5		去 32
ミクロ経済学b	ミクロ経済学b	秋	山森 哲雄	火5		去 32
マクロ経済学a	マクロ経済学a	春	山下 裕歩	月1		去 33
マクロ経済学b	マクロ経済学b	秋	山下 裕歩	月1		去 33
マクロ経済学a	マクロ経済学a	春	塩田 尚樹	火1	営 外 養 :	去 34
マクロ経済学b	マクロ経済学b	秋	塩田 尚樹	火1		去 34
マクロ経済学a	マクロ経済学a	春	須藤 時仁	火2		去 35
マクロ経済学b	マクロ経済学b	秋	須藤 時仁	火2	営 外 養 🤅	去 35
_	経済経営数学a	春	大床 太郎	金1		55
_	経済経営数学b	秋	大床 太郎	金1		55
統計学a	統計学a	春	樋田 勉	水2		36
統計学b	統計学b	秋	樋田 勉	水2		36
統計学a	統計学a	春	大床 太郎	金4		37
統計学b	統計学b	秋	大床 太郎	金4		37
経営学原理a	経営学原理a	春	黒川 文子	火5	営	38
経営学原理b	経営学原理b	秋	黒川 文子	火5	営	38
経営学原理a	経営学原理a	春	岡部 康弘	金2	営	39
経営学原理b	経営学原理b	秋	岡部 康弘	金2	営	39
会計学a	会計学a	春	内倉 滋	月1		去 40
会計学b	会計学b	秋	内倉 滋	月1	営	去 40
簿記原理a	簿記原理a	春	各担当教員			41
簿記原理b	簿記原理b	秋	各担当教員			41
コンピュータ入門a	コンピュータ入門a	春	各担当教員			去 42
コンピュータ入門b	コンピュータ入門b	秋	各担当教員		外養	去 42
情報社会論a	情報社会論a	春	柴崎 信三	水3		43
情報社会論b	情報社会論b	秋	柴崎 信三	水3		43
情報社会論a	情報社会論a	春	柴崎 信三	木2		去 43
情報社会論b	情報社会論b	秋	柴崎 信三	木2	外養	去 43

#### <<学科専門科目>> ◇専門外国語◇ 開講 科目名(13~16入学者用) 科目名(17年度以降入学用) 担当教員名 曜時 履修不可 ページ 学期 木原 隆司 Introductory Lectures Introductory Lectures 春 水2 164 専門英語a(ニュース世界と日本) 専門英語a(ニュース世界と日本) 春 本田 浩邦 月4 46 専門英語a(ニュース世界と日本) 専門英語a(ニュース世界と日本) 本田 46 秋 浩邦 月4 専門英語a(環境·資源経済学) 専門英語a(環境·資源経済学) 春 浜本 光紹 火3 47 浜本 光紹 専門英語a(環境·資源経済学) 専門英語a(環境·資源経済学) 秋 火3 47 橋本 専門英語a(社会と会計) 専門英語a(社会と会計) 冶 火5 48 春 秋 橋本 尚 専門英語a(社会と会計) 専門英語a(社会と会計) 火5 48 専門英語a(自動車産業等の企業経営) 専門英語a(自動車産業等の企業経営) 黒川 文子 水1 49 春 黒川 文子 49 専門英語a(自動車産業等の企業経営)専門英語a(自動車産業等の企業経営) 水1 専門英語a(情報学) 専門英語a(情報学) 春 堀江 郁美 木3 50 専門英語a(情報学) 専門英語a(情報学) 秋 堀江 郁美 太3 50 専門英語a(経済理論) 専門英語a(経済理論) 山森 哲雄 木5 51 春 山森 哲雄 秋 51 専門英語a(経済理論) 専門英語a(経済理論) 木5 専門英語a(持続可能な開発) 専門英語a(持続可能な開発) 春 米山 昌幸 金2 52 米山 昌幸 専門英語a(持続可能な開発) 専門英語a(持続可能な開発) 秋 金2 52 専門英語a(国際資源開発学) 専門英語a(国際資源開発学) 春 加賀爪 優 金2 53 専門英語a(国際資源開発学) 加賀爪 優 専門英語a(国際資源開発学) 金2 53 専門英語a(持続的開発目標: SDGs) 専門英語a(持続的開発目標: SDGs) 高安 健一 金2 54 専門英語a(持続的開発目標: SDGs) 専門英語a(持続的開発目標: SDGs) 高安 健一 金2 54 専門中国語a 専門中国語a 本年度休講 専門中国語b 専門中国語b 本年度休講 英語ビジネス・コミュニケーション 英語ビジネス・コミュニケーション 信 達郎 水3 外 養 法 165 英語ビジネス・コミュニケーション 英語ビジネス・コミュニケーション 信 達郎 外 養 秋 水3 法 165 英語ビジネス・コミュニケーション 英語ビジネス・コミュニケーション 信 達郎 **水4** 外 養 法 166 英語ビジネス・コミュニケーション 英語ビジネス・コミュニケーション 信 達郎 養 秋 水4 外 法 166 英語ビジネス・コミュニケーション 英語ビジネス・コミュニケーション 春 土川 孝 木1 外 養 法 167 英語ビジネス・コミュニケーション 英語ビジネス・コミュニケーション 秋 土川 孝 木1 外 養 167 英語ビジネス・コミュニケーション 英語ビジネス・コミュニケーション 土川 孝 木2 外 養 法 168 英語ビジネス・コミュニケーション 英語ビジネス・コミュニケーション 養 秋 土川 孝 外 法 168 木2 英語ビジネス・コミュニケーション 杉山 晴信 英語ビジネス・コミュニケーション 外 養 春 木3 法 169 英語ビジネス・コミュニケーション 英語ビジネス・コミュニケーション 杉山 晴信 秋 木3 外 養 法 169 英語ビジネス・コミュニケーション 英語ビジネス・コミュニケーション 杉山 晴信 木4 外 養 法 170 英語ビジネス・コミュニケーション 英語ビジネス・コミュニケーション 秋 杉山 晴信 木4 外 養 法 170 英語ビジネス・コミュニケーション実務 英語ビジネス・コミュニケーション実務 春 杉山 晴信 金1 外 養 法 171 英語ビジネス・コミュニケーション実務 英語ビジネス・コミュニケーション実務 養 秋 杉山 晴信 余1 外 法 171 メディア英語 メディア英語 秋 経済学部 火3 外 養 法 172

#### ◇公共経済◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時			履修	不可	•	ページ
日本経済論a	日本経済論a	春	須藤 時仁	火4	済	営	外	養	法	67
日本経済論b	日本経済論b	秋	須藤 時仁	火4	済	営	外	養	法	67
経済政策論a	経済政策論a	春	童 適平	火4	済	営	外	養	法	68
経済政策論b	経済政策論b	秋	童 適平	火4	済	営	外	養	法	68
公共経済学a	公共経済学a	春	麻生 良文	月3	済	営	外	養	法	69
公共経済学b	公共経済学b	秋	麻生 良文	月3	済	営	外	養	法	69
都市経済学a	都市経済学a	春	倉橋 透	金1	済	営	外	養	法	78
都市経済学b	都市経済学b	秋	倉橋 透	金1	済	営	外	養	法	78
上級ミクロ経済学a	上級ミクロ経済学a		本年度休講							
上級ミクロ経済学b	上級ミクロ経済学b		本年度休講							
上級マクロ経済学a	上級マクロ経済学a	春	山下 裕歩	月3	済	営	外	養	法	56
上級マクロ経済学b	上級マクロ経済学b	秋	山下 裕歩	月3	済	営	外	養	法	56
ゲーム理論a	ゲーム理論a	春	藤山 英樹	水2						57
ゲーム理論b	ゲーム理論b	秋	藤山 英樹	水2						57
産業組織論a	産業組織論a		本年度休講							
産業組織論b	産業組織論b		本年度休講							
	行動経済学a	春	山森 哲雄	火3	済	営	外	養	法	85
-	行動経済学b	秋	山森 哲雄	火3	済	営	外	養	法	85

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時			履修	不可		ページ
地球環境論a	地球環境論a	春	中村 健治	月1	済	営	外	養	法	76
地球環境論b	地球環境論b	秋	中村 健治	月1	済	営	外	養	法	76
経済地理学a	経済地理学a	春	大竹 伸郎	火1						79
経済地理学b	経済地理学b	秋	大竹 伸郎	火1						79
地域生態論a	地域生態論a	春	犬井 正	月2						173
地域生態論b	地域生態論b	秋	犬井 正	月2						173
-	農業経済学a	春	加賀爪 優	金3	済	営	外	養	法	81
	農業経済学b	秋	加賀爪 優	金3	済	営	外	養	法	81
環境経済学a	環境経済学a	春	浜本 光紹	火2	済	営	外	養	法	74
環境経済学b	環境経済学b	秋	浜本 光紹	火2	済	営	外	養	法	74
環境政策論a	環境政策論a	春	塩田 尚樹	水1	済	営	外	養	法	75
環境政策論b	環境政策論b	秋	塩田 尚樹	水1	済	営	外	養	法	75
資源·エネルギー経済論a	資源・エネルギー経済論a	春	鈴木 滋	火3	済	営	外	養	法	77
資源・エネルギー経済論b	資源・エネルギー経済論b	秋	鈴木 滋	火3	済	営	外	養	法	77
環境ビジネス論a	環境ビジネス論a	春	山根 一眞	月3						174
環境ビジネス論b	環境ビジネス論b	秋	山根 一眞	月3						174
環境マネジメント論a	環境マネジメント論a	春	大坪 史治	火2	済	営	外	養	法	175
環境マネジメント論b	環境マネジメント論b	秋	大坪 史治	火2	済	営	外	養	法	175
環境法a	環境法a	春	磯田 尚子	水2			外	養	法	176
環境法b	環境法b	秋	磯田 尚子	水2			外	養	法	176
国際環境法a	国際環境法a	春	井上 秀典	月4			外	養	法	177
国際環境法b	国際環境法b	秋	井上 秀典	月4			外	養	法	177

# ◇国際◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時			履修	不可		ページ
国際公共政策論a	国際公共政策論a	春	木原 隆司	木3						178
国際公共政策論b	国際公共政策論b	秋	木原 隆司	木3						178
国際経済学a	国際経済学a	春	益山 光央	火2				養	法	86
国際経済学b	国際経済学b	秋	益山 光央	火2				養	法	86
国際貿易論a	国際貿易論a	春	米山 昌幸	火2						87
国際貿易論b	国際貿易論b	秋	米山 昌幸	火2						87
国際金融論a	国際金融論a	春	徳永 潤二	火1	済	営	外	養	法	88
国際金融論b	国際金融論b	秋	徳永 潤二	火1	済	営	外	養	法	88
開発経済学a	開発経済学a	春	高安 健一	火2	済	営	外	養	法	89
開発経済学b	開発経済学b	秋	高安 健一	火2	済	営	外	養	法	89
国際経営論a	国際経営論a	春	小林 哲也	火1	済	営	外	養	法	118
国際経営論b	国際経営論b	秋	小林 哲也	火1	済	営	外	養	法	118
国際開発論a	国際開発論a	春	木原 隆司	金2						179
国際開発論b	国際開発論b	秋	木原 隆司	金2						179
開発社会学	開発社会学		本年度休講							
国際NPO論a	国際NPO論a	春	長瀬 理英	金5						180
国際NPO論b	国際NPO論b	秋	長瀬 理英	金5						180
国際経済法a	国際経済法a	春	箭内 彰子	木2			外	養	法	181
国際経済法b	国際経済法b	秋	箭内 彰子	木2			外	養	法	181
国際政治経済学a	国際政治経済学a	春	大串 敦	火3			外	養	法	182
国際政治経済学b	国際政治経済学b	秋	大串 敦	火3			外	養	法	182
国際協力論a	国際協力論a	春	片岡 貞治	月2			外	養	法	183
国際協力論b	国際協力論b	秋	片岡 貞治	月2			外	養	法	183
国際組織論a	国際組織論a	春	鈴木 淳一	月1			外	養	法	184
国際組織論b	国際組織論b	秋	鈴木 淳一	月3			外	養	法	184

# ◇外国経済◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時			履修	不可		ページ
アメリカ経済論a	アメリカ経済論a	春	本田 浩邦	月3	済	営	外	養	法	90
アメリカ経済論b	アメリカ経済論b	秋	本田 浩邦	月3	済	営	外	養	法	90
ヨ-ロッパ経済論a	ヨ-ロッパ経済論a	春	漆畑 春彦	木5	済	営	外	養	法	91
ヨ-ロッパ経済論b	∃−ロッパ経済論b	秋	漆畑 春彦	木5	済	営	外	養	法	91
ラテンアメリカ経済論a	ラテンアメリカ経済論a	春	中村 久美	金3	済	営	外	養	法	92
ラテンアメリカ経済論b	ラテンアメリカ経済論b	秋	中村 久美	金3	済	営	外	養	法	92
東アジア・中国経済論a	東アジア・中国経済論a	春	全 載旭	木2	済	営	外	養	法	93
東アジア・中国経済論b	東アジア・中国経済論b	秋	全 載旭	木2	済	営	外	養	法	93
東南アジア経済論a	東南アジア経済論a	春	高安 健一	金1	済	営	外	養	法	94
東南アジア経済論b	東南アジア経済論b	秋	高安 健一	金1	済	営	外	養	法	94
南アジア経済論a	南アジア経済論a	春	佐藤 慶子	土3	済	営	外	養	法	95
南アジア経済論b	南アジア経済論b	秋	佐藤 慶子	土3	済	営	外	養	法	95
オセアニア経済論a	オセアニア経済論a	春	加賀爪 優	金4	済	営	外	養	法	96
オセアニア経済論b	オセアニア経済論b	秋	加賀爪 優	金4	済	営	外	養	法	96
アフリカ経済論a	アフリカ経済論a	春	佐野 康子	火1	済	営	外	養	法	97
アフリカ経済論b	アフリカ経済論b	秋	佐野 康子	火1	済	営	外	養	法	97
中東経済論a	中東経済論a	春	水口 章	月3	済	営	外	養	法	98
中東経済論b	中東経済論b	秋	水口 章	月3	済	営	外	養	法	98

# ◇調査·統計分析◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時			履修	不可		ページ
経済統計論a	経済統計論a	春	深江 敬志	金3	済	営	外	養	法	63
経済統計論b	経済統計論b	秋	深江 敬志	金3	済	営	外	養	法	63
計量経済学a	計量経済学a	春	藤山 英樹	月1	済	営	外	養	法	64
計量経済学b	計量経済学b	秋	藤山 英樹	月1	済	営	外	養	法	64
経済経営数学a	-	春	大床 太郎	金1						55
経済経営数学b	_	秋	大床 太郎	金1						55
社会調査論a	社会調査論a	春	大床 太郎	金2						65
社会調査論b	社会調査論b	秋	大床 太郎	金2						65
多変量解析a	多変量解析a	春	樋田 勉	火1						66
多変量解析b	多変量解析b	秋	樋田 勉	火1						66
地域調査論	地域調査論	春	大竹 伸郎	水2	済	営	外	養	法	162
地理情報システム論	地理情報システム論	秋	秋本 弘章	水2	済	営	外	養	法	163
データベース論a※	データベース論a※	春	堀江 郁美	水1	済	営	外	養	法	148
データベース論b※	データベース論b※	秋	堀江 郁美	水1	済	営	外	養	法	148
データベース論a※	データベース論a※	春	根本 貴弘	金2	済	営	外	養	法	149
データベース論b※	データベース論b※	秋	根本 貴弘	金2	済	営	外	養	法	149
データマイニング論a※	データマイニング論a※	春	松田 源立	木3	済	営	外	養	法	150
データマイニング論b※	データマイニング論b※	秋	松田 源立	木3	済	営	外	養	法	150
マルチメディア論a※	マルチメディア論a※	春	李 凱	月2	済	営	外	養	法	153
マルチメディア論b※	マルチメディア論b※	秋	李 凱	月2	済	営	外	養	法	153
マルチメディア論a※	マルチメディア論a※	春	柏原 賢二	火3	済	営	外	養	法	154
マルチメディア論b※	マルチメディア論b※	秋	柏原 賢二	火3	済	営	外	養	法	154
ツュトナット 屋板										

#### ※a,bセット履修

# ◇地域・実践◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時			履修	不可	ページ
NPOマネジメント論a	NPOマネジメント論a	春	高松 和幸	木2	済	営	外	養法	: 119
NPOマネジメント論b	NPOマネジメント論b	秋	高松 和幸	木2	済	営	外	養法	119
地域メディア論	地域メディア論	春	岡村 圭子	火3			外	養法	185
地域づくり論	地域づくり論	秋	中野 美季	木5			外	養法	186
地域活性化論	地域活性化論	秋	瀬川 翠	水3					187
ソーシャル・ビジネス論a	ソーシャル・ビジネス論a	春	瀬川 翠	水4					188
ソーシャル・ビジネス論b	ソーシャル・ビジネス論b	秋	瀬川 翠	水4					188

# **◇人口·保健·医療◇**

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履修不可	ページ
精神保健福祉論a	精神保健福祉論a	春	伊藤 晋二	火4		99
精神保健福祉論b	精神保健福祉論b	秋	伊藤 晋二	火4		99
現代人口論a	現代人口論a		本年度休講			
現代人口論b	現代人口論b		本年度休講			
社会保障論a	社会保障論a		本年度休講			
社会保障論b	社会保障論b		本年度休講			
医療経済学a	医療経済学a		本年度休講			
医療経済学b	医療経済学b		本年度休講			

### ◇経済史◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時			履修	不可	ページ
日本社会史a	日本社会史a	春	新井 孝重	水1	済	営	外	養法	59
日本社会史b	日本社会史b	秋	新井 孝重	水1	済	営	外	養 法	59
日本経済史a	日本経済史a	春	市原 博	月4					60
日本経済史b	日本経済史b	秋	市原 博	月4					60
外国経済史a	外国経済史a	春	御園生 眞	火1	済	営	外	養 法	61
外国経済史b	外国経済史b	秋	御園生 眞	火1	済	営	外	養法	61

# ◇総合講座·特殊講義◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履修不可	ページ
総合講座a	総合講座a	春	経済学部	水3		106
総合講座b	総合講座b	秋	経済学部	水3		106
特殊講義b(資本市場の役割と証券投資)	特殊講義b(資本市場の役割と証券投資)	秋	経済学部	水4		107
特殊講義a(先端科学技術の挑戦と発見)	特殊講義a(先端科学技術の挑戦と発見)	春	山根 一眞	月4		108
特殊講義b(先端科学技術の挑戦と発見)	特殊講義b(先端科学技術の挑戦と発見)	秋	山根 一眞	月4		108
特殊講義a(農業経済学)	_	春	加賀爪 優	金3		81
特殊講義b(農業経済学)	-	秋	加賀爪 優	金3		81
特殊講義a(行動経済学)	-	春	山森 哲雄	火3		85
特殊講義b(行動経済学)	-	秋	山森 哲雄	火3		85
特殊講義a(公会計論)	-	春	鵜川 正樹	火5		141
特殊講義b(公会計論)	_	秋	鵜川 正樹	火5		141
特殊講義a(生命を造るしくみ・生命が造るしくみ)	特殊講義a(生命を造るしくみ・生命が造るしくみ)	春	濱 健夫	火2		109
特殊講義b(生命における水・環境における水)	特殊講義b(生命における水・環境における水)	秋	濱 健夫	火2		109
特殊講義a(海洋環境と生物活動)	特殊講義a(海洋環境と生物活動)	春	濱 健夫	火3		110
特殊講義a(ニュースを読む技術)	特殊講義a(ニュースを読む技術)	春	深澤 真紀	金3		111
特殊講義b(ニュースを読む技術)	特殊講義b(ニュースを読む技術)	秋	深澤 真紀	金3		111
特殊講義a(アナログとデジタルのメディア論)	特殊講義a(アナログとデジタルのメディア論)	春	深澤 真紀	金4		112
特殊講義b(エンタメとサブカルのビジネス論)	特殊講義b(エンタメとサブカルのビジネス論)	秋	深澤 真紀	金4		112

# ◇外国人学生・帰国学生(特別入試入学者)について◇

科目名(13~16入学者用)	科目名(17年度以降入学用)	開講 学期	担当教員名	曜時	履修不可	ページ
外国人学生 帰国学生(特別入試	入学者)の授業科目履修について					17

# 外国人学生・帰国学生(特別入試入学者)の授業科目履修について

外国人学生・帰国学生(特別入試入学者)の授業科目については、「外国人学生の授業科目履修に関する特例」、「帰国学生の授業科目履修に関する特例」により、該当科目を履修する必要があります。 履修の方法や単位集計先などについては、『履修の手引』および『授業時間割表』の該当頁を参照してください。

科目名	単位集計先	担当教員	該当シラバス	該当頁
日本語(総合IAa,b)	-	各担当教員	全学共通授業科目 シラバス	-
日本語(総合IBa,b)	-	各担当教員	全学共通授業科目 シラバス	-
日本語(総合ICa,b)	-	各担当教員	全学共通授業科目 シラバス	-
日本語(総合 II a,b)	-	各担当教員	全学共通授業科目 シラバス	-
歴史と文化2 (日本事情1,2)	全カリ選択必修科目	堀川 徹	全学共通授業科目 シラバス	-
日本経済論a,b	学科専門科目(選択)	須藤 時仁	経済学部 シラバス	67
日本経済史a,b	学科専門科目(選択)	市原博	経済学部 シラバス	60
日本経営史a,b	学科専門科目(選択)	平井 岳哉	経済学部 シラバス	122
日本社会史a,b	学科専門科目(選択)	新井 孝重	経済学部 シラバス	59

<sup>※</sup>太枠の「日本事情に関する科目」の中から、4単位選択して卒業までに必ず修得してください。

<sup>※</sup>太枠の「日本事情に関する科目」は、2012年度以前に入学した学生にも適用されます。

 09 年度以降
 クラスセミナー
 担当者
 各担当教員

#### 講義目的、講義概要

この授業では、学部共通のテキストに沿って、大学で学問に向き合い、研究テーマに取り組むときに必要なアカデミック・スキルを修得します。具体的には、

- ・自らの問題意識を醸成し、主体的にテーマ設定する
- ・先行研究を読み解き、論点を整理・構成する
- ・データを収集・加工し、情報を抽出する
- ・現状を把握して課題・問題を明らかにする
- ・考察によって結論を導き出し、発表して議論する
- レポート・論文にまとめる

といった「知の技巧」を身に付けます。この授業では、主体的に授業に参加し、議論したり課題に取り組むという積極的な姿勢が求められます。学問や研究というのは一人で課題に取り組む個人作業のように考えがちですが、じつは仲間同士で議論し、意見をぶつけあうことから生まれる相乗効果こそが、まさに大学が「学問を通じての人間形成の場」となるために必要不可欠なのです。

#### 授業計画

- 1. プレゼンテーション・スキルの基礎
- 2. コミュニケーション・スキルを磨く
- 3.「事例研究」という学習/研究-ケースで考える-
- 4. 情報探索方法のモデルーキーワードを考える-
- 5. 図書館セミナー(クラスごとに日程が異なります)
- 6. 情報探索方法のモデルー「読む」力をつける-
- 7. プレゼンテーション・スキルを磨く
- 8. レジュメの作成とプレゼンテーション実習
- 9. 情報探索方法のモデル―電子情報を見つける―
- 10. 情報探索方法のモデルー「探す」力をつける-
- 11. 学習・研究テーマの選び方
- 12. レポート・プロポーザルとアウトラインの作成実習
- 13. 情報の加工
- 14. レポートを書く
- 15. まとめ

<i></i>	
到達目標	基礎的な学習スキルを習得し、初歩的な情報収集、プレゼンテーション、レポート・論文の作成ができるようにする。
事前・事後 学修の内容	受講前に必ず学部共通テキストを予習してください。それを前提に、授業中にはアクティビティを行って もらいます。また、受講後には課題と学期末レポートの作成に向けて順次作業を進めます。
テキスト	経済学部で編集した『クラスセミナーテキストー知の技巧ー』を用います。最初の授業時に配布します。
参考文献	担当教員が適宜紹介します。
評価方法	受講態度・積極性(25%)、課題提出(25%)、期末レポート(50%)によって総合的に評価する。

09 年度以降 クラスセミナー(再履修者用) 担当者 各担当教員

#### 講義目的、講義概要

この授業では、学部共通のテキストに沿って、大学で学問に向き合い、研究テーマに取り組むときに必要なアカデミック・スキルを修得します。具体的には、

- ・自らの問題意識を醸成し、主体的にテーマ設定する
- ・先行研究を読み解き、論点を整理・構成する
- ・データを収集・加工し、情報を抽出する
- ・現状を把握して課題・問題を明らかにする
- ・考察によって結論を導き出し、発表して議論する
- レポート・論文にまとめる

といった「知の技巧」を身に付けます。この授業では、主体的に授業に参加し、議論したり課題に取り組むという積極的な姿勢が求められます。学問や研究というのは一人で課題に取り組む個人作業のように考えがちですが、じつは仲間同士で議論し、意見をぶつけあうことから生まれる相乗効果こそが、まさに大学が「学問を通じての人間形成の場」となるために必要不可欠なのです。

#### 授業計画

- 1. プレゼンテーション・スキルの基礎
- 2. コミュニケーション・スキルを磨く
- 3. 「事例研究」という学習/研究-ケースで考える-
- 4. 情報探索方法のモデルーキーワードを考える-
- 5. 図書館セミナー(クラスごとに日程が異なります)
- 6. 情報探索方法のモデルー「読む」力をつける—
- 7. プレゼンテーション・スキルを磨く
- 8. レジュメの作成とプレゼンテーション実習
- 9. 情報探索方法のモデル-電子情報を見つける-
- 10. 情報探索方法のモデルー「探す」力をつける-
- 11. 学習・研究テーマの選び方
- 12. レポート・プロポーザルとアウトラインの作成実習
- 13. 情報の加工
- 14. レポートを書く
- 15. まとめ

·	
到達目標	基礎的な学習スキルを習得し、初歩的な情報収集、プレゼンテーション、レポート・論文の作成ができるようにする。
事前・事後 学修の内容	受講前に必ず学部共通テキストを予習してください。それを前提に、授業中にはアクティビティを行って もらいます。また、受講後には課題と学期末レポートの作成に向けて順次作業を進めます。
テキスト	経済学部で編集した『クラスセミナーテキストー知の技巧ー』を用います。最初の授業時に配布します。
参考文献	担当教員が適宜紹介します。
評価方法	受講態度・積極性 (25%)、課題提出 (25%)、期末レポート (50%) によって総合的に評価する。

13 年度以降		経済学(ミクロ)		担当者	各担当教員	
講義目的、認	冓義概劽	Ę	授業計画			
いま学体のは の の の の の の の の の の の の の の の の の の	育口思斉 則楊箽大蚤れ戍が凶 学)」決学 とに者化済らすあ要 であるるです。	るために人々は選択の問題に直面して その選択の問題を考える学問です。「経 、、家計・企業・政府といった個々の経 こついて考察し、その相互作用を研究す 人門範囲について講義します。 給曲線、供給の法則と供給曲線を理解 ける市場均衡の決定について学びます。 合理的な行動を理解し、満足度の最大化 はかるための最適な方法である限界分 り重要な尺度である余剰分析について学 ツールを用いて、競争市場が効率的な資 ことを理解します。また、市場の失敗、 ことも理解し、そのような場合には、政 あることを学びます。また、開放経済下 ても学びます。	1. ガイダンス、記 2. 需要の変化と 3. 需等の変化と 4. 需要曲線とと消 5. 需要曲線とと消 6. 需要曲線と生 8. 費用の諸とと生 10. 市場の外と上 11. 市場の失敗 12. 市場の失敗 14. 価格支配 15. 国際貿易一比	供比費力費産一産額の合物を持てのおりです。 大学動 乗動 用いる でいる かまった かまった かまった かまった かまった かまった かまった かまった	平均費用・平均可変費用	
到達目標	<b>到達目標</b> 初歩的なミクロ経済学の知識を習得し、様々な経済事象を理論的に分析のうえ、解説できるようにする。					
事前・事後	受講前	<b>前にはテキスト範囲の予習を行います。ま</b>	<b>ミた、受講後には</b>	受業中に出さ	れた練習問題を解いて復習し	

事前・事後 学修の内容	受講前ます。	受講前にはテキスト範囲の予習を行います。また、受講後には授業中に出された練習問題を解いて復習します。			
テキスト	各担当	á教員が第1回目の授業で指定します。			
参考文献	各担当	<ul><li>á教員が授業中にその都度、指示します。</li></ul>			
評価方法	基本的には、定期試験の得点(100点満点)を評価基準に照らして評価しますが、レポート、小テストなど、その他の評価に加味するものについては各担当教員が説明します。				
13 年度以降		経済学(マクロ)		担当者	各担当教員
13 年度以降講義目的、調			授業計画	担当者	各担当教員

その相互作用について理解し、経済全体における均衡につ いて学ぶマクロ経済学の入門範囲について講義します。

まず、GDPとは何か、国民経済計算を学びます。物価指 数とインフレ率について学び、名目GDPと実質GDPについ て理解します。次に、生産物市場に注目し、国民所得決定 の理論について学び、乗数効果について理解します。続い て、貯蓄を投資に結び付ける貨幣市場について学び、貨幣 の定義と貨幣需要と貨幣供給の決定要因について理解し、 利子率の決定と中央銀行の役割について理解します。そし て最後に、生産物市場と貨幣市場を統合して、総需要曲線 と総供給曲線による経済全体の均衡を学びます。そのうえ で、財政政策と金融政策の効果を学びます。また、開放経 済下で国際マクロ経済についても学びます。

- 3. 物価指数とインフレーション
- 4. 生産物市場--有効需要の原理とセイの法則
- 5. 生産物市場の均衡-国民所得決定の理論
- 6. 乗数効果
- 7. 金融市場と中央銀行
- 8. 貨幣市場と利子率の決定
- 9. 労働市場と失業
- 10. 総需要と総供給
- 11. 総需要曲線-生産物市場と貨幣市場の統合
- 12. 総供給曲線-長期と短期
- 13. 財政政策と金融政策
- 14. 生産性の決定要因と経済成長
- 15. 国際マクロ経済--為替レートの導入

到達目標	初歩的なマクロ経済学の知識を習得し、様々な経済事象を理論的に分析のうえ、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	受講前にはテキスト範囲の予習を行います。また、受講後には授業中に出された練習問題を解いて復習します。
テキスト	各担当教員が第1回目の授業で指定します。
参考文献	各担当教員が授業中にその都度、指示します。
評価方法	基本的には、定期試験の得点(100点満点)を評価基準に照らして評価しますが、レポート、小テストなど、その他の評価に加味するものについては各担当教員が説明します。

13年度以降	経済学(マクロ)(再履修者用)		担当者	黒木 亮		
講義目的、詞	講義概要		授業計画			
学を中心に系 経済の事例が 理するためのいたい。 講義の概要 テキストのる。 I. 貨機 III. 経済	紹介することが の見方、する のPart2に かPart2に が が が の と が の の の の の の の の の の の の の	学の基本的な考え方をマクロ経済にある。具体的な経済問題や日本ら、複雑な経済現象を理解し、整わち経済学の基本を習得してもらって下記のテーマについて講義す 基本:GDPを理解するび金融・財政政策の役割成長の関係 本:為替レートと比較優位	2. GDP 2 3. 需要数需 4. 有効需 5. 貨幣の 6. マルチン 9. 金融政 10. 失年本 11. 日本済 13. 変動	と供要定・給レ策閉り戈目憂中絲の義スとーと題政長場位	心に で で で で で で で で で で で で で	用乗数 フレーション 率および効率的賃金仮説 および資本蓄積
到達目標	初歩的なマ	クロ経済学の知識を習得し、様々	な経済事象を理	!論的	内に分析のう	え、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	毎回授業時に強調するポイントや次回の講義箇所の指摘等による教科書ないし参考文献の復習および予習					
テキスト	伊藤元重『	入門 経済学 第4版』日本評論社				

伊藤元重『はじめての経済学(下)』日本経済新聞社.

レポートや試験答案の内容による評価が 100%

参考文献

評価方法

-				ī	
13 年度以降	経済学 (ミクロ) (再履修者用)			担当者	黒木 亮
講義目的、認	講義概要	<u> </u>	授業計画		
講義の目的 本講義の目的は、経済学の基本的な考え方をミクロ経済学を中心に紹介することにある。具体的な経済問題や日本経済の事例にも触れながら、複雑な経済現象を理解し、整理するための見方、すなわち経済学の基本を習得してもらいたい。 講義の概要 テキストのPart1に沿って下記のテーマについて講義する。 I. 需要と供給の理論:ミクロ経済学の基本II. 独占と競争の理論および市場の失敗III. 不確実性と不完全競争の理論IV. ゲームの理論入門			2. 基本手法。 3. 需要曲線。 4. 供給曲線。 5. 完全競争。 6. 独占のの失り 8. 公共財のも 9. 不確実生。 10. 不完全情 11. エージェ 12. 囚人のジ	とととと は とととと と と と と と と と と と と と と と と	構造および利潤最大化行動
到達目標	初歩的なミクロ経済学の知識を習得し、様々な経済事象を理論的に分析のうえ、解説できるようにする。				
事前・事後 学修の内容	毎回授業時に強調するポイントや次回の講義箇所の指摘等による教科書ないし参考文献の復習および予習				
テキスト	伊藤元重『入門 経済学 第4版』日本評論社.				
参考文献	伊藤カ	正重『はじめての経済学 (上)』日本経済	新聞社.		
評価方法	レポー	- トや試験答案の内容による評価が 100%	<b>6</b>		

09年度以降	経営学a			担当者	陰山	孔貴
講義目的、調	冓義概要	5 7	授業計画			
本講義では、企業経営全般について学びます。 私が経験してきたビジネスの現場の話も時には入れつ つ、極力楽しく、皆さんと経営学を学んでいきます。 また、この講義の時間は、みなさんが将来、行うであろ う仕事やキャリアについても考える時間にしたいと思っ ています。			1. 講義概要 2. 企業経インスの 4. 企業とケースの 5. 企業とから、企業とが、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは	アット市場  アット市場  アット市場  アット市場  アット  アット  アット  アット  アット  アット  アット  アッ		
到達目標	,,,,	≠の基礎知識、経営学の基本的な考え方を fのうえ、解説できるようにする。	と習得し、様々な企	企業・組織の	マネジメントに	ついて理論的
事前・事後 学修の内容	講義中	口に説明します。				
テキスト 第1回の講義にて説明します。第1回の講義			を終えた後に、テキストは購入してください。			
参考文献	参考文献					
評価方法	授業~	への貢献度(20%)と試験(80%)にて評	<sup>2</sup> 価します。			

09 年度以降	経営学b			担当者	陰山 孔貴	
講義目的、講	講義目的、講義概要					
本講義では、企業経営全般について学びます。 私が経験してきたビジネスの現場の話も時には入れつ つ、極力楽しく、皆さんと経営学を学んでいきます。 また、この講義の時間は、みなさんが将来、行うであろ う仕事やキャリアについても考える時間にしたいと思っ ています。			1. 講義概要 2. 企業経営の分表を関する。 4. 企業ケースの   5. 企業とアウト   6. 競争戦略   7. 企業と戦略   9. 価値   7. 企業の   10. 企業なり   11. 組織気とリースの   12. やる大ースの   13. 企業ケースの   14. キャリア   15. まとめ	プット市場 ) 、プット市場 ) ) ) ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )		
到達目標	経営学の基礎知識、経営学の基本的な考え方を習得し、様々な企業・組織のマネジメントについて理論的 に分析のうえ、解説できるようにする。					
事前・事後 学修の内容	事前・事後					
テキスト 第1回の講義にて説明します。第1回の講義			を終えた後に、テキストは購入してください。			
参考文献	参考文献					
評価方法	授業~	への貢献度(20%)と試験(80%)にて評	価します。			

09 年度以降 経営学 a 担当者 小林 哲也

#### 講義目的、講義概要

現代企業の国際化と情報化の動きを中心に、経営学の基礎的な事項の学習を進めることを目的とする。

現代企業を取り巻く条件は、急速に変化している。新興諸国の工業化にともなって、世界の産業地図は大きく描き直されようとしているし、IT革命の進展とともに、企業の組織や戦略にも大きな変化が見られる。

本講義では、主として日本経済および日本企業の経験に 学びながら、経営学の基礎知識および現代企業の直面する 問題を議論していく。日常的な経済に関する知識を養うた めに、新聞を毎日読む習慣をつけてほしい。

企業経営に対する理解を深める上では、企業の成功・失 敗に関するドキュメンタリーを読むことも薦めたい。

#### 授業計画

- 1. 経営学① ノートの取り方情報の集め方
- 2. 経済学と経営学② 国家と市場 企業と市場
- 3. 日本的経営とシステムとしての日本企業
- 4. GE の企業革命
- 5. 日本的生産システムの進化
- 6. 情報技術革命のインパクトと企業組織・戦略
- 7. 新興国の台頭---技術革新と「新しい国際分業」
- 8. 日本企業の海外進出
- 9. 世界の多国籍企業
- 10. ハイテク産業の国際的動向
- 11. グローバリゼーションとフラット化する世界
- 12. グローバリゼーション賛成・反対
- 13. 日本企業の行方
- 14. 日本経済の行方
- 15. まとめ

妖に対する	1 1 2 / 2 / 7 Emace Omwhere
到達目標	経営学の基礎知識、経営学の基本的な考え方を習得し、様々な企業・組織のマネジメントについて理論的 に分析のうえ、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	<ul><li>【予習】毎日新聞の経済関係の記事に眼を通す。</li><li>【復習】講義資料などでの用語、事例などについて各自調べるようにする。</li></ul>
テキスト	三橋規宏他『新・日本経済入門』日本経済新聞社
参考文献	適宜講義中に紹介する。
評価方法	授業参加 (30%) および定期試験 (70%) による。

09 年度以降 経営学 b 担当者 小林 哲也

#### 講義目的、講義概要

現代企業の国際化と情報化の動きを中心に、経営学の基礎的な事項の学習を進めることを目的とする。

現代企業を取り巻く条件は、急速に変化している。新興諸国の工業化にともなって、世界の産業地図は大きく描き直されようとしているし、IT革命の進展とともに、企業の組織や戦略にも大きな変化が見られる。

本講義では、主として日本経済および日本企業の経験に 学びながら、経営学の基礎知識および現代企業の直面する 問題を議論していく。日常的な経済に関する知識を養うた めに、新聞を毎日読む習慣をつけてほしい。

企業経営に対する理解を深める上では、企業の成功・失 敗に関するドキュメンタリーを読むことも薦めたい。

#### 授業計画

- 1. 経済学と経営学① ノートの取り方情報の集め方
- 2. 経済学と経営学② 国家と市場 企業と市場
- 3. 日本的経営とシステムとしての日本企業
- 4. GE の企業革命
- 5. 日本的生産システムの進化
- 6. 情報技術革命のインパクトと企業組織・戦略
- 7. 新興国の台頭---技術革新と「新しい国際分業」
- 8. 日本企業の海外進出
- 9. 世界の多国籍企業
- 10. ハイテク産業の国際的動向
- 11. グローバリゼーションとフラット化する世界
- 12. グローバリゼーション賛成・反対
- 13. 日本企業の行方
- 14. 日本経済の行方
- 15. まとめ

7011	
到達目標	経営学の基礎知識、経営学の基本的な考え方を習得し、様々な企業・組織のマネジメントについて理論的 に分析のうえ、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	<ul><li>【予習】毎日新聞の経済関係の記事に眼を通す。</li><li>【復習】講義資料などでの用語、事例などについて各自調べるようにする。</li></ul>
テキスト	三橋規宏他『新・日本経済入門』日本経済新聞社
参考文献	適宜講義中に紹介する。
評価方法	授業参加 (30%) および定期試験 (70%) による。

09年度以降		経営学a			担当者	鈴木 淳
講義目的、講	講義目的、講義概要					
経営とは、人・物・お金・情報などの経営資源を企業の目的に合ったように最適配置・配分し、管理することとも言えます。 この講義では、経営資源のマネジメントとして経営をとらえ、それぞれのマネジメントのための重要な考え方や理論を入門的に紹介します。 取り上げる内容は、生産管理、マーケティング、研究開発、立地、組織、人的管理、人間関係論、資金の調達、投資、会計、経営情報、問題解決と意思決定、知識とネットワークなどです。			2. 特 3. 特 4. 特 5. 特 6. // 7. // 8. // 9. ‡ 10. ‡ 11. ‡ 12. 情	ガイダンス:経営資源とマネジメント 物のマネジメント(1)生産管理 物のマネジメント(2)マーケティング 物のマネジメント(3)研究開発 物のマネジメント(4)立地 人のマネジメント(1)組織 人のマネジメント(2)人的管理 人のマネジメント(3)人間関係 お金のマネジメント(1)資金の調達 お金のマネジメント(2)投資 お金のマネジメント(3)会計 情報のマネジメント(1)経営情報 情報のマネジメント(2)問題解決と意思決定		
到達日禪		たの基礎知識、経営学の基本的な考え方を 「のうえ、解説できるようにする。			望と補足 企業・組織の	マネジメントについて理論的
事前・事後 事前に授業資料を読んで予習してください。 学修の内容 事後に授業資料、講義内容、小テスト、課題			などを復習	引してく カ	<b>ごさい。</b>	
テキスト 授業資料をポータルサイトから配布します。						
参考文献	<b>参考文献</b> 小松章『基礎コース 経営学(第 3 版)』新世社 2016 年。					
評価方法	定期詞	、験 50%、小テストや授業中に出された詩	課題など哲	受業への	参加状況 50%	6の比重で評価します。

09年度以降		経営学b			担当者	鈴木 淳
講義目的、講	講義目的、講義概要					
経営とは、人・物・お金・情報などの経営資源を企業の目的に合ったように最適配置・配分し、管理することとも言えます。 この講義では、経営資源のマネジメントとして経営をとらえ、それぞれのマネジメントのための重要な考え方や理論を入門的に紹介します。 取り上げる内容は、生産管理、マーケティング、研究開発、立地、組織、人的管理、人間関係論、資金の調達、投資、会計、経営情報、問題解決と意思決定、知識とネットワークなどです。			2. 学 3. 学 4. 学 5. 学 6. 人 7. 人 8. 人 9. ‡ 10. ‡ 11. ‡ 12. 情	<ol> <li>物のマネジメント(1)生産管理</li> <li>物のマネジメント(2)マーケティング</li> <li>物のマネジメント(3)研究開発</li> <li>物のマネジメント(4)立地</li> <li>人のマネジメント(1)組織</li> <li>人のマネジメント(2)人的管理</li> <li>人のマネジメント(3)人間関係</li> <li>お金のマネジメント(1)資金の調達</li> <li>お金のマネジメント(2)投資</li> <li>お金のマネジメント(3)会計</li> <li>精報のマネジメント(1)経営情報</li> </ol>		
			14. 情	青報のマ		(2) 問題解決と意思決定(3) 知識とネットワーク
到達目標		学の基礎知識、経営学の基本的な考え方を fのうえ、解説できるようにする。	を習得し、	様々な企	企業・組織の	マネジメントについて理論的
事前・事後 事前に授業資料を読んで予習してください。 学修の内容 事後に授業資料、講義内容、小テスト、課題な				ーー	 ごさい。	
<b>テキスト</b> 授業資料をポータルサイトから配布します。						
参考文献	<b>参考文献</b> 小松章『基礎コース 経営学(第 3 版)』新世社 2016 年。					
評価方法	定期記	<b>弌験 50%、小テストや授業中に出された</b>	課題など接	受業への	参加状況 50%	6の比重で評価します。

09年度以降		経営学a		担当者	平井 岳哉	
ために協働す 的と思われる 組織の形成、 案が必要とな 本講義では	複数の も最多の ② は、 と は、 と は、 と は、 と は、 と は、 と は、 と は、	○人々が集まり、特定の目的を達成する ○で、その場合、いい知恵を出して効率 ○方法を講じることです。そこには、① ご動かす仕組み、③成功のための戦略立	<ol> <li>経営組織②</li> <li>モチベーシ</li> <li>リーダーシ</li> <li>組織におけ</li> <li>マーケティ</li> <li>戦略理論①</li> </ol>	(職能と階層 ョップ シングの シングの (を WOT の (を (SWOT の (経営 ) (ボート)	目織) E・集客の戦略分析) E・集客の戦略立案) ご) 所などのフレームワーク) ほど)	
到達目標	,,,	全の基礎知識、経営学の基本的な考え方を fのうえ、解説できるようにする。	:習得し、様々な1	企業・組織の	マネジメントについて理論的	
事前・事後 学修の内容	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
テキスト	特にな					
参考文献	参考文献 高村寿一『ベーシック経営入門第3版』(有斐閣、2007年)					
評価方法	定期試験 80%、授業への参加度 20%					

09 年度以降		経営学b		担当者	平井 岳哉
講義目的、講	冓義概要	ē -	授業計画		
春期と同様。			<ol> <li>経営組織②</li> <li>モチベーシ</li> <li>リーダーシ</li> <li>組織におけ</li> <li>マーケティ</li> <li>戦略理論①</li> </ol>	に (職能と階層 (事業) (事ンプ (事ンプ (事ンプ (事ング (事ング (事ング (事) (第一) (第一) (第一) (第一)	目織)
到達目標		その基礎知識、経営学の基本的な考え方を Fのうえ、解説できるようにする。	習得し、様々な	企業・組織の	マネジメントについて理論的
事前・事後 学修の内容	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				O討議を通じた知識の再確認
テキスト	テキスト特になし				
参考文献	高村寿	手一『ベーシック経営入門第3版』(有斐	閣、2007年)		
評価方法	定期診	<b>大験 80%、授業への参加度 20%</b>			

09年度以降		経営学a		担当者	有吉 秀樹		
講義目的、講	義概要	Ī	授業計画				
本講義は、会社の経営がどのように行なわれているものなのかについて、大まかに理解してもらうことを目的としている。ある会社設立のケースを想定し、グループに分かれて、ビジネスプランを立ててもらう。企業経営の面白さと難しさを体感できるとともに、グループワークを通じて徹底的に考え抜く力もつくと思われる。			3. ビジネスフ 4. ビジネスフ 5. ビジネスフ 6. ビジネスフ 7. ビジネスフ 8. ビジネスフ 9. ビジネスフ 10. ビジネスフ 11. ビジネスフ 12. ビジネスフ	プランン 作成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成	基本となるケースの熟読) 可期投資額の算出準備) 可期投資額の算出完了) 主業理念の設定定子了) 事業内容の考案準備) 事業内容の考案完了) 活告宣伝内容の考察) 医上予測と月次利益の考察) 医上予測達額の考察) を設調達方法の考察) を認識達方法の考察) を認識を引きる。		
		での基礎知識、経営学の基本的な考え方を 「のうえ、解説できるようにする。	習得し、様々な	企業・組織の	マネジメントについて理論的		
事前・事後 学修の内容	事前・事後				要となる。		
テキスト 適宜プリントを配布する							
参考文献	参考文献 授業中に紹介						
評価方法 グループへの参加度・貢献度 30%、期末レポート 70%			ート 70%				

09年度以降		経営学b		担当者	有吉	秀樹
講義目的、講	講義目的、講義概要					
なのかについ ている。ある れて、ビジネ と難しさを体	vて、ナ o会社診 ×スプラ ×感でき	D経営がどのように行なわれているもの 大まかに理解してもらうことを目的とし 设立のケースを想定し、グループに分か ランを立ててもらう。企業経営の面白さ きるとともに、グループワークを通じて 力もつくと思われる。	<ol> <li>ばジネスプ</li> <li>ビジネスプ</li> <li>ビジネスプ</li> <li>ビジネスプ</li> <li>ビジネスプ</li> <li>ビジネスプ</li> <li>ビジネスプ</li> </ol>	プラント作成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成	Ē上予測と月次和 聲金調達額の考察 聲金調達方法の考	出準備) 出完了) 追備) E了) 追備) E了) 等察) 受察) 引益の考察)
到達目標	.,	≠の基礎知識、経営学の基本的な考え方を 〒のうえ、解説できるようにする。	習得し、様々な会	企業・組織の	マネジメントに	ついて理論的
事前・事後 学修の内容	講義時間はあくまでもグループワークが優先であり、事前事後に下調べが必要となる。					
テキスト	適宜プリントを配布する					
参考文献	参考文献 授業中に紹介					
<b>評価方法</b> グループへの参加度・貢献度 30%、期末レポート 70%						

09年度以降		経営学a			担当者	上坂	卓郎
講義目的、講	義概要	ī c	授業	計画			
る「企業経営」諸君の企業に契機になるよい配布資料を使い新聞やニューる。	この講義は将来企業人として仕事をする上で必要となる「企業経営」に関する経営学の基礎的知識を学ぶ。また諸君の企業に対する関心の惹起や見方を形成するための契機になるような講義を意図している。講義はテキスト、配布資料を使いつつ進める。なお講義と並行して日頃より新聞やニュース等で企業の動向に関心を持つことを勧める。 出席は不可欠です。また大幅な遅参や途中退出は原則として認めません(交通事情によるものは除く)。			経営組織経営戦略の第2年を対している。 日本 を	平価(1) :業績評価(! 策定(1) 策定(2) - グ戦略 各(1) 略(2) 1) 2) ップ企業	2)	ことがある
1 到译日標		⊄の基礎知識、経営学の基本的な考え方を fのうえ、解説できるようにする。	と習得	し、様々な会	企業・組織の	マネジメントに	こついて理論的
				当該テーマの概略を理解しておくこと。事後学修としては、 できるような形式でまとめておくこと			
テキスト	<b>テキスト</b> テキスト:授業開始後に指定する予定(出版]			確認したのも	ち)。また参考	き資料を毎回配	布する
参考文献	<b>参考文献</b> テキストを参照のこと						
評価方法	評価方法 定期試験による。追試、レポートは行わない			生は注意する	らこと)		

09 年度以降		経営学b		担当者	上坂 卓郎	
講義目的、講	購義概要	5	授業計画			
経営学aと同じ			経営学aと同じ			
	経営学		習得し、様々かく	ト業・組織の		
到達目標		Fのうえ、解説できるようにする。	H10 0 / 100 - 101		· I o > o I (o > t c c Thinks)	
事前・事後 学修の内容	事前学修としてテキストの該当章に目を通し当該テーマの概略を理解しておくこと。事後学修としては、 講義のノートの整理とポイントを自分が理解できるような形式でまとめておくこと					
テキスト	テキスト:授業開始後に指定する予定(出版事情を確認したのち)。また参考資料を毎回配布する					
参考文献	参考文献 テキストを参照のこと					
評価方法	定期詞	<b>状験による。追試、レポートは行わない(</b>	4年生は注意する	5こと)		

09年度以降		経営学a			担当者	岡部 康弘
講義目的、講 経営学は、 ものでも、戦 際経営論等か 点を当てる。 人はなぜその く。講義方法 り易く企業の	講義概要 かない。 戦略論、。。 組織行動・ 出統動・ と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、		6. 紛争とき 7. 意思決決 8. パワー 9. 人的資資 10. 企業文化 11. 組織構造 12. 組織変更	ープーニ対定と原と告革シのシケ立 ポープー	ョン 生質 ソプ ーション リティクス	
			13. DVD( 14. 復習 15. Q&A	時事	トピック)	
到達目標	.,	学の基礎知識、経営学の基本的な考え方を fのうえ、解説できるようにする。	と習得し、様々	マな	企業・組織の	マネジメントについて理論的
事前・事後 学修の内容	事前・事後					
テキスト 毎回講義資料を配布する。						
参考文献	参考文献					
評価方法	<b>7法</b> 評価は学期末試験による。					

09 年度以降		経営学b		担当者	岡部 康弘	
ものでも、戦	かなり	幅広い学問領域を含んでいる。主たる 組織論、組織行動論、人的資源論、国 本講義はこれらの中で組織行動論に焦	授業計画  1. ガイダンフ 2. モチベーシ 3. グループの 4. リーダーシ 5. コミュニケ	/ョン )性質 /ップ		
人はなぜその く。講義方法 り易く企業の	)行動を 前半に 実例を	「動論とは、企業などの組織環境の中でを取るのかを理解することに主眼を置はパワーポイントを使い、なるべくわかっかけて理論の説明を行う。後半はグルス分析を行い前で発表をする。	5. コミューク 6. 紛争と対立 7. 意思決定 8. パワー資源 10. 企業業構立 11. 組織変革 12. 組織変革 14. 復習 15. Q&A	: パリティクス		
針達日標	., , ,	との基礎知識、経営学の基本的な考え方を 「のうえ、解説できるようにする。	と習得し、様々な	企業・組織の	マネジメントについて理論的	
事前・事後 学修の内容	講義に	は復習中心である。興味あるトピックに関	しては講義中に	あげる文献や資	資料を各自が読んでおくこと。	
テキスト	毎回講義資料を配布する。					
参考文献						
評価方法	評価方法 評価は学期末試験による。					

09年度以降	経営学a		担当者	高松	和幸
とする。概念を対象をできる。では、とする。では、とする。では、またのかをできます。では、またのかをできません。 本は、またのが、ないのでは、またのでは、ま	ジメントの基礎概念を理解することを目的 ベルとしての企業や経営、管理や組織、経 有効性等について、事例等を通して解説す えてくる、マネジメントとはどのようなも	2. マネジメン 3. 株式会社等6 4. コーポレー 5. 企業集団と2 6. ものづくり。 7. NPO・企業 8. 組織における 9. モチベーショ 10. イノベーショ 11. 人的資資金記 13. BOP ビジネ 14. 企業市民なる 15. マネジメン・・まとめと	トとは組が、 とは組が、 とは組が、 とのるもっ とのるもっ とのるもっ とのるもっ とのるもっ とのるもっ とのるもっ とのるもっ とのるもっ とのるもっ とのるもっ とのるもっ といる。 はいでで 題のし、 にいる。 にし。 にし。 にし。 にし。 にし	・イング	
糾達日標	営学の基礎知識、経営学の基本的な考え方を 分析のうえ、解説できるようにする。	を習得し、様々な	企業・組織の	マネジメントに	ついて理論的
事前・事後	分析のうえ、解説できるようにする。 前・メディアに出てくろ企業名レその活動	車谷・目体的な	<b>个</b> 类		

事前:メディアに出てくる企業名とその活動、事後:具体的な企業研究

(参考) 拙著『経営組織論の展開』創成社など

(参考) 拙著『経営組織論の展開』創成社など

平常点 60%・アクティブラーニング 30%・レポート 10%

学修の内容 テキスト

参考文献

評価方法

09年度以降		経営学 b		担当者	高松 和幸	
講義目的、講義概要  講義目的:マネジメントの基礎概念を理解することを目的とする。概念レベルとしての企業や経営、管理や組織、経営効率性や事業有効性等について、事例等を通して解説する。そこから見えてくる、マネジメントとはどのようなものかを一緒に考えたい。  講義概要:本講義では、マネジメントで明らかにしている基本的な課題を取り上げる。企業は、よくヒト・モノ・カネ・情報が大切だという。なぜ大切なのか、組織を構成する要素とは何か、実際の仕組みが株式会社やNPOには存在する。ものづくりとしての仕組み、ヒトを動かす仕組み等、システムとしてマネジメントを見ると、カネの動きを統制する財務、社会の器としての組織の新しい視点が学習効果を高める。		2. マネジメン 3. 株式会社等 4. コーポレー 5. 企業集団と 6. ものづくり 7. NPO・企業 8. 組織におい 9. モチベーシ 10. 人り資源・ 11. 人的資源・ 12. 企業の質・ 13. BOP ビジ・ 14. 企業・ジメン・・まとめ	トとは何かのとは何かのトルとは何かいとは知みける。 かんしょう という という という という という という という という という とい	・	析	
針		その基礎知識、経営学の基本的な考え方を fのうえ、解説できるようにする。	と習得し、様々な	企業・組織の	マネジメントについて理論	的
事前・事後 学修の内容	事前:	メディアに出てくる企業名とその活動、	事後:具体的な	企業研究		
テキスト	(参考	ち)拙著『経営組織論の展開』創成社なと	.» -			
参考文献 (参考) 拙著『経営組織論の展開』創成社など			. <del>.</del>			
評価方法	<b>評価方法</b> 平常点 60%・アクティブラーニング 30%・レポート 10%					

13年度以降	経済経営数学入門		担当者	各担当教員
講義目的、講義概要	授業計画			

学・経営学の分野では数学的手法が多用されます。

そこでこの講義では、経済、経営・ビジネスにおける問 題を考えるために、どのように数学が使われているのかを 理解し、数学を使う意味やメリットを知ってもらいなが ら、経済、経営・ビジネスに必要な数学的基礎を養成して いきます。新しい数学を学ぶというよりは、高校までに習 う範囲の数学を、経済学・経営学分野ではどのように使っ ているかを学ぶことが中心となります。

数学は講義を聞いているだけでは身に付きません。実際 に手を動かして解いてみることが習得への近道ですので、 授業中に例題を解いてもらったり、ホームワークで練習問 題に取り知しでも たいます

- 3. 数学の基礎(関数、逆関数、増加関数と減少関数)
- 4. グラフの読み方(因果関係と相関関係)
- 5. 1次関数とグラフ-需要曲線、供給曲線、消費関数
- 6. 2次関数とグラフ-売上
- 7. 3次関数とグラフ-総費用関数と利潤関数
- 8. 微分の考え方
- 9. 微分の計算と公式
- 10. 関数の増減と極大・極小
- 11. 最大化・最小化の条件(一階の条件と二階の条件)
- 12. 微分と最大化問題—利潤最大化問題
- 13. 単利·複利、経済成長率
- 14. 等比数列とその和-期待収益の割引現在価値

題に取り組んでもらいます。		15. まとめ	
到達目標	経済学・経営学に関連する数学の基礎知識を習得し、数式・グラフを利用した初歩的な分析ができるよ にする。		
事前・事後 学修の内容	受講前にはテキスト範囲の予習を行います。また、受講後には授業中に出された練習問題を解いて復習します。		
テキスト	各担当教員が第1回目の授業で指定します。		
参考文献	各担当教員が授業中にその都度、指示します。		
評価方法	基本的には、定期試験の得点(100点満点)を ど、その他の評価に加味するものについては名	<ul><li>・評価基準に照らして評価しますが、レポート、小テストな ト担当教員が説明します。</li></ul>	

13年度以降 統計学入門 担当者 各担当教員

#### 講義目的、講義概要

現代社会では、企業・官公庁によってさまざまな統計デ ータが収集され、意思決定に活用されています。統計学的 手法を学ぶことで、これらの統計データを適切に集計し、 情報を読み取ることができれば、経済学、経営・ビジネス における意思決定において重要な判断材料を得られます。

統計学は、得られたデータを整理する記述統計と一部の サンプルから全体を予測する推測統計に分けられます。こ の講義では、主に前者に焦点をあてながら、統計学的手法 の基礎を学びます。統計検定3級程度の内容を基準として、 確率を除く、記述統計を講義の範囲とします。

統計学もまた講義を聞いているだけでは身に付きませ ん。実際に手を動かして解いてみることが習得への近道で すので、授業中に例題を解いてもらったり、ホームワーク で練習問題に取り組んでもらいます。

#### 授業計画

- 1. 統計学とは-記述統計と推測統計
- 2. データの分類と集計(量的変数、量的変数)
- 3. 基本的なグラフ (棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ)
- 4. 標本調査(母集団、標本、全数調査、標本調査、乱数)
- 5. 度数分布表(相対度数、累積相対度数)
- 6. ヒストグラム
- 7. 累積相対度数分布
- 8. ローレンツ曲線とジニ係数
- 9. データの中心(平均値、中央値、最頻値)
- 10. データの散らばり(範囲、四分位範囲)
- 11. データの散らばり(箱ひげ図)
- 12. データの散らばり(分散、標準偏差、変動係数)
- 13. 標準化と偏差値-正規分布と標準正規分布
- 14. 2変数の相関(散布図、相関係数、回帰直線)
- 15. まとめ

	10. 8.2.9
到達目標	統計学と経済統計の基礎知識を習得し、経済・経営に関する各種データを加工・分析できるようにする。
事前・事後 学修の内容	受講前にはテキスト範囲の予習を行います。また、受講後には授業中に出された練習問題を解いて復習します。
テキスト	各担当教員が第1回目の授業で指定します。
参考文献	各担当教員が授業中にその都度、指示します。
評価方法	基本的には、定期試験の得点(100点満点)を評価基準に照らして評価しますが、レポート、小テストなど、その他の評価に加味するものについては各担当教員が説明します。

09年度以降	ミクロ経済学 a		担当者	麻生	良文	
講義目的、講義	概要	授業計画				
理解し、競争市 <講義の概要> 競争的な市場 析、消費者行動 市場の失敗が存	を前提に、ミクロ経済学の基本的な体系を 場の機能を理解してもらう。 を前提にした理論を講義する。部分均衡分 の理論、生産者行動の理論を順に講義し、 在しない場合、市場では効率的な資源配分 う命題を導出する。	1. ミクロ経済学 2. 価格メカニッ 3. 消費者会無分析 5. 消費者行動(1 6. 消費者行動(2 7. 消費者行動(2 9. 消費者行動(1 11. 生産者行動(1 11. 生産者行動(2 12. 生産者行動(2 13. 生産場均の第 15. まとめ	「本の役割とす」 生産者無利 (1) 予算用制 大化 (2) 効用制 大化 (3) 所側 大化 (4) 労働 蓄 関 関 曲 保 (5) 生 経 経 の 定 (2) 供 相 最 要素 (3) 生 産 組 果 水化 (4) 生 産	: 効用関数 : 代替効果 : 代を効果 : 決定 : 費用関数 : 導出 : 2 費用関数		
1 到译日標	学部中級レベルのミクロ経済学の知識を習得し、様々な経済事象を理論的に分析のうえ、解説できるようにする。					
事前・事後 学修の内容						
テキスト	『ミクロ経済学入門』麻生良文,ミネルヴァ書房,2012年					
参考文献						
評価方法 小	小テスト・課題 (30%), 定期試験 (70%)					

09年度以降	条 ミクロ経済学 b			担当者	麻生 良文		
講義目的、講	講義目的、講義概要			授業計画			
<講義の目的>			1. イントロダク 2. 独占と不完全 3. 独占と不完全 4. 独占と不完全 5. 市場の失敗 6. 公共財 7. 外部性(1) 外 8. 外部性(2) コ 9. 外部性(3) ピ 10. 情報上の失敗 11. 情報上の失敗 12. 自然独占 13. 不確実性(1) 14. 不確実性(2) 15. まとめ	競争(1) 独占 競争(2) 寡占 競争(3) 独占 部性とは何か ースの定理 グー税と排出 ば(1) 逆選択と	i企業の行動 i i的競争 は権取引		
判准日標	学部中 にする	級レベルのミクロ経済学の知識を習得   。	ン、様々な経済事 <b>∮</b>	象を理論的に	分析のうえ、解説できるよう		
事前・事後 学修の内容							
テキスト	- <b>キスト</b> 『ミクロ経済学入門』麻生良文, ミネルヴァ書房,			<b>善</b> 房,2012 年			
参考文献							
評価方法	小テス	ト・課題(30%),定期試験(70%)					

09年度以降		ミクロ経済学a			担当者	藤山	英樹
講義目的、講義概要 「市場は社会においてどのような役割を果たしているのか」という、経済学において最も重要な問いへの答えを明らかにしていきます. 具体的には、市場における売り手と買い手の価格を通じての行動と、その社会全体での結果を評価していきます.ここでポイントとなるのは売り手の立場にも買い手の立場にも偏ることなく、社会全体の望ましさを判断できるスキル(=エコノミックリテラシー)となります.これによって、常識だけではなかなか到達できない社会認識・理解を得ることができます. もちろん、理論がわかるということは、その限界も意識できるということで、ニュースなどで述べられる様々な意見・主張に対して、常に根拠を問い、そこから自分の意見を導くことが可能となります.			2.3.3.4.5.6.7.8.9.10.11.2応(生生13.	はと変反ど意で意た含は財労ッに行用	供化応う図良図くまなO働クつ動が給をを評とくと税れく何と・いも重とど考価反て反)な複が暇イも費?りうえすすもす。 い数ラで十も費? かんこう にんかい しょう にんしょう しょう はんしょう しょう はんしょう いんしょう はんしょう いんしょう はんしょう はんしゃ はんしょう はんしゃ はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしゃく はん	:果を生み出す! : を考えること( : 分析する準備 スさせる? ( ) ダ	のシフト) 力性) て) 事例分析 1 と:二重価格制) 事例分析 2 の重要性 (消費者行動) が用最大化) 者行動) (費用最小化)
	学部中にする	P級レベルのミクロ経済学の知識を習得し。。	.、様々な経済	事績	象を理論的に	分析のうえ、角	¥説できるよう
						が次回の授業内	
テキスト 4	特に指定しません.					_	-
参考文献	伊藤元	E重『ミクロ経済学』日本評論社, マンキ	テュー 『マンキ	ユ	一経済学 I ミ	クロ編』東洋経	圣済新報社
評価方法	定期試験 100%						

09年度以降		ミクロ経済学b			担当者	藤山 英樹
講義目的、講	<b>義概</b> 要		授業計	画		
の市場で上手がでします。 では上手 はという では、	これなめ、学生のではいいた 男医化するがない 男子 変認の全体・さいた まんしき かんしき かんしき かんしき かんしき かんしき かんしき かんしき か	T場だけに注目しました.しかし,一つっても,複数の市場を含めた社会全体でいう可能性も出てきます.そのため全時にどうなのかという議論をはじめにの市場分析で考慮していなかったが,現むとつひとつ含めながら,議論がどのしていくかを確認します.その中で,政ちことができます. 「とは,各個人の自由と利益を最大限にご上手くいくかどうかを考察する学問にどは市場を媒介とせずに,こうした状況ら手法が発展してきており,これにも軽ります.	2. 3. 4. 5. 6. 7. 10. 11. 12. 13. 14.	(社社政こ(外市(周市数独こ(市る時単会会策れ市部場交り場学占れ=場か間一状全的ま場性以渉へ分的市ま不以(をのが、影析準場で確外に含い。	の意の系影で青響の備がの実で戦や不満の表別で青響の開かると一番を表別で大学の報の表別で大学の場所を生まれ、一個の大学のでは、一個の大学のでは、一個の大学のでは、一個の大学ので、一個のでは、一個ので大学のでは、一個ので大学のでは、一個ので大学のでは、一個ので大学のでは、一個ので大学のでは、一個ので大学のでは、一個ので大学のでは、一個ので大学のでは、一個ので大学のでは、一個ので大学のでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	場の分析へ) る?(パレート効率性) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1111   12   12   12   12   12   12   12	学部中にする	コ級レベルのミクロ経済学の知識を習得し 。	ノ、様々7	な経済事績	象を理論的に	分析のうえ、解説できるよう
	授業後に、学んだことを何も見ずに自分で説明できるようにすることを推奨します. それが次回の授業内容をより容易に理解できることにもつながります.					
テキスト	特に指定しません.					
参考文献	伊藤元重『ミクロ経済学』日本評論社、マンキュー『マンキュー経済学Iミクロ編』東洋経済新報社					
評価方法	定期詞	<b>式験 100%</b>				

09年度以降 ミクロ経済学a 担当者 山森 哲雄

#### 講義目的、講義概要

ミクロ経済学とは、消費者や企業といった個々の経済主 体の意思決定とその相互作用の分析に基づいて資源配分 メカニズムについて研究する学問です。人々の多様な欲求 を満たすために希少な資源をいかに利用するかという課 題を解明し、望ましい制度的仕組みや経済政策について検 討することを目的としています。ミクロ経済学の分析手法 は経済学体系の基礎であり、応用経済学の専門科目を学習 するうえで必要不可欠な知識です。

本講義は、分権的自由競争を基盤とした市場経済の意義 を理解することを目標に、需要と供給の背後にある消費者 行動と企業行動について学習するとともに、社会的厚生に よって資源配分を評価する手法を習得します。また、これ らの学習を通して、複雑な経済現象の背後にあるメカニズ | 13. 市場経済と資源配分 - 純粋交換経済 ムを捉えて問題の本質を見極める抽象的思考力を涵養し キャ

#### 授業計画

- 1. 経済学の基本的な考え方(経済学(ミクロ)の復習)
- 2. 競争市場-需要と供給
- 3. 競争市場-価格弾力性
- 4. 限界分析
- 5. 企業行動の理論-生産と費用
- 6. 企業行動の理論-利潤最大化と供給曲線
- 7. 企業行動の理論-生産者余剰
- 8. 消費者行動の理論-効用と選択
- 9. 消費者行動の理論-最適消費計画と需要曲線
- 10. 消費者行動の理論-代替効果と所得効果
- 11. 消費者行動の理論-消費者余剰
- 12. 市場経済と資源配分ーパレート効率性

- 14. 市場経済と資源配分-厚生経済学の基本定理
- 15. まとめ

A 7 0	10. & C W
到達目標	学部中級レベルのミクロ経済学の知識を習得し、様々な経済事象を理論的に分析のうえ、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	受講後は必ずレジュメとノートに目を通して学習内容の定着を図ってください。
テキスト	講義レジュメを用いて授業をすすめるため、テキストは特に指定しません。
参考文献	参考文献は授業中に適宜紹介します。
評価方法	平常点(受講態度、小テスト、宿題)20% 定期試験 80%

09年度以降 ミクロ経済学b 担当者 山森 哲雄

#### 講義目的、講義概要

ミクロ経済学aでは、市場経済が(理想的な状態のもと では) 効率的な資源配分をもたらすことを学習しました。 ところが、現実には市場が効率的な資源配分の実現に失敗 することがあります (市場の失敗)。また、効率的な資源 配分が実現したとしても公平な所得配分が実現するとは 限りません。このようなとき、公共政策によって「市場の 失敗」がもたらした社会厚生の損失を改善したり、所得格 差を是正したりすることが政府の役割となります。

本講義は、市場経済における政府の役割とその限界につ いて理解することを目標に、「市場の失敗」が生じる原因 とその仕組みについて学習し、失敗がもたらす厚生損失の 改善や所得格差を是正するための公共政策について検討 します。

#### 授業計画

- 1. 市場の失敗
- 2. 独占市場の分析
- 3. 費用逓減産業
- 4. 費用逓減産業と公的規制
- 5. 外部性と市場の失敗
- 6. 外部性の公的内部化
- 7. 教室内実験
- 8. 公共財と市場の失敗
- 9 共有地の悲劇
- 10. リスク下の意思決定
- 11. 逆選択とモラル・ハザード
- 12. 税の帰着と価格弾力性
- 13. 税と効率性
- 14. 政府の失敗
- 15. まとめ

学部中級レベルのミクロ経済学の知識を習得し、様々な経済事象を理論的に分析のうえ、解説できるよう 到達目標 にする。

ミクロ経済学aの講義レジュメを復習してから受講してください。受講後は必ずレジュメとノートに目を 事前・事後 学修の内容 通して学習内容の定着を図ってください。

テキスト 講義レジュメを用いて授業をすすめるため、テキストは特に指定しません。

参考文献 参考文献は授業中に適宜紹介します。

評価方法 平常点(受講態度、小テスト、宿題)20% 定期試験80%

09 年度以降 マ	クロ経済学 a			担当者	山下 裕歩
講義目的、講義概要		授業	計画		
準、失業率、貨幣供給: の値やその変化を観察 全体の運動を考察する: カニズムを考察するこ まず、そもそも付加価! いったことをはじめと とその意味を理解する	内総生産(GDP)、利子率、物価水量といったマクロ経済を表す各変数することを通じて、一国の経済活動学問である。特にGDP水準の決定メとが主要な目的である。そのために値生産とは何を意味しているのかとして、マクロ経済を表す変数の定義ことが重要である。その上で、この済学と新古典派経済学の相違・対応	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.	マ内生産の生産では、 で大生産の全とのでは、 で変と等雇法には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	・ 外価値 原不 理費関数 クルの説	

関係を1つの視点としながら、マクロ経済学の初歩を学ん 11. 投資と利子率

済で発生する様々な現象やそれに対する経済政策の在り

参考文献

評価方法

定期試験 100%

でいく。マクロ経済学を学習することによって、現実の経 | 12. 最適資本ストックと投資

13. 貨幣需要 14. 貨幣供給 15. 幣市場均衡 方を体系的に考察できるようになる。 学部中級レベルのマクロ経済学の知識を習得し、様々な経済事象を理論的に分析のうえ、解説できるよう 到達目標 にする。 事前・事後 講義時に出題される練習問題を解き、模範解答解説時に正誤を確認する。 学修の内容 テキスト 講義レジュメを配布する。 参考文献 『マクロ経済学・入門』第4版、福田慎一・照山博司著、有斐閣アルマ 評価方法 定期試験 100%

_							
09年度以降	マクロ経済学 b			担当者	山下 裕歩		
講義目的、講	購義概要	Ę	授業計	画			
論モデル間の主要など、AD 財政によるがいる。 関連には、AD 対しないないでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	- D 類的の 一 女 と 一 大 の の の の の の の の の の の の の	はり衡論的視点から考察すること、各理点・相違点を理解すること、この2点がらる。具体的には、もっとも標準的なケ倫モデルであるIS-LMモデルをはじめたデル、新古典派モデルを学ぶ。また、基本事項を上記のマクロ経済モデルに立る。一般均衡論体系という首尾一貫したとによって、様々な経済現象をつぎはぎ解・解釈してしまうという誘惑・失敗かなお、春学期のマクロ経済学aと合わせ望ましい。	2. 4 3. 1 4. I 5. I 6. I 7. § 8. 4 9. # 10. # 11. 4 12. 1 13. ½	流動性選好 新古典派総	デル デル と古典派の- 説と古典派の	-般均衡モデル ) —般均衡モデル	
到達目標	学部中級レベルのマクロ経済学の知識を習得し、様々な経済事象を理論的に分析のうえ、解説できるようにする。						
事前・事後 学修の内容	講義時に出題される練習問題を解き、模範解答解説時に正誤を確認する。						
テキスト	講義し	講義レジュメを配布する。					

『マクロ経済学・入門』第4版、福田慎一・照山博司著、有斐閣アルマ

09年度以降		マクロ経済学a		担当者	塩田 尚樹
講義目的、講	<b>講義概</b> 要	Ę	授業計画		
春学期は,	マクロ	2経済学のデータに重点を置きます. ま	1. マクロ経済学	的な視点の必	要性
			2. GDPとは? (	簡単な計算例	刊)
う問題からス	(ター)	、し、GDP・国民所得・物価指数・利子	3. 生産面からと		
率・失業率・	国富0	つような様々なマクロ経済変数の仕組み	4. 分配面からと	らえたGDP	
と意味につい	て学習	習します. これらは、新聞・雑誌などの	5. 支出面からと	らえたGDP	
経済記事を読	をむため	かの基礎知識としても有効でしょう. な	6. GDP算出の三	面等価	
, ,		眩の場合を想定しています.	7. 算術平均と調		
3 - 3 ( )	•	P用語がたくさん登場すると思います.	8. ラスパイレス価格指数とCPI		
,		めは抽象的に感じられるかもしれませ			
		<b>ぎ『ノル』と後は一本調子です.一気に</b>			
7	くなる	と思います.そこまで辛抱してくださ			
V).			12. 労働力人口と完全失業率		
		ける権利」は「他の人の授業を受ける権			
			7,		
で,授業態度		( 31 ) (13 EA + 1 0 3 - 31 ) .	15. まとめ		
到達目標	学部中にする	『級レベルのマクロ経済学の知識を習得し 。	ン、様々な経済事績	象を理論的に	分析のうえ、解説できるよう
事前・事後 学修の内容 「ミクロ経済学」・「経済統計論」などを併せて原			て履修すると,相望	互に理解が深	まります.
テキスト 中谷武 他 (2009)『新版マクロ経済学』勁草			 書房		
参考文献	総務省	育統計局編(各年)『日本の統計』日本統	計協会		
評価方法	定期記		迷惑行為で減点す	る場合があ	

09年度以降		マクロ経済学b		担当者	塩田 尚樹		
講義目的、講	冓義概要	E C	授業計画				
本年度の	「マクロ	コ経済学a」の内容の理解を前提として	1. 春学期の概要	と秋学期の授	業計画の確認		
進めますので	で,履修	をしなかった人は独習が必要です.	2. 各経済主体の	行動と予算制	約		
秋学期は,	マクロ	1経済学の理論に重点を置きます.春学	3. ワルラスの法	則			
期に学習した	€GDP	や利子率などの主要なマクロ経済変数	4. 有効需要の原	理			
間の相互依存	字関係に	こついて学習し、財政政策および金融政	5. 乗数プロセス				
策の効果と関	艮界につ	ついて理解できるようにします.	6. 財政政策の効	果			
ただし, 着	字学期 <i>0</i>	)進度,および,春学期の定期試験の結	7. 増税・減税と	その効果			
		<b>軍を変更する場合がありますので気をつ</b>	8. 実物投資と資	金調達			
	ハ. 第1	回目の授業の際、詳しくお知らせしま	9. 購買力保存方法の選択				
す.			10. GDPと利子率の同時均衡				
春学期同様	<b>兼,「各</b>	人の授業を受ける権利」は「他の人の	11. 財政政策の効果の修正				
		を侵害しない範囲内で行使されるべき	12. 金融政策の効果				
• ,	ナので,	授業態度のよくない人は退出してもら	13. 生産技術と雇用				
います.			14. 失業とインフレのトレードオフ				
			15. まとめ				
到達目標	学部中にする	『級レベルのマクロ経済学の知識を習得し 。	ン、様々な経済事績	象を理論的に	分析のうえ、解説できるよう		
事前・事後 学修の内容	「ミク	7口経済学」・「経済統計論」などを併せて	て履修すると,相望	互に理解が深	まります.		
テキスト	中谷武 他(2009)『新版マクロ経済学』勁草書房						
参考文献	吉川洋(2017)『マクロ経済学』第4版,岩波書店						
評価方法	定期試験 100%. ただし, 講義中の私語などの迷惑行為で減点する場合があります.						
	0.4						

09年度以降		マクロ経済学 a			担当者	須藤 時仁
講義目的、講郭	義概要		授業	計画		
個人による消	消費、	企業による生産・投資・輸出入を一国	1.	イントロダ	`クション	
の集計ベースで	で見た	ときに、それらはどのような要因で決	2.	国民経済計	算とは	
まるのだろうた	か。ま	た、それらを合計した一国経済の活動	3.	三面等価の	原則	
水準はどのよう	うに決	まるのだろうか。そこには当然、政府	4.	消費関数		
や中央銀行に。	よる則	政・金融政策もかかわってくるが、そ	5.	ライフサイ	クル仮説	
れらの経済政策	策は総	E済活動にどのような影響を及ぼすの	6.	恒常所得仮	説	
だろうか。こう	うした	問題を扱うのがマクロ経済学である。	7.	貯蓄関数と	貯蓄率	
本講義では、	、まず	、一国経済の全体像を表す国民経済計	8.	設備投資と	資本ストック	の概念
算を説明する。	。次い	で、家計による消費と貯蓄、企業によ	9.	9. 資本ストックと加速度原理		
る設備投資がる	どのよ	うに決まるのかを考える。最後に、こ	10. 設備投資の決定要因:金利と期待			
うした家計や企	企業の	経済行動をベースとしたとき、一国経	11. 有効需要の原理			
済の生産規模な	がどの	ように決まるのかを示す。	12. 均衡国民所得			
講義ではマク	クロ経	済理論の説明だけでなく、現実の日本	13.	乗数の考え	.方	
経済にも言及し	しなが	ら進めていく。	14.	乗数と経済	政策	
			15.	講義のまと	め	
	学部中 にする	級レベルのマクロ経済学の知識を習得し。	ン、様	々な経済事績	象を理論的に	分析のうえ、解説できるよう
事前・事後 学修の内容	講義資料は予めアップしておくので、関連項目を事前に読んでおいてください。					٧٠°
<b>テキスト</b> 特定のテキストは使用せず、講義資料を各自でダウン			ュードし	してください。	ダウンロードの	方法は初回の授業で説明します。
参考文献						
評価方法 気	定期試	験 100%				

09年度以降	マクロ経済学 b				担当者	須藤 時仁
講義目的、講	構義概要	ξ	授業	計画		
マクロ経済学aでは、消費、設備投資といった生産物市場のみを取り上げ、一国経済の生産規模がどのように決定されるのかを考えた。本講義では、さらに貨幣市場、労働市場、海外市場を順次取り込む形で拡張していく。この拡張によって2つのメリットが生じる。1つは、一国の生産規模だけでなく、利子率、物価、為替レートなどの経済変量がどのように決まるかを分析する枠組みが得られることである。2つ目は、政府による財政政策、中央銀行による金融政策が生産規模や利子率などに及ぼす影響をより精密に分析できるようになることである。講義ではマクロ経済理論の説明だけでなく、現実の日本経済にも言及しながら進めていく。			11. 12. 13.	貨幣需要 利子場と IS リカー IS 一 LM 分 労働市場 り サ・動・貨物市場 り AD — AS 分 ト マンアル・	は:貨幣量の 定 B 曲線 LM 曲線 析とと がは B AD 曲線 が 大 と は 場 と は り と は り と り り り り り り り り り り り り り	融政策 3 2 <b>2</b> 融政策
到達目標	学部中にする	ロ級レベルのマクロ経済学の知識を習得し う。		講義のまと 々な経済事績		分析のうえ、解説できるよう
事前・事後 学修の内容	講義資	・ 資料は予めアップしておくので、関連項目	き事	前に読んでお	おいてくださ	ν <sub>°</sub> .
テキスト	特定の	テキストは使用せず、講義資料を各自でダウンロ	ードし	てください。	ダウンロードの	方法は初回の授業で説明します。
参考文献						
評価方法	定期診	<b>大験</b> 100%				

13年度以降	統計学 a			担当者	樋田 勉	
講義目的、講	購義概要	<u> </u>	授業計画			
テレビれるのは、 番組の ではますがでする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	○ 注情が、 確予 ○ 節で、 では、 では、 できる。 できる。 というできる。 できる という できる こうがん できる こうがん いいきん かいきん かいきん かいきん かいきん かいきん かいきん かいき	社会では、GDPや物価、企業業績や株価、 など、様々な統計情報が収集・作成さ 会的機関における業務から日常生活に至 ご触れる機会はますます増えている。こ 計情報を有効に活用するための手法が 十学は、統計情報をわかりやすく集計・ 力なモデルを用いてデータの背後にある こたりして、統計情報をさまざまな意思 りに用いられる。 は、統計情報を適切に分析・解釈するた 肉手法を習得することにある。統計学a 性統計と確率を学修する。講義中に小テ 問題を出すことがある。		ヒスアグラス イ イ ル イ ル イ ル ル 、 保 と 法 と イ 値 と で イ と で 他 と で 他 と で ん で 他 り た で ん し た で ん し た で ん し た ん し を し る し る の も と の も と の も と の を の も と の を の を の を の と の を の と の と の と の と の	定理	
	_ , ,,	を連続して履修すること。	14. ポアソン分 <sup>2</sup> 15. 確率のまと	布		
到達目標	統計学	<b>どの一般知識を習得し、現実の経済・経営</b>	* 営データ分析に応り	用できるよう	にする。	
事前・事後 学修の内容 受講前は予習,受講後は練習問題を解いて復			冒すること。			
テキスト	大屋幸	<b>左輔(2011)『コア・テキスト統計学 第</b>	 <b>育2</b> 版』サイエンス社.			
参考文献	授業中	中に紹介				

評価方法

期末試験(100%)

13 年度以降		統計学 b		担当者	樋田 勉
講義目的、講	義概要	5 C	授業計画		
今日の高度情報社会では、GDPや物価、企業業績や株価、テレビ番組の視聴率など、様々な統計情報が収集・作成されている。企業や公的機関における業務から日常生活に至るまで、統計情報に触れる機会はますます増えている。このような多様な統計情報を有効に活用するための手法が統計学である。統計学は、統計情報をわかりやすく集計・表現したり、確率的なモデルを用いてデータの背後にある構造を推測・予測したりして、統計情報をさまざまな意思決定に活用するために用いられる。 この講義の目的は、統計情報を適切に分析・解釈するために必要な統計学的手法を習得することにある。統計学は、主として推測統計を学修する。講義中に小テストを行うことや宿題を出すことがある。			1. 記述統計とで 2. 連続型確率で 3. 正規分布の付 4. 母集団,標で 5. 標本分布(2)で 6. 標本分布(2)で 7. 標本分布(2)で 8. 点推定 9. 区間推定(2)で 10. 区間推定(2)で 11. 区間推定(3)で 12. 統計的仮説を 13. 統計的仮説を	変数と確率密 生質,正規分 本,標本抽出 .) .) .) .) .) .) .) .) .) .) .) .) .)	布表の使い方
注意:統計	学aの	単位取得者を対象とする。	14. 統計的仮説	<b>倹定(3) 1</b>	5. 統計的推測のまとめ
到達目標	統計学	との一般知識を習得し、現実の経済・経営	ダデータ分析に応り	用できるよう	にする。
事前・事後 学修の内容	受講前	<b>竹は予習,受講後は練習問題を解いて復習</b>	<b>冒すること。</b>		
テキスト	<b>テキスト</b> 大屋幸輔 (2011)『コア・テキスト統計学 第			:社	
参考文献	授業中	に紹介			
評価方法	期末詞	<b>、</b> 験(100%)			

13 年度以降	統計学a				担当者	大床	太郎
講義目的、講義	概要	ī,	授業計	画			
【講義目的】			第1回	イントロ	ダクション		
1年次に開講	され	ている「統計学入門」で学んだ基本的	第2回	標本平均	<ul><li>す</li><li>・ 度数分布表</li></ul>	長への対応	
な統計学の概念	にこっ	いて, 数理的な論理も踏まえて定着さ	第3回	度数分布	iから期待値~	<u> </u>	
せることを目的	」とす	つる. 2013年度以降の入学者は,原則,	第4回	標本分散	て・度数分布表	長への対応	
「統計学入門」	の茸	位修得済みの方を対象とする.	第5回	度数分布	iから分散へ		
【講義概要】			第6回	標本共分	散・標本相関	関係数	
本講義では,	実証	E分析に必要となる統計学の基礎を概説	第7回	中央値・	最頻値		
する. 基礎概念	を扛	立たのちに、それぞれが練習問題を解	第8回	変動係数	て・幾何平均	•調和平均	
き進めてもらう			第9回	確率の基	礎		
秋学期の「統	計学	źb」とセットで開講するので, 春学期	第10回	確率の	公式		
から通年で履修	EL,	高々20代までの年齢では、あるいはそ	第11回	ベイズ	の定理		
れ以上でも必す	『し <sup>ゝ</sup>	も即座に役立ったり理解できたりする	第12回	ツリー	ダイヤグラム		
ものではないこ	とを	:念頭に置いていただきたい.	第13回	階乗・	順列・組合せ	-	
特に第1回は,	,講	義の進め方や単位の修得に関わる説明	第14回	小テス	トその1		
を行うので、必	ず受	き講するようにお願いする.	第15回	小テス	トその2		
到達目標統	計学	たの一般知識を習得し、現実の経済・経営	営データ?	分析に応り	用できるよう	にする。	
事前・事後 学修の内容	って	「配信する講義ノートを利用し,事前・事	事後に学	修を進める	ることとする		
テキスト 追	って	配信予定.	·				
参考文献 該	参考文献 該当なし.						
<b>評価方法</b> 授	業貢	(前 (50%)・試験 (50%). 詳しくは, 第	第1回の	イントロ	ダクションで	説明する.	

13 年度以降	条 統計学 b			担当者	大床 太郎		
講義目的、講義	<b>遠概</b> 要	Ī.	授業計画				
【講義目的】			第1回	イントロ	ダクション		
1年次に開講	され	ている「統計学入門」で学んだ基本的	第2回	統計学a	の復習		
な統計学の概念	まにつ	いて, 数理的な論理も踏まえて定着さ	第3回	コイント	スとベルヌー	ーイ試行・二項分布	
せることを目的	りとす	つる.2013年度以降の入学者は,原則,	第4回	ポアソン	分布・超幾何	可分布の紹介	
「統計学入門」	の単	位修得済みの方を対象とする.	第5回	正規分布	iを学ぶ意義		
【講義概要】			第6回	正規分布	iとは		
本講義では,	実証	E分析に必要となる統計学の基礎を概説	第7回	標準正規	見分布表の基礎	楚	
する. 基礎概念	えを打	1えたのちに,それぞれが練習問題を解	第8回	標準正規	一分布表の応見	Ħ	
き進めてもらう	5.		第9回 標本平均の平均				
春学期の「紛	充計学	牟a」とセットで開講するので、春学期	第10回 仮説検定の概念枠組み				
から通年で履修	≶し,	高々20代までの年齢では、あるいはそ	第11回 平均の差の検定①正規分布				
れ以上でも必っ	ずし	も即座に役立ったり理解できたりする	第12回 平均の差の検定②t分布				
ものではないこ	ことを	:念頭に置いていただきたい.	第13回 仮説検定の留意事項				
特に第1回は	,講	義の進め方や単位の修得に関わる説明	第14回 小テストその1				
を行うので、必	ひず受	e講するようにお願いする.	第15回	小テス	トその2		
到達目標	充計学	たの一般知識を習得し、現実の経済・経営	営データ	分析に応り	用できるよう	にする。	
事前・事後 学修の内容	負って	配信する講義ノートを利用し,事前・事	事後に学	修を進める	ることとする		
テキスト 追	スト 追って配信予定.						
参考文献 討	核当な						
<b>評価方法</b> 授	受業員	献(50%)・試験(50%). 詳しくは、多	第1回の	イントロ	ダクションで	説明する.	

09年度以降		経営学原理 a			担当者	黒川 文子
講義目的、講	義概要	2	授業計	†画		
経営学が他の学問領域と異なる最も基本的かつ重要な問題を中心に講義する。その上に立って、今日的問題、すなわち規制緩和、企業の国際化と空洞化、E ビジネス等にアプローチする。経営学ほど変化の激しい領域はないので、原理を把握していれば、どのような状況にもうまく対処できよう。 講義では、経営学の理論の紹介だけでなく、実際の企業のケースを取り上げて、理解しやすいように授業を進めていく。経営学原理 a では、企業の目的、株式会社制度などの企業経営の基本的なコンセプトを理解した上で、経営戦略の策定について学習する。			2 企変 4 企 5 二 6 現 第 経 9 企 10 11 12 13 14	業とビジネーユービジネースの会社制度争戦略 経済の「日的と業の目的と 業績評価尺	大のビジネス スのの関発 スのの全 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	営
■糾達は樗	,,,	たの基礎的な学説、理論を習得し、実際の できるようにする。	企業に	おける行動	について学記	説、理論に基づき分析のうえ、
	テキス くださ	トの指定された箇所を事前に精読して* い。	おいてく	ださい。技	受業中の課題	を解いてレポートを提出して
テキスト	テキスト 黒川文子著『自動車産業における ESG 戦略』			済社、201′	7年。	
参考文献 授業中に紹介						
評価方法	期末詞	<b>、</b> 験(6割)と授業への参加度(4割)に	よって、	、総合的に	評価する。	

09年度以降	経営学原理 b			担当者	黒川	文子	
講義目的、講	講義目的、講義概要						
経営学原理bでは、まず経営戦略と密接な関係にある組織について講義する。最近、「アウトソーシング」や「バーチャル・コーポレーション」などで注目を浴びている「IT 革新とネットワーク組織」についても見ていく。 次に、生産、マーケティング、人的資源等の現代的な経営オペレーション・システムについて理解を深める。最後に、経営倫理やイノベーションとベンチャーといった、現代の経営にとって重要な問題についても焦点をあてて講義していく。			2 # 3 4 I 5 # 6	講義の概題と 機能別別新ななないのの一般に 一個観組組というでは 一個観組組織を 一個でで 一個で 一個で 一個で 一個で 一個で 一個で 一個で 一個で 一個	巻グループと ヨブ・ショッ 且立方式とセ ノバン方式と ング戦略	制 織 系列 プと流れ作業生 ル生産 リーン生産	<b>三産</b>
到達目標		≠の基礎的な学説、理論を習得し、実際の できるようにする。		111.12	-	説、理論に基づ	き分析のうえ、
事前・事後 学修の内容	後 テキストの指定された箇所を事前に精読して			おいてください。授業中の課題を解いてレポートを提出して			
テキスト	テキスト 黒川文子著『自動車産業における ESG 戦略』			圣済社、201	7年。		
参考文献	参考文献 授業中に紹介						
評価方法	期末詞	<b>弌験(6 割)と授業への参加度(4 割)に</b>	こよって	て、総合的に	評価する。		

09 年度以降 経営学原理 a 担当者 岡部 康弘

# 講義目的、講義概要

春学期は主にマクロ的視点から、企業を取り巻く環境(業界分析等)、社会・経済制度、企業の枠組み(市場取引か垂直統合か、サプライチェーン等)、企業の構成(多角化など)などに焦点を当てる。講義全体のテーマは、企業の活動は真空(Vacuum)の中で行われるのではなく、外部環境の制約を受けるということである。すなわち、企業が属する業界の特徴(完全競争、ニッチ、寡占、独占など)、サプライチェーン上のどこに位置するか、業界の取引慣習(垂直統合型、市場取引型、系列型など)などが、企業の活動をある程度規制する。このような、外部環境が企業の活動にどう影響を与えるかを考える。

#### 授業計画

- 1. ガイダンス
- 2. 競争環境と内部資源(春学期の総論)
- 3. 様々な環境分析ツールの紹介
- 4. 企業の競争優位を決める資源とは何か
- 5. なぜ業界により収益率に大きな差が出るのか
- 6. 事業の範囲 (規模の経済と範囲の経済)
- 7. 市場と組織、市場のコスト、市場の失敗
- 8. 多角化の要因、多角化の形態
- 9. 多角化企業でのユニットの自律性と統合
- 10. 多角化企業での本社の役割とは
- 11. ブルーオーシャン戦略とは何か
- 12. ブルーオーシャン戦略の応用
- 13. DVD (ヘッジファンド、TOB、プロキシーファイト)
- 14. 復習
- 15. Q&A

到達目標	経営学の基礎的な学説、理論を習得し、実際の企業における行動について学説、理論に基づき分析のうえ、 解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	講義は復習中心である。興味あるトピックに関しては講義中にあげる文献や資料を各自が読んでおくこと。
テキスト	毎回講義資料を配布する。
参考文献	コリス・モントゴメリー著(2004)『資源ベースの経営戦略論』他。
評価方法	評価は学期末試験による。

09 年度以降 経営学原理 b 担当者 岡部 康弘

#### 講義目的、講義概要

秋学期は、春学期における外部環境分析を受けて、主に ミクロ的視点か企業の活動に焦点を当てる。具体的には、 寡占市場やニッチ市場でどのように競争優位を獲得する か、参入障壁をどのように活用するかあるいは乗り越えて いくのか、バリューチェーン上の売り手や買い手はどのよ うに交渉力を獲得していくのか、DSIR市場でデイファク ト・スタンダードをどう確立していくのかなどである。企 業は、その企業が属する外部環境によってもたらされる制 約の中で、どのように自社が競争優位にある強みを生かす かという仕組みを考えないといけない。そのような仕組み の選択肢について考える。

- カイケンハ
   事業戦略とは何か(ミッション、ビジョン他)
- 3. 競争優位 (ポジションと組織能力)
- 4. 組織設計 (ARC 分析)
- 5. 組織のタイプ(「活用型」組織と「探索型」組織)
- 6. PIE の決定要因、PIE の分割、代替品と補完品
- 7. 競争のスペクトラムとニッチ市場、水平的差別化と垂直的差別化
- 8. 寡占市場での競争、戦略的相互作用
- 9. 既存企業の優位性、参入障壁
- 10. 買い手と売り手の交渉、ホールドアップ問題
- 11. 産業のライフサイクル、各期の戦略
- 12. DSIR 市場、デイファクト・スタンダード
- 13. デイファクト・スタンダードの現実
- 14. 復習
- 15. Q&A

到達目標	経営学の基礎的な学説、理論を習得し、実際の企業における行動について学説、理論に基づき分析のうえ、 解説できるようにする。						
事前・事後 学修の内容	講義は復習中心である。興味あるトピックに関しては講義中にあげる文献や資料を各自が読んでおくこと。						
テキスト	毎回講義資料を配布する。						
参考文献	サローナー・ポドルニー ・シェパード著 (2002)『戦略経営論』他。						
評価方法	評価は学期末試験による。						

09 年度以降	会計学 a		担当者	内倉	滋	
講義目的、講義概	要	授業計画				
「会計学a,b」と	いう科目は、複式簿記原理の最低限の知識	1. オリエンテー	-ション(本講	義の 目的,目標	等)	
を前提として、そ	れに内容的な意味付けを試みていくもの	2. 第1章 : 決算	算書から見え	る世界		
であり、会計を言	語に例えるならば「意味論」に相当するも	3. 第2章 その1	: 複式簿記の	り基本概念		
のである。そこで	取り扱われる中身は、広義の意味での会	4. 第2章 その2	2:取引の仕詞	尺		
計学の全領域とレ	うことになる。	5. 第2章 その3	3:勘定口座✓	への転記		
そのうち「会計	学a」では、最初に複式簿記の基本原理を	6. 第2章 その4	1:決算修正			
ごく簡単に説明し	た上で、財務会計論の領域の諸問題を順	7. 第2章 その	<ul><li></li></ul>	長,損益計算書		
次講義していきた	い。具体的には、資産や負債の定義とい	8. 第2章 その6	3:間接法に。	よるキャッシュフ	ロー計算書	
うことから始めて	、最終的にはキャッシュフロー計算書や	9. 第2章 その7	':直接法に。	よるキャッシュフ	ロー計算書	
連結財務諸表の作	成方法についての説明も予定している。	10. 第2章 その8: グループ経営と決算書				
なお、本講義に	、、ここ数年科目登録が抽選制になってし	11. 第2章 その9: 資産,負債 の定義				
まい、設置学科の	学生が希望しても受講できない事態にな	12. 第2章 その10: 決算書と法律				
ってしまっていた	。そのため本年度については、経営学科	13. 第3章 その1:利益計算のルール,収益と費用				
には類似科目が記	置されていることもあるので、経営学科	14. 第3章 その2: 資産評価の基礎				
生の履修を許可し	ないこととしたい。	15. 総復習:第2回講義~第14回講義の総復習				
<b>到達目標</b> 会割	一学の基礎である複式簿記原理の知識を習	得し、決算書の内容	容を読み解く	ことができるよ	うにする。	
事前・事後 事前	iに教科書の該当箇所に目を通してくるこ	と。講義は、当日酉	記付するハン	ドアウト資料の	要点だけを説	
<b>学修の内容</b> 明していく形で行う。講義のあとハンドアウト資料を通読し、自分なりの整理をしておくこと。					と。	
テキスト 山浦	5久司・廣本敏郎 編著,『ガイダンス企業会	計入門[第4版]』(	白桃書房)			
参考文献 必要	に応じ そのつどハンドアウトの中で指示	<b>ミする。</b>				
評価方法	前後は期末試験の結果で、残りは平常点 に説明したい。	(講義中の小テス)	、等)で評価、	する。その詳細に	は、最初の講	

09 年度以降		会計学 b		担当者	内倉	滋
講義目的、講	義概要	ē.	授業計画			
監査論、管理 域の諸問題を なお、本講 まい、設置学 ってしまって には類似科目	会計議科は、義科のた。	「会計学a」の知識を前提として、'会計 対,'経営分析論','税務会計論'といった領 書に沿った形で講義していきたい。 ここ数年科目登録が抽選制になってし 生が希望しても受講できない事態にな そのため本年度については、経営学科 されていることもあるので、経営学科 ないこととしたい。	2. 第3章 そ   3. 第4章 そ   4. 第4章 そ   5. 第4章 そ   6. 第4章 そ   7. 第5章   8. 第5章   9. 第6章   10. 第6章   11. 第6章   12. 第7章   13. 第8章   14. 第8章	の2:会計基準の1:原価とはの2:総合原価の3:総合原価の3:総合原価の5:標準原価の5:標準原価の5:標準原価の5:標準原価の5:東熱の1:CVP分の2:貢献利益の3:差額原価の3:差額原価の3:決算書との2:税効果会の2:税効果会の2:税効果会の2:税効果会の2:税効果会の2:税効果の2:税効果の2:税効果の2:税効果の2:税効果の2:税効果の2:税効果の2:税効果の3:会計をは、2002:税効果の2:税の2:税効果の2:税効果の2:税効果の2:税効果の2:税効果の2:税効果の2:税効果の2:税効果の2:税効果の2:税効果の2:税効果の2:税効果の2:税効果の2:税の2:税の2:税の2:税の2:税の2:税の2:税の2:税の2:税の2:税	計算 基本原理 計算 期首仕掛品 計算 計算 計算 が確かめる 析 の計算と意思決り 収益分析 みよう 税金	屯
到達目標	会計学	その基礎である複式簿記原理の知識を習行	- 导し、決算書σ	内容を読み解く	ことができるよ	うにする。
		数科書の該当箇所に目を通してくるこ。 いく形で行う。講義のあとハンドアウ				
テキスト						
参考文献	必要に	上応じ そのつどハンドアウトの中で指示	する。			
一部饰方法		後は期末試験の結果で、残りは平常点 説明したい。	(講義中の小テ	 スト等) で評価	iする。その詳細	は、最初の講

09年度以降	簿記原理 a			担当者	各担当教員		
講義目的、認	講義目的、講義概要						
簿記は、	企業が	自らの経済活動に関する会計情報を作	1	オリエンテー	・ション(本詞	講義の 目的,目標 等)	
成するのに	用いられ	れる1つの技術である。会計情報を作成	2	企業の財政状	態と貸借対用	照表	
しない企業に	はなく、	また会計情報は「ビジネスの共通言語」	3	企業の経営成	え績と損益計算	算書	
と呼ばれるり	まど、ゴ	e業にとって必要不可欠なものである。	4	取引と取引の	分解:「取引	」記録のルール	
本講義では、	複式簿	章記の初学者を対象に、簿記に関する基	5	仕訳について	<u>.</u>		
礎的な原理を	を講義し	していく。	6	勘定口座につ	いて:勘定	コ座への記入ルール	
そのうち	簿記原	理aでは、まずは、会計情報とはどんな	7 仕訳帳と総勘定元帳(「元丁」欄,「仕丁」欄,「摘要」欄)				
ものか を明	らかに	してうえで、企業の経済活動に関する	8 試算表について(合計試算表,残高試算表)				
データが 種	々な帳	票類を通じて会計情報になっていく過	9 精算表について:精算表の原理				
程に焦点を	当て、そ	その内容説明をしていく。そのうえで、	10 勘定の振替えという技法について				
企業の経済	舌動の個	固別的具体的な例として いくつかの流	11 決算手続:純損益の振替手続き				
動資産項目の	の取引を	かり上げ、それらに関する会計処理方	12 決算手続(続): 帳簿の締切りと繰越試算表				
法を講義して	ていく。		13 現金及び預金の記帳				
			14	決算修正の基	本と 8桁精算	算表/10桁精算表	
			15	総復習:第2	回講義~第14	4回講義の総復習	
到達目標	複式簿	<b>章記に関する基礎知識(日商簿記検定試験</b>	負3系	級程度の知識)	を習得し、	企業の基本的な取引について	
の記帳、決算手続きの遂行、および財務諸表				<b>戊ができるよ</b>	うにする。		
事前・事後 学修の内容	事前に教科書の該当箇所に目を通してくること。その他のことは、初回の講義で説明する。				義で説明する。		
テキスト	各担当	<b>á者により異なる。自分の担当者が指定し</b>					

参考文献

評価方法

必要に応じ そのつど講義の中で指示する。

各担当者により多少の違いがある。詳細は、初回の講義で説明する。

09年度以降		簿記原理 b		担当者	各担当教員			
03 平及以库		停止/水柱 0		1534	行担当教員			
講義目的、講	義概要	<u>;</u>	授業計画					
では扱わなか 資産の取引な	簿記原理bでは、まずは 簿記原理aに引き続き、春学期では扱わなかった流動資産項目の取引や 新たに有形固定資産の取引などを取り上げ、それらに関する会計処理方法			基本原理 続): 設例に				
簿記録)をもと 算のときに)行	を講義していく。そのうえで、これらの取引の会計処理(帳簿記録)をもとに 最終的に会計情報を作成する際に(=決算のときに)行われる決算整理の原理と、その際に作成される8桁精算表の原理について、講義をしていく。			4 商品3分法:精算表での取扱い 5 商品3分法:諸経費,値引,返品の処理 6 商品有高帳について 7 手形の記帳 8 貸倒れの見積り 9 有形固定資産の記帳 10 有形固定資産の減価償却:基本原理 11 有形固定資産の減価償却(続):200%定率法について 12 個人企業の資本の記帳				
			14 伝票の利用:3伝票制,複写式伝票の利用 15 総復習:第2回講義~第14回講義の総復習					
■針達日糧		記に関する基礎知識(日商簿記検定試験 、決算手続きの遂行、および財務諸表の		, , , ,	企業の基本的な取引について			
事前・事後 学修の内容								
テキスト	テキスト 各担当者により異なる。自分の担当者が指定			こ用意してお	くこと。			
参考文献	参考文献 必要に応じ そのつど講義の中で指示する。							
評価方法	各担当	i者により多少の違いがある。詳細は、そ	初回の講義で説明する。					

09 年度以降		コンピュータ入門 a		担当者	各担当教員		
講義目的、講	冓義概要	5 C	授業計画				
この講義では、コンピュータやネットワークに関連する 基礎的な知識を学びます。そして、長いレポートの作成、 データの集計および情報を相手に伝える際に必要となる ソフトウェアであるワードプロセッサ、表計算ソフト、プ レゼンテーションソフトの利用方法を、実習により身につ けます。 授業計画の項目が扱われる順序や時間配分は、担当教員 により異なることがあります。			<ol> <li>コンピューネーネース・ファーネース・ファードドプロロフラー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファ</li></ol>	タッセセセトトトト トト 一一一分ッセセセトトトトト トト ニンシスと に	注意点 表の作成 イル設定、数式の入力 相対参照、絶対参照) データの並び替え、目的データ 計1(ピボットテーブル、小計) 計2(ヒストグラム、データテ		
到達目標		プュータの基本操作を習得し、パソコン・ ポート・論文の作成ができるようにする。	・ウェブを用いた	情報収集、お	よびプレゼンテーション資料		
事前・事後 学修の内容	担当耄	<b>対員の指示にしたがって事前、事後の学</b> 修	ぎをおこなってく	ださい。			
テキスト 立田ルミ、今福啓、堀江郁美『実践に役立つ			情報処理』 日経 BP 社				
参考文献							
評価方法	担当耈	<b>対員の指定する方法によって評価します。</b>					

09年度以降	コンピュータ入門 b				担当者	各担当教員		
講義目的、	講義概要	<u> </u>	授業計	画				
表計算ソフトを有効活用すると、キャッシュフロー計算や制約のある問題のような、実社会で必要となる計算の答えを容易に求めることが可能となります。 また自分で分析して求めた情報を発信するには、ネットワークを活用することが不可欠です。講義では、そのために必要となるWebページの構成、HTML、CSSと、コンピュータ言語の基礎について学習します。 授業計画の項目を扱う順序、時間配分および使用するコンピュータ言語は、担当教員により異なることがあります。			1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14.	<ol> <li>表計算ソフト応用:ローン返済計画</li> <li>表計算ソフト応用:What-If分析による利子の計算</li> <li>表計算ソフト応用:ソルバーによるローン返済</li> <li>表計算ソフト応用:年金の積立</li> <li>表計算ソフト応用:効率的な作業配分:0-1整数計画問題</li> <li>表計算ソフト応用:資源の有効活用:線形計画問題</li> <li>Webページ作成:Webページの構成</li> <li>Webページ作成:HTMLとCSS</li> <li>プログラミング言語:概要</li> </ol>				
到達目標		ブラミングに関する基礎的な知識を習得 見できるようにする。	し、コン	ピュータ言	言語を使って	問題解決の手順をプログラム		
事前・事後 学修の内容	担当都	<b>対員の指示にしたがって事前、事後の学</b>	修をおこ	なってくた				
テキスト	・キスト 立田ルミ、今福啓、堀江郁美『実践に役立つ			青報処理』 日経 BP 社				
参考文献								
評価方法	評価方法 担当教員の指定する方法によって評価します							

09年度以降	情報社会論 a			担当者	柴崎 信三		
講義目的、講義概	援要	授業計	画				
「近代」を特徴	づける市場経済システムと民主主義とい	1.	はじめに				
う政治の仕組みな	ぶ、情報のアドバンテージ(優越性)によ	2.	文化と文	明			
って欧米などに村	<b>艮付き、文明の覇権を獲得していった理由</b>	3.	三つの波				
はどこにあったの	のか。こうした問いを先行した欧州と米	4.	情報と近	代社会①ルネ	サンスと科学技術		
国、そして後発地	也域のアジアから抜け出して「脱亜入欧」	5.	情報と近	代社会②プロ	テスタントと富の蓄積		
を果たした日本の	り歩みの中から考えてゆく。	6.	情報と近	代社会③産業	革命と大英帝国		
経済成長のエ	ンジンともいうべき科学技術の発展と情	7.	情報と覇	権国家①米国	と市場経済の発展		
報を駆使して支西	己した市場の拡大は、欧米が近代社会をリ	8.	情報と覇	権国家②冷戦	と豊かな社会		
ードする大きな雰	長因であり、民主主義など政治や社会のシ	9.	情報と覇権国家③米国の覇権と揺らぎ				
ステムもその産物	めといえよう。情報技術(IT)をこうした	10.	情報と日本の近代①キャッチアップ				
市場化や民主化	を拡大してグローバリゼーションを進め	11.	情報と日本の近代②孤立と破綻				
る力として歴史の	つ中に位置づける一方、それが米国の覇権	12.	12. 情報と日本の近代③成長とその翳り				
の揺らぎと中国な	よど新興国の台頭、国内の格差の拡大や排	13.	情報とグ	ローバリゼー	・ション①変容		
外主義などの反作	作用を生んでいる現実にも目を向けて、近	14.	情報とグローバリゼーション②展望				
代から現代への歴	<b>歴史の道筋を捉えなおしたい。</b>	15.	まとめ				
到達目標 情幸	R社会に関する基礎知識を習得し、社会に存	存在する	様々な情報	報を管理・活	用できるようにする。		
事前・事後 学修の内容 各自参考文献の通読とともに、講義の中のキーワードを調べな:				おして論点の	整理を心がけること。		
テキスト 各回	テキスト 各回配布する資料をテキストとする						
参考文献 佐和	「隆光『市場主義の終焉』(岩波新書)を参	考文献と	:する。				
<b>評価方法</b> 定期	J試験の実績(80%)に加えて、授業内で記	 果すレポ <sup>、</sup>	ートの実績	責(20%)を	勘案して評価する。		

09年度以降	情報社会論 b				担当者	柴崎 信三			
講義目的、講義	養概要	Ţ	授業計	一画					
情報社会は	国際寬	<b>競争や企業システムから民主主義や法</b>	1.	はじめに					
など統治の仕組	組み、	社会の「公」と「私」の関係や固有の	2.	ソフトパ	フーの時代				
文化のありよう	うなと	ご、「近代」が自明としてきたさまざま	3.	「表現の	自由」の二律	背反			
なシステムや制	制度、	ルール、価値観を大きく変えている。	4.	選挙と「	炎上」-民主	主義の逆説			
米国の一極	支配に	こ覆われてきた前世紀の経済社会がそ	5.	フラット	な企業と尖っ	た人材			
の覇権の凋落と	と新興	<b>!</b> 国の著しい台頭へ局面を転換させ、文	6.	ビットコ	インー貨幣と	は何か			
	•	てきた欧州が混迷する一方で異文化の	7.	社会リス	クーネット犯	罪と安全			
		芸抗を広げているのも、情報化によるグ	8.	知的財産	保護と利用	-著作権・特許権			
		个の一断面であろう。	9.	国際分業と競争力					
1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		頁する一方で仮想通貨が貨幣システム	10.	V					
		一定の価値が企業の秩序を変える一方、		11. 規制緩和と派遣労働					
		ョンはローカルな文化の反発も呼び起	12.			と市場の失敗			
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		って激しい変化の波に洗われている近	13.		–	成長」の神話			
		で価値観をさまざまな領域に探り、これ ************************************		14. フェアとシェアー互酬社会と格差社会					
からの社会が非	共有す	でき新たな秩序形成の条件を探る。	15.	まとめ					
到達目標	青報社	:会に関する基礎知識を習得し、社会に存	存在する	様々な情報	<b>最を管理・活</b>	用できるようにする。			
事前・事後 学修の内容	各自参	考文献の通読とともに、講義の中のキー	-ワート	を調べなお	こして論点の	整理を心がけること。			
テキスト	各回配	<b>治市する資料をテキストとする。</b>							
参考文献	石田英	敬『大人のためのメディア論講義』(ち	くま新	書)を参考	<u></u> 文献とする。				
評価方法 気	定期試	験の実績(80%)に加えて、授業内で行	テうリホ	パートの実績	責(20%)を	勘案して評価する。			

13 年度以降 環境学 担当者 中村 健治

# 講義目的、講義概要

環境学は自然と人間との関わりに関する学問です。人間活動が小さい時は人間活動は自然に大きく制約されてきましたが、人間活動が大きくなると人間と自然との相互の関連が重要となっています。

この環境も現代は地球的規模となり地球環境問題として認識されています。この地球環境問題としては、温暖化、オゾン層、酸性雨、海洋汚染、森林破壊、砂漠化、生物多様性の喪失、などが挙げられています。

本講義では自然環境に関する基礎知識とともに環境問題の各項目についての基礎知識を得てもらうことを目的とします。この講義では、量的な感覚を持ってもらうことも目的としています。このため、講義内容に関わる話題について概算の計算練習も入れます。

#### 授業計画

- 1. 授業概要
- 2. これまでの環境問題
- 3. 我が国の公害
- 4. 欧米の公害
- 5. 地球規模の環境問題
- 6. 地球温暖化
- 7. オゾン層
- 8. 世界の水
- 9. 大気汚染
- 10. 生物多様性
- 11. 森林破壊
- 12. 海洋汚染
- 13. 砂漠化
- 14. 地球環境の監視
- 15. 復習

到達目標	自然の仕組みと人間活動との関係についての基礎知識を習得し、環境共生について分析のうえ、見解を提 示できるようにする。							
事前・事後 学修の内容	次回のレジュメを配布するので学習し、事後は講義資料をポータルに載せるので復習してください。							
テキスト	特に無し。							
参考文献	参考文献:増田啓子、北川秀樹『はじめての環境学[第2版]』(法律文化社、2012年)							
評価方法	3回程度行う小テスト (30%) と試験 (70%) で評価します。							

13年度以降 環境学 担当者 濱 健夫 講義目的、講義概要 授業計画 我々を取り囲む環境は、人口の増加および人間活動の活 授業概要 発化により、この100年間で大きく変化してきています。 2. 世界の環境問題の推移 大気、陸上、海洋における様々な物質の存在量、そしてそ 3. 我が国の環境問題 れらの流れが、人間活動により影響を受ける事により、地 4. 大気汚染 域的な環境の悪化である公害や、地球規模の環境問題が引 5. 水質汚染 き起こされています。 廃棄物 本講義では、自然環境の過去から現在に至る変化とその 7. 地球規模の環境問題 変化をもたらす要因について、基礎知識を得てもらうこと 8. 地球温暖化 を目的とします。 9. オゾン層の破壊 環境問題の解決には、(1)環境問題を引き起こしている 10. 酸性雨 仕組みを理解すること、(2) それに対する対応策をたてる 11. 海洋汚染 こと、そして(3)対応策を社会に定着させること、が必 12. 森林破壊 要です。(2) や(3) に関わる際に必要となる(1) に関す 13. 砂漠化 る情報を、本講義において理解してもらうことが最大の目 14. 環境保全 的です。 15. 復習 自然の仕組みと人間活動との関係についての基礎知識を習得し、環境共生について分析のうえ、見解を提 到達目標 示できるようにする。 事前・事後 毎回の授業終了後に小テストを行いますので、その回の内容について予習してきて下さい。 学修の内容 テキスト 参考文献 増田惠子、北川秀樹『初めての環境学[第2版]』(法律文化社、2012年) 評価方法 3回程度行う小テスト (30%) と試験 (70%) で評価します。

13年度以降	サステイナビリティ学			担当者	木原	隆司		
講義目的、講	冓義概要	Ę	授第	<b>禁計画</b>				
(講義目的)「	「環境学」	」が自然科学領域から持続可能性(サステイ	1.	オリエンテー	ション(カッ	コ内はテキストの	該当Unit)	
ナビリティ) :	を考える	るのに対して、本講義では環境経済学、開発	2.	経済発展と環	境(Unit1)			
経済学など社会	会科学领	頁域から環境・経済・社会の持続可能性につ	3.	ゴミ問題と循	環型社会(Ur	nit 2)		
いて考えます。	。基礎的	りな経済学のツールを応用して、環境問題の	4.	地球温暖化問	題(Unit.3)			
持つ悪影響(タ	外部不絕	経済)を軽減・内部化するための政策(規制、	5.	外部性と市場	の失敗(Unit	4)		
所有権の確定、	、環境科	紀、排出権取引等)などを学ぶとともに、資	6.	共有資源の管	理(Unit5)			
源制約の下で	「持続す	<b>丁能な開発」を進め、経済・社会の持続可能</b>	7.	公共財とただ	乗り(Unit 6)			
性を維持してい	いくため	5の政策・国際協力手法を検討します。地球	8.	環境政策の理論(1)(直接規制)(Unit 7)				
環境ファシリ	ティー	(GEF) などの資金メカニズム、気候変動枠	9.	環境政策の理論(2)(環境税・補助金)(Unit 8)				
組条約のパリ	協定や持	F続可能な開発目標 (SDGs) についても学び	10.	.0. 環境政策の理論(3) (コースの定理) (Unit 9)				
ます。			11.	1. 環境政策の理論 (4) (排出権取引) (Unit 10)				
(講義概要)	この講義	では、栗山・馬奈木(2016)『環境経済学を	12.	12. 政策手段の選択 (Unit 11)				
つかむ』を主	なテキス	くトとして用います。また、担当教員の財務	13.	3. 京都議定書と地峡温暖化対策 (Unit 13)				
省や国際機関	での経り	食や、わが国や国際機関が行っている持続可	14.	14. 京都議定書の問題点と今後の対策(Unit 14)				
能な開発に向い	けた政策	度実態を交えた説明をします。	15.	「持続可能な	開発」に向け	て(Unit25ほか)		
到達目標	サスラ うにす	-イナビリティ学の基礎知識を習得し、キ <sup>-</sup> る。	寺続廷	世社会の構築に	こついて分析	のうえ、見解を	:提示できるよ	
事前・事後 学修の内容	3 13 3 1	111142/11 / / / / / / / / / / / / / /	でダウンロードして、講義に持ってきてください。 習してください。「経済学 (ミクロ)」履修済みのこと。					
テキスト	テキスト 栗山浩一・馬奈木俊介『環境経済学をつかむ			版』(有斐閣	」、2016年)			
参考文献	諸富循	対ほか『環境経済学講義』(2008 年)小宮	宮山宏ほか『サステイナビリティ学』(2011 年)など				:)など	
評価方法	授業~	<b>、</b> の貢献と授業中の小テスト (40%)・定	期試	験(60%)				

13年度以降	サステイナビリティ学				担当者	木原	隆司	
講義目的、講	購義概要	5	授業	授業計画				
(講義目的)「	環境学	」が自然科学領域から持続可能性(サステイ	1.	オリエンテー	ション(カッ	コ内はテキストの	)該当Unit)	
ナビリティ)	を考える	るのに対して、本講義では環境経済学、開発	2.	経済発展と環	境(Unit1)			
経済学など社会	会科学领	頁域から環境・経済・社会の持続可能性につ	3.	ゴミ問題と循	環型社会(Un	it 2)		
いて考えます。	。基礎的	りな経済学のツールを応用して、環境問題の	4.	地球温暖化問	題(Unit.3)			
持つ悪影響(ダ	外部不絕	経済)を軽減・内部化するための政策(規制、	5.	外部性と市場	の失敗(Unit	4)		
所有権の確定、	、環境科	A、排出権取引等)などを学ぶとともに、資	6.	共有資源の管	理(Unit5)			
源制約の下で	「持続す	可能な開発」を進め、経済・社会の持続可能	7.	公共財とただ	乗り(Unit 6)			
性を維持してい	いくため	りの政策・国際協力手法を検討します。地球	8.	環境政策の理	論(1)(直接規	制)(Unit 7)		
環境ファシリカ	ティー	(GEF) などの資金メカニズム、気候変動枠	9.	9. 環境政策の理論 (2) (環境税・補助金) (Unit 8)				
組条約のパリ	協定や持	持続可能な開発目標 (SDGs) についても学び	10. 環境政策の理論(3) (コースの定理) (Unit 9)					
ます。			11. 環境政策の理論(4)(排出権取引)(Unit 10)					
(講義概要) 3	この講義	ぎでは、栗山・馬奈木(2016)『環境経済学を	12. 政策手段の選択 (Unit 11)					
つかむ』を主	なテキス	マトとして用います。また、担当教員の財務	13. 京都議定書と地峡温暖化対策(Unit 13)					
省や国際機関	での経り	食や、わが国や国際機関が行っている持続可	14. 京都議定書の問題点と今後の対策 (Unit 14)					
能な開発に向り	けた政策	度実態を交えた説明をします。	15.	「持続可能な	r開発」に向けて(Unit25ほか)			
到達目標	サスラ うにす	-イナビリティ学の基礎知識を習得し、キ <sup>-</sup> る。	持続型	社会の構築に	こついて分析	のうえ、見解を	₹提示できるよ	
事前・事後 学修の内容		ニPORTA に講義用 PPT をアップするの 後は講義内容(特に計算問題)を良く復習			て、講義に持	持ってきてくだ	さい。	
テキスト	キスト 栗山浩一・馬奈木俊介『環境経済学をつかむ 第3版』				(、2016年)			
参考文献	参考文献 諸富徹ほか『環境経済学講義』(2008年) 小				テイナビリテ	ィ学』(2011年	<u>=</u> )など	
評価方法	授業~	への貢献と授業中の小テスト(40%)・定	期試	験(60%)				

13 年度以降	専門英語 a (ニュース世界と日本)		担当者	本田 浩邦			
講義目的、講	義概要	授業計画					
英語を学ぶ	ことの楽しさ、読めるという実感をつかんで	1. はじめに 講	義内容、評価	i方法、注意事項			
もらいたいとん	思います。	2. プレゼンテー	ションと経済	記事の翻訳(1)			
毎回の授業	は、つぎの3つの柱立てで行います。	3. プレゼンテー	ションと経済	記事の翻訳(2)			
1. NPR (	ラジオ)、Democracy Now!、The Real News	4. プレゼンテー	ションと経済	記事の翻訳(3)			
Networ	k (インターネットニュース) などからその	5. プレゼンテー	ションと経済	記事の翻訳(4)			
日の経	斉や社会の話題を選んで、翻訳し音源を聞き	6. プレゼンテー	ションと経済	記事の翻訳(5)			
ます。	(リーディング、リスニング)	7. プレゼンテー	ションと経済	記事の翻訳(6)			
2. 受講者	による英語の経済新聞記事、論文などの紹介	8. 小テスト					
(プレ	ゼンテーション)	9. プレゼンテーションと経済記事の翻訳(7)					
3. 社会的	・文化的な意味の歌詞を含んだポピュラー音	10. プレゼンテーションと経済記事の翻訳(8)					
楽を訳	しながら聴きます。ウディ・ガスリー、サム・	11. プレゼンテーションと経済記事の翻訳(9)					
クック、	ニーナ・シモン、ボブ・ディラン、ボブ・	12. プレゼンテーションと経済記事の翻訳(10)					
マーリ・	ー、ブラック・アイド・ピーズ、トレーシー・	13. プレゼンテーションと経済記事の翻訳(11)					
チャッ	プマンなど。	14. 小テスト					
		15. まとめ					
1111年日標	経済・経営・国際環境経済の各分野で用いら 専門英語を運用できるようにする。	れる専門英語を習ん	导し、各分野	について英語で理解を深め、			
事前・事後 学修の内容	日常的に教材で用いるようなニュースを聴い	ておいて下さい。					
テキスト	なし						
参考文献	受業のなかで適宜紹介します。						
<b>評価方法</b> 平常点 (30%)、プレゼンテーション (30%)、小テスト (40%)							

13 年度以降	専門英語 b (ニュース世界と日本)			本田 浩邦		
講義目的、講義概		授業計画				
い。英語を学ぶこでもらいたと思 毎回の授業は、 1. NPR (ラミ Network 日の経済やます。(リ・ 2. 受講者によく (プー・) 3. 社会を訳しなった。 クック、ニ	明英語aを履修した上で登録してくださ との楽しさ、読めるという実感をつかん います。 つぎの3つの柱立てで行います。 ジオ)、Democracy Now!、The Real News (インターネットニュース)などからその P社会の話題を選んで、翻訳し音源を聞き ーディング、リスニング) はる英語の経済新聞記事、論文などの紹介 シテーション) て化的な意味の歌詞を含んだポピュラー音 いがら聴きます。ウディ・ガスリー、サム・ ゴラック・アイド・ピーズ、トレーシー・	<ol> <li>はじめに 講義内容、評価方法、注意事項</li> <li>プレゼンテーションと経済記事の翻訳(1)</li> <li>プレゼンテーションと経済記事の翻訳(2)</li> <li>プレゼンテーションと経済記事の翻訳(3)</li> <li>プレゼンテーションと経済記事の翻訳(4)</li> <li>プレゼンテーションと経済記事の翻訳(5)</li> <li>プレゼンテーションと経済記事の翻訳(6)</li> <li>小テスト</li> <li>プレゼンテーションと経済記事の翻訳(7)</li> <li>プレゼンテーションと経済記事の翻訳(8)</li> <li>プレゼンテーションと経済記事の翻訳(9)</li> <li>プレゼンテーションと経済記事の翻訳(10)</li> <li>プレゼンテーションと経済記事の翻訳(11)</li> <li>小テスト</li> </ol>				
チャップマ	*	15. まとめ				
	等・経営・国際環境経済の各分野で用いられ 引英語を運用できるようにする。	1る専門英語を習行	导し、各分野	について英語で理解を深め、		
事前・事後 学修の内容	宮的に教材で用いるようなニュースを聴いて	ておいて下さい。				
テキスト なし						
参考文献 授業	と のなかで 適宜紹介します。					
評価方法 平常	宮点 (30%)、プレゼンテーション(30%)、	、小テスト(40%	)			

13年度以降		専門英語 a (環境・資源経済学)		担当者	浜本	光紹	
講義目的、講義概要 環境・エネルギー問題や環境経済学・資源経済学にかかわる英語文献や英文記事を中心的題材として、現代の資源・環境問題とその対策に関して学習します。この講義では、学生自身による訳出に加え、日本語や英語での要約作成を通じて、内容に関する理解を深めていきます。 履修学生は毎回英和辞典を持参してください。			4. 英文訳出と 5. 英文訳出と 6. 英文訳出と 7. 英文の日本 8. 英文の日本	解解解解解語語解解解解解說說說說要要說說說說的要要說說說說明的說說的, 資資資資資資作作資資資資 。 源源源源成成源源源源源 。 (1)	(2) 環境問題 (6) 環境問題 (7) 環境問題 (8)		
到達目標		経営・国際環境経済の各分野で用いられ 語を運用できるようにする。	1る専門英語を習	得し、各分野	について英語て	で理解を深め、	
事前・事後 学修の内容				下調べをしておいてください。また,講義中の解説を踏まえ 提出してください。			
<b>テキスト</b> 講義の中でプリントを配布します。							
参考文献 講義の中で指示します。							
評価方法	講義中	つの課題への取り組み60%,期末レポー	ト 40%				

13年度以降	専門英語 b (環境・資源経済学)	担当者	浜本	光紹		
講義目的、講	- 5 5 5 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	授業計画				
わる英語文献 源・環境問題 この講義で 語での要約代 ます。	ペルギー問題や環境経済学・資源経済学にかれ 歌や英文記事を中心的題材として、現代の 題とその対策に関して学習します。 では、学生自身による訳出に加え、日本語や 下成を通じて、内容に関する理解を深めていま は毎回英和辞典を持参してください。	<ul> <li>(1) カイタノス</li> <li>(2) 英文訳出とと</li> <li>(3) 英文訳出とと</li> <li>(5) 英文訳出とと</li> <li>(6) 英文訳出とと</li> <li>(7) 英文の日本</li> <li>(8) 英文の日本</li> </ul>	解解解解解語語解解說說,與一個學學的學學的學學的學學的學學的學學的學學的學學的學學的學學的學學的學學的學學的	(2) 環境問題 (6) 環境問題 (7) 環境問題 (8)		
到達目標	経済・経営・国際環境経済の各分野で用い 専門英語を運用できるようにする。	ー うれる専門英語を習	得し、各分野	について英語で	理解を深め、	
事前・事後 学修の内容	教材となる英文について事前に単語・熟語の下調べをしておいてください。また、講義中の解説を踏まえて英文の日本語訳を作成し、レポートとして提出してください。					
テキスト	講義の中でプリントを配布します。					
参考文献	講義の中で指示します。					
評価方法	講義中の課題への取り組み 60%, 期末レポート 40%					

13 年度以降	専門英語 a (社会と会計)			橋本	尚	
講義目的、講義	概要	授業計画				
今日の企業活	動や資本市場はグローバル化しており、会	1 オリエンテー	ーション			
計プロフェッシ	ョナルとしての業務を遂行する上では、日	2 会計プロフェ	ェッションに	関連する諸機関	(1)	
本語だけでなく	、国際語としての英語力の習得が不可欠で	3 会計プロフェ	ェッションに	関連する諸機関	(2)	
す。本講義にお	いては、国際的な感覚を具えた健全なアカ	4 会計プロフェ	ェッションに	関連する諸機関	(3)	
ウンティング・	マインドの形成に資するように、社会と会	5 エンロン (1	.)			
計に関連する英	文の講読を通じて、会計プロフェッショナ	6 エンロン (2	2)			
ルとして必要な	専門英語に接することで、高度な語学力の	7 エンロン (3	3)			
養成を図ってい	きます。講読にあたっては、広く世界に視	8 マーサ・スチュワート (1)				
野を広げ、国際	感覚豊かに考えることができるように、ま	9 マーサ・スチュワート (2)				
た、会計関連の	専門文献やアニュアル・レポートを理解す	10 マーサ・スチュワート (3)				
ることができる	ように、精読と速読を併用していきます。	11 クエスト (1)				
米国公認会計	士試験やBATIC(国際会計検定)を目指す	12 クエスト (2)				
学生に対しては	、適宜、必要なアドバイスを行う予定です。	13 クエスト (3)				
		14 アニュアル・レポートを読む				
		15 まとめ				
■判注日標	済・経営・国際環境経済の各分野で用いられ	れる専門英語を習行	导し、各分野	について英語で	理解を深め、	
	門英語を運用できるようにする。 同の講義に関連せることでしている	事品に生きし イナコ	· ナノ ギキ! ›	ナム 津羊幼	ア然け 転业	
	毎回の講義に関連するテキストの該当箇所を事前に精読しておいてください。また、講義終了後は、該当 箇所に関連するテキストの Homework と課題を解いて復習しておいてください。					
テキスト テ	テキスト:ダニエル・ドーラン・橋本 尚 『会計英語(改訂版)』 同文舘 2010年					
参考文献参	参考文献:講義の中で適宜紹介します。					
評価方法 講	講義への取り組み状況などの平常点(70%)と課題の評価(30%)に基づいて総合的に判定します。					

13 年度以降		専門英語 b (社会と会計)			担当者	橋本	尚
講義目的、講	義概要	ξ	授第	計画			
今日の企業	活動や	資本市場はグローバル化しており、会	1	オリエンテー	ーション		
計プロフェッ	ショナ	ールとしての業務を遂行する上では、日	2	ワールドコム	(1)		
本語だけでな	:く、国	国際語としての英語力の習得が不可欠で	3	ワールドコム	(2)		
す。本講義に	おいて	ては、国際的な感覚を具えた健全なアカ	4	ワールドコム	(3)		
ウンティング	・マイ	ンドの形成に資するように、社会と会	5	アデルフィブ	(1)		
計に関連する	英文の	)講読を通じて、会計プロフェッショナ	6	アデルフィブ	(2)		
ルとして必要	な専門	英語に接することで、高度な語学力の	7	アデルフィブ	(3)		
養成を図って	いきま	にす。講読にあたっては、広く世界に視	8 タイコ (1)				
野を広げ、国	際感覚	党豊かに考えることができるように、ま	9 タイコ (2)				
た、会計関連	の専門	引文献やアニュアル・レポートを理解す	10 AIG (1)				
ることができ	るよう	に、精読と速読を併用していきます。	11 AIG (2)				
米国公認会	計士詩	、 は験やBATIC (国際会計検定) を目指す	12 マドフ (1)				
学生に対して	は、適	宜、必要なアドバイスを行う予定です。	13	マドフ (2)			
			14 「財務報告に関する概念フレームワーク」を読む				
			15	まとめ			
■針達甘糧	.,,	経営・国際環境経済の各分野で用いられ 語を運用できるようにする。	いる専	阿英語を習行	导し、各分野	について英語でヨ	理解を深め、
		)講義に関連するテキストの該当箇所を 「関連するテキストの Homowork と課題					了後は、該当
	箇所に関連するテキストの Homework と課題を解いて復習しておいてください。 テキスト:ダニエル・ドーラン・橋本 尚 『会計英語(改訂版)』 同文舘 2010年						
					以/』   同义皆	日 2010年	
参考文献	文献 参考文献:講義の中で適宜紹介します。						
評価方法	講義〜	への取り組み状況などの平常点(70%)。	上課題	夏の評価(30	%)に基づい	て総合的に判定	します。

13年度以降	専門英語 a (自動車産業等の企業経営)			黒川 文子		
講義目的、講義概	既要	授業計画				
際ビジネスに関す を習得することを 経営や経済に関 容を把握していき 英語の専門用語を るようにします。 の英語の素養を身 教材には、最	国際人として活躍するために必要である国 この知識を獲得し、かつ実践的な英語能力 と目標とします。 関する最新の記事や論文を用いて、その内 ます。その際、経営や経済で用いられる と覚えていき、社会に出てからも活用でき したがって、将来、ビジネスマンとして 別につけることができます。 新版の「Harvard Business Review」、 The Economist」、「Fortune」等の雑誌	1. 講義の概要 2. Harvard Bu 3. Harvard Bu 4. Harvard Bu 5. The Econom 6. The Econom 7. The Econom 8. Forbes ① 9. Forbes ② 10. Forbes ③ 11. Forbes ④ 12. Fortune ① 13. Fortune ② 14. Fortune ③ 15. 講義のまと。	siness Revie siness Revie hist ① hist ② hist ③	w 2		
■ 糾 達 日 樗 📗 💮	<ul><li>★・経営・国際環境経済の各分野で用いられ 引英語を運用できるようにする。</li></ul>	いる専門英語を習行	导し、各分野	について英語で理解を深め、		
	授業ではプリントを前もって配布しますので、予習をしてくることが前提となります。授業中の課題を解いて次回に提出してください。					
テキスト プリ	プリント配布					
参考文献 授業	授業中に紹介					
<b>評価方法</b> 期末	期末試験(6割)と授業への参加度(4割)により総合的に評価する。					

13 年度以降	専門英語 b (自動車産業等の企業経営)			黒川 文子		
講義目的、講義	· 養概要	授業計画				
際ビジネスに関 を習得すること 専門英語aで した経営やいき 把握してい語を覚 把握し用語を覚 うに、素を身に 教材には、コ	国際人として活躍するために必要である国場する知識を獲得し、かつ実践的な英語能力をを目標とします。 使う記事や論文よりも、少しレベルアップ等に関する記事や論文を用いて、その内容をます。その際、経営や経済で用いられる英語でえていき、社会に出てからも活用できるよったがって、将来、ビジネスマンとしての英こつけることができます。 最新版の「Harvard Business Review」、「The Economist」、「Fortune」等の雑誌	1. 講義の概要 2. Harvard Business Review ① 3. Harvard Business Review ② 4. Harvard Business Review ③ 5. The Economist ① 6. The Economist ② 7. The Economist ③ 8. Forbes ① 9. Forbes ② 10. Forbes ③ 11. Forbes ④ 12. Fortune ① 13. Fortune ②				
判注日標	経済・経営・国際環境経済の各分野で用いられ 専門英語を運用できるようにする。	15. 講義のまと いる専門英語を習行		について英語で理解を深め、		
	受業ではプリントを前もって配布しますので、 いて次回に提出してください。	予習をしてくるこ	ことが前提と	なります。授業中の課題を解		
テキスト	プリント配布					
参考文献	大 授業中に紹介					
<b>評価方法</b> 期	期末試験(6割)と授業への参加度(4割)により総合的に評価する。					

13 年度以降	専門英語 a(情報学)		担当者	堀江 郁美	
講義目的、講義概要	授業計画				
この授業では、芽動画なども取り入れ	1. ガイダンス、	英語力チェッ	<b>,</b> クテスト		

することを目的としています。 前期では、主に、情報関連の英単語力増強、情報関連文献や書籍の読解力に焦点をあて学習します。そのため、割り当てられた発表に加え、毎回宿題や小テストを行うた

受講者のレベルや希望に応じ、内容やレベルを調整する ため、英語が苦手な学生でもやる気があれば問題ありませ

専門英語を運用できるようにする。

事後:授業内容を復習すること。

授業中に適宜指示します。

授業中に適宜指示します。

事前:指定された文章や動画を精読する。

事前・事後

学修の内容

テキスト

参考文献

評価方法

め、予復習が必須となります。

2~14. 情報に関連する文献、動画の解説

15. まとめ

資料としては、毎回、コンピュータやアプリケーション 関連の英文資料や、TED, TED-Ed,著名人の英語スピーチ などを指定します。受講者は春学期中に3回程度の発表が あります。

到達目標	経済・経営・国際環境経済の各分野で用いられる専門英語を習得し、各分野について英語で理解を深め、 専門英語を運用できるようにする。
事前・事後 学修の内容	事前:指定された文章や動画を精読する。 事後:授業内容を復習すること。
テキスト	授業中に適宜指示します。
参考文献	授業中に適宜指示します。
評価方法	授業への貢献度、発表、小テスト、レポートなどを総合的にみて判断します。

13 年度以降		専門英語 b (情報学)		担当者	堀江 郁美
講義目的、講義	義概要	:	授業計画		
動画なども取りすることを目的後期では、前英語で行われるく力、理解力のれた動画資料等ため、予復習れたのような、では、	り的前るの等がべれしに学強発領や	習得した英単語や読解力を用い、主にの情報関連の授業動画をベースに、聴きないります。そのため、割り当てらまた加え、毎回宿題や小テストを行う	<ul><li>15. まとめ</li><li>資料としては、</li><li>関連の英文資料・</li></ul>	われる情報 毎回、コン や、TED, TE	ックテスト 関連の授業動画の解説 ピュータやアプリケーション D-Ed,著名人の英語スピーチ は秋学期中に3回程度の発表が
乳洋日標		経営・国際環境経済の各分野で用いられる	いる専門英語を習行	导し、各分野	について英語で理解を深め、

授業への貢献度、発表、小テスト、レポート、期末試験などを総合的にみて判断します。

13 年度以降		専門英語 a (経済理論)			山森 哲雄		
講義目的、講	<b>講義概</b> 要	5	授業計画				
		芯用に関する英語の文献を独力で読み	1. ガイダンス				
		女学の専門英語や証明の際の独特な言い	2. Logic and Set	-			
-		んでおく必要があります。	3. Logic and Set	-			
		分野の英語文献を独力で読む力を涵養	4. Logic and Set	-			
		下記のテキストを輪読します。高校数	5. Logic and Set	•			
	<b>E</b> 営数学	人門」の学び直しとしての受講も歓迎	6. Logic and Set	Theory			
します。			7. Algebra				
			8. Algebra				
			9. Algebra				
			10. Algebra				
			11. Algebra				
			12. Equations				
			13. Equations				
			14. Equations				
			15. まとめ				
到達目標		経営・国際環境経済の各分野で用いられ 語を運用できるようにする。	いる専門英語を習行	导し、各分野	について英語で理解を深め、		
事前・事後 学修の内容	-   東部に悪語窓囲な語り、海線明朗な働いでから製造に田田」でくおさい						
テキスト	Knut Sy	dsaeter, Peter Hammond, Arne Strom, and Andrès Carvaja	ajal. (2016) Essential Mathematics for Economic Analysis, 5th edition: Pearson.				
参考文献	文献 適宜紹介します。						
評価方法	平常点	平常点(受講態度や授業への積極性)50%、 課題 50%					

13年度以降		専門英語 b(経済理論)		担当者	山森 哲雄	
講義目的、詞	構義概要	ξ	授業計画			
経済理論やその応用に関する英語の文献を独力で読み進めるためには、数学の専門英語や証明の際の独特な言い回しなどに慣れ親しんでおく必要があります。 本講義では、理論分野の英語文献を独力で読む力を涵養することを目標に、下記のテキストを輪読します。高校数学や「経済経営数学入門」の学び直しとしての受講も歓迎します。			1. ガイダンス 2. Equations 3. Functions of One Variable 4. Functions of One Variable 5. Functions of One Variable 6. Functions of One Variable 7. Properties of Functions 8. Properties of Functions 9. Properties of Functions 10. Properties of Functions 11. Differentiation 12. Differentiation 13. Differentiation 14. Differentiation			
到達目標		経営・国際環境経済の各分野で用いられ 英語を運用できるようにする。	15. まとめ 1る専門英語を習行	导し、各分野	について英語で理解を深め、	
事前・事後 学修の内容		講読範囲を読み、練習問題を解いてから	5授業に出席して 4	ください。		
テキスト	テキスト Knut Sydsaeter, Peter Hammond, Arne Strom, and Andrès Carvajal. (2016) Essential Mathematics for Economic Analysis, 5th edition: Pearson.					
参考文献	献 適宜紹介します。					
評価方法	平常点	平常点(受講態度や授業への積極性)50%、 課題 50%				

13年度以降	専門英語 a (持続可能な開発)		担当者	米山 昌幸	
講義目的、詞	<b>構義概要</b>	授業計画			
先の 英 たがを 大 で 大 で ス 文 さ で ス 文 さ で ス 文 さ で で ス 文 さ で で ス 文 さ で で れ で ス 文 さ で で れ で れ 、 に に に に に に に に に に に に に	ゼミ論、卒業論文などを作成するときには、 文献研究が欠かせません。その際に、専門英語なければ、英字新聞記事、学術論文、著書など参照することができません。この授業では「持続可能な開発」をテーマにした取り上げて、専門分野の語彙力を身に付けな売み方を学ぶとともに、貧困撲滅や開発と環境の持続可能な開発について考えていきます。あらかじめ報告者を決めてテキストから読みといるように、報告して、報告してもらいます。設問の答えで、英文文献から必要な情報を取り出すことを売を目指します。	者決め)[テキ (Development ンロードでき;  \$http://www.wo bal/beg-en.htr 2~15. 以下の章 "1. What is deve "2. Comparing I "3. World Popul "4. Economic Ga "5. Income Ineq "6. Poverty and "7. Education" "8. Health and I	スト(予定)]] Education ます。 orldbank.org nl hob抜粋しで elopment?" Levels of Devation Growth rowth Rates" uality" Hunger"	h"	
<b>到達目標</b> 経済・経営・国際環境経済の各分野で用いられる専門英語を習得し、各分野について英語で理解を深る 専門英語を運用できるようにする。					
事前・事後	事前にテキスト範囲の予習を行って授業に臨みます。報告担当者は事前に報告レジュメを作成して提出し、				

	専門英語を運用できるようにする。					
事前・事後 学修の内容		事前にテキスト範囲の予習を行って授業に臨みます。報告担当者は事前に報告レジュメを作成して提出し、 授業後には授業中にもらったコメントにもとづいて報告レジュメの修正を行います。				
テキスト	授業記	十画に記載した	テキストを予定していまっ	<b>計が、第1回目の</b>	受業で指定し	ます。
参考文献	授業中にその都度、指示します。					
評価方法	基本的には試験の得点(100点満点)を評価基準(第1回目の授業で説明します)に照らして評価します。 それに、授業への貢献度を加味して評価します。					
_						
13 年度以降 専門英語 b (持続可能な開発)			担当者	米山 昌幸		
講義目的、講義概要			授業計画			
レポート、ゼミ論、卒業論文などを作成するときには、			1. ガイダンス(テキストと授業の進め方、次週の報告担当			

レポート、ゼミ論、卒業論文などを作成するときには、 先行研究の文献研究が欠かせません。その際に、専門英語 の読解力がなければ、英字新聞記事、学術論文、著書など 英文文献を参照することができません。

そこで、この授業では「持続可能な開発」をテーマにしたテキストを取り上げて、専門分野の語彙力を身に付けながら英文の読み方を学ぶとともに、貧困撲滅や開発と環境を両立させる持続可能な開発について考えていきます。

授業では、あらかじめ報告者を決めてテキストから読み解く設問を提示します。その設問に解答できるように、報告レジュメを作成して、報告してもらいます。設問の答えを探すことで、英文文献から必要な情報を取り出すことを意識した多読を目指します。

受講者は予習、復習が不可欠ですし、4回以上の欠席で 不可としますのでご注意ください。

# . ガイダンス(テキストと授業の進め方、次週の報告担当者決め)[テキスト(予定)]: Soubbotina, Tatyana *P.,*Beyond Economic Growth: An Introduction To

Bank, 2004. 2~15. 以下の章から抜粋して読んでいきます。

"9. Industrialization and Postindustrialization"

"10. Urban Air Pollution"

"11. Public and Private Enterprises: Finding the Right Mix"

Sustainable Development, Second Edition. World

- "12. Globalization: International Trade and Migration"
- "13. Globalization: Foreign Investment and Foreign Aid"
- "14. The Risk of Global Climate Change"
- "15. Composite Indicators of Development"
- "16. Indicators of Development Sustainability"
- "17. Development Goals and Strategies"

Soubbotina, Tatyana *P., Beyond Economic Growth: An Introduction To Sustainable Development, Second Edition.* World Bank, 2004.

1 , 2 0 01	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						
到達目標	経済・経営・国際環境経済の各分野で用いられる専門英語を習得し、各分野について英語で理解を深め、 専門英語を運用できるようにする。						
事前・事後 学修の内容	事前にテキスト範囲の予習を行って授業に臨み 授業後には授業中にもらったコメントにもとっ	。 球ます。報告担当者は事前に報告レジュメを作成して提出し、 づいて報告レジュメの修正を行います。					
テキスト	授業計画に記載したテキストを予定しています	上が、第1回目の授業で指定します。					
参考文献	授業中にその都度、指示します。						
評価方法	基本的には試験の得点(100点満点)を評価基 それに、授業への貢献度を加味して評価します	準(第1回目の授業で説明します)に照らして評価します。					

13年度以降	専門英語 a (国際資源関発学)		担当者	加賀爪 優
講義目的、講義	概要	授業計画		
論について、論 ともに、その理 る。 各学生に担当	、社会科学、特に経済学における分析方法 じた英文論文をえらび、内容を和訳すると 解能力と応用能力を高めることを目的とす 部分を正確に訳させたうえで、その論点を 応用方法について、幅広い視点から議論さ	3. 担当の英文文 4. 担当の英文文 5. 担当の英文文 6. 担当の英文文 7. 担当の英文文 7. 担当の英文文 10. 担当部分の 11. 担当部分の 12. 担当部分の 13. 担当部分の	英内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内	日容説明と割り当て この応用方法について議論 この応用方法について議論 この応用方法について議論 この応用方法について議論 この応用方法について議論 この応用方法について議論 この応用方法について議論 この応用方法について議論 この応用方法について議論 この応用方法について議論 この応用方法について議論 この応用方法について議論
	済・経営・国際環境経済の各分野で用いられ 門英語を運用できるようにする。	1る専門英語を習行	导し、各分野	について英語で理解を深め、
事前・事後 学修の内容	義目的・講義概要に記した内容に関連する情	青報を収集し、予	習・復習する	こと
テキスト 講	義中にプリントを配布する			
参考文献講	義中にプリントを配布する			
1 学师方法 1 💜	末試験の結果(80%)によって評価するが、 象とする	平常授業における	る課題レポー	トなどの実績 (20%) も評価

13 年度以降	專門英語 b (国際資源関発学)			担当者	加賀爪	優					
講義目的、講	<b>義概</b> 要	更					授業	計画			
この講義では、社会科学、特に経済学における分析方法とその適用結果の考察について、論じた英文論文をえらび、内容を和訳するとともに、その理解能力と応用能力を高めることを目的とする。 各学生に担当部分を正確に訳させたうえで、その論点を整理させ、その応用方法について、幅広い視点から議論させる。				論文をえら 応用能力を その論点を	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.	担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担担	英内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内	Y容説明と割りにおいたの応用方法ににつっての応用方法ににいるの応用方法法ににいるの応用方法法ににいるの応に用方法法ににいるの応に用方法法ににいるの応に用方法法ににいるの応に用方法法にいるの応に用方法ににいるの応にの応にいるの応にいるのでにいるのでにいるのでにいる。	いて 議論 論い いて でで 議論 論論 にいて でで でで でで でで でで でで でで でで でで で		
到達目標					済の各分		uる専	門英語を習ん	导し、各分野	について英語で	理解を深め、
事前・事後 学修の内容	講義目		講義概	要に記	 した内容	 に関連する情	青報を	収集し、予	図・復習する	こと	
テキスト	講義中	中にプ	リント	を配布	する						
参考文献	講義中	中にプ	リント	を配布	する						
評価方法	期末記 対象と		結果(	80%) (	によって	評価するが、	平常	授業における	る課題レポー	トなどの実績(2	20%)も評価

13 年度以降		専門英語 a(持続的開系	発目標: SDGs)		担当者	高安	健一	
講義目的、講	購義概要	<u> </u>		授業計画				
日本国内においても、2015年に国連で採択された「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記された持続的開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs) への関心が各方面で高まっています。SDGs は、途上国のみならず先進国も対象にした目標であり、大学生の関心事である教育を受ける権利、働き方改革なども達成すべき事項に含まれます。大学の社会的責任(USR)が問われるなか、全学ベースでSDGsの達成に取り組んでいる大学が国内にもあります。本講座では、SDGsに関わる報告書を読み進むことを通じて、途上国のみならず日本の学生にも身近な貧困、教育、雇用機会、健康などの課題への知見を深めていきます。授業では、英文を正確に訳出することを重視します。学生同士の意見交換、発表、そして動画の視聴などの機				2. 2015年に国	連で採択され 開発のための ě目標(SDG る発表等 企業によるS	., . , , , , , , , , , , , , , , , , ,	早を変革する: ダ」についての 告書の訳出	
剁達甘標	経済・経営・国際環境経済の各分野で用いられる専門英語を習得し、各分野について英語で理解を深め、 専門英語を運用できるようにする。							
事前・事後 学修の内容	テキストの指定された箇所の英文和訳。							
テキスト	教員カ	ドテキストのコピーを配右	ī					
参考文献	Ciorg	io Secondi ed., (2008) 7	The Developmen	nt Economics Rea	der			

授業での発言 (30%)、授業で提出する和訳 (70%)

評価方法

13 年度以降		専門英語 b(持続的開発目標: SDGs)		担当者	高安健一
講義目的、講	購義概要	Ę	授業計画		
		こも、2015年に国連で採択された「我々	1. 講義の目的、		
	, -	持続可能な開発のための2030アジェン	, , ,		た「我々の世界を変革する:
_		的開発目標 (Sustainable Development		開発のための	2030アジェンダ」 についての
		関心が各方面で高まっています。SDGs	解説	×	) ) . BB ) w 40 / . +
		っず先進国も対象にした目標であり、大			s)に関する報告書の訳出
		る教育を受ける権利、働き方改革なども	12-14. 学生によ	0,000	LZCDC OF MUZZE
		まれます。大学の社会的責任(USR)			よるSDGsへの取り組み事例
		を学べースでSDGsの達成に取り組んで	(ジョイセ)	<i>)</i>	
いる大学が国		oめりょり。 Gsに関わる報告書を読み進むことを通			
	•	GSに関わる報音音を読み進むことを通 :らず日本の学生にも身近な貧困、教育、			
		ごの課題への知見を深めていきます。授			
		年に訳出することを重視します。 ないになっているよう。 1文 でんぱん でんしょう でんしょう でんしょう でんしょ しょうしゅう はんしょう しゅうしゅう はんしょう はんしょ はんしょ はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ			
714 - 1 - 1		こればすることを重視します。   こ換、発表、そして動画の視聴などの機			
会も設けます		CIA, Tax, CO Canal Configuration of the Configurati			
		経営・国際環境経済の各分野で用いられ 芸語を運用できるようにする。	1る専門英語を習行	导し、各分野	について英語で理解を深め、
事前・事後 学修の内容	テキス	ストの指定された箇所の英文和訳。			
テキスト	教員カ	ジテキストのコピーを配布。			
参考文献	参考文献 Ciorgio Secondi ed., (2008) The Developmen			der	
<b>評価方法</b> 授業での発言 (30%)、授業で提出する和訳 (70%)					

13 年度以降 12 年度以前				担当者	大床 太良	गुड		
講義目的、講	養概要	5	授業計	画				
【講義目的】			第1回	イントロ	ダクション			
経済・経営・	・環境	<ul><li>情報分野に共通の数学的思考修得を</li></ul>	第2回	2元1次,	3元1次の連5	五方程式		
目的とし,201	13年月	と 以降の入学者は,原則「経済経営数学	第3回	3次の行列	列式の隠され	た性質		
入門」「統計学	入門	」の単位を修得済みの方を対象とする.	第4回	方程式·	関数・写像			
【講義概要】			第5回	2次元の~	ベクトル			
多様な分野の	の最i	<b>適化計算には線型代数というトピック</b>	第6回	2次元の数	めべクトル空	間R <sup>2</sup>		
の精神が利用る	されて	いる. 本講義では, その土台を固め,	第7回	線型写像	と行列(R2の	)場合)		
授業参加者それ	れぞね	1がテキストの問題を解き進めてもら	第8回	正則写像				
うことで,数学	学的•	論理的・抽象的思考の素養を高める.	第9回 逆写像と連立方程式					
秋学期の「約	径済紅	Z営数学b」とセットで開講するので、	第10回 消去法と基本変形					
春学期から通知	手で履	慢修し、高々20代までの年齢では、ある	第11回 R <sup>3</sup> 上の線型写像					
いはそれ以上	でも	公ずしも即座に役立ったり理解できた	第12回 ベクトル空間へ					
りするものでに	はない	ことを念頭に置いていただきたい.	第13回 ベクトル空間の例と基本概念					
特に第1回は	t, 講	義の進め方や単位の修得に関わる説明	第14回 小テスト1					
を行うので、』	必ず受	た講するようにお願いする.	第15回 小テスト2					
劉達日標		および経営学に必須の専門的数学知識を にする。	と習得し	、経済経常	営の諸モデル	を理論的に分析し、	概説でき	
事前・事後 学修の内容	テキス	トの問題を解き進めることで事前・事後	後の学修	とする. 彳	各種テストも	テキストから出題す	<sup>-</sup> る.	
テキスト 志賀浩二 (1988)『線形代数 30 講』 (数学 30 講			講シリー	-ズ),朝倉	拿書店			
参考文献	该当な	:L.						
<b>評価方法</b>	受業員	献(50%)・試験(50%).詳しくは,第	第1回の	イントロ	ダクションで	説明する.		

13 年度以降 12 年度以前		経済経営数学 b 経営数学 b			担当者	大床	太郎
講義目的、講	義概要	Ę.	授業計画	i			
【講義目的】			第1回 <	イントロ	ダクション		
経済・経営	<ul> <li>環境</li> </ul>	意・情報分野に共通の数学的思考修得を	第2回 基	甚底と次	元		
目的とし,20	13年月	度以降の入学者は,原則「経済経営数学	第3回 紛	泉型写像			
入門」「統計学	学入門	」の単位を修得済みの方を対象とする.	第4回 紛				
【講義概要】			第5回 ]	E則行列	と基底変換		
		<b>適化計算には線型代数というトピック</b>	第6回 🛚	E則行列	と基本行列		
_		ている. 本講義では, その土台を固め,	第7回 基				
		れがテキストの問題を解き進めてもら			の核と行列の	)階数	
		論理的・抽象的思考の素養を高める.	第9回 彳		導入		
	.,	圣営数学a」とセットで開講するので、	第10回 行列式				
		<b>鬘修し</b> ,高々20代までの年齢では,ある	第11回 行列式の性質				
	0 -	必ずしも即座に役立ったり理解できた	第12回 正則行列と行列式				
		いことを念頭に置いていただきたい.	第13回 基底変換から固有値問題へ				
		義の進め方や単位の修得に関わる説明					
21331117		受講するようにお願いする.	第15回		· <del>-</del>		
		学および経営学に必須の専門的数学知識を うにする。	を習得し、	経済経常	営の諸モデル	を理論的に分析	し、概説でき
事前・事後 学修の内容	テキストの問題を解き進めることで事前・事後の学修とする. 各種テストもテキストから出題する.						
テキスト	志賀浩二(1988)『線形代数 30 講』(数学 30 講シリーズ),朝倉書店.						
参考文献	該当な	ì.					
評価方法	授業員	貢献 (50%)・試験 (50%). 詳しくは、賃	第1回のイ	ントロ	ダクションで	説明する.	
							_

 13 年度以降
 上級マクロ経済学 a
 担当者
 山下 裕歩

 12 年度以前
 経済変動論 a

# 講義目的、講義概要

入門・初級のマクロ経済学では、ケインズ経済学と新古典派経済学の対応関係が中心的な視点である。しかし、1970年代以降、マクロ経済学は大きく変貌し、主流派の経済学では、ケインズ経済学対新古典派経済学という対応関係を視点とした上でのマクロ経済論争は建設的なものではないというコンセンサスが形成されるに至った。本講義では、マクロ経済学がどのように変わってきたのか、そして何故このような変化が起こったのか、またこのような変化の結果として政策的含意がどのように変化するのかなどを理解することを目的とする。また、様々なマクロ経済政策に対して、その是非を判断する際に、重要な視角を与えると考えられる経済学的諸論理を学ぶことも主要な目的である。

#### 授業計画

- 1. 新古典派総合(短期と長期)
- 2. マネタリズム
- 3. 新古典派経済学
- 4. マクロ経済学のミクロ経済学的基礎
- 5. インフレーション
- 6. 適応的期待
- 7. 合理的期待
- 8. 短期フィリップス曲線
- 9. 長期フィリップス曲線
- 10. 期待均衡
- 11. 資産市場と資産価格
- 12. ブレトンウッズ体制と IS-LM モデル
- 13. 新しい IS-LM モデル
- 14. マクロ経済政策
- 15. 動学的不整合性と経済政策のルール化

到達目標	学部上級レベルのマクロ経済学の知識を習得し、様々な経済事象を理論的に分析のうえ、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	講義時に出題される練習問題を解き、模範解答解説時に正誤を確認する。
テキスト	講義レジュメを配布する。
参考文献	『マンキューマクロ経済学I入門編』、グレゴリー・マンキュー著、東洋経済新報社
評価方法	定期試験 100%

13 年度以降       上級マクロ経済学 b         12 年度以前       経済変動論 b	台 山下 裕歩
--	---------

## 講義目的、講義概要

この講義では、マクロ経済現象としての経済変動を経済成長と景気循環の2つの視点から考察する。具体的には、右の講義計画に沿って、マルサス・モデル、ソロー・モデル、ラムゼイ・モデル、内生的成長モデル、実物的景気循環論などの様々な経済成長理論・景気循環理論を学ぶ。経済成長も景気循環も時間の流れを通じた経済現象であり、必然として「時間」という概念が入ってくる。時間の流れを明示的に経済理論に導入することは「動学化」と呼ばれている。「マクロ経済理論の動学化」という分析視角が何を意味するのか、またこの分析視角により政策的含意に対して具体的に何がもたらされるのか、これらのことを経済成長理論・景気循環理論を通じて理解することが本講義の主要な目的である。

- 1. 動学的マクロ経済モデル
- 2. 生産要素と生産関数
- 3. 経済成長論の概説
- 4. マルサス・モデル
- 5. ソロー・モデル
- 6. ラムゼイ・モデル
- 7. AK モデル
- 8. 人的資本モデル
- 9. 研究開発モデル
- 10. 統一成長理論
- 11. 所得格差と経済成長
- 12. 景気循環論の概説
- 13. 乗数加速度モデル
- 14. 実物的景気循環論
- 15. 不決定性と景気循環

到達目標	学部上級レベルのマクロ経済学の知識を習得し、様々な経済事象を理論的に分析のうえ、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	講義時に出題される練習問題を解き、模範解答解説時に正誤を確認する。
テキスト	講義レジュメを配布する。
参考文献	『マンキューマクロ経済学Ⅱ応用編』、グレゴリー・マンキュー著、東洋経済新報社
評価方法	定期試験 100%

09年度以降		ゲーム理論 a			担当者	藤山	英樹
講義目的、講	購義概要	ī.	授業計画	画			
経済学とは各個人の自由と利益を最大限に尊重する学問です.しかしながら、各個人の自由と利益が相反するときが往々にしてあります.そこでは駆け引きがうまれ、それをふまえた社会分析が必要となります.このための分析手法がゲーム理論です.ゲーム理論を学ぶことによって、各個人の自由と利益を最大限に尊重しつつ、社会状況を評価できるスキル(=エコノミックリテラシー)が身につきます.これによって、常識だけではなかなか到達できない社会認識と理解を得ることができます.ゲーム理論によって、ニュースなどで述べられる社会現象に対する意見・主張をうのみにせず、根拠を常に意識し、その根拠の妥当性を問い直し、自らの意見を導き出せるスキルが身につきます.			2. 3. 4. 5. 6. 7. 10. 11. 12. 13. 14.	最こ支(自(理市選小じ相(カ(「(もれ配最分応論場挙さゃ手応シ生カナの関係を開い物を開い物・カナットを開いが、・の学コシットをできる。	にいが芯合調れ戦つ識んえ昆人かのユち意なな戦の整よ略にがをる合とら結均や思とい略良ゲう的は大どに戦アの果衡し決い時といー(関どきうは略でルと進っとって判し、すずらとりのはゲカリ配「すずらのはゲカリ配」す	」を相手に取られ 見戦略とナッシュ (応用:複占市場 でるべきか(応月 とない(応用: はなか、(混合質 が変わらなき。	記戦略) (被支配戦略) せるには はるの関係) 場のがかり 場のがかり があり はいのの はいのの はいのの はいのの はいのの はいのの はいのの はいの
到達目標	D H -	Jな関係を分析するゲーム理論に関する具 t評価できるようにする。	専門知識を	を習得し、	プレイヤー	の意思決定や行	<b>f動を予測、あ</b>
事前・事後 学修の内容		に、学んだことを何も見ずに自分で説明 : り容易に理解できることにもつながりま		ようにする	ることを推奨	します.それか	び次回の授業内
テキスト 特に指定しません.							
参考文献	項目こ	どに変わってくるので、良書は授業時に	こその都具	度紹介しる	ます.		
評価方法	定期記	<b>紫験 100%</b>					

09年度以降		ゲーム理論 b			担当者	藤山	英樹
講義目的、講	義概要	5	授業計	画			
現実的な戦略的な状況では、時間をともなって意思決定が順番に行われることも多いです。春学期はこうした時間を明示的に考慮していませんでした。秋学期では、この点を含めていきます。時間を含めた分析をすることによって、誰が何を知って、何を知らないかという情報の重要性が明らかとなってきます。こうした分析を行うために、いくつかの専門的な概念が導入されます。 多くの概念がでてややこしい面もありますが、応用範囲は広く、相手の信ぴょう性、オークション、就活など様々な状況をより深く理解できます。ただし、安易な必勝法などないことも分かってきます。 ゲーム理論で社会をより深く理解するためのスキルを身につけましょう。			2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	時(相交過考部(よ(オ勘就質観ゲ(間展手渉去え分情りゲー違活の測ー繰を開のをの方ゲ報本ークいで悪でムりと形意有行の一集質ムシの勝いきを返	利動ぶム合的のままちずな非人合的のままちずな非に導わ、情ととのが関連で、は、田情とのかがいったとのが、大田情とのかが、大田情にのなり、大田ではな集異理でかた:(悲の繰んなり、大田ではなり、大田ではなり、	向は に に に に に に に に に に に に に	通牒ゲーム) 同き帰均衡) ふ完全らえ物 シアンカ 情報が一ム) ででででででででででいる。 はいかがでででででいる。 はいかがででででいる。 はいかがでででいますができます。 はいかができますが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これ
- 소川-子 ロ 7座		nな関係を分析するゲーム理論に関する↓ t評価できるようにする。	<b>与門知識</b>	を習得し、	プレイヤー	の意思決定や行	動を予測、あ
		らに,学んだことを何も見ずに自分で説明 こり容易に理解できることにもつながりま		ようにする	ることを推奨	します. それが	次回の授業内
テキスト	特に指	旨定しません.					
参考文献	<b>う文献</b> 項目ごとに変わってくるので、良書は授業時にその都度紹介します.						
評価方法	<b>去</b> 定期試験 100%						

09 年度以降		経済学史 a	担当者	黒木 亮		
講義目的、講	講義目的、講義概要					
論への理解を が実際に取り することにあ 講義の概要 近代自由主	本講義の目的は、経済学の形成過程を追体験し、経済理論への理解を深めてゆくための手がかりとして、経済学者が実際に取り組んだ問題や社会的背景、時代的文脈を考察することにある。			- 一	困と「人口の原理」 け 化 一、シスモンディー、リスト	
針達甘樗	.,	たの形成過程を追体験することで経済理論 は、時代的文脈について分析し、見解を提			実際に取り組んだ問題や社会	
事前・事後 学修の内容	毎回授	<b>受業時に配布するプリントや次回の講義</b> 簡	箇所の指摘等による	る教科書ない	し参考文献の復習および予習	
テキスト	ト 高哲男編『自由と秩序の経済思想史』名古屋大学出版会.					
参考文献	根井雅弘『経済学の歴史』講談社					
評価方法	・ レポートや試験答案の内容による評価が 100%					

09年度以降		経済学史 b		担当者	黒木 亮			
講義目的、講義概要			授業計画	授業計画				
講義の目的 本講義の目的は、経済学の形成過程を追体験し、経済理論への理解を深めてゆくための手がかりとして、経済学者が実際に取り組んだ問題や社会的背景、時代的文脈を考察することにある。 講義の概要 19世紀末の経済思想から、われわれの社会を支え、その将来を基礎づけるであろう今日の経済思想までを通覧する。			3. カール・メン 4·5. ジェヴォン 6·7. アルフレッ 「冷静な 8·9. ソースティ 大量生 10·11. ヨゼフ・ 企業者 11·12. ジョン・ 貨幣経 13·14. ケイン 新旧ケ	シュモラー: 観 ジャガーと マー 主観 ジャガーと マート で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	新歴史学派の社会政策思想 主義のミクロ経済学 ス:経済学の数理科学化 マル い心」の経済学 レン 社会の制度分析 ター が生み出すダイナミクス ・ケインズ 析			
到達目標		その形成過程を追体験することで経済理話 大、時代的文脈について分析し、見解を持			実際に取り組んだ問題や社会			
事前・事後 学修の内容	毎回接	受業時に配布するプリントや次回の講義領	適所の指摘等によ	る教科書ない	し参考文献の復習および予習			
テキスト	高哲男	景編『自由と秩序の経済思想史』名古屋力	大学出版会.					
参考文献	根井邪	佳弘『経済学の歴史』講談社.						
評価方法	レポートや試験答案の内容による評価が 100%							

09年度以降		日本社会史 a			担当者	新井 孝重
講義目的、講義	.概要	<u>;</u>	授業	計画		
毒矢、異形の巨式者達は、かつの念は、全土をででは、全土をででいる。 直面する危機にいる。一般を傷者でいる。 であが国の中世変わる。この変でる民族史的に日本の歴史学の中で	大て神どの社化本でて 単化本でて はながない。	戦艦、炸裂する火薬兵器、降りそそぐ ではまされ、蔓延する恐怖 類りの祈祷列島に変えていく。幕府は 対処したのか。そして、九州の武士は の後までを追う。 会はモンゴル戦争を画期にして大きく を歴史の発展であるのか、それとも単な の性質が変わったにすぎないのか、日 大きな問題である。本講義ではこのこ まずはモンゴル戦争(蒙古襲来)の実 、。	8 9 0 11 12 13	「世界」は世界」は世界合の計のにも的のは、地質画船ルム国警を開発を対象を対しては、対象を対しては、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	国吸身異違挫外国人石せ争見の引える戦が折征のが築ぬ期たに海造地戦のものが築いまれてのがのいた。	D作法 こか 事力 公
■劉達日樗		:会の歴史について専門知識を習得し、呼 なて分析のうえ、見解を提示できるように			ある、日本の	社会構造の変遷やその要因等
事前・事後 学修の内容	- 1 授 美 図 理 男 旧 夕 図 手 御 べ ち - / 一 ト に 終 押 :					
テキスト新	井孝	:重『蒙古襲来』吉川弘文館(教科書を必	∆ず携えて授業にのぞむこと)			
参考文献					<u> </u>	_

評価方法

テストの成績(100%)による。

09 年度以降	日本社会史 b				担当者	新井 孝重
講義目的、講	義概要	<del>.</del>	授業計画	Ī		
訴訟、権力中 不安と流動の 春学期の講	枢に勃 時代〜 ‡義を・	マゴル艦船、合戦恩賞を要求する武士の 対発するクーデタ、中世の日本は確実に 入る。 うけて秋学期では弘安合戦とそれ以降 が社会様相を観察する。	要求する武士の の日本は確実に ② かビラッ ③ 艦船、3 ④ 三度 目の ⑤ 刀創・5 ⑦ 幕府はる ⑧ 弘安徳國 ⑩ 祈祷の ⑪ 所軍事」 ⑫ 日元貿割			だを兵力に転用 こる相続争い の手柄を認めたか らったか デタと粛清 園にして祈り倒す 関係
針達日標		:会の歴史について専門知識を習得し、呼 なで分析のうえ、見解を提示できるように		土台では	ある、日本の	社会構造の変遷やその要因等
事前・事後 学修の内容	授業関	]連事項を図書館で調べる。ノートに整理	里する。			
テキスト	三重『蒙古襲来』吉川弘文館(教科書を必					
参考文献						
評価方法	テスト	- の成績(100%)による。				

09年度以降 日本経済史 a 担当者 市原 博

## 講義目的、講義概要

明治時代以降のおよそ1世紀の間、日本経済は目覚ましい経済成 長を遂げました。我々の現在の生活はその上に築かれたものです。 この講義では、こうした日本経済の成長がどのようにして実現し たのかを歴史的に考えます。国際的経済関係、政府の政策、企業 の主体的行動、国内市場の条件など、さまざまな要因に目配りし、 その歴史過程を総合的に考察します。また、その過程で活躍した 企業家の活動も取り上げます。

「現在」は歴史の積み重ねの上に存在します。それは「未来」 も歴史の延長上にあることを意味します。経済史の勉強を通じて、 現在の日本経済を相対化し、広い視野から「現在」と「未来」を 考える力を身につけていただきたいと思います。

この講義が扱う時期は、近代経済成長の前提が形成された徳川 | 12. 第一次世界大戦ブームと日本経済の構造変化 時代から、近代経済成長を経て経済構造の変化が求められ るようになった1920年代後半までです。

#### 授業計画

- 1. イントロダクション-日本経済史の問題関心
- 2. アーリー・モダンとしての徳川時代
- 3. 徳川時代の「経済社会」の形成
- 4. 幕末開港と日本経済の再編
- 5. 近代日本の経済成長のマクロ的概観
- 6. 松方財政と「松方デフレ」のもたらしたもの
- 7. 「企業勃興」の展開と輸出産業の役割
- 8. 日清戦後経営 | と金本位制度の確立
- 9. 日露戦争と国際収支の危機
- 10. 重工業化と大企業経済の成立
- 11. 財閥の形成
- 13. 1920年代「相対的高成長」と都市型消費社会の形成
- 14. 新型産業における企業者活動 15. 総括

到達目標	日本経済の歴史について専門知識を習得し、日本経済の成長過程やその要因等について分析のうえ、見解を提示できるようにする。
事前・事後 学修の内容	事前にプリントに目を通し、キーワードについて調べておいてください。
テキスト	ありません
参考文献	杉山伸也『日本経済史』岩波書店 沢井実・谷本雅之『日本経済史』有斐閣
評価方法	およそ小テスト・レポート 10%、定期試験 90%で評価します。

09年度以降 日本経済史 b 担当者 市原 博

#### 講義目的、講義概要

1929年の世界大恐慌を機に、世界の資本主義経済は、経 済活動への政府の介入を前提とする経済構造へと変貌し ました。この段階の資本主義経済は「現代資本主義」と呼 ばれてきました。本講義は、「日本経済史a」を踏まえて、 「現代資本主義」に移行する前後からの日本経済の成長・ 発展の過程を考察します。この時期の日本は、経済面のみ ならず、社会のあらゆる面で大変動を経験しました。政府 の財政政策による恐慌からの脱出、第二次世界大戦による 戦時統制経済への移行、敗戦後の経済改革と経済復興を経 て、日本を根本から変えた高度経済成長が始まり、その終 焉後に「経済大国」ともてはやされる時代が到来し、そし てバブル経済とその崩壊後の長期不況を経験しました。講 義では、1980年代に日本が経済大国」になり、やがてバブ ル経済に篤入していくまでを取り上げます。

- イントロダクション-現代資本主義の特徴
- 2. 金融恐慌の発生
- 3. 金解禁と井上財政
- 4. 昭和恐慌と高橋財政
- 戦時統制による計画経済への移行 5.
- 6. 戦後経済改革の歴史的意義
- 7. 経済復興政策の展開
- 8. 高度経済成長のメカニズム(1)投資、輸出
- 9. 高度経済成長のメカニズム (2) 技術革新
- 10. 高度経済成長と日本社会の変容
- 11. 企業経営の進化(1)企業間関係
- 12. 企業経営の進化(2)日本的経営
- 13. 高度経済成長の終焉
- 14. "Japan as No1"の時代
- 15. まとめ

到達目標	日本経済の歴史について専門知識を習得し、日本経済の成長過程やその要因等について分析のうえ、見解を提示できるようにする。
事前・事後 学修の内容	事前にプリントに目を通し、キーワードについて調べておいてください。
テキスト	ありません
参考文献	杉山伸也『日本経済史』岩波書店 沢井実・谷本雅之『日本経済史』有斐閣
評価方法	およそ小テスト・レポート 10%、定期試験 90%で評価します。

13 年度以降 12 年度以前		外国経済史 a 西洋経済史 a		担当者	御園生 眞		
現代経済のの特徴と問題 (注意事項) ①最新のシラ 望者は必ず ②出席は第1 ③試験は定期 う。 ④評価方法にある。 ⑤この授業に	①最新のシラバスを第1回の授業で配布するので、履修希望者は必ず出席すること。 ②出席は第1回より毎回取る。 ③試験は定期試験期間中に持ち込み無し、論述問題で行う。 ④評価方法は、2年生、3年生、4年生ともに共通である。  ⑤この授業は、a,bの順番で履修することを前提としている。  12			。 前ジリエ工術術技業シ業易業 半月 の	業の発展 D出現 共道の出現 数 R市場		
到達目標 事前・事後 学修の内容	を提え	外国経済の歴史について専門知識を習得し、外国経済の成長過程やその要因等について分析のうえ、見解 を提示できるようにする。 授業で紹介した参考文献を読む。					
テキスト	第1	授業で学んだトピックの重要な点をまとめる。 第1回の授業で説明する。					
参考文献 評価方法	,,,,,,	第1回の授業で説明する。 授業への参加度が 50%、定期試験の成績が 50%の基準で評価する。					

13 年度以降 12 年度以前		外国経済史 a 西洋経済史 a			担当者	御園生	具
してドイツを イギリスと比 (注意事項) ①最新のシラ 望者は必ず ②出席 は第1 ③試験 う。 ④評価方法は ある。	上 理 取 り 一 ご 出 は に 取 に で が 出 は ま い は 、 な は に れ ま は は は は は は は は は は は は は	て産業革命を展開した後発国の事例と 上げ、ドイツ産業革命の特徴と問題点を つつ考察する。 を第1回の授業で配布するので、履修希 つること。	2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14.	ガ序産産農産プドド技ドプイ論業業業業ロイイイ術イロダ(革革・革イツツツ教ツイン)前の地のン業業業の業ン	夜のドイツ経前提条件の刑制度の改革前提条件の刑主導による関係を展開(2 革命の展開(2 革命と産業打	が成(1)プロイセンi が成(2)ドイツ関税i 関税同盟の形成 1)綿工業 2)製鉄業 技術教育 と ・育成政策	改革
到達日標		経済の歴史について専門知識を習得し、タ そできるようにする。	外国経済	<b>斉の成長過</b> 種	呈やその要因	等について分析の	うえ、見解
	42 42 14	。 『紹介した参考文献を読む。 『学んだトピックの重要な点をまとめる。	·				
テキスト	第1回の授業で説明する。						
参考文献	第1回	回の授業で説明する。					
評価方法	授業~	への参加度が 50%、定期試験の成績が 50	)%の基	準で評価す	る。		

13 年度以降		社会経済史 a			担当者	新井 孝	重	
講義目的、講	<b>講義概</b> 要	<del>-</del>	授業計	·画				
<ul> <li>講義目的、講義概要</li> <li>◎中世は人々の暮らしの中に、宗教が色濃く影を落とした時代であった。この講座では、平安末期の源平争乱で焼かんしたりちょうげんけ落ちた東大寺と、これを再建した勧進聖重源の活動を観ることによって、中世社会に果たした仏教の役割を考えたい。</li> <li>(1) 東大寺を再建した男(2) 重源の時代</li> <li>(3) 信仰と経済</li> </ul>			2 3 4 5 6 7 8 9 10 10 10 13 4 4	出現した大 対象突に 重源の 生然と中の 大で を を が を の の の が の の が の の の の の の の の の の の の の	るか から運ぶか 群衆 一 黒田本ペくろよ くろよ 会 強 社会の出現	がのしょう) う)と飢餓・疫癘(	(えきれい)	
到達目標		≧済の歴史に関する専門知識を習得し、当 見解を提示できるようにする。	当時の経	済活動と初	土会経済の変	化との関わりについ	いて分析の	
事前・事後 学修の内容	授業队	<b>関連事項を図書館で調べる。ノートに整理</b>	里する。					
テキスト 新井孝重『黒田悪党たちの中世史』(NHKブ				ックス、本学ポータルサイトよりプリントアウトすること)				
参考文献	季重『楠木正成』(吉川弘文館)							
評価方法	試験反	<b>対績(100%)による。</b>						

13 年度以降	社会経済史 b		担当者	新井 孝重		
講義目的、講義	概要	授業計画				
伊賀国の黒田 敵対する戦国 とは何か、と に考えたい。 (1) 戦乱の (2) 自立す	時代であるとも言われている。本講座では 荘に展開した中世後期の村の自治生活を、 大名の動きとの関係で観察する。地域自治 いう問題を通じて民主主義の基礎を歴史的 中の伊賀 つる村 )コンミューン	<ul><li>④ 国人領主のの</li><li>⑤ 自立するのの</li><li>⑥ 南都党たのカコスを</li><li>⑧ 惣国のの規長の</li><li>⑩ 内部田信長る離り</li><li>⑪ 兵農分離と</li><li>⑬ 兵農分離と</li></ul>	侍のでは 特のでは 動ける が現のは でのの一平賀中制体 でのののででは でのののででは でのののででは でのののでは でのののでは でのののでは でのののでは でのののでは でののできる。 でののでは でののできる。 でののできる。 でののできる。 でののできる。 でののできる。 でののできる。 でののできる。 でののできる。 でののできる。 でののできる。 でののできる。 でののできる。 でののできる。 でののできる。 でいるでいるできる。 でいるできる。 でいるできる。 でいるでいるできる。 でいるできる。 でいるできる。 でいるできる。 でいるできる。 でいるできる。 でいるできる。 でいるできる。 でいるできる。 でいるできる。 でいるでいるでいるできる。 でいるできる。 でいるできる。 でいるできる。 でいるできる。 でいるできる。 でいるできる。 でいるできる。 でいるできる。 でいるでいるでいるでいるできる。 でいるでいるでいるできる。 でいるできる。 でいるではなできる。 でいるではなでいるではなできる。 でいるではなできる。 でいるではなできる。 でいるではなできる。 でいるではなできる。 でいるではなではなできる。 でいるではなできる。 でいるではなではなできる。 でいるではなできる。 でいるではなではなできる。 でいるではなではなではなではなではなではなではなではなではなではなではなではなではなで	过 过 适音		
	会経済の歴史に関する専門知識を習得し、≌ え、見解を提示できるようにする。	á時の経済活動と <b>á</b>	土会経済の変	化との関わりについて分析の		
事前・事後 学修の内容	業関連事項を図書館で調べる。ノートに整理	里する。				
テキスト新	井孝重『黒田悪党たちの中世史』(NHK ブ	,クス、本学ポータルサイトよりプリントアウトすること)				
参考文献新	井孝重『楠木正成』(吉川弘文館)					
評価方法 試	験成績(100%)による。					

09年度以降		経済統計論 a			担当者	深江 敬志	
講義目的、講郭	養概要	Ę	授美	<b></b> 			
経済統計とは	す, 彩	経済・社会現象を知り、学ぶために必要	1	イントロダク	クション		
なデータに関す	する基	基礎的な知識とともに, それらを分析す	2	統計データの	の読み方		
るための手法に	につい	ハて学習することを目指した学問であ	3	統計データの	の整理(統計調	査・統計資料の整理	
る. 近年, 情幸	報化の	)進展により、情報の形態のひとつであ	4	統計データの	の整理(統計図	]表)	
るデータをどの	のよ	うに取り扱うかが非常に重要となって	5	統計データの	り特性値(代表	(値・散布度)	
いる. 同時にラ	データ	を扱う統計学に対する必要性が高まっ	6	統計データの	り特性値(相関	]関係)	
ている. よって	て, オ	oれわれは現在容易に入手可能なデータ	7	標本と確率分	分布		
および図表を単	単純に	こ鵜呑みにするのではなく, それらが意	8	標本と確率を	分布		
味しているこ	とを	統計学に基づき正確に理解することが	9 標本分布と推定				
必要不可欠であ	あると	いえよう. したがって, 本講義では,	10 標本分布と推定				
わが国の統計制	制度は	および統計分類など,経済統計の基本を	11 回帰モデルによる統計的分析				
学び、そこで生	さ表公	れているデータや図表の内容を的確に	12 回帰モデルによる統計的分析				
把握し、かつる	それら	っを有効なものにするために、統計学の	13	回帰モデル	による統計的	为分析	
基本的な考え力	方につ	ついて理解することを目標とする.	14	まとめ			
			15	まとめ			
到達目標	圣済紛	だ計の専門知識を習得し、様々な社会現象	泉を数	女量化して分析	折のうえ、解	説できるようにする。	
事前・事後 学修の内容	<b>講義</b> 内	N容の理解を深めるべく計算問題演習を到	尾施す	ーーー つるが, その同	問題を復習し	講義に臨んでいただきたい.	
テキスト	テキストは特に指定しない.						
参考文献	講義時に,適宜レジュメおよび参考資料を配布し,それらに沿って講義を進める						
評価方法 分	定期詞	<b></b> 大験 70%, 小テスト 30% (1∼2 回程度	)				

09 年度以降	経済統計論 b			担当者	深江 敬志	
講義目的、講	<b>養概要</b>		授業	計画		
経済統計とは、経済・社会現象を知り、学ぶために必要なデータに関する基礎的な知識とともに、それらを分析するための手法について学習することを目指した学問である。近年、情報化の進展により、情報の形態のひとつであるデータをどのように取り扱うかが非常に重要となっている。同時にデータを扱う統計学に対する必要性が高まっている。よって、われわれは現在容易に入手可能なデータおよび図表を単純に鵜呑みにするのではなく、それらが意味していることを統計学に基づき正確に理解することが必要不可欠であるといえよう。したがって、本講義では、わが国の統計制度および統計分類など、経済統計の基本を学び、そこで公表されているデータや図表の内容を的確に把握し、かつそれらを有効なものにするために、統計学の基本的な考え方について理解することを目標とする。			2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	わが国の統計 人口と労働は 家計に関する 産業と企業は 個別産業に関 財政と金融は	<ul><li>売計データ</li><li>票準統計</li><li>十円関する</li><li>大関する</li><li>大関する</li><li>大製する</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li><li>大調</li>&lt;</ul>	
지수 다 뉴	\$\tau \cdot	たきしの古田を歌かれ、羽俎(こ) 松 たみ 九 八田 右	+ + *h		Ensa An	<b>当 云 七 フ ト ミ ル 十 フ</b>
	栓곍剂	記計の専門知識を習得し、様々な社会現象	アと致	里化しく分析	开切りえ、解	就 ぐさ るよりにする。
事前・事後 学修の内容	講義内	容の理解を深めるべく計算問題演習を写	尾施す	るが,その問	問題を復習し	講義に臨んでいただきたい.
テキスト テキストは特に指定しない.						
参考文献	参考文献 講義時に、適宜レジュメおよび参考資料を配布し、それらに沿って講義を進める					
評価方法	定期詞	<b>太験 70%</b> , 小テスト 30% (1∼2 回程度	)			

09年度以降 計量経済学a 担当者 藤山 英樹

## 講義目的、講義概要

何かの主張がなされるときに、それが単なる主観(思い 込み)ではなく、客観的な事実(データ)に裏づけられて いることは重要です、経済理論の主張もデータからの裏づ けが必要となります. その方法が「計量経済学」となりま す. 春学期は計量経済学の基礎として, 多変量回帰分析を 学び、複雑に絡み合う要因をデータから読み解くスキルを 身につけます.

なお、計量経済学を学ぶときには、(1) 数学的な導出を 含めて理論的に理解ができる,(2)直感的な理解のもと, ソフトウェアを使って分析ができる、(3) 直感的な理解の もと、数学的な導出も分析もできないが、書籍・論文に記 された分析結果を解釈できる,という3つのレベルを意識 しながら学ぶことが重要です. この点も授業で意識してい こうと思っています.

#### 授業計画

- 1. イントロダクション
- ある経済現象を他の要因で説明するということ 2. (数学的な定式化)
- 3. 相関と因果の違い

(モデルでとらえられていないことへの意識)

- モデルをデータから特定する方法 4.
- (最小二乗法と係数の決定) 5. 数学的な特定方法の導出
- 6. エクセルを用いた特定方法の確認
- モデルの説明力(決定係数) 7.
- 特定したモデルと現実との対応関係 8. (確率変数の分布の復習)
- 求めた係数の望ましさ(係数の不偏性,最小の分散) 9.
- 10. エクセルで望ましさ(不偏性)を確認してみよう
- 11. 変数をどのように選択?(過少,過剰,多重共線性)
- 12. モデルを信頼して良い1? (検定の考え方)
- 13. モデルを信頼して良い2? (制約と分布の工夫) 14. モデルを信頼して良い3? (F検定とt検定)
- 15. エクセルで検定をしてみよう

到達目標	計量経済学に関する専門知識を習得し、理論的に得られた経済モデルを実証分析のうえ、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	復習を中心とした学習を推奨します. 授業後は小テストの準備を行い, 疑問点があれば次の時間に質問をすると良いでしょう.
テキスト	特に指定しません.
参考文献	Wooldridge, Introductory Econometrics, 2016;藤山英樹『統計学からの計量経済学入門』2007
評価方法	授業初めの小テスト (80%),課題 (20%)

09年度以降 計量経済学 b 担当者 藤山 英樹

#### 講義目的、講義概要

前半は,春学期で学んだ多変量回帰分析を前提に,卒業 論文でも応用可能な,計量経済学の様々なスキルを学びま す. 関数形や説明変数を工夫するだけで、様々な分析が可 能となります.

後半は、多変量回帰分析で前提となった仮定を、より現 実的なものにすると、どのような修正がなされるかを学び ます. さらに、大標本理論という考え方を導入し、観測不 能な要因のもたらす影響と、その対処方法を理解します. これによって、書籍・論文に記された分析結果を理解する ことができます.

社会科学では、自然科学のような普遍的な法則を見つけ だすことは非常に困難です.

計量経済学を学ぶことによって,全ての社会現象・経済 現象への主張に対して、それをうのみにせず、その客観的 裏づけと、その限界を理解できるスキルが身につきます.

#### 授業計画

- 1. 計量経済学の考え方の復習
- 直線的でない関係の表現(関数形の工夫、交差項) 2.
- 3. エクセルで確認してみよう
- 男女の違い,季節の違いをどう表現? 4. (ダミー変数)
- 5. エクセルで確認してみよう
- 値そのものではなく、変化率%が影響をあたえる状況の表現(logを用いた変数) 6.
- 7. エクセルで確認してみよう
- より現実に近づけるために1 (分散の不均一性) 8.
- より現実に近づけるために2(系列相関) 9.
- 10. エクセルで確認してみよう
- 11. より高度な手法を理解するための準備 (大標本理論)
- 12. より現実に近づけるために3

(観測できない要因、測定誤差、同時決定の影響)

- 13. 観測できない要因, 測定誤差への対処法 (操作変数法)
- 14. 相関と因果について再考
- 15. 他の手法について

計量経済学に関する専門知識を習得し、理論的に得られた経済モデルを実証分析のうえ、解説できるよう 到達目標 復習を中心とした学習を推奨します.授業後は小テストの準備を行い,疑問点があれば次の時間に質問を 事前・事後 学修の内容 すると良いでしょう. テキスト 特に指定しません 参考文献 春学期の参考文献に加えて、Heiss, Using R for Introductory Econometrics, 2016 もおすすめです. 評価方法 授業初めの小テスト (80%), 課題 (20%)

-						
13年度以降		社会調査論 a		担当者	大床 太郎	
12 年度以前		標本調査論 a		,	JOHN JOHN	
講義目的、詞	冓義概要	Ę	授業計画			
【講義目的】			第1回 イントロ	ダクション・	社会調査史・研究倫理	
アンケー	ト調査の	の企画~調査票作成までができるよう	第2回 社会調査	の種類・流れ	・方法	
になることを	を目的と	こする.	第3回 ゴール・	将来像・概念	枠組み構築	
【講義概要】			第4回 即席アン	ケートの「辛	さ」を知る	
データのフ	入手方法	<b>とは様々あるが、社会科学においては社</b>	第5回 基礎情報	収集とスケジ	ジューリングとは	
会調査によ	るデー	タ入手が極めて重要である. 本講義で	第6回 リサーチ	クエスチョン	の設定とは	
は、グループ	プワーク	アによって、アンケート調査の企画~調	第7回 概念枠組み構築とは			
査票作成の作	乍業をし	してもらい,苦労を体験してもらう.	第8回 調査票設計のループ構造			
本講義作品	成データ	ファイルは「社会調査論b」にも用い,	第9回 プレテストとは			
春秋でセッ	ト開講す	トるため,原則,通年で履修すること.	第10回 調査票設計I: 草稿作成			
また,第 <sup>-</sup>	1回は,	講義の進め方や単位の修得に関わる説	第11回 調査票設計II:点検と修正			
明を行うたる	め, 必	ず受講すること. 第1回不参加者は学	第12回 企画プレゼンテーションI:プロット			
生・教員間の	のミスマ	アッチの可能性から受け入れないことも	第13回 企画プレゼンテーションII: アウトライン			
あると念頭に	こ置き、	チームへの貢献意欲などを高めるため	第14回 企画プレゼンテーションIII: 台本とスライド			
にも、自身や	やゼミσ	)調査研究テーマを必ず持ち込むこと.	第15回 調査企画プレゼンテーション			
到達目標	社会調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。					
事前・事後 学修の内容	- 「「「」「「「」」「「」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」「」「」「					
テキスト	テキスト 講義中配布.					
参考文献	参考文献 該当なし.					

授業貢献 (50%)・期末報告 (50%). 詳しくは,第1回のイントロダクションで説明する.

評価方法

講義目的、         授業計画           アンケート調査データの要約と報告ができるようになることを目的とする.         第2回 報告事例と調査票の最終調整           (講義概要)         第4回 入力・単純集計           本講義では、グループワークによって、アンケートに関わるデータ収集、分析作業と報告をしてもらう.特に、調査票については、春学期の「社会調査論a」で、完成形であることを前提とする。         第6回 基本となる2群比較:パラメトリック           表表でものがします。         第7回 基本となる2群比較:パラメトリック           また、第1回は、講義の進め方や単位の修得に関わる説明を行うため、必ず受講すること。第1回不参加者は学生・教員間のミスマッチの可能性から受け入れないこともあると念頭に置き、チームへの貢献意欲などを高めるためにも、自身やゼミの調査研究テーマを必ず持ち込むこと。         第11回 結果プレゼンテーションII:アウトライン第12回 結果プレゼンテーションII:アウトライン第12回 結果プレゼンテーションIII:ポスター作成第13回 報告の流儀II:採点基準第15回 調査結果ポスターセッション           到達目標と表調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。         第14回 報告の流儀II:採点基準第15回 調査結果ポスターセッション           財達目標と表調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。         第15回 調査結果ポスターセッション           財産目標と表示を設定し、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと。         特に事後に、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと。           テキスト 講義中配布.         接着中配布.           参考文献 該当なし.         接着就のよりのよりに対します。第1回のイントロダクションで説明する。	13 年度以降 12 年度以前		社会調査論 b 標本調査論 b		担当者	大床 太郎		
### 第2回 報告事例と調査票の最終調整	講義目的、講	購義概要	5	授業計画				
ることを目的とする. 【講義概要】 本講義では、グループワークによって、アンケートに関 わるデータ収集、分析作業と報告をしてもらう・特に、調 査票については、春学期の「社会調査論a」で、完成形で あることを前提とする。 春秋でセット開講するため、原則、通年で履修すること。 また、第1回は、講義の進め方や単位の修得に関わる説 明を行うため、必ず受講すること。第1回不参加者は学生・教員間のミスマッチの可能性から受け入れないことも あると念頭に置き、チームへの貢献意欲などを高めるためにも、自身やゼミの調査研究テーマを必ず持ち込むこと。  到達目標 社会調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。 事前・事後学修の内容 特に事後に、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと。  第3回 尺度・実査 第4回 入力・単純集計 第5回 基本となる2群比較:パラメトリック 第8回 主成分/因子分析の実際 第9回 最小二乗法活用の実際 第10回 結果プレゼンテーションII:ポスターの実際 第11回 結果プレゼンテーションIII:ポスターの実際 第11回 結果プレゼンテーションIII:ポスター作成 第13回 報告の流儀I:採点基準 第15回 調査結果ポスターセッション  到達目標 社会調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。 事前・事後学修の内容 すたます。 まずいまでは、グラストのでは、まずによりによります。 第14回 報告の流儀II:採点基準 第15回 調査結果ポスターセッション  まずいまでは、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと。 まずいまでは、アラストの	【講義目的】			第1回 イントロ	ダクション			
【講義概要】 本講義では、グループワークによって、アンケートに関 わるデータ収集、分析作業と報告をしてもらう。特に、調 査票については、春学期の「社会調査論a」で、完成形で あることを前提とする。 春秋でセット開講するため、原則、通年で履修すること。 また、第1回は、講義の進め方や単位の修得に関わる説 明を行うため、必ず受講すること。第1回不参加者は学 生・教員間のミスマッチの可能性から受け入れないことも あると念頭に置き、チームへの貢献意欲などを高めるため にも、自身やゼミの調査研究テーマを必ず持ち込むこと。  到達目標 社会調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。 事前・事後学修の内容 特に事後に、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと。 参考文献 該当なし。	アンケー	ト調査:	データの要約と報告ができるようにな	第2回 報告事例	と調査票の最	終調整		
本講義では、グループワークによって、アンケートに関 第5回 クロス集計の実際 第6回 基本となる2群比較:パラメトリック	ることを目的	りとする	5.	第3回 尺度・実	查			
おるデータ収集、分析作業と報告をしてもらう。特に、調 査票については、春学期の「社会調査論a」で、完成形で あることを前提とする。 春秋でセット開講するため、原則、通年で履修すること。 また、第1回は、講義の進め方や単位の修得に関わる説 明を行うため、必ず受講すること。第1回不参加者は学 生・教員間のミスマッチの可能性から受け入れないことも あると念頭に置き、チームへの貢献意欲などを高めるため にも、自身やゼミの調査研究テーマを必ず持ち込むこと。 到達目標 社会調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態 を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。 事前・事後 学修の内容 特に事後に、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと。 第6回 基本となる2群比較:パラメトリック 第7回 基本となる2群比較:パラメトリック 第8回 主成分/因子分析の実際 第9回 最小二乗法活用の実際 第10回 結果プレゼンテーションII:アウトライン 第12回 結果プレゼンテーションIII:ポスター作成 第13回 報告の流儀II:採点基準 第15回 調査結果ポスターセッション 社会調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態 を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。 事前・事後 学修の内容 特に事後に、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと。 テキスト 講義中配布. 参考文献 該当なし.	【講義概要】			第4回 入力・単	純集計			
		, .		第5回 クロス集	計の実際			
あることを前提とする. 春秋でセット開講するため,原則,通年で履修すること. また、第1回は、講義の進め方や単位の修得に関わる説明を行うため、必ず受講すること.第1回不参加者は学生・教員間のミスマッチの可能性から受け入れないこともあると念頭に置き、チームへの貢献意欲などを高めるためにも、自身やゼミの調査研究テーマを必ず持ち込むこと.  到達目標 社会調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。  事前・事後学修の内容 特に事後に、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと.  第8回 主成分/因子分析の実際第9回 最小二乗法活用の実際第10回 結果プレゼンテーションII: ポスターの実際第11回 結果プレゼンテーションIII: ポスター作成第13回 報告の流儀I: メンバーの配置第14回 報告の流儀I: 採点基準第15回 調査結果ポスターセッション  社会調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。  事前・事後学修の内容 対応により、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと.  ***********************************	わるデータ収	又集、分	分析作業と報告をしてもらう. 特に, 調	第6回 基本とな	る2群比較:/	ペラメトリック		
春秋でセット開講するため、原則、通年で履修すること. また、第1回は、講義の進め方や単位の修得に関わる説 明を行うため、必ず受講すること. 第1回不参加者は学生・教員間のミスマッチの可能性から受け入れないことも あると念頭に置き、チームへの貢献意欲などを高めるため にも、自身やゼミの調査研究テーマを必ず持ち込むこと. 第15回 調査結果ポスターセッション 社会調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。 特に事後に、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと.	査票について	ては、看	퇅学期の「社会調査論a」で,完成形で	第7回 基本とな	る2群比較:	ノンパラメトリック		
また,第1回は,講義の進め方や単位の修得に関わる説 第10回 結果プレゼンテーションI:ポスターの実際 明を行うため,必ず受講すること.第1回不参加者は学 第11回 結果プレゼンテーションII:アウトライン 生・教員間のミスマッチの可能性から受け入れないことも あると念頭に置き、チームへの貢献意欲などを高めるため にも,自身やゼミの調査研究テーマを必ず持ち込むこと. 第1回 報告の流儀I:メンバーの配置 第14回 報告の流儀II:採点基準 第15回 調査結果ポスターセッション 社会調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。 事前・事後 学修の内容 特に事後に、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと.	-> 0 = 0 0 13		•	第8回 主成分/因子分析の実際				
明を行うため、必ず受講すること。第1回不参加者は学生・教員間のミスマッチの可能性から受け入れないこともあると念頭に置き、チームへの貢献意欲などを高めるためにも、自身やゼミの調査研究テーマを必ず持ち込むこと。第1回 結果プレゼンテーションIII: アウトライン第12回 結果プレゼンテーションIII: ポスター作成第13回 報告の流儀I: メンバーの配置第14回 報告の流儀II: 採点基準第15回 調査結果ポスターセッション  到達目標 社会調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。  事前・事後学修の内容 特に事後に、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと。 テキスト 講義中配布. 参考文献 該当なし.				第9回 最小二乗法活用の実際				
生・教員間のミスマッチの可能性から受け入れないこともあると念頭に置き、チームへの貢献意欲などを高めるためにも、自身やゼミの調査研究テーマを必ず持ち込むこと。第12回 結果プレゼンテーションIII: ポスター作成第13回 報告の流儀I: メンバーの配置第14回 報告の流儀II: 採点基準第15回 調査結果ポスターセッション到達目標社会調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。事前・事後学修の内容特に事後に、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと。テキスト講義中配布.参考文献該当なし.			•	第10回 結果プレゼンテーションI:ポスターの実際				
あると念頭に置き、チームへの貢献意欲などを高めるためにも、自身やゼミの調査研究テーマを必ず持ち込むこと。 第13回 報告の流儀II: 採点基準第15回 調査結果ポスターセッション 社会調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。 特に事後に、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと。 テキスト 講義中配布. 参考文献 該当なし.				第11回 結果プレゼンテーションII:アウトライン				
にも,自身やゼミの調査研究テーマを必ず持ち込むこと. 第14回 報告の流儀II:採点基準 第15回 調査結果ポスターセッション 到達目標 社会調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。 事前・事後 学修の内容 特に事後に、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと. テキスト 講義中配布. 参考文献 該当なし.				第12回 結果プレゼンテーションIII:ポスター作成				
第15回 調査結果ポスターセッション  到達目標 社会調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。  事前・事後 学修の内容 特に事後に、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと。  テキスト 講義中配布。  参考文献 該当なし。		—						
到達目標 社会調査に関する専門知識、ならびに社会調査データの整理手法を習得し、人々の意識や行動などの実態を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。 事前・事後 学修の内容 特に事後に、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと。 テキスト 講義中配布。 参考文献 該当なし。	にも、自身や	りゼミの	)調査研究テーマを必ず持ち込むこと.					
到達日標を分析のうえ、結果を報告および解説できるようにする。事前・事後 学修の内容特に事後に、チームのテーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行うこと。テキスト講義中配布。参考文献該当なし。				NA = 4 14 14 14 14 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
学修の内容       特に事後に、チームのアーマに関する先行事例や基礎資料の収集を必ず行っこと。         テキスト       講義中配布。         参考文献       該当なし。	到達目標				生を習得し、	人々の意識や行動などの実態		
参考文献       該当なし.		特に事	事後に、チームのテーマに関する先行事例	列や基礎資料の収集	集を必ず行う	こと.		
	テキスト	講義中	¬配布.					
<b>評価方法</b> 授業貢献 (50%)・期末報告 (50%). 詳しくは, 第1回のイントロダクションで説明する.	参考文献	該当なし.						
	評価方法	授業貢献 (50%)・期末報告 (50%). 詳しくは, 第1回のイントロダクションで説明する.						

13 年度以降 12 年度以前			担当者	樋田 勉		
講義目的、講	<b>講義概</b> 要	ξ	授業計画			
現実の経済・ ります。講義 統計解り、就力 れにを養修 と注意】 1. 授業・課題 2. 統計学a,bの記 を済いる。	経営ラスト で	は、統計的データ解析の基礎を理解し、 データへの応用方法を習得することにあ 統計的データ解析の理論的な説明と、 エアRを利用する実習を併用します。こ データ解析の理解を深めるとともに応用 変量解析aでは回帰分析と判別分析を中 する積極的な取り組みが不可欠である。 基本的な知識を前提とする。原則として 得者を対象とする。 書等について、初回の授業で説明するの こと。	2. 1次元データ 3. 2次元データ 4. 2次元データ 5. 単純回帰分 6. 単純回帰分析 8. 重回帰分析 9. 重回帰分析 10. 重回帰分析 11. 回帰分析 12. 判別分析 13. 判別分析	マの分析(ヒシマの分析(散マの分析(クサイン) をいる (クリカー・ ) がられている (人の) がったい (人の) (人の) (人の) (人の) (人の) (人の) (人の) (人の)	ロス集計表) 注法、決定係数) 注法、決定係数) 注。自由度修正済み決定係数) での解釈) 利用) 法) 対の線形判別分析)	
			15. 判別分析の			
到達目標	<b>川達目標</b> 多変量解析に関する専門知識を習得し、多変			うえ、解説で	きるようにする。	
事前・事後 学修の内容	受講後	後に課題を解いて提出してください。				
テキスト	中村	(2009) 『多次元データ解析法』 共立出版	反.			
参考文献	授業中	で紹介				

評価方法

レポート (80%), 授業への参加度 (20%)

13 年度以降 12 年度以前					樋田 勉
講義目的、講	<b>義概</b> 要	5	授業計画		
現実の経済・ります。講義統計解り、統計のにより、統力を養いにすが、を中心に学し、「注意」 1. 授業・課題 2. 統計学と	経された計画を修正の変形を表れています。	は、統計的データ解析の基礎を理解し、 データへの応用方法を習得することにあ 統計的データ解析の理論的な説明と、 エアRを利用する実習を併用します。こ データ解析の理解を深めるとともに応用 変量解析bでは主成分分析とクラスタ分 ます。 する積極的な取り組みが不可欠である。 解析、統計解析ソフトウェアに関する基 エする。多変量解析aの単位取得者を対	2. 主成分分 3. 主成分分 4. 主成分分 5. 主成分分 6. 主成分分 7. クラスタ 8. クラスタ 9. クラスタ 10. クラスタ 11. クラスタ 12. いろいる 13. いろいる	所(分析方法の 所(主成分分析 所(主成分分分析 所のまとと 所が析が析ががががかる 分がががががかがかかな のでで を を を を を を を を を の の の の の の の の の	はと主成分負荷量) 所の活用1) 所の活用2) 則り方とクラスタの形成) ログラムと解釈) ぶ法) タ分析の活用)
到達目標	多変量	<b>上解析に関する専門知識を習得し、多変</b> 』	量データを分析の	つうえ、解説で	きるようにする。
事前・事後 学修の内容	- 上 严 譯 浴 に 弾 期 な 解 い て 担 申 し て と だ さ い				
テキスト	中村	(2009)『多次元データ解析法』共立出版	Ĩ.		
参考文献	授業中	『に紹介	-	-	
評価方法	レポー	- ト (80%), 授業への参加度 (20%)			

09年度以降	日本経済論 a	日本経済論 a			須藤 時仁
講義目的、講義	既要	授業	<b>禁計画</b>		
みや日本経済がある。講義を通か、また実際ののかにつ上げられていいがったで、 すう予定で、講の条経済望ましい。	遊的な経済理論をベースに日本経済 抱えている問題点を明らかにする じて、現実の日本経済がどうなって 経済現象が理論的にどのように説明 解してもらいたい。なお、新聞やニ ている経済問題も紹介しながら講 件というわけではないが、受講生は 経済学の基礎的な知識を学習して また、できる限り新聞や雑誌に目を きを理解するよう努めてもらいたい	もので 2. いるの 3. される 4. ュース 5. 義を 7. マクロ 8. いるこ 9. はして 10. 。 11. 12. 13.	設備投資の 設備投資の 資金調達と	算原成変循特要価向特決決設と則長遷環徴因格 徴定定備と関長遷環徴因格 数要要投因因質	資本ストックと金利 ≧業経営者の経済見通し
到達目標 基	遊的な経済理論を習得し、現代日本	経済の構造に	こついて理解、	分析のうえ	、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	- 1 議表登判は予めてップエイおくので、関連頂目を集前に読んでおいてください				
テキスト特	特定のテキストは使用せず、講義資料を各自でダウンロー			ダウンロードの	方法は初回の授業で説明します。
参考文献					
<b>評価方法</b> 定	定期試験 100%				

09年度以降		日本経済論 b			担当者	須藤 時仁
講義目的、講義概要 本講義は、基礎的な経済理論をもとに日本経済の仕組みや日本経済が抱えている問題点を明らかにすることを主眼としており、日本経済論 a の続編である。この講義では、民間経済主体の行動についての理解を前提として、政府の行動が経済に及ぼす影響、金融市場と実体経済との関係、世界経済と日本経済との相互の関係について理解してもらいたい。なお、本講義でも新聞やニュースで取り上げられている経済問題も紹介しながら講義を行う予定である。特に受講の条件というわけではないが、受講生はマクロ経済学とミクロ経済学の基礎的な知識を学習していることが望ましい。また、できる限り新聞や雑誌に目を通して現実の経済の動きを理解するよう努めてもらいたい。			2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	イントロダ 日本の非正 日本の物価 日本の物価 財政とは 財政と国債	状規動は 問 循シ特ー決 関 環ス徴ト定 展 の要 を を の 要 の 要 の 要 の 要 の 要 の 要 の 要 の と と と と ら り に り の の の の の の の の の の の の の の の の の	
	<b>基礎的</b>	]な経済理論を習得し、現代日本経済の権	構造に~	ついて理解、	分析のうえ	、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容 講義資料は予めアップしておくので、関連項			を事	前に読んでは	おいてくださ	۷۱ <sub>°</sub>
<b>テキスト</b> 特定のテキストは使用せず、講義資料を各自でダウント			ードし	てください。	ダウンロードの	方法は初回の授業で説明します。
参考文献						
<b>評価方法</b> 定	定期記	<b>以</b> 験 100%				

09年度以降 経済政策論 a 担当者 童 滴平

## 講義目的、講義概要

資本主義市場経済において、経済問題は主として市場メ カニズムを通じて解決されることになっている。しかし、 市場の失敗のように、市場メカニズムですべての経済問題 がうまく解決されるわけではないのである。政府は、この 市場の失敗を補完するために、資源配分機能、経済安定化 機能、富と所得の再分配機能という3つの役割を持ってい る。本講義は、これら3つの機能を、ミクロ経済学とマク 口経済学の知識を使用して説明することを通じて、受講生 の経済学理論への理解を深めるだけでなく、現実の経済問 題への分析力を養うことを目的とする。

経済政策論aにおいて、ミクロ経済政策を中心にその理 論的背景、経済政策的解決の効果を解説することにする。 理論だけでなく現実の経済現象を取上げて説明すること によって、受講生に具体性を与え、理解しやすいように心 掛ける。

講義は基本的にPPTを使用して行う。PPTは事前に大学 のPorTaに掲載する

#### 授業計画

- 第 1 回 ガイダンス
- 第2回経済システムと経済政策
- 第 3 回 経済政策のミクロ経済学の基礎(1)・消費者行動
- 第 4 回 経済政策のミクロ経済学の基礎(2)・生産者行動
- 第 5 回 資源配分効率の基準と消費者余剰
- 第 6 回 資源配分効率の基準と生産者余剰
- 第7回 自然独占とその対策(1)
- 第8回 自然独占とその対策(2)
- 第 9 回 外部経済とその対策
- 第10回 公共財と公共財の供給(1)
- 第11回 公共財と公共財の供給(2)
- 第12回 情報の不完全性・非対称性
- 第13回 情報の不完全性・非対称性の解決策
- 第14回 金融市場における情報の非対称性
- 第15回 金融市場における情報の非対称性の解決策

V) I OI I a (C)	<b>切取 タ つ</b> 。					
到達目標	経済政策に関する専門知識を習得し、様々な経済問題およびその解決法について理解、分析のうえ、解説 できるようにする。					
事前・事後 学修の内容	ミクロ経済学の基礎をしっかり固めること;PPT 資料を	授業の前に予習し、授業の後に復習すること。				
テキスト	指定しない。					
参考文献	1、岩田規久男・飯田泰之著『ゼミナール経済政策入門』日本	経済新聞出版社。2、横山将義『経済政策』成文堂;3、その他。				
評価方法	期末試験を行う。学期中数回小テストを行う。小芸	テストの解答を考慮して 30%、期末試験 70%				

経済政策論 b 09年度以降 担当者 童 滴平

#### 講義目的、講義概要

資本主義市場経済においては、経済問題は主として市場 メカニズムを通じて解決されることになっている。しか し、市場の失敗のように、市場メカニズムですべての経済 問題がうまく解決されるわけではないのである。政府は、 この市場の失敗を補完するために、資源配分機能、経済安 定化機能、富と所得の再分配機能という3つの役割を持っ ている。本講義は、これら3つの機能を、ミクロ経済学と マクロ経済学の知識を使用して説明することを通じて、各 受講生の経済学理論への理解を深めるだけでなく、現実の 経済問題への分析力を養うことを目的とする。

経済政策論bにおいて、まず、マクロ経済政策の目標と 政策手段としての財政政策と金融政策およびその有効性 を解説する。続いて、税制政策、経済安定政策、所得再分 配政策、中小企業政策、社会保障政策の順でマクロ経済政 策を理論的な背景、手段とその効果から解説する。理論だ けでなく現実の経済現象を取上げて説明することによっ て、受講生に具体性を与え、理解しやすいように心掛ける。 講義は基本的にPPTを使用して行う。PPTは事前に大学の PorTaに掲載する。

- 第 1 回 ガイダンス
- 第 2 回 経済政策のマクロ経済学の基礎
- 第 3 回 マクロ経済政策の目標
- 第 4 回 財政政策の役割
- 第 5 回 金融政策の基本
- 第 6 回 財政政策と金融政策の有効性
- 第7回 税制政策
- 第 8 回 経済安定政策
- 第9回 物価変動と経済政策
- 第10回 所得再分配政策
- 第11回 社会保障政策
- 第12回 日本の社会保障政策
- 第13回 労働政策
- 第14回 中小企業政策
- 第15回 日本の中小企業政策

到達目標	経済政策に関する専門知識を習得し、様々な経済問題およびその解決法について理解、分析のうえ、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	マクロ経済学の基礎をしっかり固めること;PPT 資料を授業の前に予習し、授業の後復習すること。
テキスト	指定しない。
参考文献	1、岩田規久男・飯田泰之著『ゼミナール経済政策入門』日本経済新聞出版社。2、横山将義『経済政策』成文堂;3、その他。
評価方法	期末試験を行う。学期中数回小テストを行う。小テストの解答を考慮して 30%、期末試験 70%

09年度以降	公共経済学 a				担当者	麻生	良文
講義目的、講義	<b>遠概要</b>		授業計画				
<講義の目的> 政府活動の根拠を理解し、望ましい政府活動のあり方を議論する。公共政策を標準的な経済理論にしたがって評価できるようになることが目的である。  <講義の概要> 政府活動の根拠は、市場の失敗に対する対処と所得の再分配にある。この講義では、市場の失敗とは何か、及びその対処法を中心に講義する。			3. 公共 4. 公共 5. 外部 6. 外部 7. 外部 8. 自然 9. 自然	の財財性性性独独上再年地資失(1((((よ占の分金方本)の金方本	(と政府の役割) にと政府の役割 (と政義 対の (立) を発 (立) といる (立) といる (立) といる (立) (立) といる (立)	的供給量 発的供給,中位 何か 理 排出権取引	
		公共部門諸活動に関する専門知識を習得 きるようにする。	<b>尋し、政府の</b>	市場介	入のあり方	、税制等につい	て分析のうえ、
事前・事後 学修の内容	事前にミクロ経済学をよく復習しておくこと。						
テキスト	『財政学 15 講』(麻生・小黒・鈴木,新世社,2018 年						
参考文献	『ミクロ経済学入門』麻生良文,ミネルヴァ書房			丰			
評価方法	トテス	ト・課題(30%), 定期試験(70%)。					

09年度以降	公共経済学 b			担当者	麻生 良文	
講義目的、講	義概要	Ę	授業計	画		
<講義の目的> 政府活動のための財源調達活動(課税や公債発行)が民間の経済活動に与える影響を講義する。望ましい税制がどのようなものか、財政赤字がどのような意味で問題なのかを理解してもらう。 <講義の概要> 租税の理論と財政赤字に関する理論を順に講義していく。租税の理論についてはミクロ経済学の応用という側面が大きい。財政赤字についてはマクロ経済学で扱われる内容が含まれている。				固別物品税 労働所得税 労働所得税 資本所得税 資本所得税 果税の長期 財政政策の	理論 の帰着(1) の帰着(2) (1) 労働供 (2) 応用 (1) 利子所 (2) 法人税 的効果 効果 ジオードの	死重損失 給の決定,死重損失 得税 と投資 本蓄積に与える影響
		)公共部門諸活動に関する専門知識を習得 できるようにする。	导し、政府	存の市場介	`入のあり方、	税制等について分析のうえ、
事前・事後 学修の内容						
テキスト 『財政学 15 講』(麻生・小黒・鈴木,新世社,2			2018年	Ę.		
参考文献 『公共経済学』麻生良文,有斐閣,1998年						
評価方法	小テス	スト・課題 (30%), 定期試験 (70%)。				

13 年度以降 12 年度以前		金融論 a 金融経済論 a		担当者	熊本	尚雄	
講義目的、講義概要 本講義の目的は、金融のミクロ経済学的な側面に関する理解を深めることである。すなわち、金融取引が行われている市場、金融取引を行っている経済主体(家計・企業・金融機関)に焦点を当て、金融の機能に関する洞察力を身につけることである。まず、どのような金融市場が存在するのか、金融取引、金利とは何か等の金融に関する基礎的な知識について説明する。その上で、各経済主体がいかなる意思決定の下で金融取引を行っているのかについて講義する。授業は講義形式で行う。			<ol> <li>講義のテーマと概要</li> <li>金融の基礎知識 1 (短期金融市場・長期金融市場)</li> <li>金融の基礎知識 2 (金利と債券の関係・割引現在価値)</li> <li>家計の金融活動(異時点間の貯蓄、消費決定・資産選択行動)</li> <li>資産選択の理論 1 (分散投資・期待効用最大化仮説)</li> <li>資産選択の理論 2 (平均分散アプローチ)</li> <li>資産選択の理論 3 (行動ファイナンス理論)</li> <li>企業の金融活動 1 (資金調達方法・MM 定理)</li> <li>企業の金融活動 2 (エージェンシー問題・コーポレートガバナンス)</li> <li>金融仲介の理論 1 (金融仲介機関の機能・銀行貸付と情報の非対称性)</li> <li>金融仲介の理論 2 (信用割当)</li> <li>中央銀行(中央銀行の機能・中央銀行の独立性)</li> <li>デリバティブ 1 (先渡取引・先物取引)</li> </ol>				
				<ul><li>14. デリバティブ 2 (オプション取引・スワップ取引)</li><li>15. 講義のまとめ</li></ul>			
針  達		全般に関する専門知識を習得し、市場経 こする。	- 斉における金融の	役割などにつ	いて分析のうえ	、解説できる	
事前・事後 学修の内容	・・・   授業の理解を恋めるために「選素!―――に耳べく復習・予製を十分に」た上では					ること。	
テキスト	特に指定しない。講義ノートに沿って講義する。						
参考文献	適宜、指示する。						
評価方法	定期試験(70%)、課題(30%)						

							_
13 年度以降 12 年度以前		金融論 b 金融経済論 b			担当者	熊本	尚雄
講義目的、講義概要			授業計画				
理解を深める 政策のメカ る。 まず、金融で (貨幣ので、位金融政策がと	る二、一般を表がった。これ、一般を表示を表示を表示を表示した。	金融のマクロ経済学的な側面に関するである。すなわち、中央銀行が行う金融に関する分析力を身につけることであた理解する上で必要となる概念や理論、貨幣供給・需要)について説明する。非伝統的な金融政策について説明し、いに市場に影響を与え、市場がどのようがメカニズムについて講義する。ご行う。	2. 貨貨貨貨幣幣幣幣幣幣幣 整整 整	と供需需)需政政云云云方と、金給要要 要策策統統紀・金給要要 要策策統統紀・金融・金融・金融・・金融・・金融・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(貨幣の歴史・義・フリックを表して) (貨幣の歴史 表・フリック を表・フリック を表・フリック を表・フリック を表・フリック を表して まった (18年の	マネーストック系 、ム・信用乗数) 幣の保有動機) 券価格、金利との 庫アプローチ) 手段) 析) 口金利政策)	関係・流動性選グ・フィッシャ)
到達目標	金融全般に関する専門知識を習得し、市場経済における金融の役割などについて分析のうえ、解説できるようにする。						
事前・事後 学修の内容	授業の理解を深めるために、講義ノートに基づく復習・予習を十分にした上で授業に出席すること。						
テキスト	特に指定しない。講義ノートに沿って講義する。						

参考文献

評価方法

適宜、指示する。

定期試験 (70%)、課題 (30%)

09年度以降		金融システム論 a	融システム論 a		熊本 尚雄
講義目的、講義概要 本講義の目的は、わが国の金融制度の概要を理解し、金融機関、ならびにそれに対する様々な規制に関する知識を修得することである。 まず、わが国の金融システムの変遷、金融市場、ならびに金融機関とそれに対する規制について説明する。その上で、金融の自由化、グローバル化が進展する中で、各金融機関はどのような方向へ変貌しつつあるかという点についても講義する。 授業は講義形式で行う。			3. 金融の基礎知識 4. 金融仲介の理論 金融仲介の機能 5. 金融業の特徴 2 7. 規制の理論 1 ( 8. 規制の理論 2 ( 9. 不良債権問題 1 10. 不良債権問題 1 11. 中央銀行 (中 12. 金融危機 1 ( 13. 金融危機 2 ( 13. 金融危機 2 (	は1 (短期金融r は2 (短期金融r は2 (金和金融・ に) (銀保・ (銀保) (銀保) (銀保) (現保) (現保) (現保) (現保) (現保) (現保) (現保) (現	・早期是正措置) ・最後の貸し手機能) 定義) 直接償却) ・中央銀行の独立性) ・一ン問題・発生メカニズム) ・対応)
到達目標		/ステムに関する専門知識を習得し、日ネ )うえ、解説できるようにする。	14. 証券市場改革(日本版 401k・ペイオフ) 15. 講義のまとめ 本や諸外国の金融に関する制度的枠組、金融機関等について		
事前・事後 学修の内容	授業の	)理解を深めるために、講義ノートに基~	づく復習・予習を-	十分にした上	で授業に出席すること。

特に指定しない。講義ノートに沿って講義する。

定期試験 (70%)、平常講義の中で課す小レポート・課題 (30%)

適宜、指示する。

テキスト

参考文献

09年度以降	3	金融システム論 b		担当者	熊本 尚雄	
講義目的、講義	義概要		授業計画			
本講義では、実際に生起している現象を念頭に置きつつ、これらの国際金融に関わる諸問題(為替相場の決定、為替相場制度、国際収支、通貨危機、通貨統合など)を理論的に解明し、その発生メカニズムについて説明する。授業は講義形式で行う。			1. 講義のテーマと概要 2. 国際金融における基礎知識 1 (開放経済と国民所得勘定) 3. 国際金融における基礎知識 2 (国際収支と為替相場) 4. 為替相場の決定 1 (商品裁定・購買力平価) 5. 為替相場の決定 2 (金利裁定・金利平価) 6. 為替相場の決定理論 (マネタリーアプローチ) 7. 国際収支の決定理論 (弾力性アプローチ) 8. 為替相場制度 (為替相場制度の種類・為替介入) 9. 通貨危機 (欧州通貨危機・アジア通貨危機) 10. 通貨危機の発生メカニズム (第1・第2・第3世代モデル) 11. 通貨危機後の国際・地域金融協力 (CMI・ABMI・AIIB) 12. 財政・金融政策の効果 1 (IS・LM・BP 曲線) 13. 財政・金融政策の効果 2 (IS・LM・BP 分析・国際金融のトリレンマ) 14. 通貨統合 (最適通貨圏・欧州通貨統合・円の国際化) 15. 講義のまとめ			
針 達   樗		ステムに関する専門知識を習得し、日本 うえ、解説できるようにする。	や諸外国の金融に	こ関する制度	的枠組、金融機関等について	
事前・事後 学修の内容	授業の理解を深めるために、講義ノートに基づく復習・予習を十分にした上で授業に出席すること。					
テキスト 特に指定しない。講義ノートに沿って講義する。						
参考文献 通	適宜、指示する。					
評価方法 定	定期試験(70%)、課題(30%)					

09年度以降	財政学a			担当者	野村	容康	
講義目的、講	購義概要	5	授業計	一画			
とな受解身 講前なるる。 とりのは、 のよを深つ 概期が理。 とりのは、 、、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ぶすこえま ごす女は、国政、実し ちの倩政の学財のい らの倩政	放赤字、税制改革、年金改革、公共事業 才政問題を考えていく際の手掛かりと の基礎的事項について概説する。本講の 故の基礎的な制度とその機能について理 才政問題について自分なりに考える力を いと言えば政府の支出活動面に重点を置 態能とわが国財政の現状、公共支出に関 務の問題、公的年金問題等について解説 所収入の中で最も重要な租税に関する議 変、税制改革論等)に焦点を絞って授業	2. 月 3. 月 4. 二 5. 道 6. 2 7. 月 8. 万 9. 万 10. 本 11. 才 12. 2 13. 4	財材予資公材所所輔わ公公材の政政算源共政得得助が債的政民学原配財政分再金国の老担のの表別分の策配分と財制齢融を主歴の理のと配価政度年資	調整機能 離 調論 調論 調子 調子 調子 の経済 制 状 温 は 理 は は は は は は は は は は は は は は は は は	頁域	
到達目標	国家財政に関する専門知識を習得し、財政赤字、税制改革、年金改革といった諸問題について分析のうえ解説できるようにする。					て分析のうえ、	
事前・事後 学修の内容		講義で解説した専門用語について復習し、理 もって講義に臨むこと。	解してお	らくこと。予	めテキストの	核当箇所を読み、	自分なりの問題

原則として定期試験の成績で評価する (100%)。レポートを加味する場合がある。

テキスト

参考文献

評価方法

八巻節夫編『新財政学』文眞堂

09 年度以降	財政学b				担当者	野村 容康	
講義目的、講	義概要	E C	授業計	画			
講義目的 本講義では、財政赤字、税制改革、年金改革、公共事業といったわが国の財政問題を考えていく際の手掛かりとなるように財政学の基礎的事項について概説する。本講の受講を通じて、財政の基礎的な制度とその機能について理解を深め、現実の財政問題について自分なりに考える力を身につけてほしい。 講義概要 前期は、どちらかと言えば政府の支出活動面に重点を置きながら、財政の機能とわが国財政の現状、公共支出に関する理論、政府債務の問題、公的年金問題等について解説する。後期は、政府収入の中で最も重要な租税に関する議論(租税理論、制度、税制改革論等)に焦点を絞って授業を進める。			2.       3.       4.       5.       6.       7.       8.       9.       10.       11.       12.       13.       14.	租税とはーオリエンテーション 租税の根拠と負担配分 租税の基礎的概念 課税の水平的公平 課税の垂直的公平 課税の中立性 公平と中立のトレードオフ 租税の転嫁と帰着 包括的所得税論 . 支出税と最近の税制改革論 . 日本の租税体系 . 個人所得課税 . 法人所得課税と二重課税問題 . 間接消費課税と資産課税 . まとめ			
到達目標	1.	   対政に関する専門知識を習得し、財政赤字であるようにする。	字、税制改	<b>女革、年金</b>	:改革といった	に諸問題について分析のうえ、	
学修の内容	意識を	講義で解説した専門用語について復習し、理 もって講義に臨むこと。	解しておぐ	くこと。予	めテキストの記	亥当箇所を読み、自分なりの問題	
テキスト	八巻領	方夫編『新財政学』文眞堂					
参考文献	考文献						
評価方法	<b>5万法</b> 原則として定期試験の成績で評価する(100%)。レポートを加味する場合がある。						

09年度以降	地方財政論 a			担当者	金田	美加		
講義目的、講義	機要		授業記	十画				
本講義は、地	1方則	政の基本的な知識を習得し、わが国の	1.	ガイダン	ス(講義の内	容と進め方)		
地方政府の活動	助を記	<b>倫理的な視点で考えることができるよ</b>	2.	公共財・	地方公共財の	定義と地方政府	守	
うになることを	目的	」とする。そのため、地方財政の基礎理	3.	地方財政	の機能と役割			
論を学んでいく	0		4.	地方財政	の現状(地方	財政の構造なる	ビ)	
地方財政論aでに	は、	地方財政の現状と役割、公共財の理論	5.	地方税原	則と税源配分			
を中心に取り上	上げる	る。講義では毎回資料の配布を予定す	6.	地方税の	現状(租税収	入、国際比較力	など)	
る。			7.	国と地方	の財政関係①	)(地方財政計画	画など)	
なお、履修に	あた	っては、ミクロ経済学、公共経済学、	8.	. 国と地方の財政関係②(補助金制度など)				
および財政学に	.関す	る基礎的な知識があると望ましい(ま	9.	. 地方債				
たは、基礎的な	よ知証	戦を得ようとする意欲があると望まし	10.	0. 外部性の理論 (正の外部性と負の外部性)				
⟨ <b>`</b> ) 。			11.	11. 公共財の理論① (公共財の最適配分)				
			12.	12. 公共財の理論② (リンダールメカニズムなど)				
			13.	13. 公共財の理論③ (中位投票者定理など)				
			14.	14. 地方公共財とスピルオーバー問題				
			15.	まとめ				
	1方財 <sup>-</sup> る。	政に関する専門知識を習得し、金銭的な	な面から	地方自治体	本の役割を分	析のうえ、解説	やできるように	
	・回に こと	取り組んだ問題は必ず自分で解いて復習。	引する、	項目につい	いては語句説	明文を作成する	等の復習を行	
<b>テキスト</b> テ	テキストは特に指定しない。ポータルの「講義連絡」にて毎回資料を配布する。							
参考文献 佐	文献 佐藤主光 (2009)『地方財政論入門』新世社。その他、ガイダンスおよび講義内に紹介する。							
<b>評価方法</b> 定	期討	験(100%)により評価する。(試験は丼	寺込不可	了。単位 <i>修</i> 行	<b>导は定期試験</b>	が 60 点以上で	あること。)	

09年度以降	华 地方財政論 b			担当者	金田 美加			
講義目的、講	講義目的、講義概要							
本講義は、	地方則	す政の基本的な知識を習得し、わが国の	1.	ガイダン	ス(講義の内	容と進め方、前期の復習)		
地方政府の流	舌動を	論理的な視点で考えることができるよ	2.	租税の各	論①(所得課	税と消費課税		
うになること	とを目的	りとする。そのため、地方財政の基礎理	3.	租税の各	論②(資本課	税)		
論を学んでV	\< °		4.	地方分権	化定理とティ	ボー理論		
地方財政論b	では、	租税による外部性と政府間補助金の理	5.	租税によ	る外部性と地	l方財政①(租税輸出)		
論を中心に取	対り上に	ずる。講義では毎回資料の配布を予定す	6.	租税によ	る外部性と地	l方財政②(重複課税)		
る。			7.			方財政③(同時手番ゲーム)		
		こっては、ミクロ経済学、公共経済学、	8.	租税によ	る外部性と地	l方財政④(租税競争)		
,		「る基礎的な知識があると望ましい(ま	9.	所得再分配機能と地方政府				
たは、基礎的	的な知言	戦を得ようとする意欲があると望まし	10.					
ν·)。			11.	政府間財政移転の理論②(逐次手番ゲーム)				
			12.			③ (ソフトな予算制約など)		
			13.	20. SOUTHANDS NAME OF A 1 3/4/10				
			14.	3013114111130222				
			15.	まとめ				
到達目標	地方則する。	<b> </b>	な面から	地方自治体	本の役割を分	析のうえ、解説できるように		
事前・事後 学修の内容	各回に うこと	工取り組んだ問題は必ず自分で解いて復習 :。	留する、 	項目につい	ハては語句説	明文を作成する等の復習を行		
テキスト	テキス	ストは特に指定しない。ポータルの「講講	<b>虔連絡</b> 」	にて毎回資	資料を配布す	る。		
参考文献	佐藤主光 (2009) 『地方財政論入門』新世社。その他、ガイダンスおよび講義内に紹介する。							
評価方法	定期記	<b>【験(100%)により評価する。(試験は</b>	寺込不可	。単位修行	 	が 60 点以上であること。)		

09 年度以降 環境経済学 a 担当者 担当者 浜本 光紹

# 講義目的、講義概要

「環境経済学a」では、環境破壊がなぜ起こるのか、環境を保全するためには社会や経済の仕組みをどのように改革していく必要があるのかを、経済学をはじめとした社会科学の視点で考えていきます。講義では、経済学で多用されるような数学の使用をできるだけ避けて、図を用いたり事例を挙げたりしながらわかりやすく環境と経済・社会のつながりについて解説していきます。

この講義では、「環境と経済はどのように関連しているのか」「消費者や企業が環境に配慮した行動をとるようになるにはどうしたらよいのか」「環境を保全することは社会にとってどれだけの経済的なメリットがあるのか」「自然破壊や環境汚染などの問題にもし直面した場合、どんな解決策がありうるのか」といったことなどに関心を抱く学生に受講をお勧めします。

# 授業計画

- 1. ガイダンス
- 2. 環境経済学とはどういう学問か
- 3. 分析の視点・道具の解説
- 4. 外部不経済とは何か
- 5. 費用便益分析の基礎
- 6. 費用便益分析の環境問題への応用と課題
- 7. 住宅価格を利用した環境価値の計測方法
- 8. 旅行費用を利用した環境価値の計測方法
- 9. アンケートによる環境価値の計測方法
- 10. 環境価値の計測をめぐる課題
- 11. 分権的アプローチによる環境管理
- 12. 私法的アプローチによる環境管理
- 13. 中央集権的アプローチによる環境管理
- 14. 環境保全における政府の役割
- 15. まとめ

到達目標	環境経済学に関する専門知識を習得し、地球温暖化といった環境問題に対して経済学的にアプローチして 分析のうえ、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	テキストの指定箇所を事前に読んでおくようにしてください。また,さらに進んだ学習のために,講義中 に指示した参考文献・資料を事後に購読・閲覧してください。
テキスト	浜本光紹『環境経済学入門講義 改訂版』(創成社,2017年)
参考文献	浜本光紹監修・獨協大学環境共生研究所編『環境学への誘い』(創成社, 2016年)
評価方法	定期試験 70%, 講義で提示される課題への取り組み 30%

09 年度以降 環境経済学 b 担当者 浜本 光紹

# 講義目的、講義概要

「環境経済学b」では、地球温暖化問題やエネルギー問題、廃棄物問題を題材としながら、環境保全と経済発展の双方を実現するためには現在の社会・経済のシステムや制度をどのように変革していかなければならないかを考えていきます。講義では、経済学で多用されるような数学の使用をできるだけ避けて、図を用いたり事例を挙げたりしながらわかりやすく地球環境問題への対処法のあり方について解説していきます。

この講義は、「地球温暖化防止のために国際社会は何を やってきたのか」「国内のみならず地球規模の環境保全を 実現するためにはどんな手段が有効なのか」「エネルギー を安定的に確保しながら地球温暖化対策を進めていくた めにはどうしたらよいのか」といったことなどに関心を抱 く学生に受講をお勧めします。

- 1. ガイダンス
- 2. 地球温暖化をめぐる国際交渉の経緯
- 3. 京都議定書はどうなった?
- 4. そしてパリ協定へ
- 5. 環境政策の理論:安上がりに汚染を削減するには?
- 6. 環境政策の理論:環境税はどう機能するか
- 7. 環境政策の理論:排出権取引はどう機能するか
- 8. 廃棄物問題の考え方:循環型社会をどうつくるか
- 9. 環境税の実際:欧州ではどんな工夫がなされたか
- 10. 排出権取引の実際:米国はなぜ導入したか
- 11. 排出権取引の実際: SO<sub>2</sub>排出許可証取引の成果
- 12. EU における温室効果ガスの国際的排出権取引制度
- 13. 地球温暖化防止に向けた国際協調はどうなる?
- 14. 環境・エネルギーと経済をめぐる諸課題
- 15. まとめ

到達目標	環境経済学に関する専門知識を習得し、地球温暖化といった環境問題に対して経済学的にアプローチして 分析のうえ、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	テキストの指定箇所を事前に読んでおくようにしてください。また, さらに進んだ学習のために, 講義中 に指示した参考文献・資料を事後に購読・閲覧してください。
テキスト	浜本光紹『環境経済学入門講義 改訂版』(創成社,2017年)
参考文献	浜本光紹『排出権取引制度の政治経済学』(有斐閣,2008年)
評価方法	定期試験 70%, 講義で提示される課題への取り組み 30%

09年度以降	環境政策論 a		担当者	塩田 尚樹		
講義目的、講義	概要	授業計画				
現代社会が直	面する深刻な環境問題である地球温暖化	1. 授業のねらい	と方針			
問題と原子力発	電に関わる問題について概観し環境問題	2. 地球温暖化と	その原因物質	質		
についての具体的	的なイメージを深めた後、環境問題の自発	3. 地球温暖化に	関する議論の	の経緯		
的解決の困難さ	と公的機関による政策の必要性について	4. 気候変動枠組	l条約と京都詞	義定書		
非協力ゲーム理語	論を使って検討します.	5. 京都メカニス				
「一人ひとりぇ	が個別に望ましい行動をとった結果が,社	6. パリ協定				
会を構成するメ	ンバーの満場一致によって支持される改	7. 石炭までのエネルギー利用の歴史				
善の余地を残する	残念な結果となるため, 公的機関による介	8. 石油・天然ガスの利用				
入の必要がある」	という環境問題の特徴が,よく理解でき	9. 原子力エネルギーとは				
ると思います.		10. 原子力事故				
「各人の授業を	を受ける権利」は「他の人の授業を受ける	11. 放射性廃棄物の処分				
権利」を侵害した	ない範囲内で行使されるべきだと考えます	12. 環境政策の必要性の判断基準				
ので、授業態度の	のよくない人には退出してもらいます.	13. 環境問題のモデル化				
		14. 合成の誤謬				
		15. まとめ				
■ 糾 達 日 標     ´ ` ` `	環境問題に関する専門知識を習得し、公的機関による政策の必要性・効率性について経済学的に分析のう え、解説できるようにする。					
事前・事後学修の内容	「公共経済学」・「環境経済学」などを併せて履修すると、相互に理解が深まります.					
テキスト国	立環境研究所「環境展望台」のウェブ上の資	資料を授業中に紹介	个します.			

鬼頭昭雄(2015)『異常気象と地球温暖化 ―未来に何が待っているか』岩波書店

定期試験 100%. ただし、講義中の私語などの迷惑行為で減点する場合があります.

参考文献

09 年度以降	環境政策論b			担当者	塩田 尚樹		
講義目的、講義	<b>長概</b> 要	ē c	授業計画				
環境政策の手	<b>=段</b> €	)有効性について、ミクロ経済学の立場	1. 授業のねらい	と方針			
から考察します	璟	環境問題の具体的なトピックとしては,	2. 経済循環と物	質収支			
主に地球温暖化	1問題	夏を取り上げます.	3. 汚染物質排出	出量の総量規制	钊		
環境税や排出	出量日	取引制度のような汚染物質排出に対し	4. 企業の生産技	で 術と利潤関数	数		
て価格づけを行	fう	「経済的」手段と,固定的排出量割当な	5. 利潤の平均変	化率の導出			
どの「非経済的	5〕手	段の、どちらが優れているのかが主要	6. 利潤の平均変	化率の性質			
論点となります	ŧ	(す) 生産プロセスから環境汚染物質を	7. 利潤の平均変	化率の視覚化	Ľ		
排出する企業の	)利潤	<b>掲最大化行動を定式化し、環境税などの</b>	8. 企業の利潤最大化行動				
		動にどのような影響を与えるか検討し	9. 単位税の企業行動への影響				
		物質の総量規制を目的として環境政策	10. 固定的排出量割当				
		どの手段が社会的汚染削減費用を最小	11. 集計的汚染削減費用とその最小化				
化するのか確認		. , .	12. ボーモル・オーツ税				
		ける権利」は「他の人の授業を受ける	13. 排出量取引制度との関連性				
		範囲内で行使されるべきだと考えます					
ので、授業態度	きのよ	くない人は退出してもらいます.	15. まとめ				
■判達日標		引題に関する専門知識を習得し、公的機関 詳説できるようにする。	<b>間による政策の必</b> 望	要性・効率性	について経済学的に分析のう		
事前・事後 学修の内容	「公共	·経済学」・「環境経済学」などを併せて限	<b>賃修すると,相互</b> (	こ理解が深ま	ります.		
テキスト 塩	当田正	が樹「環境税の経済学的基礎」(講義支援	システムにより配	布予定)			
参考文献	栗山浩一・馬奈木俊介 (2016) 『環境経済学をつかむ』第3版, 有斐閣						
<b>評価方法</b> 定	法 定期試験 100%. ただし,講義中の私語などの迷惑行為で減点する場合があります.						

13 年度以降 12 年度以前	地球環境論 a 特殊講義 a (地球環境論)		担当者	中村 健治			
講義目的、講義	概要	授業計画					
期、長期、そして ついての基礎知 テムから大きな するとともに、 循環の実態とそ の地球環境問題 して生物多様性	講義目的、講義概要  人間活動を支える自然環境について、自然そのものにある短期、長期、そして広域、局域での変動の様相をとその機構についての基礎知識を得てもらいます。人間社会は気候システムから大きな影響を受けてきています。その概要を説明するとともに、気候システムの重要な要素の一つである水循環の実態とその変動機構について講義します。次に現代の地球環境問題の典型として地球温暖化、オゾンホールそして生物多様性について講義します。また量的な感覚を養うため簡単な計算演習も行います。		<ol> <li>講義概要</li> <li>宇宙と地球</li> <li>地球環境の形成</li> <li>人類の歴史</li> <li>気候と人間</li> <li>水循環と人間</li> <li>アジアモンスーンの自然と人</li> <li>地球温暖化問題の歴史と懐疑論</li> <li>地球温暖化の実態とIPCC</li> <li>地球温暖化への対処</li> <li>オゾンホール問題の歴史</li> <li>オゾンホール問題への対処</li> <li>生物多様性</li> <li>伝染病</li> <li>まとめと復習</li> </ol>				
	球規模の自然の仕組みと人間との関わりに~ 行い、解説できるようにする。	ついての専門知識を	を習得し、環	境共生について地理的な分析			
事前・事後 学修の内容	毎回、次回の講義テーマを示すので考え、また事後は講義を踏まえて自分の考えを深めてください。						
テキスト特	特に無し。						
参考文献特	特に無し。						
評価方法参	参加状況(毎回小論文をやってもらいます)(30%)と試験(70%)で評価します。						

13 年度以降 12 年度以前		地球環境論 b 特殊講義 b(地球環境論)		担当者	中村 健治			
講義目的、講義概要 地球環境の実態とオゾンホールや地球温暖化に現れる人為的 気候改変の実態を基礎として地球が有限であることを理解して もらいます。気候と人間の歴史、身近な環境と防災、また近年と みに注目されている大気環境について触れます。続いて、炭酸ガス抑制とエネルギー問題、化学物質問題に触れます。さらに生物 と人間について述べます。これらにより現代の地球環境問題の概要とそれへの対処を考えます。 また量的な感覚を養うため簡単な計算演習も行います。			<ol> <li>提業計画</li> <li>1. 講義概要</li> <li>2. 地球環境の形成と人口増加</li> <li>3. 環境変化と人間の歴史</li> <li>4. 人口と食料</li> <li>5. 環境と防災</li> <li>6. 地球環境問題と防災</li> <li>7. 地球環境監視</li> <li>8. 地球温暖化一炭酸ガス要因懐疑論、気候エンジニアリングー</li> <li>9. エネルギー密度と消費</li> <li>10. 世界のエネルギー事情</li> <li>11. 再生可能エネルギー</li> <li>12. 化学物質問題</li> <li>13. 環境基準値</li> <li>14. 漁業と海洋環境</li> <li>15. 復習</li> </ol>					
到達目標		見模の自然の仕組みと人間との関わりに~ ヽ、解説できるようにする。	ついての専門知識を	を習得し、環	境共生について地理的な分析			
事前・事後 学修の内容	毎回、	次回の講義テーマを示すので考え、また	と事後は講義を踏る	まえて自分の	考えを深めてください。			
テキスト	特に無し。							
参考文献	特に無し。							
評価方法	参加为	参加状況(毎回小論文をやってもらいます)(30%)と試験(70%)で評価します。						

13 年度以降 資源・エネルギー経済論 a 担当者 鈴木 滋

# 講義目的、講義概要

我々人類はこの 21 世紀において、地球環境問題に直面し、そして国際社会の持続可能な発展のために、将来に亘って安全で、安定的かつ効率的に供給可能な資源・エネルギーの選択を迫られている。このような状況を踏まえて、資源・エネルギーを経済的に考察し、更に地球環境・国際社会との関連性についても理解と解析する能力を養うことを目的とする。

本講義では、我々の生活と産業の基盤である資源・エネルギーとは何かに論点を置いて、その分類、資源量、コスト、国内外の利用形態・需給事情等について紹介し、基礎的な知識の習得を図る。また、薪炭から石炭、石油、ウラン(原子力)などへのエネルギー資源の変遷や環境配慮型の再生可能エネルギーなどについて検討し、枯渇性資源の環境への影響にも言及する。

# 授業計画

- 1. オリエンテーション:授業概要等の説明
- 2. 資源・エネルギーとは何か?
- 3. 資源とエネルギー資源との相違
- 4. エネルギー資源等の分類
- 5. エネルギー資源等の資源量
- 6. エネルギー資源等のコスト・国内外の利用形態
- 7. エネルギー資源の変遷
- 8. エネルギー資源の国内事情 (需要と供給等)
- 9. エネルギー資源の海外事情 (需要と供給等)
- 10. エネルギー利用と地球環境問題
- 11. エネルギー利用と環境技術・経済
- 12. 再生可能エネルギーの環境配慮と経済
- 13. 枯渇性資源と環境・経済
- 14. 資源・エネルギー経済と国際社会
- 15. まとめ

備考:授業の進度により若干の変更がある。

到達目標	資源・エネルギーと経済との関わりに関する専門知識を習得し、資源・エネルギーの持続と永続的な経済 活動との両立、および双方の発展等について分析のうえ、見解を提示できるようにする。
事前・事後 学修の内容	配布資料等の指定した箇所について事前に精読しておいてください。また、受講後は講義内容を整理し、まとめるようにしてください。
テキスト	特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。
参考文献	講義内容によって、適時指示する。
評価方法	基本的には定期試験の結果(100%)による。

13 年度以降 資源・エネルギー経済論 b 担当者 鈴木 滋

### 講義目的、講義概要

我々人類はこの 21 世紀において、地球環境問題に直面し、そして国際社会の持続可能な発展のために、将来に亘って安全で、安定的かつ効率的に供給可能な資源・エネルギーの選択を迫られている。このような状況を踏まえて、資源・エネルギーを経済的に考察し、更に地球環境・国際社会との関連性についても理解と解析する能力を養うことを目的とする。

本講義では、資源・エネルギー問題と環境・経済との関係について学習する。資源・エネルギー問題については、 国内外の事例を多数紹介すると共に、資源・エネルギーの 開発に伴う環境と経済成長、エネルギー資源の選択と配分・市場経済、新エネルギーと社会構造変化・経済予測、 さらに、核燃料サイクルと社会的共通資本も含めた経済的 側面などについて検討する。

### 授業計画

- 1. オリエンテーション:授業概要等の説明
- 2. 資源・エネルギー問題各論(1): 薪炭・石炭
- 3. 資源・エネルギー問題各論(2): 石油・天然ガス等
- 4. 資源・エネルギー問題各論(3):原子力
- 5. 資源・エネルギー問題各論 (4): 再生可能エネルギー (I)
- 6. 資源・エネルギー問題各論 (5): 再生可能エネルギー (Ⅱ)
- 7. 資源・エネルギー問題各論(6): 省エネルギー
- 8. 資源・エネルギー問題各論 (7): エネルギー資源以外の 主な資源
- 9. 資源・エネルギー開発と環境・経済成長
- 10. エネルギー資源の選択と配分
- 11. エネルギー資源の選択と市場経済
- 12. 新エネルギーと社会構造変化・経済予測
- 13. 核燃料サイクルと経済
- 14. 資源・エネルギー・環境と社会的共通資本
- 15. まとめ

備考:授業の進度により若干の変更がある。

到達目標	資源・エネルギーと経済との関わりに関する専門知識を習得し、資源・エネルギーの持続と永続的な経済 活動との両立、および双方の発展等について分析のうえ、見解を提示できるようにする。
事前・事後 学修の内容	配布資料等の指定した箇所について事前に精読しておいてください。また、受講後は講義内容を整理し、まとめるようにしてください。
テキスト	特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。
参考文献	講義内容によって、適時指示する。
評価方法	基本的には定期試験の結果(100%)よる。

09年度以降	:	都市経済学a			担当者	倉橋 透
講義目的、詞	講義概要	ξ	授業計画	<b>■</b>		
は都市で行れ様々の講義で活動をできませる。では、一方は、一方は、一方は、一方は、一方は、一方は、一方は、一方は、一方は、一方	・ハわがで者こ一の 一ツ理もてれ生は行のつ向 ト由ら、ものう一トのいう	人間の生活や経済活動のかなりの部分いる。一方、人間が集まっていることで政策的な対応も必要になってくる。 邓市の定義を述べるとともに、ミクロ経り理論)を応用して、都市の存在理由を は、多量の知識を一方的に講義するのり理解することをモットーとする(理解 が隠れた目的である)。 いら、都市の定義、生産者行動の理論、 設定する。確認問題を一緒に解き、黒板 数学やミクロ経済学を多用するので、 しておくこと。	2.都都都都都都首生等利費費供空規11.12.13.14.	市市市都産量潤用用給一ののの機関曲最最関関定定規能数線大小数数、 、化化	の一一 転限技問問 性 で	平均生産物 大替率
到達目標		経済学の専門知識を習得し、都市という。 見解を提示できるようにする。	空間(土地	也利用、信	主宅、交通等	)を経済学的に捉えて分析の
事前・事後 学修の内容		には、テキストの指定された範囲を熟読 をし、十分理解しておくこと。また、事				
テキスト	高橋孝	送明『都市経済学』(有斐閣ブックス)				

参考文献として伊藤元重『ミクロ経済学 第2版』(日本評論社)

参考文献

評価方法

定期試験 100%

09年度以降		都市経済学b		担当者	倉橋 透
講義目的、講	購義概要	Ę	授業計画		
【講義目的】 現代においては、人間の生活や経済活動のかなりの部分 は都市で行われている。一方、人間が集まっていることで 様々な問題が生じ、政策的な対応も必要になってくる。 この講義では、ミクロ経済学(消費者行動の理論)を応 用して、都市内構造(複数の用途の立地等)の分析や地代 の決定について分析する。 【講義概要】 消費者行動の理論、付け値地代の決定、都市内の空間構 造について検討する。確認問題を一緒に解き、黒板に板書 してもらう。数学やミクロ経済学を多用するので、講義開 始前に勉強しておくこと。			5. 需要関数と	間接効用関数 間接効用関数 の 関性 規定 単性 出質 の 中場地 で 地 が も が は り は り と り と り り と り の の で も り の の で も り の の り た り の の り た り り り り り り り り り り	なについての問題演習
到達目標		経済学の専門知識を習得し、都市という3 見解を提示できるようにする。	空間(土地利用、伯	主宅、交通等	)を経済学的に捉えて分析の
事前・事後 学修の内容		こは、テキストの指定された範囲を熟読し そし、十分理解しておくこと。また、事前			
テキスト	高橋孝	羊明『都市経済学』(有斐閣ブックス)			
参考文献	伊藤元	E重『ミクロ経済学 第2版』(日本評論	社)		
評価方法	定期詞	<b></b>			

09年度以降		経済地理学 a		担当者	大竹 伸郎		
講義目的、調	冓義概要	Ę	授業計画				
経済地理学	学は人	間の経済活動によって生じる諸事象に	1. オリエンテー	ション			
ついて、地理	里的条件	‡の違いや共通性に着目しながら、地域	2. 経済地理学の	研究方法と研	f究対象について		
の成立要因	や構造	・機能を明らかにすることを目的とす	3. 三角ヒストグ	ラムによる産	業構造の分析		
る。			4. GISを利用した	と統計情報の	地図化①データベースの作成		
経済事象に	は農業、	工業、商業など多岐にわたるので、本	5. GISを利用した	た統計情報の	地図化②MANDARAの活用		
講義では地理	里的条件	‡、特に自然環境と関わり合いが深い農	6. 自然環境と農業活動の特徴①熱帯~乾燥帯				
業地理学を主	主体にし	しながら、経済地理学の方法と内容につ	7. 自然環境と農業活動の特徴②温帯~冷帯				
いて講義する	る。単に	こ講義による理論学習にとどまらず、フ	8. 世界の主要国	における農業	地域区分		
ィールドワー	ークを 写	<b>尾施するとともに、映像資料などを用い</b>	9. 日本の農業地	域区分			
できるだけ農	農業の身	具体的な姿が把握できるように努める。	10. 都市近郊地域の土地利用の変化と農地の多面的機能				
また、講劇	髪では こ	フィールドワーク前後の事前学習やレポ	11. 都市近郊農業地域のフィールドワーク				
ート課題の作	作成に利	刊用できるようGISを利用した主題図の	12. 都市計画法と	生産緑地、	近郊農業の課題		
作成について	ても指導	算する。	13. 農産物加工業の立地と変遷				
			14. GISを利用した食品産業立地の分析				
			15. まとめ				
到達目標	経済地理学に関する専門知識を習得し、経済諸事象の地理的配置を分析して経済地域の構造を解明できるようにする。						
事前・事後 学修の内容	-   テキストの指定された範囲を選表に失立な特読する 選表後は桐布俗判を利用し選表内欠をまとめておく						
テキスト	實清	青隆著『大学テキスト 人文地理学』古 <sup>4</sup>	· 書院				

定期試験の結果(80%)、およびフィールドワークのレポート結果と講義への貢献度(20%)から判定

参考文献

評価方法

する。

09年度以降		経済地理学 b		担当者	大竹 伸郎		
講義目的、講	購義概要	Ε. Ε	授業計画				
ついて、地理の成立。 の成立。 秋学期ははまえ、単にまれている。 秋学期ははまた。 する。 単にまれている。 でを実にはは、 では、 は、 では、 では、 では、 では、 では、 で	型的構造 男ではよる いまれる 学け 義す かなは にんしょく はんしょく かいかい はんしょく かいかい はんしょく いんしょく かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	間の経済活動によって生じる諸事象に 中の違いや共通性に着目しながら、地域 ・機能を明らかにすることを目的とす こ学んだ自然環境と産業の関わりをふ なく、工業や商業の立地についても講義 こる理論学習にとどまらず、フィールド ともに、映像資料などを用いできるだ いが担握できるように努める。 フィールドワーク前後の事前学習やレポ 引用できるようGISを利用した主題図の 算する。	3. 農業の多面的の 4. 食糧輸出国のの 5. 農業原料産地工業立地論 7. 工業原料産地 算な立地を選別 8. 産業革命と近り 9. 日本の工工業地 10. 世界の成立と 12. 都市と圏域 13. フィールドワ	業と日本の食機能とデカッ機業政策とFを要の立地と工場の立地と工場につい業地とない地域のの一日本のは域のののでは、立地とといるでは、これののでは、これので	TA 易立地の特徴①ウェーバーの 易立地の特徴②現代工業の様 形成一EUの変遷を事例に 透遷 変遷 の都市と世界の都市 した商圏図の作成		
到達目標	.,	b理学に関する専門知識を習得し、経済記 こする。	者事象の地理的配置	置を分析して	経済地域の構造を解明できる		
事前・事後 学修の内容	テキス	ストの指定された範囲を講義に先立ち精調	売する。講義後は配	布資料を利用	用し講義内容をまとめておく。		
テキスト	實 清隆著『大学テキスト 人文地理学』古今書院						
参考文献		· ·					
評価方法	定期記する。	<b>弌験の結果(80%)、およびフィールドワ</b>	一クのレポート結	果と講義への	の貢献度(20%)から判定		

13 年度以降	経済地誌 a			担当者	大竹	伸郎		
講義目的、講	<b>講義概</b> 要	Ē	授業	計画				
講義の目的	講義の目的は地理的なものの見方や考え方を学ぶこと				ーション			
で、自然環境	色の成り	立ちやそれぞれの地域で育まれた文化	2	我々の暮ら	しと自然環境			
と自然環境の	関わり	について理解し、現代社会に関する基	3	環境の諸要	素①(地球の	成り立ちと地形	肜)	
礎的な素養を	身につ	oけることである。	4	環境の諸要	素②(地球の	周りの気団と気	気候)	
講義では、	現代社	会の暮らしの基盤となっている地球の	5	環境の諸要	素③(地球の	植生と土壌)		
自然環境や各	が地域に	よって異なる人文現象 (衣食住など)	6	環境の諸要	素④(地球に	暮らす様々なな	生き物)	
に焦点をあて	、人の	暮らしと自然の関わりについて講義す	7	熱帯地域①	(熱帯地域の	人々の暮らしる	と文化)	
るとともに、	現代σ	社会生活が起因となっている世界規模	8	熱帯地域②	(焼畑農業と	熱帯の稲作)		
の諸問題につ	いても	取り上げる。	9	熱帯地域③	(東南アジア	の熱帯開発と野	環境問題)	
			10	熱帯地域④(アマゾニアの熱帯開発と環境問題)				
			11	Ⅰ 乾燥帯地域①(乾燥帯地域の人々の暮らしと文化)				
			12	12 乾燥帯地域②(一神教と自然環境)				
			13	乾燥帯地域	③(資源ナシ	′ョナリズムの†	台頭)	
			14 乾燥帯地域④(中東問題の遠因と現状)					
			15	15 まとめ				
到達目標	.,	記誌に関する専門知識を習得し、人々の3 にする。	て化と	自然環境の特	寺徴を分析し	て地域経済の構	造を解明でき	
事前・事後 学修の内容	テキス	トの指定された箇所を事前に精読する。	授業	後には配布資	資料により学	修内容を整理す	 る。	
テキスト 山本正三・犬井正他編『自然環境と文化』原書房								
参考文献								
評価方法	定期記象とす	t験の結果に(80%)によって評価するカ <sup>-</sup> る。	、平	常授業におり	けるレポート	 などの実績(20	0%) も評価対	

13年度以降		経済地誌 b	誌 b				伸郎
講義目的、講	購義概要	<del>2</del>	授業計	-画			
で、自然環境のと自然環境の礎的な素養を講義環境や名に焦点をある。	意の成り の関わり と身に、現地、人代 現代を は、現代の	理的なものの見方や考え方を学ぶこと ) 立ちやそれぞれの地域で育まれた文化 ) について理解し、現代社会に関する基 つけることである。 社会の暮らしの基盤となっている地球の こよって異なる人文現象(衣食住など) ) 暮らしと自然の関わりについて講義す ) 社会生活が起因となっている世界規模 5取り上げる。	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 世 13	帯帯帯帯帯帯地界界界の域域3345億	(温帯地域の (地大と) (北米米市地域域の (北米米市地域域の (本本の) (本本) (本本	特徴の人人の事となる。として、なのの人人のの人人ののしとなるのでした人ののしとなるのでしたののでしたののでしたのである。とは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個で	・しと文化) ・しと文化) ・しと文化) ・しと文化) ・しと文化) ・文化) ・文化)
	<b>奴汝</b> ‡	也誌に関する専門知識を習得し、人々のな	15 ま ナルレ白		快告な公長1	て抽ば奴汶のは	生とも毎田でき
到達目標	.,,	B畝に関する専門知識を自侍し、八々の) たする。	入111111日	灬烬児♥プ·	可以て刀がし	て 近地州王伊 リノヤ	サルで 神力 くさ
事前・事後 学修の内容	テキス	ストの指定された箇所を事前に精読する。	授業後	には配布	資料により学	修内容を整理す	-る。
テキスト	山本』	E三・犬井正他編『自然環境と文化』原書	書房				
参考文献							
評価方法	定期記象とす	⊀験の結果に(80%)によって評価するカ トる。	が、平常	授業にお	けるレポート	などの実績(20	0%) も評価対

17 年度以降 16 年度以前		農業経済学 a 特殊講義 a(農業経済	学)			担当者	加賀爪	優
講義目的、講	購義概要			授業計	画			
この講義で	では、近	代経済学の立場から、	農業部門に関わ	1	講義の概	要		
る幅広い経済	き現象を	·理論的に論じる。まず	、農業部門にお	2	農業経済	学と近代経済	学の理論体系	
ける経済主体	本は、言	言うまでもなく農民であ	るが、これは	3	消費者行	動の理論と農	:民行動	
通常の経済学	学でいう	消費者とも、生産者と	も異なる経済主	4	生産者行	動の理論と農	:民行動	
体である。と	こいうの	は、消費者であると同	時に生産者でも	5	第3の経済	F主体としての	の農民<企業家計	複合体>
あるという意	意味で、	企業家計複合 体という	第3の経済主体	6	チャヤノ	フ「小農経済	の理論」と農家主	E体均衡論
である。				7	<農家の-	与件変動効果	:>窮迫販売行動	
この特性に	こ由来し	て、農民行動は一般の	経済主体を対象	8 <農家の与件変動効果>窮迫投資行動				
とするミクロ	2経済理	<b>!論では説明できない部</b>	分がある。それ	9 <農家の与件変動効果>窮迫雇用行動				
故、既存の	経済理	論とは別体系として農	業経済理論が存	10	0 <農家の与件変動効果>窮迫借地行動			
在する。本詩	<b>購義で</b> に	は、この観点から農業経	済理論の体系、	11	農産物市場	易の特殊性		
伝統的ミクロ	2経済学	との類似点と相違点、	およびそれらに	12	<価格反応	芯>農業生産	の特殊性	
基づく農業政	汝策 、 樟	<b>詩造政策、経済政策につ</b>	いて論じる。特	13	<価格反応	芯>農業消費	の特殊性	
に市場歪曲的	的な政府	守介入を極力排した自 <sub>日</sub>	由な経済運営を	14	<所得反応	芯>農産物需	要と食品安全性	
可能にしてい	る背景	とについて講述する。		15	講義のま	とめ		
到達目標	/F 4 / 1 4 · 1 =	経済学に関する専門知識 日分析のうえ、解説でき		食料に	関わる幅原	ない経済現象	に対して経済学的	アプロー
事前・事後 学修の内容	講義目	的・講義概要に記した	内容に関連する情	青報を収	集し、予習	習・復習する	こと	
テキスト	『農業	経済学』速水郵次郎他	岩波書店					
参考文献	参考文献							
評価方法	期末記 対象と	は験の結果 (80%) によっする	って評価するが、	平常授	 業における	ま題レポー	トなどの実績(20	0%) も評価

17 年度以降 16 年度以前		農業経済学 b 特殊講義 b (農業経済学)			担当者	加賀爪優
講義目的、講	構義概要	ē C	授業計画	1		
る。というの が、途上国で 部門であり、 る。今日 のある。ころ 門を論体 の応用として 定やWTOな	この講義では、開発経済学の視点から、農業経済を論じる。というのは、概して先進国では農業は弱小部門であるが、途上国では、その経済発展を支えているのは食料農業部門であり、経済全体の主要部門をなしているからである。今日、貧困削減問題は国際的にも益々重要性になりつつある。こうした途上国の開発理論の枠組みで食料農業部門を論じる。その際、前期の講義が農業経済学の主にミクロ理論体系に焦点を当てたのに対して、後期の講義は、その応用として、マクロ的視点から、農業政策、自由貿易協定やWTOなどの国際農業経済論、持続的農業と環境問題等について論じる。				理論-古典派で フェデルとその フェデルとをデル モデルとと展 モ 経済発 実験 学 イ ト の い れ い た に た た た た た た た た た た た た た た た た た	されていの系譜 マクロモデル の意義 くとその意義 の意義 の意義 でしたその限界
到達目標	/F 4 / 1 4 / 1 =	経済学に関する専門知識を習得し、農業・ 日分析のうえ、解説できるようにする。	<ul><li>食料に関</li></ul>	引わる幅点	広い経済現象	に対して経済学的にアプロー
事前・事後 学修の内容	講義目	的・講義概要に記した内容に関連する情	青報を収集	<b>美し、予</b>	習・復習する	こと
テキスト	『開発	めミクロ経済学』黒崎卓 岩波書店				
参考文献						
評価方法	期末詞対象と	t験の結果(80%)によって評価するが、 する	平常授業	における	る課題レポー	トなどの実績(20%)も評価

09 年度以降		労働経済学 a			担当者	森永 卓郎	
講義目的、講	購義概要	<del>2</del>	授業	計画			
労働経済学	さは、労	労働分野の諸問題を経済学の枠組みで解	1.	ガイダンス			
明する学問で	ぎす。		2.	労働経済学	とは何か		
この講義で	ごは、タ	労働経済学の基礎理論を学びます。経済	3.	無差別曲線	と就業選択		
学の知識はあ	りったに	まうが望ましいですが、知識がなくても	4.	労働需要			
理解できるよ	こうに訓	<b>觜義を進めます。</b>	5.	失業			
			6.	雇用調整			
			7.	情報の役割			
			8.	雇用をとり	まく構造変化	í	
			9. 賃金と労働時間				
			10. 高齢者の就業促進				
			11. 人事と労働インセンティブ				
			12.	労働経済理	論と現実の非	文件	
			13.	男女共同参	画社会		
			14. 若年労働				
			15.	まとめ			
到達目標	労働総する。	経済学に関する専門知識を習得し、労働分額	予野の	諸問題を経済	育学の枠組み かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	で分析して解明できるように	
事前・事後 学修の内容	· · · · I · L の悪主/wult・・ に さし イノ お さい						
テキスト	web _	上に講義資料を公開しますが、資料は随	寺変更	します。ア	ドレスは最初	の講義で示します。	
参考文献	参考文献 清家篤『労働経済』(やさしい経済学シリース			羊経済新報社			
評価方法	定期記	<b>弌験 100</b> %					

09年度以降		労働経済学 b			担当者	森永	卓郎	
講義目的、講	購義概要	5	授業計画					
労働経済学	とは、労	労働分野の諸問題を経済学の枠組みで解	1.	ガイダンス				
明する学問で	<b>ごす。</b>		2.	ジニ係数と	所得格差の理	見状		
この講義で	ごは、労	労働経済学の理論を現実の経済・社会に	3.	非婚化の進	展と少子化			
適用して、現	見代の履	雇用システムの問題点を探ります。	4.	男女雇用均	等法と税制			
			5.	公平な税制	とは何か			
			6.		慣行とは何か			
			7.		を育む雇用制			
			8.	= -	研究所の評価			
				9. 自由と自己責任の評価がもたらすもの				
			10. ビジョナリーカンパニーと労働					
					なぜ強いのか	7		
				人はなぜ働	•	= 71 . 52 . +	115,08	
			_	准用女足と 金融政策と		I:フレクシキ.	ユリティの民	
					力側川勿			
	学価系	経済学に関する専門知識を習得し、労働? ・ 労働・ 対象 できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	10.	3, 2, 2	を学の枠組み	で分析して解明	ヨでキストうに	
到達目標	する。		J =J V /	阳间悠飞胜,	月 子 V J T MILV ア		169276	
事前・事後 学修の内容	web _	この講義資料を精読してください。						
テキスト	web _	上に講義資料を公開しますが、資料は随時	寺変更	します。ア	ドレスは講義	で示します。		
参考文献	森永卓	<b>『</b> 郎『雇用破壊』角川新書						
評価方法	定期詞	<b>大験</b> 100%						

|--|

# 講義目的、講義概要

経済学は多様な人々が暮らす現実の社会を対象とした 学問であるため、数学や物理学といった学問のように完全 な再現性があるわけではなく、テーマや理論が常に揺れ動 いていきます。そのため、本講義では、経済学と社会学の 融合をめざして、経済理論の背景となる社会の動きから、 経済をみていくことをテーマとします。

春学期のテーマは、幸福です。我々は一人ひとりがより 豊かな暮らしをするために社会を作り、経済を発展させて きました。しかし、現実にはいまでも多くの人が貧困と抑 圧に苦しんでいます。この講義では、なぜ資本主義社会が すべての人を幸せにできないのかを経済社会の歴史と日 本の現状を踏まえて考えていきます。

- 1. ガイダンス
- 2. 人はどうしたら幸せになれるのか
- 3. 経済社会はどのように発展してきたのか
- 4. 社会民主主義の興隆と変容
- 5. 共産主義社会の失敗と新自由主義の台頭
- 6. 遅れてやってきた日本の新自由主義
- 7. 新自由主義と戦争
- 8. 税制と経済社会
- 9. 日本の税制
- 10. 社会保障とセーフティネット
- 11. 教育と格差
- 12. 人はなぜ狂うのか
- 13. 新自由主義と利権
- 14. 貧困とは何か
- 15. まとめ

到達目標	経済社会のヴィジョンを考えるために必要な専門知識を習得し、経済現象を社会学的アプローチで分析の うえ、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	web上の講義資料を精読してください。
テキスト	web 上に講義資料を公開しますが、資料は随時変更します。アドレスは講義で示します。
参考文献	森永卓郎『消費税は下げられる』角川新書
評価方法	定期試験 100%

09 年度以降		経済社会学 b			担当者	森永 卓郎
講義目的、講	義概要	Ē	授業計	画		
経済学と社会学の融合を目指す点では、春学期と同じですが、秋学期の講義では、平成と言う時代を中心に金融資本主義のもたらした経済社会の問題点を歴史的事実に基づいて明らかにするとともに、我々が真に豊かに暮らすために必要な経済社会のビジョンを考えていきます。		2.プ目3.4.5.6.7.所真市イ10.イ共萌12.萌	日本の金造いに 本の構立の 本の構立の 本の構立の 本の構立の 本の構立の 本の構立の はいいに には はいいに には はいいに には はいいに には には には には には には には には には に	革と金融資本をはなった。 ないからないでは、 ないのでは、	X経済 Xタイルの多様化 /ョン 1スト	
		会のヴィジョンを考えるために必要な専 解説できるようにする。	専門知識 <sup>注</sup>	を習得し、	経済現象を	社会学的アプローチで分析の
事前・事後学修の内容	web 1	この講義資料を精読してください。				
テキスト	web 上に講義資料を公開しますが、資料は随時変更します。アドレスは講義で示します。					
参考文献	森永卓郎『森卓 77 言』プレジデント社					
評価方法	定期詞	<b>試験</b> 100%				

09 年度以降	産業政策論 a		担当者	中藤泉
講義目的、講義	概要	授業計画		
展の中で、産業 に、個別産業の 政策の方向を展 また、産業構 や企業合併・業 している。こう	、「産業政策」をテーマに、日本経済の発 政策の果たした役割をレビューするととも 現状や課題を把握したうえで、新たな産業 望する。 造の変化の中で産業内における企業の変遷 務提携など産業や国境を越えた再編が加速 した動向についても検討する。 回レジメを配布する。	1. 講義の概要 2. 日本経済を発送 3. 産業継・車産業 4. 繊維車車電 6. 電機業 8. エネ産業 7. 鉄鋼メギモ 8. エネ産業 10. 銀行業 11. 保険業 12. 携帯電ニンス経の地 14. サービス展の地 15. 産業のが 15. 産業のが 20. 大変のが 20.	る制度と政策 ル産業 業 業 を に 変 を で に の は に な に な に な に な に な に な に な に な に な に	手段
■判准日標	産業政策に関する専門知識を習得し、政府による産業構造の人為的変化等について分析のうえ、解説であるようにする。			ついて分析のうえ、解説でき
テキスト	『会社四季報 業界地図 2018 年版』東洋経済新報社			
参考文献通	通商白書、経済財政白書などの各種政府白書			
<b>評価方法</b> 期末レポート(100%)による。				

09年度以降		産業政策論 b		担当者	中藤泉	
講義目的、講義	<b>長概</b> 要	授	受業計画			
「産業政策 a	」に	続いて、「産業政策の未来」を展望する。 1.	. 講義の概要			
個別産業の観点	を育	能れて、現代日本産業が直面する、様々 2.	. 変革期の産業	政策の課題		
な課題(国際化	1、少	>子化・高齢化、情報化、環境問題、地 3.	. 4. 5. 国際化	と時代の産業1	政策① ② ③	
域活性化、中小	企業	き、物流など)の観点から産業政策の現 6.	. 少子化・高齢イ	化時代の産業	政策	
状をみる。これ	らの	)諸課題は、例えば、国際化や情報化は 7.	. 情報化時代の原	産業政策①		
は経済のあらゆ	<b>うる</b> を	予野に影響を及ぼし、地域活性化と中小 8.	. 情報化時代の	産業政策②		
企業、情報と物	が流さ	など相互に関連している。 9.	. 環境問題と産業	業政策		
したがって、	今後	後における産業政策は、個別産業の保 10	10.11. 地域活性化と産業政策①②			
護・育成から、	産業	・企業社会全般にわたる、競争力強化、 12	12.13. 中小企業問題と産業政策①②			
教育・研究環境	色の虫	整備など社会インフラ的側面に重点が置 14	14. 物流と産業政策			
かれたものにな	さる。	具体的には、各回レジメを配布する。 15	15. 産業政策のパラダイム転換			
		*	※なお、授業の進捗状況により、一部変更もあり得る。			
		文策に関する専門知識を習得し、政府による にする。	産業構造の人為	為的変化等に	ついて分析のうえ、解説でき	
	前:	各回のテーマについて、どのような課題が	ぶあるか、調べる	5.		
学修の内容事	事後:講義をもとに、現状や課題を整理して、理解を深める。					
テキスト	『会社四季報 業界地図 2018 年版』東洋経済新報社					
参考文献 通	通商白書、経済財政白書などの各種政府白書					
<b>評価方法</b> 期末レポート(100%)による。						
		0.4				

17 年度以降 16 年度以前		行動経済学 a 特殊講義 a (行動経済学)		担当者	山森 哲雄	
講義目的、調	冓義概要	5 C	授業計画			
現実の人間行動は多くの場面で経済学が前提としている「合理性」から乖離します。行動経済学は、そのような行動や心理的な傾向を実験や質問紙調査などによって同定し、それらを理論的に定式化することで、伝統的な経済学では捉えることのできない様々な経済現象を解明することを目的とした経済学の一分野です。			1. イントロダクション 2. さまざまな認知バイアス 3. 経済学における合理的選択パラダイムー選択と選好 4. 経済学における合理的選択パラダイムー効用最大化 5. 確率と統計学の基礎ー条件付き確率 6. 確率と統計学の基礎ー期待値と分散			
【達成目標】経済学が前提とする「合理性」とその限界について理解するとともに、他者(ときに自分自身)の判断や選択の不合理性、制度や政策の欠陥を見抜く思考力を身につけることが目標です。 【講義概要】判断や選択の際に陥りやすい認知バイアスについて紹介するとともに、経済学の基礎となる合理的選択			7. 確率と統計学の基礎-大数の法則 8. 確率と統計学の基礎-相関と因果、平均への回帰 9. 確率と統計学の基礎-統計的有意性 10. リスク下の意思決定-独立性の公理 11. リスク下の意思決定-期待効用定理 12. リスク下の意思決定-アレのパラドックス 13. リスク下の意思決定-期待効用定理の規範的利用 14. プロスペクト理論 15. まとめ			
到達目標	ついて学習します。					
事前・事後 学修の内容	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			図ってくださ	٧١ <sub>°</sub>	
テキスト	<b>キスト</b> 講義レジュメを用いて授業をすすめるため、ラ					
参考文献	参考文献は授業中に適宜紹介します。					
評価方法	平常点	気(受講態度、小テスト、宿題)20% 定	三期試験 80%			

17 年度以降 16 年度以前		行動経済学 b 特殊講義 b (行動経済学)		担当者	山森 哲雄
講義目的、講	義概要	ē.	授業計画		
【達成目標】経済学が前提とする「合理性」とその限界について理解するとともに、他者(ときに自分自身)の判断や選択の不合理性、制度や政策の欠陥を見抜く思考力を身につけることが目標です。  【講義概要】行動経済学aでは個人の意思決定における様々なバイアスに注目しました。本講義では「集団的な選択と合理性」を主なテーマとし、ゲーム理論の基礎的な概念を学習するとともに、互恵的な行動を記述した社会的選好理論を紹介してその経済学的な含意について検討します。また、個人の意思決定におけるバイアスが一国全体の経済にどのような影響を及ぼすのかについて、主に労働市場に注目して議論をします。			- アレのパラドックス - フレーミング効果 - スカの - スカ - スカの - ス - スカの - ス - スカの - ス - ス - ス - ス - ス - ス - ス - ス - ス - ス		
			14. 行動マクロ経済学-貨幣錯覚とその影響 15. まとめ		
針達日標		経済学に関する専門知識を習得し、従来の E体の行動まで解説できるようにする。	D経済理論だけで <i>l</i>	は説明できな	かったような、より現実的な
事前・事後 行動経済学 a の講義レジュメを復習してから 学修の内容 して学習内容の定着を図ってください。			受講してください。	受講後は必	ずレジュメとノートに目を通
<b>テキスト</b> 講義レジュメを用いて授業をすすめるため、ラ			テキストは特に指定しません。		
参考文献 参考文献は授業中に適宜紹介します。					
評価方法	方法 平常点(受講態度、小テスト、宿題)20% 定期試験 80%				

13 年度以降 12 年度以前		国際経済学 a 国際経済論 a			担当者	益山 光央
講義目的、講	冓義概要	,	授業計	画		
国際経済を理解するのに最低限必要と思われる基本的な考えを講義します。その中心は貿易理論、国際貿易の一般均衡、貿易政策となります。講義で扱う内容は、よりすすんだ諸理論を学ぶのに必須の基礎的事項なので厳密な展開を心がけたいと思います。受講生には予習と復習を求めます。私語厳禁。			2. リリヘ 3. 4. 5. 6. E 国 経 国 国 関 関 和 11. 関 軸 和 14. 和	カクク閣督の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	比比・・一一貿動動数数とと較較オオ般般易とと量量輸輸位位一一衡衡 民民限限自自説説ング	記想
到達目標		Ř済に関する専門知識を習得し、貿易理読 ∂析のうえ、解説できるようにする。	論・政策、	、国際収3	支調整といっ	た国家間の経済活動全般につ
事前・事後 学修の内容 事前・事後の学修に関しては、授業時に指示す		する。				
テキスト 大山道広・伊藤元重『国際貿易』 岩波書店						
参考文献						
評価方法	試験0	つみ(100%)で評価				

13 年度以降 12 年度以前		国際経済学 b 国際経済論 b			担当者	益山	光央
講義目的、詞	冓義概要	<u> </u>	授第	<b>性計画</b>			
春学期に扱った貿易理論とともに国際経済学の大きな柱である国際収支調整メカニズムに関連する事柄を学びます。国際収支の赤字、黒字からはじまり、だんだんと高度な内容へと移行します。すべて基本的な内容なので、きちんと理解する必要があります。 春学期の国際経済論aを履修しているほうがより理解が深まります。私語厳禁。			び 2. 高 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14.	<ul> <li>国際収支と国民所得勘定</li> <li>外国為替市場</li> <li>外国為替市場</li> <li>外国為替市場</li> <li>固定相場制下の所得決定</li> <li>固定相場制下の所得決定</li> <li>変動相場制下の所得決定</li> <li>変動相場制下の所得決定</li> <li>の国際収支と財政・金融政策</li> <li>国際収支と財政・金融政策</li> </ul>			
到達目標		<ul><li>経済に関する専門知識を習得し、貿易</li><li>計のうえ、解説できるようにする。</li></ul>	理論・呼	文策、国際収	支調整といっ	た国家間の経済	済活動全般につ
事前・事後 学修の内容	事前・	事後の学修に関しては、授業時に指	示する。				
テキスト	未定						
参考文献							
評価方法	試験0	つみ(100%)で評価					

13 年度以降 12 年度以前 国際貿易論 貿易論 a	a	担当者	米山 昌幸
--------------------------------------	---	-----	-------

# 講義目的、講義概要

国際貿易論は、財・サービスの国際取引や資本・労働・ 経営資源の国際移動を分析対象とする学問分野です。この 講義の目的は、国際貿易や貿易政策の基礎理論や現実の貿 易、貿易実務について学んで、経済学的な思考方法で現実 の国際貿易に関する問題を考察することです。貿易理論の 習得とあわせて、実際のデータを提示して国際貿易の実態 についての理解も深めていきたいと思います。

春学期は、一般均衡分析を用いて伝統的な国際貿易の基 礎理論を中心に講義します。国際貿易論でもっとも重要な 概念である比較優位をはじめ、貿易パターン、貿易利益、 比較優位の決定要因、産業内貿易と規模と経済などを取り 上げます。貿易が経済発展に及ぼす影響についても学びま す。世界で保護主義、ポピュリズムが台頭してくる時代だ からこそ、自由貿易の利益、相互依存の利益をしっかりと 14. 貿易と経済発展

#### 授業計画

- 1. ガイダンス、戦後の日本経済と貿易の歩み
- 2. 貿易の取引と決済の仕組み
- 3. いろいろな貿易取引
- 4. 比較優位と分業の利益
- 5. 比較優位と国際貿易―リカード・モデルと比較優位
- 6. 相対価格でみる比較優位
- 7. リカード・モデルの図示
- 8. 貿易開始後の生産・貿易パターン
- 9. 社会的無差別曲線と貿易利益
- 10. 比較優位の決定要因―ヘクシャー=オリーン理論
- 11. 産業間貿易と産業内貿易
- 12. 規模の経済と製品差別化
- 13. サービス貿易の現状

理解することが大事です。 15. まとめ		15. まとめ		
到達目標	貿易理論ならびに貿易に関する専門知識を習得し、実際の貿易活動について分析のうえ、解説できるよ にする。			
事前・事後 学修の内容	受講前にはテキスト範囲の予習を行います。また、受講後には授業中に出された練習問題を解くことで、 復習します。			
テキスト	プリントを使用する予定ですが、テキストを修	<b> 戸用する場合には第1回目の授業で指定します。</b>		
参考文献	石川城太・菊地徹・椋寛『国際経済学をつかむ	』[第2版]』有斐閣、2013年。		
評価方法	基本的には定期試験の得点(100点満点)を割 ただし、練習問題の得点等もサービス点として	価基準(第1回目の授業で説明する)に照らして評価する。 ご加算する予定。		

13年度以降 国際貿易論 b 担当者 米山 昌幸 12 年度以前 貿易論 b

# 講義目的、講義概要

WTOドーハ・ラウンドにおける多角的貿易自由化が停滞 する一方、日本はEPA(経済連携協定)における2国間・地域 間での貿易自由化を推進してきました。2017年1月に発足 したトランプ米政権は2国間協議を重視し、TPP(環太平洋 経済連携協定)から離脱し、NAFTA(北米自由貿易協定)再 交渉をはじめました。しかし、日本は米国離脱後も多国間 の枠組みでの交渉を進めて、同年11月、米国を除く11カ国 でのTPP11の大筋合意に主導的な役割を果たしました。

秋学期は、部分均衡分析を用いて貿易政策の基礎理論に ついて学んだのち、各国が貿易自由化の利益を認識しつつ も保護主義的な政策を志向する背景について理解します。

ミクロ経済学の基礎的なところから国際貿易論の分野 へつなげるように、できるだけていねいに説明していきま すので、貿易理論を学ぶことで、経済学的な思考方法で国 際貿易を捉えられるようになってもらいたいと思います。

- 1. ガイダンス、戦後の国際経済体制と世界貿易の発展
- 2. 貿易政策の目的と手段
- 3. 部分均衡分析による貿易利益—小国モデル
- 4. 2国モデルによる分析―大国モデル
- 5. 貿易政策の効果-関税、生産補助金、個別消費税
- 6. 貿易政策の効果―輸入割当、輸出自主規制
- 7. 保護貿易を擁護する主張—交易条件効果と最適関税
- 8. 保護貿易を擁護する主張―市場の失敗
- 9. ワンポイント貿易実務―貿易条件とインコタームズ
- 10. GATTとWTOの歴史と現状
- 11. GATTとWTOの制度
- 12. 地域貿易協定の現状と制度
- 13. 地域貿易協定の経済学
- 14. 戦略的貿易政策
- 15. まとめ

ラスタの元	234000071202001700000000000000000000000000
到達目標	貿易理論ならびに貿易に関する専門知識を習得し、実際の貿易活動について分析のうえ、解説できるよう にする。
事前・事後 学修の内容	受講前にはテキスト範囲の予習を行います。また、受講後には授業中に出された練習問題を解くことで、 復習します。
テキスト	プリントを使用する予定ですが、テキストを使用する場合には第1回目の授業で指定します。
参考文献	石川城太・菊地徹・椋寛『国際経済学をつかむ [第2版]』有斐閣、2013年。
評価方法	基本的には定期試験の得点(100点満点)を評価基準(第1回目の授業で説明する)に照らして評価する。 ただし、練習問題の得点等もサービス点として加算する予定。

09年度以降	国際金融論 a		担当者	徳永 潤二	
講義目的、講義概	要	授業計画			
目的:		1. イントロダク	ション		
本講義では、外	国為替及び国際金融の基礎理論について	2. 外国為替取引と国際決済			
学ぶことによって	、国際金融をめぐる現実の様々な動きを	3. 国際収支			
理解できるように	なることが目的です。なお、国際金融情	4. 債権国と債務	玉		
勢において激動が	生じた場合は、随時、現実の問題を取り	5. ISバランスと	経常収支の関	係	
上げます。		6. 国際資本移動			
概要:		7. 国際収支決定	の理論(1)-	長期理論	
講義ではパワー	ポイントを用いますので、私の説明も含	8. 国際収支決定	の理論 (2) -	一短期理論—	
めてノートをしっ	かりととって下さい。授業中の私語やス	9. 外国為替市場と外国為替相場			
マホの利用は厳禁	です。授業に集中して下さい。	10. 外国為替相場決定の理論(1)―長期理論―			
その他:		11. 外国為替相場決定の理論(2)―短期理論―			
秋学期の国際金	融論bの同時履修が望ましい。	12. 為替市場介入			
本講義はミクロ	・マクロ経済学の基礎知識が必要です。	13. 為替リスクとデリバティブ			
	外の受講生はこの点に留意し、履修を決	14. 開放経済下の金融・財政政策(1)			
めてください。		15. 開放経済下の	)金融・財政፤	攻策(2)	
1 到達日標 1 一	金融に関する専門知識を習得し、国際的なようにする。	は貨幣の流れや国際	祭通貨体制等	について分析のうえ、解説で	
事前・事後 学修の内容 毎回	の授業でリアクションペーパー(単なる日	出席ではない)の <del>打</del>	是出を求めま	す。	
テキスト 使用	しません。講義ではパワーポイントを用い	ます。			
参考文献 参考	文献は適宜紹介します。				
評価方法 学期	末テスト 70%、リアクションペーパーの	内容 30%で評価す	る。 		

09年度以降		国際金融論 b		担当者	徳永 潤二		
講義目的、講	義概要	Ē	授業計画				
目的:			1. イントロダクション				
春学期の国	際金層	独論aに続いて、国際金融の知識につい	2. 国際通貨				
て学び、世界経済の将来を考えるという姿勢と能力を付け			3. ポンド体制から再建国際金本位制				
ていくことを	目的と	します。なお、国際金融情勢において	4. ブレトン・ウ	ッズ体制の固	]定相場制		
激動が生じた地	場合は	は、随時、現実の問題を取り上げます。	5. ニクソン・シ	ョックと変動	対相場制への移行		
概要:	概要:						
講義ではパリ	ワーホ	ペイントを用いますので、私の説明も含	7. 日本の不動産	バブル(1980	0年代)		
めてノートを	しっカ	いりととって下さい。授業中の私語やス	8. 東アジアの通	貨危機(1990	0年代)		
マホの利用は崩	厳禁て	です。授業に集中して下さい。	9. アメリカの住宅バブル(2000年代)				
その他:			10. 影の銀行システムの発展				
春学期の国際	際金融	は論bの同時履修が望ましい。	11. 世界金融危機の発生				
本講義はミ	クロ・	マクロ経済学の基礎知識が必要です。	12. 欧州通貨統合				
	部以外	トの受講生はこの点に留意し、履修して	13. ユーロ危機				
下さい。			14. オフショア金融センター				
			15. 国際金融規制・改革				
糾達甘樗		≧融に関する専門知識を習得し、国際的だ うにする。	な貨幣の流れや国際	祭通貨体制等	について分析のうえ、解説で		
事前・事後 学修の内容	毎回の	)授業でリアクションペーパー (単なる)	出席ではない)の <del>1</del>	是出を求めま	す。		
テキスト	使用し	ません。講義ではパワーポイントを用い	います。				
参考文献	参考文献 参考文献は適宜紹介します。						
評価方法	<b>評価方法</b> 学期末テスト 70%、リアクションペーパーの			-る。			

13 年度以降 12 年度以前				担当者	高安	健一		
講義目的、講	義概要	Ē	授業	計画				
春学期の講	義にに	は、二つの軸があります。一つは、貧困	1.	1. 講義の目的、成績評価等				
研究であり、開発途上国と日本国内の双方について学びま			2.	持続的開発目標(SDGs)				
す。2030年ま	での実	現が国際的に求められている持続的開	3.	3. 経済成長				
発目標(SDC	3s) (2	始まり、貧困について多面的に解説し	4.	研究計画作	成への道標			
ます。もう一	つは、	民間企業のリソースを活用した課題解	5.	貧困とは				
決を想定した	、リサ	ーチクエッションや研究計画作成への	6.	貧困と教育	•			
道標を提供す	ること	です。マイクロファイナンス、貧困層	7.	健康&日本	の若者の課題	頁		
を対象とした	BOP	ごジネス、ソーシャルビジネスなど、途	8.	ダッカ 奇跡を呼ぶ融資				
上国での実践	的な重	りきを紹介します。	9.	マイクロファイナンスと貧困削減(1)				
本講義では	国と	して、バングラデシュを想定していま	10.	0. マイクロファイナンスと貧困削減(2)				
す。ゲスト講	師によ	てる講義を予定しています。	11.	. 全体討論(日本の若者の貧困を考える)				
受講生が講	義内容	『を、大学での調査や就職活動のみなら	12.	12. ゲスト講師 (予定)				
ず、卒業後も	活用す	ることを期待します。他学部生の履修	13.	BOPビジネ	ベス			
を歓迎します	。第1	回の講義に必ず出席してください。	14.	ソーシャル	ビジネス			
			15.	講義の纏め	1			
針		月発に関する専門知識を習得し、途上国 <i>0</i> いいて分析のうえ、解説できるようにする		問題とその角	解決に向けた	取組、経済成長	のメカニズム	
事前・事後 学修の内容 事前に授業に関連する文献や統計類に目を通			す。					
テキスト	テキスト 教員が作成した資料を配布する。							
参考文献 戸堂康之(2015)『開発経済学入門』新世社								
評価方法	学期末	試験(100%)。ペーパーや授業中の発言	言によ	る加点あり。	詳細は第1	回の講義で説明	1.	

13 年度以降 12 年度以前				担当者	高安健一		
講義目的、講	構義概要	ξ	授業	計画			
秋学期の詞	構義の目	目的は、二つあります。一つは、開発途	1.	1. 講義の目的、成績評価等			
上国が抱える経済・金融リスクを民間金融機関の視点から			2.	カントリーリスク、ソブリンリスク、格付け			
把握すること	とです。	事例として、ラテンアメリカで深刻化	3. 1980年代の累積債務問題、重債務貧困国				
した累積債務	务問題、	重債務貧困国への支援、そして1997年	4.	アジア経済	危機の背景と	: 処方箋	
のアジア経済	<b>脊危機</b> を	と取り上げます。	5.	開発戦略の	新潮流		
		活動の基礎となる人口問題です。世界、	6.		におけるイン		
		て地方自治体の視点から幅広く学びま	7.		術と経済成長	Š	
		人口動態はマーケティングや生産活動	8.	世界の人口			
	を推進するうえで欠かせない要素です。			9. 人口を巡る議論とアジア			
2 THIS		ドを、大学での調査や就職活動のみなら	10. 日本の人口問題				
		つることを期待します。他学部生の履修	11. 地方の人口問題				
を歓迎しまる	广。第1	回の講義に必ず出席してください。	12. 新興国の消費市場				
			13. 日本の地域開発に関する学生スピーチ			)字生スピーチ	
				ゲスト講師			
	你才里		l	講義の纏め			
到達目標		引発に関する専門知識を習得し、途上国の Oいて分析のうえ、解説できるようにする		問題とその質	解決に回けた	取組、経済成長のメガニスム	
事前・事後 学修の内容	事前に	<ul><li>授業に関連する文献や統計類に目を通っ</li></ul>	r.				
テキスト	教員が	「作成した資料を配布する。					
参考文献	黒岩有	B雄他編(2015)『テキストブック開発経	済学	[第3版]』	有斐閣		
評価方法	学期末	R試験(100%)。ペーパーや授業中の発言	— 言によ	る加点あり。	詳細は第1	回の講義で説明。	

09年度以降		アメリカ経済論 a		担当者	本田 浩邦
講義目的、講義	概要	5 C	授業計画		
独立戦争から第二次世界大戦後までのアメリカ経済の発展を論じます。経済発展とそこでの人種問題の展開を理解することは今日のアメリカをみるうえでとても重要です。また1930年代のニューディール期から戦後の時期は、経済の現代的な特徴ができあがる時期であり、今日と直接的なつながりがあります。講義ではこうした経済発展とそれを理解する経済理論の相互的な関連をフォローしたいと思います。できるだけやさしく説明するようにします。学期の途中でレポートの課題を出します。講義のスライドは以下のURLからダウンロードしてください。http://hhonda7.wixsite.com/hirokuni-honda			<ol> <li>アメリカ経済</li> <li>人種問題とアア</li> <li>人種問題ととアク</li> <li>大恐慌とニュス</li> <li>大恐慌とニュス</li> <li>ケインズ政策</li> <li>がインズ政策</li> <li>戦後マクロ経済</li> </ol>	の初期発展 メリカ社会』 メリカ社会』 メリカイール』 ーディール』 ーディール も も も ま I を 大 大 リカ マ イ ー ディール で イ ー ア ディール I を 大 大 大 ア ディール I を 大 り た り た り た り た り た り た り た り た り た り	<ul><li>インディアン</li><li>I 黒人問題の歴史</li><li>I 黒人問題の現状</li><li>大恐慌の発生</li><li>I 壮大な実験</li><li>I 大恐慌論争</li></ul>
			14. 授業中テスト15. 質疑		
■判准日標		」カ経済に関する専門知識を習得し、現代 −る。		<b>講</b> 造等につい	て分析のうえ、解説できるよ
事前・事後 学修の内容 テキストの該当部分と講義レジュメをあらか			じめ読んで受講し <sup>、</sup>	てください。	
<b>テキスト</b> 本田浩邦『アメリカの資本蓄積と社会保障』			日本評論社、2016	年	
参考文献 ハワード・ジン『民衆のアメリカ史』猿谷要!			監修、明石書店、2005年		
評価方法 平	常点	ま (30%)、試験 (40%)、レポート (30%	%)		

09年度以降	アメリカ経済論 b			担当者	本田	浩邦	
講義目的、講	義概要	Ę	授業計画				
アメリカ経	済論b	)はアメリカ経済論aと関連しています	1. アメリカ新古典派経済学				
ので、できるだ	ので、できるだけaを履修した上で登録してください。			2. 「余剰」の経済学			
この講義では	は、第	三次世界大戦後から現在までのアメリ	3. トマ・ピケティ I 経済格差の歴史的説明				
カ経済の発展	を理論	論と実証の両面から振り返ります。最近	4. トマ・ピケテ	ィⅡ その後	後の論争		
の経済学には、	、アメ	リカ経済の長期的な発展を大きな枠組	5. ロバート・ゴ	ードンの長其	明停滞論		
みでとらえよ	うと	するユニークな理論がいくつもありま	6. ウィリアム・	ボーモルの	「コスト病」		
す。講義では	そうし	た理論をできるだけ多く取り上げ紹介	7. 新自由主義の	経済学			
		また今日の長期停滞をめぐる議論やト	8. 戦後アメリカ	経済と財政の	女策		
ランプ政権の	経済政	対策、日米経済の問題にも触れたいと思	9. 戦後アメリカ経済と金融資本市場				
います。			10. トランプ政権の経済政策				
1 //	-	ペートの課題を出します。	11. アメリカ経済				
	イドル	は以下のURLからダウンロードしてく					
ださい。			13. ベーシックインカム				
http://hhonda	ı7.wix	site.com/hirokuni-honda	14. 授業中テスト				
			15. 質疑				
1111年日標	アメリ うにす	「カ経済に関する専門知識を習得し、現作 <sup>-</sup> る。	式アメリカ経済の <sup>材</sup>	構造等につい	て分析のうえ、	解説できるよ	
事前・事後 学修の内容	テキス	ストの該当部分と講義レジュメをあらかし	じめ読んで受講して	てください。			
テキスト	テキスト 本田浩邦『アメリカの資本蓄積と社会保障』			年			
参考文献	参考文献 授業中紹介しますので、URLから適宜ダウン			0			
評価方法 平常点 (30%)、試験 (40%)、レポート (30			%)				

13 年度以降 12 年度以前		ヨーロッパ経済論 a 西ヨーロッパ論 a		担当者	漆畑 春彦		
講義目的、講	義概要	5	授業計画				
本講義では	、欧州	連合(EU)の経済に係る歴史・現状・	1. 講義の概要				
将来展望につ	いてき	考察します。特にEUの経済政策や通貨	2. 世界の地域経済統合におけるEU統合の位置づけ				
統合について	,1970	~2000年代の世界経済の状況を踏まえ	3. 関税同盟と単一市場				
ながら理解す	ること	とを目指すこととします。第2次世界大	4. EUの政治・非	『政治機関と	立法		
戦後、経済統	合を基	盤に復興・発展をとげた欧州ですが、	5. EUの共通政策	Ę			
2000年代には	は、経済	F統合特有の要因から生じる諸問題が顕	6. EUの財政政策	Ę			
在化していま	す。そ	のことを意識しながら、地域・経済統	7. EUの通貨協力	J			
合の背景、経	済・産	業・通商・農業・通貨政策、2008年の	8. EUの通貨統合				
世界金融危機	と欧州	N債務危機への発展、EU経済の今後の	9. 通貨統合の諸問題				
展望までを、	事実や	P統計資料などに基づきできる限り詳細	10. EUの経済・産業及び政策(1)				
に検討します	0		11. EUの経済・産業及び政策 (2)				
			12. EUの通商政策				
			13. 欧州の金融システム(1)				
			14. 欧州の金融システム (2)				
			15. まとめ				
■判達甘標		-ロッパ経済に関する専門知識を習得し、 : うにする。	現代ヨーロッパ約	経済の構造等	について分析のうえ、解説で		
3 10 0 10 10	講義前に参考図書の講義箇所に目を通しておいてください。講義後に出す課題を解き、次回に提出してく ださい。						
テキスト	テキス	トは特に指定しませんが、毎回レジュス	くを配布します。				
参考文献	参考文献 田中素香・長部重康・久保広 正・岩田健治剤			著『現代ヨーロッパ経済(第3版)』有斐閣 2011 年			
評価方法	定期記	<b>太験 70%、レポート 10%、授業への参加</b>	度・貢献度 20%				

13 年度以降 12 年度以前		ヨーロッパ経済論 b 西ヨーロッパ論 b		担当者	漆畑 春彦	
講義目的、講	購義概要	ξ	授業計画			
EU 統合の全体観に重きをおく春学期に続き、本講義では、EU を形成する主要国の経済・産業・通商・政治・金融等の政策に目を向けて検討します。できる限り政府機関等の統計資料を用い、EU 各国の歴史・現状を把握し、今後の展望を明らかにします。			1. 講義の概要 2. ドイツとEUの 3. ドイツとEUの 4. フランスとEU 5. 英国とEUの総 6. ベネルクス諸 7. 北欧諸国とEU 8. 南東欧酷国とEU 9. 中東の他EU諸 11. 世界金融危機 12. ユーロと自とE 14. 地域統合とE	D経済 (2) Jの経済 国、スイスと Jの経済 Jの経済 Vロの経済 とEUの経済 とEUの経済 以 (1)	Uの経済 ・金融	
			15. まとめ			
到達目標		-ロッパ経済に関する専門知識を習得し、 こうにする。	現代ヨーロッパ	経済の構造等	について分析のうえ、解説で	
事前・事後 学修の内容	講義i ださV	前に参考図書の講義箇所に目を通しておい 、。	いてください。講	義後に出す課	題を解き、次回に提出してく	
テキスト	テキス	ストは特に指定しませんが、毎回レジュス	くを配布します。			
参考文献	参考文献 田中素香・長部重康・久保広 正・岩田健治者			経済(第3点	反)』有斐閣 2011 年	
評価方法	定期記	<b>大験 70%、レポート 10%、授業への参加</b>	度・貢献度 20%			

09 年度以降		ラテンアメリカ経済論 a		担当者	中村 久美		
講義目的、講	義概要	Ę	授業計画				
本講義のねらいは、ラテンアメリカ地域の政治経済および社会問題を理解することです。 講義の流れとしては、まず、ラテンアメリカ地域の自然 条件や地理などの基本分野を理解します。次いで、植民地 時代から90年代ごろまでのラテンアメリカの歴史を概観 し、各々の国の多様性について理解します。その後、ラテ ンアメリカ社会が抱える問題とそれぞれの国が試みてい る様々な社会政策についても考察します。			4. ラテンアメリカ 5. ラテンアメリカ 6. ラテンアメリカ 7. ラテンアメリカ 8. 主要国の政治経 9. 主要国の政治 10. 主要国の政治 11. 主要国の政治 12. 主要国の政治 13. ラテンアメリ 14. ラテンアメリ	7 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	ジル レゼンチン、チリ		
		ンアメリカ経済に関する専門知識を習得し ごきるようにする。	ン、現代ラテンア <i>)</i>	メリカ経済の	構造等について分析のうえ、		
事前・事後 学修の内容	紹介した参考文献を読んで下さい。授業の内容をレジュメおよび板書からまとめ、理解を深めて下						
テキスト	テキス	ストは指定しません。					
参考文献 参考文献は授業で紹介します。							
評価方法	原則と	こして期末試験で評価します(100%)が	、授業への参加度	を加味する場	<b>易合があります。</b>		

09年度以降		ラテンアメリカ経済論 b		担当者	中村 久美
び社会問題を 講義の流れ 観し、対米関 年代以祝にない て得られたが す。 最後に、本 なお、本講	らいははいというにはいる。これでは、いいは、いいは、いいは、いいは、いいは、いいは、いいは、いいは、いいは、い	、 は、ラテンアメリカ地域の政治経済およ	3. ラテンアメリカ 4. ラテンアメリカ 5. ラテンアメリカ 6. ラテンアメリカ 7. ラテンアメリカ 9. ラテンアメリカ 10. ラテンアメリカ 11. ラテンアメリ	か地域 (2) ラララか地域 (3) の か地域 (3) (4) かか地域域 (5) かか地域域 (6) かか地域域 (7) かかかかかかかかかかのの経済済・・ かかかかかのの経済が、・ は、できないが、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	テンアメリカの国際関係史 テンアメリカと米国 テンアメリカの地域統合① テンアメリカの地域統合② クロ経済問題と安定化政策 オリベラリズムの浸透と反発 源ブームと経済成長 済自由化の進展と政治変化 ペストネオリベラリズムの課題 会構造(1)産業と企業 会構造(3)開発と環境
糾達甘樗		アメリカ経済に関する専門知識を習得し きるようにする。	ン、現代ラテンア <i>。</i>	メリカ経済の	構造等について分析のうえ、
事前・事後 学修の内容	紹介し	た参考文献を読んで下さい。授業の内容	容をレジュメおよで	び板書からま	とめ、理解を深めて下さい。
テキスト	テキス	トは指定しません。			
参考文献 参考文献は授業で紹介します。					
評価方法				を加味する場	<b>み</b> 合があります。

					-		
09年度以降		東アジア・中国経済論 a		担当者	チョン 全	載	旭
講義目的、詞	冓義概要	Ę	授業計画				
近年東ア	ジアのタ	急速な発展と域内諸国の相互依存関係	1. 中国経済の全	般的な動向	(1)		
の強化によっ	って、東	『アジアは世界経済を牽引する存在にな	2. 中国経済の全	般的な動向	(2)		
ったと言われ	っている	ら。なかでも中国経済の動向は21世紀の	3. どのようにG	DP世界第2位	に到達したか	? (1	.)
世界経済の第	新たな	秩序を左右する最大のファクターの一	4. どのようにG	DP世界第2位	に到達したか	? (2	2)
つである。特	寺に201	0年の中国の名目GDPが日本を上回り、	5. 社会主義市場	経済とは何か	? (1)		
米国に次ぐ†	世界第2	位の経済大国になった。今後中国の存	6. 社会主義市場	経済とは何か	? (2)		
在感がまする	ます大き	くなりそうである。この授業では東ア	7. メイド・イン・チャイナは世界市場を席捲するか? (1)				
ジア全体に目	目を配り	つつ、中国経済を中心に考察する。	8. メイド・イン・チャイナは世界市場を席捲するか? (2)				
日本もまた	と東アシ	ジアにあって、この地域の諸国と相互に	9. 国有企業改革はどこまで進んだか? (1)				
密接な関係を	をもって	こいる。本科目の履修を通じて、この地	也 10. 国有企業改革はどこまで進んだか? (2)				
域のあり方に	こ関心を	ら向けてもらいたい。	11. 農村はいかに変化したか? (1)				
この授業で	では中国	国経済の歴史、発展可能性などについて	12. 農村はいかに変化したか? (2)				
1970年代末	から始る	まった改革・開放を中心に講義を進めて	13. 労働力は本	当に不足して	いるのか? (	1)	
いきたい。			14. 労働力は本	当に不足して	いるのか? (:	2)	
			15. 総括				
到達目標		ジア・中国経済に関する専門知識を習得し ごきるようにする。	、現代東アジア	・中国経済の	構造等につい	て分析	Fのうえ、
事前・事後 学修の内容	受講前	前にテキストの授業内容を予習しておき、	また受講後には打	受業の内容を	復習しておい	てほし	い。
テキスト	南亮進		日本評論社、2016	年。			

参考文献

評価方法

必要に応じて、適宜資料を配布する。

定期試験 80%、授業への参加度・レポート 20%

09年度以降	東アジア・中国経済論 b		担当者	全載加	且
講義目的、講	養概要	授業計画			
中国経済論a」 カニズムを前れたインパクトル際経済との融合 る諸問題につい 日本にとって 輸出においてっている。ぐ第 て、好き嫌い	て中国は2002年より最大輸入相手国となり、 も2009年より米国を抜いて最大相手国とな 国にとって日本は最大の輸入相手国であり、 2位の輸出相手国である。中国は日本にとっ でつきあうかどうかを決められる存在ではな 摩擦があろうとも経済面で不可分の関係にあ		大長 長 た た た た た か か 能 か ? (2)	Aは可能か? (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (か? (1) きか? (1)	*
本講義の履作	をにあたっては、「東アジア・中国経済論a」 していることが望ましい。	14. 成長の果実 <i>l</i> 15. 総括		` '	
到達日標	東アジア・中国経済に関する専門知識を習得し 解説できるようにする。	し、現代東アジア	・中国経済の	構造等について分析の	)うえ、
事前・事後学修の内容	受講前にテキストの授業内容を予習しておき、	また受講後には抗	受業の内容を	復習しておいてほしい	١,٥
テキスト	南亮進・牧野文夫編『中国経済入門第4版』:	日本評論社、2016	年。		
参考文献	必要に応じて、適宜資料を配布する。				
評価方法	定期試験 80%、授業への参加度・レポート	20%			

-							
09年度以降		東南アジア経済論 a			担当者	高安健一	
講義目的、詞	冓義概要		授業	計画			
この講義で	では、東	東南アジアで事業を展開している日本企	1.	講義の目的	、成績評価		
業の視点に	立って、	各国の経済発展の軌跡および経済の特	2.	東南アジア	経済発展の朝	九跡(1)	
徴について	学習しま	<b>きす。</b>	3.	東南アジア	経済発展の転	九跡(2)	
講義には	二つの庫	曲があります。一つは、東南アジア諸国	4.	タイ (1):経済発展の軌跡と特徴			
の多様性に負	焦点をは	ってることです。東南アジアという地域	5.				
概念が定着してから半世紀しか経っていません。				シンガポール (1):経済発展の軌跡と人材戦略			
もう一つは、共通の分析項目を設定することにより、各			7.	シンガポー	ル (2):産業	<b></b>	
国経済を横立	並びで挑	足えることです。経済発展の初期条件、	8.	シンガポー	ル (3):多国	国籍企業のグローバル拠点	
経済発展戦闘	格、マク	ロ経済動向、産業構造の特徴、外国直	9.	マレーシア:脱工業化の模索			
接投資、日本	本との経	経済関係などについて解説します。	10.	. 人材育成戦略についての全員ディスカッション			
受講生が請	冓義内名	字を、大学での研究や就職活動のみなら	11.	. インドネシア:世界最大のイスラム国家の挑戦			
ず、卒業後	も活用す	<b>けることを期待します。東南アジア経済</b>	12.	. ベトナム:ドイモイ(刷新)政策の意義と限界			
論bも履修し	てくだ	さい。第1回の講義に必ず出席してくだ	13.	3. カンボジア:経済復興から経済成長への道筋			
さい。			14.	ミャンマー	:経済再建の	)胎動	
			15.	講義のまと	め		
到達目標	2 1 - 1 1 4 -	アジア経済に関する専門知識を習得し、5 うにする。	見代東	南アジア経済	<b>斉</b> の構造等に	ついて分析のうえ、解説でき	
事前・事後 学修の内容	事前に授業に関連する文献や統計類に目を通す。						
テキスト	教員が	が作成した資料を配布する。		·			

学期末試験(100%)。ペーパー提出とスピーチによる加点あり。詳細は第1回の講義で説明。

石川幸一他編著(2015)『現代 ASEAN 経済論』文眞堂

参考文献

09 年度以降		東南アジア経済論 b			担当者	高安健一	
講義目的、詞	冓義概要	5 7	授業	授業計画			
この講義で	では、東	<b>東南アジアで事業を展開している日本企</b>	1.	講義の目的、成績評価等			
業の視点に立	立って、	地域経済共同体としての東南アジア諸	2.	第2次世界大戦後の経済発展の軌跡			
国連合(AS	EAN)	について学習します。	3.	ASEAN市場に挑む日本企業(NHKスペシャル)			
講義の柱	は3つま	あります。第1は、1967年に発足した	4.	地域経済共	同体としての	OASEAN(1): 形成過程	
ASEANがい	かなる	経緯で地域経済共同体として発展し、	5.	地域経済共	同体としての	OASEAN(2): 共同体の実現	
多国籍企業	をひき~	つけてきたかを理解することです。第2	6.	地域経済共	同体としての	OASEAN(3): 将来構想	
は、ASEAN	「におけ	る経済発展の担い手である華橋・華人	7.	大メコン圏	開発とインフ	7ラ整備	
資本、日本の	資本、日本の自動車メーカー、邦銀の活動について学ぶこ				ASEANの対域外自由貿易協定(FTA)戦略		
とです。第3	とです。第3は、わが国がASEANのさらなる経済発展のた			わが国自動	車メーカーの	)東南アジアでの事業展開	
めに担うべき	き役割を	と考えることです。	_	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	アジアでの事	214.44	
受講生が記	構義内容	Fを、大学での研究や就職活動のみなら	11.	経済発展の担い手としての華僑・華人資本			
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		「ることを期待します。東南アジア経済		わが国と東南アジアの経済関係(1): ASEANの視点			
	てくだ	さい。第1回の講義に必ず出席してくだ	_	3. わが国と東南アジアの経済関係(2):日本の視点			
さい。				4. 東南アジアに関する学生スピーチ			
				5. 講義のまとめ			
到達目標		?ジア経済に関する専門知識を習得し、₹ うにする。	見代東	南アジア経済	<b>筝の構造等に</b>	ついて分析のうえ、解説でき	
事前・事後 学修の内容	事前に	<ul><li>授業に関連する文献や統計類に目を通っ</li></ul>	r.				
テキスト	教員が	「作成した資料を配布する。					
参考文献	石川幸	左一他編著(2015)『現代 ASEAN 経済論	文	』文眞堂			
評価方法	<b>評価方法</b> 学期末試験(100%)。ペーパー提出とスピー			る加点あり。	詳細は第1	回の講義で説明。	

13年度以降		南アジア経済論 a			担当者	佐藤 慶子		
講義目的、講	義概要	Ī	授業計	画				
在が、製での本い、をはいい、ないはないではでいません。 関地域ははかい 前の変 ア 経済の が 第一条 で の 辺国の と で いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう	っしつもて来えでンバ つ特でした。	が、日本に住む我々にとっても遠い存きた。かつては貧困の代名詞だったのITエンジニア、ボリウッド、携帯電話、アのグローバル企業等、我々の生活圏内の多い。今後ますます重要性が高まるこれだけ正確に理解しているだろうか?り地域とつきあってゆくにはどうしたらための材料として授業を行います。インド型の経済発展と独立後の産業政の代表的な産業を取り上げます。また南ラデーシュ、パキスタン、スリランカ)でも説明します。インドのみならず、周に照らし合わせて学ぶことが出来ます。と新の資料を用いて、様々な切り口から	3. 4. 2. 5. 2. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 11. 13. 1	3. メディアを通して知るインド(経済成長とは) 4. 独立後インドの経済政策(その1) 5. 独立後インドの経済政策(その2) 6. インドの産業(IT産業) 7. インドの産業(自動車産業) 8. インドの産業(繊維産業) 9. インドの産業(製薬産業) 10. インドの産業(財閥と企業) 11. 中間試験				
2=1.1.		'ジア経済を学びます。	15.					
到達日標	南アシ うにす	『ア経済に関する専門知識を習得し、現ん でる。	代南アジブ	ア経済の村	構造等につい 	て分析のうえ、解説できるよ		
事前・事後 学修の内容	予習不	· ・要。復習として、テキストの該当箇所に	こ目を通っ	すこと。				
テキスト	石上•	佐藤(編)「現代インド・南アジア経済	論」ミネ	ルヴァ書	房、2011年			
参考文献	なし							
評価方法 2	平常点	〔(20%)期末試験(80%)。一定回数以	人上の出席	を求めま	す。詳細は質	第1回目の講義で説明します。		

13年度以降		南アジア経済論 b		担当者	佐藤	慶子	
講義目的、講	購義概要	ξ C	授業計画				
後期(b)では、インドの農村部を取り上げます。インドの経済成長とは、単に都市部の中間層が担っているわけではありません。農村部には人口の半分以上が滞留しており、インドの経済成長は農村部の成長が担っているといっても過言ではありません。かつて貧困の代名詞とされてきたインド農村は、現在いかなる変容の過程にあるのでしょうか?本講義では、カーストに代表される社会構造の変化や農村開発政策の実態からも学びます。その際、統計資料のみならず、フィールド調査に依拠したデータから多くを取り上げます。またインドの地域的多様性につき、パンジャーブ、タミルナードウ、ビハール、西ベンガル、の各地域の農業の特色から学びます。			<ol> <li>講義の概要:なぜインド農村部を学ぶのか?</li> <li>(インドの農業)長期的な変遷</li> <li>(インドの農村部)長期的な変動</li> <li>(インドの農村部)社会構造</li> <li>(インドの農村部)土地改革</li> <li>中間試験</li> <li>(インドの農村部)貧困削減政策</li> <li>(インドの農村部)農村開発政策</li> <li>(インドの農村部)労働力の移動</li> <li>(インドの農村部)農村市場</li> <li>(インドの農村部)ポップシャーブ</li> <li>(インドの地方)パンジャーブ</li> <li>(インドの地方)タミルナードゥ</li> <li>(インドの地方)ビハール</li> <li>(インドの地方)西ベンガル</li> <li>復習</li> </ol>				
到達目標	南アシ うにす	デア経済に関する専門知識を習得し、現代 - ス	代南アジア経済の	構造等につい	て分析のうえ、	解説できるよ	
事前・事後 学修の内容		t不要。復習として、テキストの該当箇戸	斤に目を通すこと	0			
テキスト	柳澤悠	系(著)「現代インド経済:発展の淵源・	軌跡・展望」、名	古屋大学出版	会、2014年		
参考文献	なし						
評価方法 平常点 (20%) 期末試験 (80%)。一定回数以上の出席を求めます。詳細は第1回目の講義で説明						で説明します。	
			_				

09 年度以降	オセアニア経済論 a		担当者	加賀爪 優	
講義目的、講義	概要	授業計画			
とこつ 一た済資 悪一過を金ンの論関らて一ンう展問方はとり、遂に国中ラ産て定一を済でいた。 一人の論の論ストにを題、るの、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	場における一次産品の交易条件が長期的にその国内産業構造は「ペティの法則」や「コの法則」の例外的状況を呈してきた。その造と貿易構造が極端に乖離する「2つの顔」。こうした状況の経済的意義と、独特の賃が労働市場にもたらした影響、マーケティー、果たした役割と問題点、州政府と連邦政府分担関係、環境問題への取組み等について	3オセアニ4オースト5ニューア6オセアープ8オランロ邦9ミク連邦裁府11中央政府方12州政一ケテ14RASから15講義のま	でアアアラーアル病済恵制連ルンでのをといる。 を変えるでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	接構造 選集構造 電・産業構造と貿易構造 ジリスのEC加盟 に乗るラッキーカントリー」 可場	
	セアニア経済に関する専門知識を習得し、明 ようにする。	見代オセアニア経	済の構造等に	ついて分析のうえ、解説でき	
事前・事後 学修の内容	講義目的・講義概要に記した内容に関連する情報を収集し、予習・復習すること				
テキスト	食糧・資源輸出と経済発展オーストラリア、	ニュージーランド	`の輸出多角化	過程の計量分析』大明堂	

期末試験の結果(80%)によって評価するが、平常授業における課題レポートなどの実績(20%)も評価

参考文献

評価方法

対象とする

09年度以降		オセアニア経済論 b			担当者	加賀爪 優
講義目的、講	<b>講義概</b> 要	ξ	授業計画	<u> </u>		
論発たにくがき料り当らき特切ア補経舞合じ展こ衰の、た農す時中たにっジ完済台のる過と退親こ役業るの国。そたア性成で最をはし戚の割部こNがこの才諸を長あも前に言、よ時を門とESの国セ国常をあったにいる。	明のうと、ことに諸のに終ってにアトリのいまく近でち縮な国貿う関ニ逆高きジト諸ででのくすよ小る国別に係アに斜対デ地等、まれのセラさ。	国際関係論の枠組の に大きな に大きな に大きな に大きな に大きな に大きな に大きな に大きな で大きな に大きな に大きな に大きな に大きな に大きな に大きな にない といと にいた にいた にいが にいた にいた にいた にいた にいた にいた にいた にいた	2 3 1 4 F 5 V 6 A 7 8 9 F 10 F 11 2 F 13 F 14 F	TPPとニ ヨ豪FTA WTOとオ APECとズ 大 産 産 政 議定 大 を 大 を 大 を 大 大 産 政 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で	なユー・ナグ歴に書ラととと平ジ・トトラとなれまとり環資貿のサインの関連には、アウス・アウス・アウス・アウス・アウス・アウス・アウス・アウス・アウス・アウス・	ア ア ルグアイ・ラウンド  係  主義と黄化主義  ラリア
到達目標		プニア経済に関する専門知識を習得し、 5 にする。	現代オセア	ニア経済	斉の構造等に	ついて分析のうえ、解説でき
事前・事後 学修の内容	講義目	目的・講義概要に記した内容に関連するか	青報を収集	 ミし、予?	 図・復習する	
テキスト	『食糧	・資源輸出と経済発展…オーストラリア、	ニュージ	ーランド	の輸出多角化	過程の計量分析』大明堂
参考文献						
評価方法	期末詞 対象と	⊀験の結果(80%)によって評価するが、 ∶する	平常授業	(における	る課題レポー	トなどの実績 (20%) も評価

09年度以降		アフリカ経済論 a		担当者	佐野 康子		
講義目的、講	購義概要	Ę	授業計画				
た 1960 年代 困がなくなっ 口の増加、ジ 権の減少なと 注がれる関心 この授業は 歴史を紐解さ るアフリカの	たから当だったからいたからいたが、世界が世界がはは、諸政治は、武政治は、武政治は、武政治・大政治・大政治・大政治・大政治・大政治・大政治・大政治・大政治・大政治・大	カ諸国が植民地支配から独立を達成し 世世紀以上が経過した。アフリカから貧 けではないが、豊富な天然資源、労働人 「エのムガベ大統領に代表される独裁政 最後のフロンティアとしてアフリカに いまでになく高まっている。 ジ式で行う。アフリカ諸国の辿ってきた 台経済的な解釈を加え、国際社会におけ と捉え直す。この授業を通じ、距離的に 遠いアフリカをより身近に感じてもら	<ol> <li>多様なアフリカ</li> <li>つくられたアフリカのイメージ</li> <li>奴隷貿易以前</li> <li>奴隷貿易の影響</li> <li>植民地支配の影響</li> <li>アフリカにおける国家とは?</li> <li>独立運動とパン・アフリカニズム</li> <li>国家建設の課題1 政治的側面</li> <li>国家建設の課題2 経済的側面</li> <li>「資源の罠」と権力闘争</li> <li>ガバナンスと人間の安全保障</li> <li>政府・非政府主体の役割</li> <li>世界の中のアフリカ</li> <li>授業総括</li> </ol>				
到達目標	アフリ うにす	リカ経済に関する専門知識を習得し、現代 <sup>→</sup> る。	マフリカ経済の	構造等につい	て分析のうえ、解説できるよ		
事前・事後 学修の内容	授業で	で用いる資料をポータルサイトに載せるの	)で、予習・復習	を怠らないこ	と。		
テキスト	適宜配布する。						
参考文献	適宜配	と布する。					

評価方法

レポート 30%、学期末試験 70%

09年度以降		アフリカ経済論 b		担当者	佐野	康子	
講義目的、講	義概要	Ę	授業計画				
た 1960 年代 困がなくなっ 口の増加、ジ 権の減少など 注がれる関心 この授業は 歴史を紐解さ るアフリカの	から半だけは講、役割を	か諸国が植民地支配から独立を達成し 世紀以上が経過した。アフリカから貧 けではないが、豊富な天然資源、労働人 でなるガベ大統領に代表される独裁政 最後のフロンティアとしてアフリカに はまでになく高まっている。 必式で行う。アフリカ諸国の辿ってきた 会経済的な解釈を加え、国際社会におけ せ捉え直す。この授業を通じ、距離的に 遠いアフリカをより身近に感じてもら	1. 授繁優の 2. 国経接の 3. 経政伝統を 4. 政伝統助的的効をと 6. 援援人製農漁業光済界 10. 農業業光済界総 11. 観経界総 12. 観経界総 14. 世業 15. 授業	仕組み :付 :付 :一から新ドナ :の議論 .て	-~		
判注日標	アフリ うにす	カ経済に関する専門知識を習得し、現f <sup>−</sup> る。	tアフリカ経済∅	構造等につい	て分析のうえ、	解説できるよ	
事前・事後 学修の内容	授業で	で用いる資料をポータルサイトに載せるの	つで、予習・復習	を怠らないこ	と。		
テキスト	適宜配	2布する。					
参考文献	適宜酮	己布する。					
評価方法	レポー	- ト 30%、学期末試験 70%					

09年度以降		中東経済論 a		担当者	水口 章	
講義目的、講義	概要	Ē	授業計画			
本講義では、	中東	<ul><li>(西アジア・北アフリカ両地域)諸国</li></ul>	1. イントロダクシ	ョン(中東地	域の格差・不平等について)	
の経済の現状を	理解	は、経済政策と富の格差についての関	2. 国民経済の形成: 発展の4条件にみる東アジアと中東			
係に関する知識	を習	得することを到達目的とします。	3. 中東諸国の経済発展の流れ(1): 19世紀後半から20世紀初頭			
講義内容は、	中東	[諸国の経済発展および域内主要国の経	4. 中東諸国の経済	発展の流れ(	2): 戦間期の工業化	
済政策について	解訪	だします。その上で、中東諸国が抱える	5. 中東諸国の経済	発展の流れ(	3): 戦後のアラブ社会主義経済	
貧困や経済格差	につ	いいての基礎的知識について、グループ	6. エジプトの経済発展: サダトの門戸開放政策			
研究を通して理	解を	:深め、説明できるようにします。	7. エジプトの資本	主義型経済の	光と影(グループ討論)	
授業は講義と	グル	<b>レープ討議を組み合わせて行います。</b>	8. イランの経済発	展: パーラヒ	<b>゛期のホワイト革命</b>	
できれば、湾岸	産涯	由国を取り上げる後期の中東経済論bと	9. イランの急激な経済社会改革の光と影(グループ討論)			
合わせての受講	が皇	<b>望まれます。</b>	10. トルコの経済発展: 公正発展党の経済政策			
			11. トルコの世俗主義の光と影(グループ討論)			
			12. イスラエルの経済発展: 移民と経済成長			
			13. イスラエルの経済における外部依存の光と影 (グループ討論)			
			14. イスラム共同体の構造 (1): イスラムの公共性			
			15. イスラム共同体の構造 (2): 公共的諸制度			
到達目標中	東縚	経済に関する専門知識を習得し、現代中東	経済の構造等につ	いて分析の	うえ、解説できるようにする。	
	前学	三習:予習資料を事前に熟読(30分程度)	、不明な用語の訓	間べ(60 分程	度)を行ってください。	
学修の内容事	後学	学習:授業で使用した予習資料を読み返し	、授業内容要点の	り文章化に努	めてください(90 分程度)。	
テキスト特	に指	<b>f定しませんが、適宜プリントを配布しま</b>	きす。			
参考文献	参考文献 山口直彦『アラブ経済史』 明石書店、黒田壽郎『本			ム・仏教・現	代の危機』書肆浸水	
評価方法 学	習態	熊度(10%)、課題(30%)、グループ研究	ご発表・レポート	(60%) で総つ	合的に評価します。	

09年度以降		中東経済論 b		担当者	水口 章			
講義目的、講	購義概要	ξ.	授業計画					
ラブ産油諸臣 基礎知識を修 講義内容に 展について角 油国の関連に す。 授業は講彰 づく発表を行	本講義では、国際経済の動向において注目されているアラブ産油諸国の経済について理解を深めるために必要な基礎知識を修得することを到達目的とします。 講義内容は、まずイスラム金融のしくみ、思想および発展について解説します。その上で、国際金融市場と湾岸産油国の関連についての理解を深め、説明できるようにします。 授業は講義形式および、担当を決めてグループ研究に基づく発表を行う形式とします。 できれば、中東経済論aと合わせての受講が望まれます。			1. イントロダクション (現代中東経済の研究について) 2. 1990年代の原油価格の動向と産油国経済: 不安定な経済発展 3. 石油収入とレンティア国家について: 権威主義体制と分配 4. 湾岸産油諸国の経済発展: 経済発展の初期条件 5. 湾岸産油諸国の工業化: 経済発展の経路 6. イスラム金融の発展の歴史: 7世紀から今日までの動向 7. イスラム金融取引の基本概念(1): 損益分担概念のスキーム 8. イスラム金融取引の基本概念(2): 商品取引型概念のスキーム 9. イスラム金融の多様性(1): 多様性の要因分析 10. イスラム金融の多様性(2): バーレーンとマレーシアの比較 11. サウジアラビアの経済(グループ討論) 12. アラブ首長国連邦の経済(グループ討論) 13. カタール経済(グループ討論) 14. 地域経済の統合: GCC諸国の統合戦略				
			15. まとめ:国際経済と湾岸アラブ産油国(全体討論)					
到達目標	中東紹	経済に関する専門知識を習得し、現代中東	<b>延済の構造等にて</b>	ついて分析の	うえ、解説できるようにする。			
事前・事後 学修の内容		全習:予習資料を事前に熟読(30分程度 全習:授業で使用した予習資料を読み返し						
テキスト	特に指	f定しませんが、適宜プリントを配布しる	<b>きす。</b>					
参考文献	参考文献 吉田悦章『はじめてのイスラム金融』、小杉泰・長			を知る 12 イス	ラーム銀行――金融と国際経済』			
評価方法	学習創	<b>ミ度(10%)、課題(30%)、グループ研</b> 系	 『発表・レポート	(60%) で総	合的に評価します。			

13 年度以降 12 年度以前		精神保健福祉論 精神衛生論 a	i a			担当者	伊藤	晋一
講義目的、講	構義概要	5		授業計画				
現代社会に	は自殺す	者の数が毎年3万	人近くに上り、企業で	1.	はじめに:精神保健からみた正常と異常			
の休職者の事	事由に	「うつ」が急増し	ている。「精神障害」と	2.	2. 精神医療の歴史			
いう言葉を聞	聞いて、	「自分とは関係	がない」と考える人も	3.	脳および神	経の生理・角	解剖	
多いであろう	うが、神	<b>Þ経症レベルの病</b>	態も含めれば、このよ	4.	4. 精神障害の診断(古典的診断方法)			
うなストレス	スの多り	ハ現代社会では記	進がかかってもおかし	5.	5. 精神障害の診断(操作的診断方法)			
くないといえ	える。オ	講義では、現代	精神医学の診断方法、	6.	6. 認知症			
疾病概念、名	<b>子種精神</b>	<b> 障害について概</b>	説し、精神保健の概念	7.				
を理解することができるようにする。			8.	統合失調症(症状・治療)				
これにより自分自身の学生生活で精神保健の向上に役			9.	気分障害	(躁うつ病)			
立てることに	はもちろ	らん、家族・友人	・地域社会において社	10.	パーソナリティ障害			
会的偏見を持	寺つこと	なく正しい対応	ができ、将来にわたっ	11.	物質関連障害(薬物依存)			
て精神保健的	的観点	から他者の援助る	をすることができるよ	12.	神経症			
うになること	とを本語	<b>講義の目的とする</b>	0	13.	小児期・青年期の精神障害			
				14.	精神鑑定と医療観察法			
				15.	まとめ: 琲	代社会におり	ナる精神保健	
到達目標			専門知識を習得し、現代 できるようにする。	弋社会	のストレスタ	発生要因、お	よびその対処法	:等について分
事前・事後		, ., ., .	テーマに関連した新聞			こと。		
学修の内容	また、	講義でのプリン	ト等を授業後に復習する	ること	>			
テキスト	テキス	、トはとくに指定	しない。レジュメを配っ	布する	0			
参考文献	参考文献 参考文献は講義の際に紹介する。							
評価方法	定期記	大験 100%。講義	の際の提出物は加点の対	一大象と	 する。原則 &	 こして、再試	 験・追試験は行	ーーー うわない。

13 年度以降 12 年度以前		精神保健福祉論 b 精神衛生論 b			担当者	伊藤 晋二		
講義目的、詞	構義概要	<del>2</del>	授業	計画				
精神保健	(メンタ	アルヘルス) や精神障害の問題は現代社	1.	オリエンテ	オリエンテーション:現代社会と精神保健			
会においては	は喫緊0	O課題であることは言うまでもない。自	2.	ライフサイクルと発達段階				
閉症スペク	トラムな	などの発達障害、学校でのいじめや不登	3.	乳幼児期の精神保健				
校の問題、非	‡行やて	<b>♪きこもり、自傷行為などの思春期・青</b>	4.	学校の精神	F保健(小学村	交・中学校)		
年期の問題、核家族化・保育所不足の子育てに関する影響、			5.	学校の精神	保健(高校	・大学)		
児童虐待の問題、産後抑うつなどの女性の精神保健の問			6.	職場の精神	保健(法律	• 制度)		
題、労働災害としての精神障害、異常犯罪、超高齢化社会			7.	職場の精神保健(予防・復職支援)				
における認知症の問題など、メンタルヘルスの問題は個人			8.	女性のライフサイクルと精神保健				
的な問題では	はなく、	解決すべき社会的問題ととらえるべき	9.	高齢者の精神保健				
である。本語	講義で!	は精神保健福祉論aを踏まえて(精神保	10.	地域の精神保健(法律・制度)				
健福祉論bの	みを履	修することも可能である)、ライフサイ	11.	地域の精神保健(地域精神保健資源)				
クルから見た	た精神の	R健、社会的な問題としてのメンタルへ	12.	ストレスと身体の関連				
ルスについて	て理解し	、 専門的対人援助としての介入方法な	13.	タバコ・ア	ルコール・信	女存性物質について		
どについて	考察し	ながら理解できることが本講義の目的	14.	対人援助サ	ービスとは			
である。			15.	まとめ:多	定した精神に	保健サービス提供のために		
到達目標		R健福祉に関する専門知識を習得し、現代 うえ、見解を提示できるようにする。	弋社会	のストレスタ	発生要因、お	よびその対処法等について分		
事前・事後 学修の内容		べスにある毎回のテーマに関連した新聞記載			こと。			
		講義でのプリント等を授業後に復習する		<u> </u>				
テキスト	テキス	ストはとくに指定しない。レジュメを配れ	下する。	>				
参考文献	参考了	文献は講義の際に紹介する。						

定期試験 100%。講義の際の提出物は加点の対象とする。原則として、再試験・追試験は行わない。

09年度以降		法学a			担当者	湯川 益英
講義目的、講	購義概要	<del>2</del>	授業計画	<u> </u>		
私たちの日常は、様々なルールに則って営まれている。 人間はそれぞれが個性をもち、それぞれが異なった欲望 や欲求をもっているため、相互に矛盾・対立が生じる可能 性がある。それゆえ、紛争を解決し、社会を維持・発展さ せるためには、各人に共通するルールが必要になるのであ る。 法学aでは、そうした諸ルールのうち憲法・民法・刑法・ 商法・民事訴訟法・刑事訴訟法(いわゆる「六法」)と国 際法を中心に概観して、法律についての一般知識を学び、 道徳や倫理、慣習や条理も含めて「法とは何か」という根 本問題について考える。 身近で今日的な具体的事例を引用しつつ、わかりやすく 活気のある授業を展開したい。			2. [3. ] 4. [3. ] 5. [4. ] 6. [3. ] 7. [4. ] 8. [4. ] 9. [4. ] 10. [5. ] 11. [6. ] 12. [6. ] 13. [6. ]	国材家事犯企民刑労肖国首家産族故罪業事事働費際徳法法法法判判法と会倫	一人に (民法②) (民法法③) (民法法③) (以政法法法》 (民法法》 (以政法》 (以政法》 (以政法》 (以政政法》 (以政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政政	訟法) :、労働契約法など) :約法、PL法など) :習、条約など) :理と法 (法とは何か①)
			15. 🕯	総括		
到達目標	法学0	つ知識を習得し、公法、民事法、刑事法と	といった名	<b>予領域で</b> の	の法解釈がで	きるようにする。
事前・事後 学修の内容 授業計画に則して、事前にテキストの該当頁を			を一読し、授業後に再読すること。			
<b>テキスト</b> テキスト『エッセンシャル法学』( <b>成文堂</b> )。7			 六法( <b>有斐閣</b> の『ポケット六法』など)。			
参考文献	逐次、	補足レジュメを配布し、参考文献は適宜	<b>直紹介する。</b>			
評価方法	定期詞	<b></b>				

09年度以降		法学 b			担当者	周 劍龍
講義目的、調	冓義概要	Ę.	授業計画	<u> </u>		
「社会あるところに法あり」が意味するように、われわれの人間社会はさまざまなルール (法や規範) により維持され、営まれている。法とは何かについて従来さまざまな議論があり、共通認識 (定説) に至っていないのが現状である。			2. % 3. % 4. ½ 5. ½ 6. % 7. ½ 8. ½ 10. ½ 11. ½ 12. 1 13. † 14. %	去と裁発国とのとは、おります。これは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	元 司 由、財産 、 竟保利、 権 管 済と国 家 と 日 で と 日 で と 日 し 日 と 日 し 日 は 日 は 日 は 日 は 日 は 日 は 日 は 日 は 日 は	の分立
到達目標	法学0	り知識を習得し、公法、民事法、刑事法と	といった名	<b>予領域で</b> の	の法解釈がで	きるようにする。
事前・事後 学修の内容 授業前に指定したテキストや資料の部分を予習			習し、授業後授業の内容を復習する。			
テキスト	テキスト 末川博編『法学入門〔第6版補訂版〕』、六法			つ 『ポケ	ット六法』な	ど。
参考文献	参考文献 随時配布する。					
評価方法		式験により成績を評価する(100%)。平常 一定回数以上の欠席は不可と評価する。				

09年度以降		政治学総論 a					担当者	杉田	3 孝夫
講義目的、詞	冓義概要	Ę.		授業	計画				
分的に異なって 「よりではない。 が原理代であり、 を監視者であり、 を監治とであり、 でするである。 が原理になり、 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。	っての一てつせばなり、たではつ人でするとではったではったまでになった。	支配の学であった。   大時代にあっては、   大時代にあっては、   大の学問であった。しあるとされるデモク・市民は、共通の法を選ぶとるとされるを選ぶを入る政治主体である。   大道の大力が求められるとはない、それはない、そのような意味である。	支配身分のための かし治者と被治者 ラシーの時代であ 従うという意味で 行していくための であり、政治過程 のは、政治社会の 上に政治なつける	2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	1-2 3 1	も改権権古人生富二自主ののがの計のと的発権会祉つ律体ロバリーの対象を対象を対していませた。	者形態 自 リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ	政治 政治が隠れる ズム とアメリカの〕	リベラリズム
到達目標	政治学の知識を習得し、近代日本の政治システム、国際政治、政治過程などにおける問題点について分析のうえ、自らの見解を提示できるようにする。								
事前・事後 学修の内容	あらかじめテキストの該当個所を読んで、講義に臨むと関心と理解が深まる. 受講後は、図書館で、講義に関連文献を 閲覧参照し、ノートを補充整理するとよい. 講義の中で紹介する関連文献を手に取って読むとなおよい.								
テキスト	川崎修・杉田敦[編]『新版 現代政治理論』有斐閣,2012年.								

キムリッカ、W/千葉真・岡崎晴輝ほか訳『新版 現代政治理論』日本経済評論社,2005 年

レポート (40%) と試験 (60%) による

レポート (40%) と試験 (60%) による

参考文献

評価方法

09年度以降		政治学総論 b		担当者	杉田 孝夫
講義目的、講	購義概要	Ę	授業計画		
治学は支配身分 た。しかは領すってるの全に、界の策なを享めれるの全に、界のではない。 中のでは、界のでは、界のではでは、のででは、のででは、のででは、のでではでいるでは、のでは、のでは、のでは、のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	かまできれている。知的そき来 政のあ関われくム 政的権のるの 治うら覧の あり にしょう かか	的に切り離されていた近代以前においては、政者のための統治の技術であり教養の学であったの関係にあるデモクラシーの現代においては、官にとって必要な教養である以上に、市民にといまき政治家とよき行政官を生み出しかつ評価身だからである。政治は、人間が相互に自由かとを可能にするための相互行為であり、政治のアイデアリズムの緊張関係の中で営まれる実践は、現実を見据えて、リーズナブルな理解と解みである。われわれは、生涯を通じて、他者と関係を形成しながら、その中で相互の自由と安互了解された関係をたえず更新していくことなとすらおぼつかない。その作為性と変更可能性由と平等と平和のさらなる可能性が開かれる。 この知識を習得し、近代日本の政治シスラと、自らの見解を提示できるようにする。いめテキストの該当個所を読んで、講義に臨い照し、ノートを補充整理するとよい、講義の	4. 6-4 討議ラ 5. 6-5 ネーシ 6. 7-1 ネーシ 7. 7-2 多文化 8. 8-1 フェミ 9. 8-2 フェミ 10. 9-1~3 公会 11. 9-4~6 公会 12. 10 環境と 13. 11-1~2 主 14. 11-3~4 国 15. 11-5~6 グ テム、国際政治、 むと関心と理解が 中で紹介する関連	デモクラシン (デモクランとと) ニュー ニュー エークラン (デモクランとと) エニズ とと (大生と) 大きな (大生と) (大生と	ラディカル・デモクラシー ラシー ナリズム 論への寄与 : (1) 公と私の境界線 : (2) 市民社会論 ストファリア体制 生 ョンと国境を超えるデモクラシー における問題点について分析 は、図書館で、講義に関連文献を
	テキスト 川崎修・杉田敦[編] 『新版 現代政治理論』 有			13人 『日子の学	च्य=८५1 aaa⊭ <i>म</i>
参考文献	キムリ	「ッカ,W/千葉眞・岡崎晴輝ほか訳『新	財 現代政治場	2論』 日本経済	評論仕,2005 牛

13年度以降		国際政治学a		担当者	岡垣 知子
講義目的、講義概要 国際政治学は、他の社会科学および自然科学の知見を取り入れながら、戦争の原因および平和の条件をその中心的課題として、発展してきた学問である。この講義は、複雑化する今日の国際政治事象を体系的に考え、一見アト・ランダムな寄せ集めに見える国際的事件の中に一定のパターンを見出し、分析する力を養うことを目的として、国際政治学の基礎概念や代表的理論を紹介する。		5. 国際政治学の 6. 国際政治学の 7. 国際政治学の 8. リアリズムの	E駅思想  (1) D基礎概念 (1) D基礎概念 (2) D基礎概念 (3) D世界 (1) D世界 (2) (4) T 構 (2) の世界 (2) (4) の世界 (3) (4) アイヴィズ	) 国際政治の構造と安定性 典的リアリズム 造主義とネオリアリズム ) 相互依存論 ) 民主的平和論 ) 国際制度論	
到達目標と	と日本のかかわり方を体系的かつ正確に解釈し、個別の事象について見解を示すことができるようにする。				
事前・事後         ポータルサイトに載せるアウトラインに沿って予習しておく。           学修の内容         授業で扱った内容についてのレポート提出が求められることがある。					
テキスト	テキスト なし				
参考文献	参考文献 村田他『国際政治学をつかむ』有斐閣、藤原他『平和政策』有斐閣				
評価方法	<b>平価方法</b> 小テスト:10%;宿題:10%;レポート:30%;期末テスト:50%				

13 年度以降		国際政治学b		担当者	山下 光		
講義目的、講義概要  この講義では、国際政治を深く理解するためにポイントとなる知識や知的道具を提供する。前半では国際政治に主要な概念および重要なイシューについて紹介し、後半では国際政治の主要理論を導入する。なお、適宜時事問題についても取り上げる機会とする。			2. 国際所 政政 4. 国際際 グロ 5. 国際際中 政政治のの グ国 国際際の 等 の 8. 国際際政政 の 8. 国際際政政 10. 11. 国 国際際政政 12. 国際際政政 12. 国際際政政 13. 国際際政政 14. 国際際政政 14. 国際際政政 14. 国等 15. 国等 16. 国等 1	概概・概概概概はまできる。ととが念念のでは、とととというでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	(1): 国家と主権 (2): 民族と国民国家 (3): グローバリゼーション、 (4): 人道主義と人権 (5): 9.11 と国際テロ (6): 安全保障と戦争 (7): 紛争と紛争管理		
■判译日標		治学の基礎的理論、ウェストファリア以降現 のかかわり方を体系的かつ正確に解釈し、個					
事前・事後 学修の内容 配布されたレジュメおよび参考文献の読解							
テキスト なし。配布レジュメに基づき進める。							
参考文献 テーマに応じ適宜授業の中で紹介する。							
評価方法		-トによる。長さ、期限など詳細は授業 <sup>に</sup> : しっかり確認して準備すること。	中に指示する。なれ	お、期限を過	ぎての提出は認めないため、		

09年度以降	<b>E</b>		担当者	湯川	益英	
講義目的、講義概要			授業計画			
経済活動は、人と人とのあいだの物=財の取引を基礎にして営まれる。 民法は、その主体である人・客体である物=財についてのルールであり、さらに人と人との間の物の取引におけるルールを定めたものである。 民法aでは、民法の体系を概観した上で、物についてのルール(物権法)と、債権を担保するためのルール(担保物権法)を中心に学ぶ。 商品交換法としての民法は、資本主義私法の基礎法であるが、その規定するところは、物の売り買い、貸し借り、雇用・請負、事故の解決、親族・相続関係など、日常の最も身近な財産関係ならびに家族関係である。 従って、授業においても、身近な具体例を素材にして、判りやすく活気のある展開を目指したい。			1. ガイダンス 2. 財産法の体 3. 家権の体 4. 私権のの主為 5. 私権のの変 6. 物権有の変 8. 占所有権を 10. 用益定担権 11. 抵氏の供事の総 12. 授業の 14. 授業の 15. 授業	・ 一親族と法 ・ 一親族と法 ・ 自然人と ・ 言思表示、代 ・ と性質 を を を を を を を を を を を を を	相続法 人 理	
到達目標	民法の	) 知識を習得し、民法総則および物権に関		 く解釈できる	 ようにする。	
事前・事後 学修の内容	テキス	テキストの該当部分を各回の授業前に一読し、授業後に再読すること。				
テキスト	ト 『ハイブリッド民法2』(法律文化社)。六法 (出版社は問わない)。					
参考文献	参考文献 逐次、補足レジュメを配布し、参考文献を適					
評価方法		式験(100%)によって評価するが、発言 こついてはガイダンスで説明するが 10 ポ			姿勢を加点対象	とする。加点

09年度以降		民法 b		担当者	湯川	益英
講義目的、認	冓義概要	<u> </u>	授業計画			
経済的な営為は、契約によって行われる。 たとえば、私が大学から賃金を付与され、家族がそれで日常生活に必要な買物をするという営みは、雇用契約と売買契約を介して行われる。 こうした契約についてのルールは、13種類の典型的な契約として民法に規定されている。  民法bでは、財産法の体系を概観した上で、典型契約の中でも日常生活において締結される頻度の高い売買・賃貸借・消費貸借・雇用・委任・請負等の契約についての規定に重点を置きつつ、不法行為法・不当利得法・事務管理法などを含めて債権法について学ぶ。 春学期の民法aと同様、身近な具体例を素材にして、判りやすく活気のある授業を展開したい。			1. ガイダンス 2. 債権総論 3. 契買契約①- 5. 売買買契約②- 6. 賃賃貸借契約② 7. 賃賃貸借契約③ 7. 賃賃貸借契約③ 10. 請員のの要約 11. そ事法行事実と 13. 要件業の総括 15. 授業の結	- 売主の担保 ① - 賃貸借契 ② - 民法と借 約 委任契約 的	責任 約の意義と性質 地借家法	Î
到達目標	民法の	つ知識を習得し、民法総則および物権に関	<b>貫する条文を正し</b> 、	く解釈できる	ようにする。	
事前・事後 学修の内容	- 「一字もフトの該当型会を授業前に一語」「授業祭に申請するとし					
テキスト	『マバ	『マルシェ債権各論』(嵯峨野書院)。六法(出版社は問わない)。				
参考文献 補足レジュメを逐次配布し、参考文献を適宜和			20分する。			
評価方法	/ -//	試験(100%)によって評価するが、発言 こついてはガイダンスで説明するが 10 ポ	, · · · · · · · · · · · · · · · · ·		姿勢を加点対象	とする。 加点

13 年度以降 12 年度以前		会社法 a 商法 a		担当者	周 劍龍
講義目的、講	構義概要	Ę	授業計画		
講義目的、講義概要 講義目的この講義は受講生が企業をめぐる法的な仕組みに関する涵養を身に付けることを目的とする。 講義概要 現代社会の人間生活は多く企業に依拠している。企業は、財やサービスのほか、仕事の場をも提供する。企業とは何か、企業の法的な仕組みとは何かなどを知ることは現在社会に生きるわれわれにとって重要な意味を有する。本講義は、商法・会社法をベースにして、企業(とりわけ株式会社)の法的な仕組みを解明する。会社法aと会社法bは会社法の授業内容を構成するため、会社法aを履修した後に、継続して会社法bを履修すること		3、会社法総則(i) 4、株式会社の特色 5、会社の誕生とi 6、会社の誕生とi 7、会社の誕生とi 8、株式(その1、 9、株式(その2、 10、株式(その3、 11、株式の発行(その3、 12、株式の発行(その3、	刊性、法人性、 通則、会社の商 肖滅(その1、 肖滅(その2、 肖滅(その3、 株式の性質、 種類株式、株 自己株 式、株 との1、総論) たの2、募集株	社団性、法人格否認の法理など) 前号、会社の使用人と代理商など) 情任の原則、譲渡自由の原則など) 設立の概要、定款の作成など) 出資の履行、設立登記など) 会社の解散) 株主の権利と義務など) 式の上の自由と制限など)	
			15、まとめ		
到達目標	会社法	<b>よの知識を習得し、会社法を正しく解釈で</b>	できるようにする。 		
事前・事後 事前の学修については、テキストの関連部分、i 学修の内容 業の内容を復習する。			配布した関連資料を予習する。事後の学修については、授		
テキスト 神田秀樹『会社法〔第19版〕』(弘文堂、2017			7年)、六法(有斐	閣の『ポケ	ット六法』など
参考文献 関連資料を随時配布する。					
評価方法	<b>評価方法</b> 定期試験により成績を評価する (100%)。平 る)。一定回数以上の欠席は不可と評価する。				

13 年度以降 12 年度以前		会社法 b 商法 b		担当者	周 劍龍
講義目的、詞	冓義概要	5 7	授業計画		
講義目的この講義は受講生が企業をめぐる法的な仕組みに関する涵養を身に付けることを目的とする。 講義概要現代社会の人間生活は多く企業に依拠している。企業は、財やサービスのほか、仕事の場をも提供する。企業とは何か、企業の法的な仕組みとは何かなどを知ることは現在社会に生きるわれわれにとって重要な意味を有する。本講義は、商法・会社法をベースにして、企業の法的な仕組みを解明する。会社法bの履修に当たって、会社法aを履修したことが望ましい。			3、機関(その3、札 4、機関(その4、耳 5、機関(その5、 6、機関(その6、 7、機関(その7、	株主総会①、株 株主総会②、環 文締役、取締役 大表取締役、会 左査役、監査役 監査等委員会設 投員等の責任お 変更	主総会の権限、運営など) (主総会の権限、運営など) (会) (会) (計参与) (会、会計監査人) (置会社、指名委員会等設置会社) (よびその追及手段)
到達目標	会社沒	<b>よの知識を習得し、会社法を正しく解釈で</b>	<b>ごきるようにする。</b>		
事前・事後 学修の内容					
テキスト 神田秀樹『会社法〔第19版〕』(弘文堂、2017年)、			7年)、六法(有斐	閣の『ポケッ	ット六法』など
参考文献 関連資料を随時配布する。					
評価方法	定期試験により成績を評価する(100%)。平常点(授業への参加度)を加点材料とする(上限は10%とる)。一定回数以上の欠席は不可と評価する。詳細について授業の初回に説明する。				

# 講義目的、講義概要

今どき、著作権という言葉を知らない人はもはや少ない。しかし、著作権を正しく理解するためには、著作権法を読み、立法意図や条文の解釈をしなければならない。この講義は、著作権法を学びたい初学者のための入門講義であり、著作権法を基本概念から理解していく。

講義では教科書と著作権法の条文を用いて著作権法の 体系と内容を理解し、裁判例を数多く見ながら著作権法の 解釈と適用を理解していく。また、関連する視聴覚情報も 紹介しながら講義を進める。

毎回の講義には教科書と著作権法条文を持参し、事前に 予習してきてほしい。初回の授業ガイダンスには講義の詳 細な進め方に関する重要告知があるので、必ず出席するこ と。

#### 授業計画

- 1 授業のガイダンス、著作権法の体系
- 2 著作物 1: 著作物とは、著作物の種類
- 3 著作物 2:二次的著作物、編集著作物、データベース
  - の著作物、共同著作物
- 4 著作者と著作権者:創作者主義の原則と例外
- 5 著作者の権利1:著作者人格権
- 6 著作者の権利 2: 著作権(著作財産権)
- 7 著作権の制限1:例外規定の概観、私的複製
- 8 著作権の制限2:引用、保護期間
- 9 著作物の利用:利用許諾、出版権
- 10 著作隣接権
- 11 権利侵害 1:侵害の要件
- 12 権利侵害 2:パロディ問題、みなし侵害
- 13 権利侵害に対する救済
- 14 著作権の登録制度、裁定制度、新たな問題
- 15 総括:質問への回答と復習

到達目標	著作権法の知識を習得し、著作権法を正しく解釈できるようにする。
事前・事後 学修の内容	1回目のガイダンスで配布した授業計画に沿って、授業で扱う範囲の教科書を予習(2時間)し、授業後は、重要概念や裁判例を復習する自宅学習(2時間)が求められる。
テキスト	茶園編『知的財産法入門(第2版)』(有斐閣・2017年)
参考文献	伊藤塾『知的財産法(第4版)』(弘文堂・2012年)、平嶋他『入門知的財産法』(有斐閣・2016年)
評価方法	定期試験の結果 (80%) および授業中 Quiz など参加度 (20%) を合わせて評価する

09 年度以降 著作権法 b 担当者 張 睿暎

### 講義目的、講義概要

この講義では、著作物の種類や利用局面ごとに、著作権とその隣接分野で実際に起こった紛争や新たに台頭してきた問題、法改正に向けてなされている議論等を詳しく解説する。法学部の講義として、著作権法の基礎知識のある学生に向けておこなうため、春学期の「【法】法律学特講

(初めての著作権法)」、「【経】著作権法a」を履修していることが前提となる。本講義では著作権法の体系にそっての解説は行わないので、先修科目を履修せずに受講しても、本講義が目標としている事例分析はできないので、必ず先修すること。

講義では教科書と併用して、裁判例、論文、報告書、最 新の海外動向なども数多く紹介しながら進める。

毎回の講義には教科書と著作権法条文を持参し、予習してきてほしい。初回の授業ガイダンスには講義の詳細な進め方に関する重要告知があるので、必ず出席すること。

- 1 授業のガイダンス、著作権法の体系、著作物
- 2 著作者、著作権、著作権の制限
- 3 著作隣接権、著作物の利用、権利の侵害と救済
- 4 出版物(雑誌、書籍、写真)
- 5 漫画、アニメ、キャラクター
- 6 音楽1:音楽著作権と著作隣接権、音楽配信
- 7 音楽 2:音楽の放送使用、CM音楽、ゲーム音楽
- 8 映像物 1:映画における権利関係、映画の商業的利用
- 9 映像物 2: 放送、動画配信ビジネス
- 10 ゲーム
- 11 インターネット1
- 12 インターネット2
- 13 二次創作、パロディ
- 14 肖像権・パブリシティ権
- 15 総括:質問への回答と復習

到達目標	著作権法の知識を習得し、著作権法を正しく解釈できるようにする。
事前・事後 学修の内容	1回目のガイダンスで配布した授業計画に沿って、授業で扱う範囲の教科書を予習(2時間)し、授業後は、重要概念や裁判例を復習する自宅学習(2時間)が求められる。
テキスト	島並=上野=横山『著作権法入門(第 $2$ 版)』(有斐閣・ $2016$ 年)、高林龍『標準著作権法(第 $3$ 版)』(有斐閣・ $2016$ 年)
参考文献	小泉他編『著作権判例百選(第 5 版)』(有斐閣·2016 年)
評価方法	定期試験の結果 (80%) および授業中 Quiz など参加度 (20%) を合わせて評価する。

09年度以降		総合講座 a		担当者	経済学部		
講義目的、講義概要			授業計画				
学外から著名な方々を招き、講義をしていただきます。 総合講座の性質上、社会経済文化など広範なテーマが取り上げられます。それぞれの分野の研究者・専門家・実務家の豊富な経験に基づく知見や最新情報のエッセンスをうかがえる貴重な機会です。 学外からの講師をお招きするので、時間厳守で出席のこと。講義中の私語は厳禁。受講態度の悪いものは退室を命ずることがあります。			第1回講義で説明	します。			
到達日標	経済・経営・環境分野の現場で活躍する人々の講演を通じて、それらの現場の実態および今後の展望等について理解・分析し、見解を提示できるようにする。						
	各回の講義の中でとりあげられた時事用語・専門用語について辞書等で確認し、その意味と用法を十分に 理解すること。						
テキスト							
参考文献	講師により参考文献が指示されることがあります。						
評価方法	授業中の態度およびレポートにもとづき総合的に判断します。詳細は第1回授業で説明します。						

09年度以降		総合講座 b		担当者	経済学部		
講義目的、講義概要			授業計画				
学外から著名な方々を招き、講義をしていただきます。 総合講座の性質上、社会経済文化など広範なテーマが取り上げられます。それぞれの分野の研究者・専門家・実務家の豊富な経験に基づく知見や最新情報のエッセンスをうかがえる貴重な機会です。 学外からの講師をお招きするので、時間厳守で出席のこと。講義中の私語は厳禁。受講態度の悪いものは退室を命ずることがあります。			第1回講義で説明します。				
針	経済・経営・環境分野の現場で活躍する人々の講演を通じて、それらの現場の実態および今後の展望等について理解・分析し、見解を提示できるようにする。						
	各回の講義の中でとりあげられた時事用語・専門用語について辞書等で確認し、その意味と用法を十分に 理解すること。						
テキスト							
参考文献	講師により参考文献が指示されることがあります。						
評価方法	授業中の態度およびレポートにもとづき総合的に判断します。詳細は第1回授業で説明します。						

			,	
			担当者	
講義目的、講義概	 要	授業計画		
到達目標				
事前・事後				
学修の内容				
テキスト				
参考文献				
評価方法				
09年度以降	特殊講義b(資本市場の役割と証券投資	至)	担当者	経済学部
建苯甲的 建苯柳	<u> </u>	₩ 計画		
講義目的、講義概芸	<del>女</del> 回「野村證券グループ」の講師陣がリレ	授業計画 まま (知同の講:		
	日の資本市場に求められる役割と証券投	木足(7//回り神:	我でかりり	
	な事項や考え方について、理論と実務の			
両面からわかりや	すく解説する。具体的には、投資のリス			
	え方、株式市場、債券市場、ポートフォ			
	替市場など証券投資における重要なテー			
-	さらに、年金全般への理解を深め、各自 理ができるようになることも目指す。			
	外部から講師を招いているため、受講態			
	大学の社会的評価に影響する。したがっ			
	態度をきちんとすることはもちろん、必			
ず毎回出席するこ	٤.			

到達目標従来の科目の枠組を超えて様々な専門知識を習得し、発展・変革を続ける現代社会に適宜対処できる方法を策定できるようにする。事前・事後 学修の内容講義資料は予めアップしておくので、関連項目を事前に読んでおいてください。テキスト資料は、毎回受講者自身の手により事前にダウンロード・印刷のうえ持参すること。ダウンロード方法は初回の講義で説明する。参考文献参考文献として、野村證券投資情報部編『証券投資の基礎』丸善。評価方法定期試験 100%

# 講義目的、講義概要

講義では、宇宙開発、惑星探査、深海調査と研究、哺乳類から微小昆虫まで含めた生命世界の驚異、さらに巨大災害、原子力、人工知能、情報科学など、私が自分の眼で見てきた、あるいは体験してきた最先端の現場報告をメディアに発表する前に、授業で皆さんにいち早く伝えます。

長年にわたりノンフィクション作家、ジャーナリストとしてこれらのテーマを追い続けてきましたが、現在も取材執筆活動を継続しています。

授業では、取材現場で得た最新成果を、スクープ写真や映像を駆使し感動に満ちた授業を目指します。そのため、授業計画とは異なる内容のテーマもとりあげることがあります。

理系の内容ですが、文系の立場で伝えますので安心して下さい。私も文系出身ですが、難解な科学技術をわかりやすく伝えることを使命として、50年にわたり取材調査・執筆活動を続けてきました。その膨大な蓄積をも活用し、人類の、日本人の知的な冒険と挑戦、科学技術のへの理解をわくわくしながら深める機会となればと願っています。

# 授業計画

以下の内容を含みますが、春学期・秋学期の内容入れ替え、 大幅変更、最新時事的要素による追加があります。

01.小惑星・小惑星「Ryugu」に6月到着の「はやぶさ2」 02.小惑星・7年間の宇宙大航海、探査機「はやぶさ1」 03.太陽系誕生・海抜5000mに登場した電波望遠鏡アルマ 04.宇宙起源・1000億の星からなる1000億個の銀河解明 05.全天の星・30年間100万個の星を観測した獨協大学博士 06.月・日本カ=月探査機「かぐや」と新たな月探査計画 07.月・Googleの宇宙レースで挫折した「HAKUTO」計画 08.ロケット・日本初「ペンシルロケット」からの開発史 09.ロケット・H-2ロケット「自爆」の真相と教訓 10.国際宇宙ステーション・第1回資材打ち上げロシア取材 11.国際宇宙ステーション・補給機「こうのとり」の製造 12.しんかい「6500」沖縄トラフ深海への静かな潜航 13.生命起源・深海で直面した地球40億年前の生命世界 14.地球深部・地殼の最深掘削の調査船「ちきゅう」報告 15.世界に誇る日本のスーパー実験施設と科学力

到達目標	従来の科目の枠組を超えて様々な専門知識を習得し、発展・変革を続ける現代社会に適宜対処できる方法 を策定できるようにする。
事前・事後 学修の内容	新聞や「日経ビジネスオンライン」などで5~6本の報告記事の連載を担当しており、授業で紹介します。
テキスト	山根一眞著『スーパー望遠鏡「アルマ」の創造者たち』、『理化学研究所 100 年目の巨大研究機関』(中国語版出版予定)
参考文献	授業内容に応じて、随時、紹介します。
評価方法	レポート(書き方を詳しく伝えます。そのノウハウは他の講義、就活にも確実に役立ちます)。

09 年度以降 特殊講義 b (先端科学技術の挑戦と発見) 担当者 山根 一眞

# 講義目的、講義概要

今年は、小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星「Ryugu」に到着、熱い宇宙年となります。日本の水星探査機「ベピコロンボ」も宇宙へと旅立ちます。それらを追うため建造中の巨大通信用パラボラアンテナも、近々完成します。ライフワークとして2003年に小惑星探査機「はやぶさ」の取材を開始して以来、15年目の新たなステージゆえ、ホットな取材成果を授業で伝えられるでしょう。

また、長年取材調査を続けてきた「ニホンオオカミ絶滅の謎」の作品が今年出ますので、イリオモテヤマネコなど絶滅危惧種をめぐる問題も取り上げます。恐竜研究も長年フォローしてきましたが、今年も新発見が期待されますので、その報告もできるでしょう。また、この数年、深海への関心が高まっていますが、深海有人潜水船「しんかい2000」、「しんかい6500」に搭乗し深海世界を見てきた経験をふまえ、その驚くべき最前線も随時伝えます。

いずれも理系の内容ですが、文系の立場で伝えますので 安心して下さい。ともに、人類のフロンティアへの旅に出 ましょう。

### 授業計画

以下の内容を含みますが、春学期・秋学期の内容入れ替え、 大幅変更、最新時事的要素による追加があります。

01.哺乳類・ニホンオオカミ絶滅の謎を追った30年の報告 02.哺乳類・西表島取材15回イリオモテヤマネコの危機 03.水棲生物・飼育で学ぶチスイビルの生態と医薬品化 04.節足動物・2016年、発見したありえないザトウムシ 05.節足動物・驚異の発見が続いたクモ50種の飼育観察 06.爬虫類・宇宙服にも応用、ヤモリの足裏の強力接着 07.両生類・飼育2年、アマガエルの鳴き声の音響解析 08.恐竜・日本最大の発掘地で発見、羽毛恐竜と鳥の進化 09.災害・熊本地震直後の活断層調査と獨協大学の貢献 10.災害・東日本大震災、巨大津波に学ぶ地球史と未来 11.災害・糸魚川大火の現地入りで見た溶ける自動車 12.科学・歴史の年代世界標準物差し=水月湖「年縞」 13.科学・東京での自動無人運転試験で知ったAIの課題 14.情報・警察や国会図書館も採用の山根式情報整理術 15.情報・写真映像の山根式記録法と究極の整理術

到達目標 従来の科目の枠組を超えて様々な専門知識を習得し、発展・変革を続ける現代社会に適宜対処できる方法を策定できるようにする。

事前・事後 学修の内容 新聞や「日経ビジネスオンライン」などで5~6本の報告記事の連載を担当しており、授業で紹介します。

テキスト 山根一眞著『スーパー望遠鏡「アルマ」の創造者たち』、『理化学研究所 100年目の巨大研究機関』(中国語版出版予定)
参考文献 授業内容に応じて、随時、紹介します。

評価方法 レポート(書き方を詳しく伝えます。そのノウハウは他の講義、就活にも確実に役立ちます)。

09 年度以降	:	特殊講義 a(生命を造るしくみ・生命	特殊講義 a (生命を造るしくみ・生命が造るしくみ)			
講義目的、講	構義概要	₹	授業計画			
20世紀後半	半からヨ	見在までの生物科学は、めざましい進展	1. 我々の生活と	生物科学		
をとげていま	ます。そ	その進展は、多様な生命活動の分子レベ	2. 遺伝子の発現			
ルでの解明が	いら、地	也球環境が生命活動により形成される機	3. 細菌と抗生物	質		
構まで、多様	兼なスク	アールに及んでいます。	4. 遺伝子組換え			
本授業では	は、生命	お活動がどのようなしくみにより成り立	5. 発生と分化			
っているのな	か、「生	命を造るしくみ」について、特に我々	6. 免疫と生体防	御		
の生活に関え	つりのま	<b>らる現象に焦点をあてて解説します。ま</b>	7. 光と生物			
た、生物は集	集団とし	て地域環境から地球規模の環境の形成	8. 生物と環境の進化			
にどのような	な役割る	を果たしているのか、「生命が造るしく	9. 地球上の生物分布			
み」について	て考察し	します。 尚、講義期間中に新たなトピッ	10. 生物の保全			
クスが見出さ	された場	易合には、追加して解説します。	11. 外来生物の影響			
本授業は、	我々に	こ関係の深い生物現象がどのような機構	12. 地球上の物質の循環			
により成立し	している	るのか、また、その環境との関わりにつ	13. 土地利用の変化と生態系			
いて理解を滲	架めるこ	ことを目的とします。	14. 地球温暖化への生態系応答			
			15. まとめ			
到達目標	到達目標 従来の科目の枠組を超えて様々な専門知識を習得し、発展・変革を続ける現代社会に適宜対処できる方法を策定できるようにする。					
事前・事後 学修の内容	- ***・***   小開する授業資料を表表に「授業内室について予選と復選を」てください					
テキスト						

都築幹夫(編)『現代生命科学の基礎』(教育出版)、加藤和弘『生物環境の科学』(放送大学教育振興会)

3回程度行う小テスト (30%) と試験 (70%) で評価します。

参考文献

09 年度以降		特殊講義 b (生命における水・環境における水)			担当者	濱	健夫				
講義目的、講	<b>講義概</b> 要	要					授業計画				
「水」は我	は々の生	生命活動は	ことって	て、また	_環境の	の形成にと	1. 水惑星地球				
って欠くこと	こができ	きない重要	要な物質	質です。	水は株	<sup>兼々な物質</sup>	2. 水の特性				
を溶かす能力	」に優れ	<b>いており、</b>	これだ	ば、生物	が体や野	環境中での	3. 様々なミネラ	ルウォーター	-		
物質の輸送や	や物質	の化学反	応に大	きな役	:割を昇	果たしてい	4. 生命活動と水	一植物			
ます。更に、	水の温	温度が変化	ヒする眼	寺、ある	らいはれ	水蒸気や氷	5. 生命活動と水	一動物			
に変わる時に	こは、ナ	大きなエス	ネルギー	ーを必要	見とする	るため、生	6. 地球上の水循環	環			
物そして環境	竟の恒	常性の維	持にお	ける水	.の役害	削は大きい	7. 世界の河川と	水			
ものです。							8. 地下水とその	利用			
本授業では	t、普通	<b>量的に存む</b>	主するな	ぶ、特殊	*な性質	質を有する	9. 緑のダム森林				
「水」に関し	て、イ	上学、生华	勿学、₺	也球科学	4、環境	竟学など、	10. 安全な水の供給				
多方面かられ							11. 湖沼・河川水の汚染				
ーターや水資							12. 海洋の汚染				
にも言及する							13. 水の浄化				
スが見出され	いた場合	合には、i	追加 しっ	て解説し	<i>、</i> ます。		14. 水資源の持続的利用				
							15. まとめ				
到達目標		の科目の村 定できる。			長々な耳	専門知識を習	習得し、発展・変革	革を続ける現	代社会に適宜	対処できる方法	
事前・事後 学修の内容	公開了	する授業	資料を参	参考に、	授業四	内容について	「予習と復習をして	てください。			
テキスト											
参考文献	鹿園画	直建『水資	資源の利	斗学』(	オーム	社)、古米引	仏明・片山浩之(約	編)『水シ <mark>スラ</mark>	テム講義』(東	京大学出版会)	
評価方法	<b>評価方法</b> 3 回程度行う小テスト (30%) と試験 (70%) で評価します。										

09 年度以降	降 特殊講義 a (海洋環境と生物活動)			担当者	濱健夫	
講義目的、講	構義概要	ξ	授業計画			
海洋は地球	求表面の	つ約7割を占めており、地球環境の決定	1. 海洋生態系の	特徴		
にも大きな役	ひ割を 昇	<b>具たしています。しかし、陸上生物であ</b>	2. 海洋の生産者	一分布を決め	る要因	
る我々は、淮	毎洋で営	含まれている生物の活動や、それに伴う	3. 海洋の生産者	一沿岸と藻場	1	
物質の循環は	につい	ての知識はそれほど豊富ではありませ	4. 海洋の生産者	-二酸化炭素	の吸収と地球環境	
$\lambda_{\circ}$			5. 海洋の食物連鎖-生物のつながり			
本講義にお	さいてに	は、海洋における生産者の動態およびそ	6. 海洋の食物連続	鎖-水産資源	Į.	
の地球環境に	こおける	5役割、多くの生物により構成される食	7. 海洋の食物連続	鎖-安定同位	生体は語る	
物連鎖の特徴	数につV	いて解説します。さらに、深い海底まで	8. 海底への物質	輸送-生物活	動と鉛直輸送	
の物質の輸送	送に関れ	つる生物活動や、その炭素隔離過程の重	9. 海底への物質輸送-温暖化抑制過程			
要性にも言及	及する予	ラ定です。尚、講義期間中に新たなトピ	10. 海と陸のつながり - 陸が海を支える			
ックスが見出	出された	こ場合には、追加して解説します。	11. 海と陸のつながり - 海が陸を支える			
本講義は、	海洋生	E物により営まれる物質の循環が、海洋	12. 海洋生態系の変化-地球温暖化			
環境そしては	地球環境	竟とどのような関係をもつのかについ	13. 海洋生態系の変化ー海洋酸性化			
て、理解する	ることを	と目的とします。	14. 海洋生態系の変化ー海洋汚染			
			15. まとめ			
到達目標		)科目の枠組を超えて様々な専門知識を習 Eできるようにする。	習得し、発展・変 <b></b>	革を続ける現	代社会に適宜対処できる方法	
事前・事後 学修の内容	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
テキスト						
参考文献	關文	x威(監修)『生物海洋学入門第2版』(詞	<b>講談社サイエンテ</b>	ィフィク)		
評価方法						

			担当者	
講義目的、講義概要	要	授業計画		
到達目標				
事前・事後 学修の内容				
テキスト				
参考文献				
評価方法				

09年度以降		特殊講義a(ニュースを読む技術)		担当者	深澤 真紀	
講義目的、詞	講義概要		授業計画			
れてい、ないのは、ない、ない、ない、ない、ない、ないのは、ないのは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないの	弋最ツ、デ報て一毎、 一をで新紙雑イじきス回ニ ス読むさま かきまぎ こいはむ	とはなにか」ということが大きく問わ 社会、政治、経済、科学、国際、芸能 ニュースを紹介しながら、新聞(一般紙 で)、テレビ(ニュース番組からワイド (ビジネス誌から週刊誌まで)、ネット いらSNSまで)など、どのメディアが またのか、編集者や著述家としてニュー 毒師の経験も語りながら、この時代なら 気み解く技術を学んでいきます。 ニレポートを提出。期末レポートは新 ース番組視聴比べなどを予定していま 数学期と変わりますので、「特殊講義a 技術)」と「特殊講義b(ニュースを読む 修できます。	1. 講義の概要 2. 今週のニュュー 3. 今週週のニュュー 5. 今週週ののニュュー 6. 今週週ののニュュー 7. 今週週ののニュュー 10. 今週週週週ののニュュー 11. 今週週週ののニニュー 12. 今週週ののニニュー 14. 講義 15. 講義	スの解説② スの解説③ スのの解説⑤ スのの解解説⑤ スののの解解説⑥ ーススのの解解説説説説 ーススのの解解説説説⑩ ーススの解解説説⑪ ーススの解解説説⑬		
到達目標	代社会に適宜対処できる方法					
事前・事後 学修の内容	PorTa	に公開予定の講義資料を精読してくだる	さい。			
テキスト	テキスト 詳細は講義で伝えます。					
参考文献	参考文献					
評価方法 毎回ミニレポート提出 50%、期末レポート(新聞読み比べなど)提出 5						

09年度以降		特殊講義 b (ニュースを読む技術)		担当者	深澤 真紀	
講義目的、講	冓義概要	ī	授業計画			
講義目的・概要は春学期と同様ですが、扱うニュースは春学期と異なります。社会、政治、経済、科学、国際、芸能など、毎回最新のニュースを紹介しながら、新聞(一般紙からスポーツ紙まで)、テレビ(ニュース番組からワイドショーまで)、雑誌(ビジネス誌から週刊誌まで)、ネット(ネットメディアからSNSまで)など、どのメディアがどのように報じてきたのか、編集者や著述家としてニュースに携わってきた講師の経験も語りながら、この時代ならではのニュースを読み解く技術を学んでいきます。 講義では毎回、ミニレポートを提出。期末レポートは新聞読み比べ、ニュース番組視聴比べなどを予定しています。 *扱うニュースは春学期と変わりますので、「特殊講義a(ニュースを読む技術)」と「特殊講義b(ニュースを読む技術)」と「特殊講義b(ニュースを読む技術)」の両方を履修できます。			1. 講義の概要 2. 今週のニュー 3. 今週のニュー 5. 今週のニュー 6. 今週のニュー 7. 今週のニュー 8. 今週のニュー 10. 今週のニュー 11. 今週のニュー 12. 今週のニュー 13. 今週のニュー 14. 今週のニュー 15. 講義のまと	スの解説② スの解説③ スのの解説④ スのの解解解説⑤ スのののののののののののののののののののののののののののののののの解解説説・ ニスのののの解解説・ ニスのの解説・ ニスのの解説・ ニスのの解説・ ニスのの解説・ ロースのの解説・ ロースのの解説・ ロースのの解説・ ロースのの解説・ ロースのの解説・ ロースのの解説・ ロースのの解説・ ロースのの解説・ ロースのの解説・ ロースのの解説・ ロースのの解説・ ロースのののののののの解説・ ロースのの解説・ ロースのの解説・ ロースのの解説・ ロースのの解説・ ロースのの解説・ ロースののの解説・ ロースののののののののの解説・ ロースののの解説・ ロースのののののののの解説・ ロースののの解説・ ロースののの解説・ ロースのののののののの解説・ ロースのののの解説・ ロースののの解説・ ロースののののののの解説・ ロースののののの解説・ ロースのののののののののの解説・ ロースのののののののの解説・ ロースののののの解説・ ロースののののののの解説・ ロースののののののののの解説・ ロースのののののののののののののののののののののののののののののののののののの		
到達目標		科目の枠組を超えて様々な専門知識を習  できるようにする。	習得し、発展・変革	革を続ける現	代社会に適宜対処できる力	方法
事前・事後 学修の内容	PorTa	に公開予定の講義資料を精読してくださ	<u></u>			
テキスト	詳細は講義で伝えます。					
参考文献						
評価方法	評価方法 毎回ミニレポート提出 50%、期末レポート(新聞読み比べなど)提出 50%					

09年度以降	降 特殊講義 a (アナログとデジタルのメディア論)					深澤 真紀	
講義目的、講	義概要		授業	(計画			
「デジタルや	ネット	の時代にメディアは、不確かになり劣	1.	講義の概要			
化した」と言:	われる	ことも少なくありません。しかし一方	2.	メディアと	は アナログ	からデジタルへ	
では「人類最	古のメ	ディアは噂だ」とも言われ、私たちは	3.	新聞、通信	社		
コミュニケー	ション	をとりはじめたときから、不確かな情	4.	出版(書籍)	)		
報とも付き合	ってき	たのです。	5.	出版(雑誌)	)		
この講義で	は、ア	ナログ時代からデジタル時代にかけて	6.	放送(ラジ	才)		
の様々なメデ	「ィアに・	ついて、編集者や著述家として関わっ	7.	放送(テレ	ピ)		
てきた講師の経験も語りながら、その歴史やこれからの課			8. 広告				
題まで読み解いていきます。			9. パソコン通信				
そして、自然	分たち	がメディアの受け手としてどう読み解	10.	インターネ	ベット		
くか、またS:	NSな	どでは送り手としてどう発信していく	11.	SNS			
かを身につけ	、学ん	でいきます。	12. メディアテクノロジー				
講義では毎	回、ミ	ニレポートを提出。期末レポートでは	13.	メディア虫	<b>2</b> (1)		
雑誌批評など	を予定	しています。	14.	メディア虫	22		
			15.	講義のまと	め		
1 到译月標		科目の枠組を超えて様々な専門知識を資 できるようにする。	習得し	⁄、発展・変革	革を続ける現	代社会に適宜対処できる方法	
事前・事後 学修の内容	PorTa に公開予定の講義資料を精読してください。						
テキスト	ト       詳細は講義で伝えます。						
参考文献	参考文献						
評価方法	法 毎回ミニレポート提出 50%、期末レポート (雑誌批評など) 提出 50%						

09年度以降	降 特殊講義 b (エンタメとサブカルのビジネス論)			担当者	深澤	真紀	
講義目的、講	購義概要	<u> </u>	授業	計画			
世界的ベス	ストセラ	ラー『サピエンス全史』(ユヴァル・ノ	1.	講義の概要			
ア・ハラリ)	では、	「私たちホモ・サピエンスが複雑な社	2.	文化、芸術	とは		
会を構成でき	きた理目	自」は、「「想像力」を持ち、「虚構」を	3.	エンタメ、	サブカルとは		
信じてたから	なのた	ご」という仮説を唱えています。宗教も	4.	文字、文学	(フィクショ	ン)	
国家も政治も	を 経済 t	」「虚構」による「物語」で、だからこ	5.	ノンフィク	ション、コラ	4	
そ社会は発展	長したの	りだと。	6.	写真、映画			
この講義で	ごは、「	想像力」の象徴でもあるエンターティ	7.	テレビ、ラ	ジオ		
ンメント(エ	ニンタフ	() とサブカルチャー (サブカル) につ	8.	芸能(お笑	い、アイドル	·)	
いて、自身も	オタク	<sup>'</sup> やマニアである講師の経験も語りなが	9.	絵画、漫画			
ら、歴史から	ビジネ	<スまで読み解いていきます。	10. アニメ				
そして、自	分たち	oが文化の受け手として、自分なりの読	11. 特撮、キャラクター				
み解き方を身	水につけ	けられるよう、学んでいきます。	12. ゲーム				
講義では毎	≨回、ミ	ニレポートを提出。期末レポートでは	13. 音楽				
雑誌批評など	ごを予定	<b>ごしています。</b>	14. 舞台、イベント、テーマパーク				
			15. 講義のまとめ				
到達目標		)科目の枠組を超えて様々な専門知識を習 Eできるようにする。	習得し	、発展・変革	革を続ける現	代社会に適宜対	処できる方法
事前・事後 学修の内容	PorTa	に公開予定の講義資料を精読してくだる	٥٠ ١٠ <u>٢</u>				
テキスト	詳細に	は講義で伝えます。					
参考文献				·	·		
評価方法	毎回ミ	ニレポート提出 50%、期末レポート(	専物的	官鑑賞など)	提出 50%		

09年度以降	経営管理論 a		担当者	黒川 文子
講義目的、講義概	既要	授業計画		
経営管理論ほど	ご、時代の変化とともに進展した領域はな	1. 講義の概要		
い。古くは、単な	よる工場内の管理から、今日では、経営管	2. 今日の企業行	制度	
理論は地球環境問	<b>問題を含めて議論されている。アメリカで</b>	3. 現代企業の	コーポレート	・ガバナンス
は経営学といえば	ば経営管理論と同一視されているほど、経	4. 現代社会の	変化と企業経	営
営学の中心領域で	であるので、基本的な事項を十分時間をか	5. 企業組織の	マネジメント	機能について
けて講義する。		6. 現代におけ	る経営者(Cl	EO)の機能と責任
経営管理論aで	では、まず今日の企業制度を理解してから、	7. テイラーの	科学的管理法	
経営管理論の歴史	<b>と的展開を考察していく。</b>	8. ファヨール	の管理論	
		9. 管理過程学派		
		10. 人間関係論	とホーソン実	験
		11. 従来の管理機能論の枠組み		
		12. バーナード理論		
		13. 管理機能論の新展開		
		14. 知識創造	15. まとめ	
■ 糾達   標	営管理についての専門知識を習得し、人間 <sup>の</sup> なようにする。	や組織、企業の管理	理等について	理論的に分析のうえ、解説で
	Fストの指定された箇所を事前に精読して	おいてください。	受業中の課題	を解いてレポートを提出して
	<i>ごさい。</i>			
テキスト 芦港	異成光、日高定昭編著『現代経営管理論の3	基礎』学文社、200	07年。	
参考文献 授業	学中に紹介 アンドラ アンドラ アンドラ アンドラ アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア			
<b>評価方法</b> 期	天試験(6割)と授業への参加度(4割)	こよって、総合的に	こ評価する。	

09 年度以降		経営管理論b		担当者	黒川 文子
経営管理論bでは、働く人の人間的側面に焦点を当てて、いかに動機づけをすべきかについて理解を深めていく。次に、目標達成に向けて、組織のメンバーに影響を及ぼすリーダーの多様なリーダーシップについても見ていく。最後に、変化の激しい企業環境の中で、どのような経営組織が環境に適合するかを考えた上で、企業文化やイノベーションに対して果たすべき経営者の役割を再確認していく。			<ol> <li>マズローの</li> <li>動機づけー</li> <li>期待理論</li> <li>リーダーシ</li> <li>オハイオ州</li> <li>ウ産業文化と</li> <li>ネットワー</li> <li>ファミリー</li> <li>産業クラス</li> </ol>	諸理論のX理論とY 欲求段階論 衛生理論の多リプ大プロック が対対ではないである。 が対対のではないである。 が対対のではないできます。 が対対が対対である。 が対対が対対である。 が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対が対対	
到達目標 事前・事後 学修の内容	きるよ	管理についての専門知識を習得し、人間や こうにする。 ストの指定された箇所を事前に精読してお ない。			
テキスト		・、。 成光、日高定昭編著『現代経営管理論の基	基礎』学文社、20	07年。	
参考文献	授業中	で紹介			
評価方法	期末診	試験(6割)と授業への参加度(4割)は	こよって、総合的	に評価する。	

09 年度以降	経営戦略論 a		担当者	陰山 孔貴	
講義目的、講義概	[要	授業計画			
した長期的な構想 違えた時、企業に 略には唯一の答え ことは容易ではあ もらうだけでも本 講義のスタイル はなく、皆さんの そのため、本講義で また、本講義で	経営戦略(企業が進む大きな方向性を示け、は大切なものです。大きな方向性を間で機的な状況となります。ただ、経営戦む存在しないため、その方向性を決めるりません。そのことを皆さんに理解して講義の意味はあると思います。は、私からの一方通行の講義をするので発表を含めた双方向の講義を行います。このある方のみの受講を希望します。では、私が実際に経験してきたビジネスのに入れつつ、みなさんと経営戦略論についたと思っています。	1. 講義概要 2. 企業戦略の 4. 経営戦略の 5. 経営戦略の 5. 外界の 6. 業界のが基準 7. 戦のの基準 9. 外部講代 10. 多解経営 11. 国に対議を 11. 国に対議を 12. 能力部 12. 能力部 13. 外営 14. 経営 15. まとめ	た 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大		
到達目標 経営 にす	戦略についての専門知識を習得し、持続的る。	内な競争優位の獲得	导等について	分析のうえ、解説できるよう	
事前・事後 学修の内容 講義					
テキスト 第1	回の講義にて説明します。第1回の講義	を終えた後に、テ	キストは購入	してください。	
参考文献	考文献				
■ 評価方法   ****	への貢献度(30%)と試験(70%)にて診 も <b>しく評価します。やる気のある方のみの</b> 5		)		

09 年度以降		経営戦略論 b		担当者	陰山 孔貴		
講義目的、認	講義概要	<u> </u>	授業計画				
企業にとって、経営戦略(企業が進む大きな方向性を示した長期的な構想)は大切なものです。大きな方向性を間違えた時、企業は危機的な状況となります。ただ、経営戦略には唯一の答えも存在しないため、その方向性を決めることは容易ではありません。そのことを皆さんに理解してもらうだけでも本講義の意味はあると思います。 講義のスタイルは、私からの一方通行の講義をするのではなく、皆さんの発表を含めた双方向の講義を行います。そのため、やる気のある方のみの受講を希望します。また、本講義では、私が実際に経験してきたビジネスの現場の話も時には入れつつ、みなさんと経営戦略論につい			1. 講義概要         2. 経営戦略の大枠         3. 事業システム         4. 市場地位別戦略         5. 外部講師の講義①         6. 資源展開         7. ライフサイクル別戦略         8. 製品マネジメント         9. 外部講師の講義②         10. サプライチェーンマネジメント         11. イノベーション				
(+w (v)	て学んでいきたいと思っています。			12. 価値づくり 13. 外部講師の講義③ 14. 組織構造 15. まとめ			
到達目標	経営制	战略についての専門知識を習得し、持続 う。	的な競争愛性の獲得	寺寺について	分析のうえ、解説できるよう		
事前・事後 学修の内容	講義中	口に説明します。					
テキスト	第1回の講義にて説明します。第1回の講義を終えた後に、テキストは購入してください。						
参考文献							
評価方法	授業への貢献度(30%)と試験(70%)にて評価します。 (厳しく評価します。やる気のある方のみの受講を希望します。)						

09年度以降	経営組織論 a		担当者	高松 和幸		
講義目的、講義概要 この講義では、伝統的組織論から近代組織論への発展を前提として、とくに近代組織論の内容について理解を深めることを目的とする。組織論においては、組織を取り巻く環境の土台のうえに、個人と組織との関わりがもっとも重要な課題であり、こうした諸問題をとりあげて論述する。 を学期では、伝統的組織論を出発点として、人間関係論におけるモチベーション理論やコンティンジェンシー理論等をとりあげ、そのうえで近代組織論として、協働システムとしての組織、意思決定システムとしての組織、生存可能システムとしての組織、へ架橋し、周辺の諸問題をとりあげる予定である。		<ol> <li>A 経営組織モチ</li> <li>B 組織とモチ</li> <li>D 組織とモチチ</li> <li>10 組織とンステ</li> <li>11 協働システ</li> <li>13 協働システ</li> <li>14 意思決定シ</li> </ol>	論(①) (②) (②) (②) (②) (ご) (ご) (ご) (ご) (ご) (ご) (ご) (ご) (ご) (ご	受階② 理論① 理論② 理論③ /シー理論①		
到達目標 経営 る。	経営組織についての専門知識を習得し、組織と個人の関わり等について分析のうえ、解説できるようにする。					
事前・事後 学修の内容	事前:経営学などの基礎学習、事後:組織論の応用として、NPO などの学習					
テキスト『経	『経営組織論の展開』創成社					
参考文献『市	「民社会とレジリエンス』 創成社					

平常点 30%、アクティブラーニング 40%、クイズ 10%、レポート 20%

09年度以降		経営組織論 b		担当者	高松 和幸		
講義目的、講義概要  この講義では、伝統的組織論から近代組織論への発展を前提として、とくに近代組織論の内容について理解を深めることを目的とする。組織論においては、組織を取り巻く環境の土台のうえに、個人と組織との関わりがもっとも重要な課題であり、こうした諸問題をとりあげて論述する。  秋学期では、春学期で取り上げた内容に加えて、モチベーション理論や、近代組織論の協働システム、意思決定の問題、生存可能システム等に重点をおいて、その周辺の諸問題をとりあげる予定である。			<ol> <li>組織ーステクセクとのとサイ1</li> <li>生存可に、</li> <li>は、</li> <li>りがイテクセクとのとりは、</li> <li>担機織機でする</li> <li>担け、</li> <li>担け、</li> <li>担け、</li> <li>担け、</li> <li>日本のとります。</li> </ol>	<ol> <li>組織均衡の理論①</li> <li>組織均衡の理論②</li> <li>ゴーイング・コンサーン①</li> <li>サステナビリティ②</li> <li>ワーク・モチベーション理論①</li> <li>インセンティブ・モチベーション理論②</li> <li>ワーク・モチベーション理論③</li> <li>組織とコンフリクト①</li> <li>環境のコンフリクト②</li> <li>組織とサイバネティクス①</li> <li>組織とサイバネティクス②</li> <li>生存可能システム①</li> <li>生存可能システム②</li> <li>VSM①</li> </ol>			
到達目標	経営組	組織についての専門知識を習得し、組織	と個人の関わり等	<b>について分析</b>	のうえ、解説できるようにす		
事前・事後 学修の内容	事前:	経営学などの基礎学習、事後:組織論	の応用として、N	PO などの学習	3		
テキスト	『経営組織論の展開』創成社						
参考文献	『市民社会とレジリエンス』創成社						
評価方法	平常点	Z常点 30%、アクティブラーニング 40%、クイズ 10%、レポート 20%					

09年度以降		経営財務論 a			担当者	細田 哲
講義目的、講	義概團	Ę	授業	計画		
講義の目的 我が国において「間接金融」主導型の金融システムは崩壊しつつあり、各国資本市場は、それぞれ高度化、多様化、 国際化を遂げつつある。したがって、経営者(財務担当者) は、資本市場により関心を払って財務的意思決定を行わなければならない状況となっている。そこで、「資本市場」 志向の財務的意思決定のあり方について説明し、同時に、 日本企業が採用してきた財務政策の特色と問題点について検討する。 講義概要 各週別の講義予定を見られたい。		2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.	「1.企資資産を対している。 「1.企資資資産を対している。 「2.資資資産ののでは、1.当年ののでは、1.当年ののでは、1.1年ののでは、1.1年ののでは、1.1年のでは、1.1	intと役ををは当は使うううととととめる行りとなる。 intと役ををは当は使うううととととと対している。 intと役ををは当ばい測測はははは資は率動がでいる。 intではいるではははは資は率動がでいる。 intではいるができます。 intととととめるではいる。 intとととととめるでは、 intととととととのるでは、 intとととととととのるでは、 intとととととととのるでは、 intとととととととのるでは、 intとととととととのるでは、 intととととととのるでは、 intととととととのるでは、 intととととととのるでは、 intととととととととのるでは、 intとととととととのるでは、 intとととととととのるでは、 intとととととととのるでは、 intととととととととのるでは、 intとととととととのるでは、 intととととととととのるでは、 intとととととととのるでは、 intととととととととのるでは、 intとととととととのるでは、 intととととととととのるでは、 intとととととととととのるでは、 intとととととととととのるでは、 intとととととととととととととのるでは、 intととととととととととのるでは、 intとととととととととととととととととととととととととととととととととととと	の財務的意思決定のフレームワーク のか」a) 現在価値の評価 のか」b) 債権の評価 a) 配当割引モデルの考え方株価収益率 c) 配当割引モデルの応用、d)配 ) 投資リスクの尺度 ) ポートフォリオのリスク ー・ベータ値と資本資産評価モデル ー・キャッシュ・フロー   資本コストの推計方法 日本企業の資本コストの計算例  企業価値の推計 ) 企業の財務行動は価値を生むか、直を生むのか 市場の効率性と株価形成 d)情報	
到達目標	経営貝	<b>才務に関する専門知識を習得し、日本企業</b>				
		構義予定の教科書部分を予め精読すること Fの教科書部分を再読し、計算問題につい				
<b>テキスト</b> 井出正介、高橋文郎『ビジネス・ゼミナール経			圣営財	務入門』第二	4版(日経)	(適宜、コピーを配布)
参考文献						
評価方法	<b>5法</b> 期末試験 100%					

09年度以降		経営財務論 b			担当者	細田 哲		
講義目的、講義概要 講義の目的 我が国において「間接金融」主導型の金融システムは崩壊しつつあり、各国資本市場は、それぞれ高度化、多様化、 国際化を遂げつつある。したがって、経営者(財務担当者) は、資本市場により関心を払って財務的意思決定を行わな				4. 「8.望ましい資本構成とは」 b) 法人税や倒産可能性が企業価値に与える影響 5. 「8.望ましい資本構成とは」 c) 企業価値の最大化と株価の最大化 d) 資本構成決定の現実的な考慮点				
ければならない状況となっている。そこで、「資本市場」			10. 11. 12. 13.	e) 日本企業の資本構成の動向 「9.配当政策の考え方」 a) 配当政策の理論、b) 配当政策をめぐる問題点 7. 「9.配当政策の理論、b) 配当政策をめぐる問題点 7. 「9.配当政策の考え方」 c) 株式配当と株式分割、d) 日米企業の配当政策 8. 「10.自社株取得」 a) 自社株取得。本質、b) 自社株取得の利用動機 9. 「10.自社株取得」 c) 自社株取得と株価評価、d) 自社株取得をめぐる我が国の現状 10. 「11.リスク管理とディリバティブの利用」 a) ディリバティブとは何か 11. 「11.リスク管理とディリバティブの利用」 b) ディリバティブを利用した金利リスク管理 c) 企業財務とリスク管理 12. 「12.企業の合併・買収」 13. 伝統的財務分析とデュポン・システム				
到達目標	経営則	<b> </b>   務に関する専門知識を習得し、日本企業	業の財	務政策等につ	ついて分析の	うえ、解説できるようにする。		
事前・事後 学修の内容	2 · · · · · · · · · · · · · · · · ·			·				
テキスト 参考文献	井出正介、高橋文郎『ビジネス・ゼミナール経営財務入門』				』第4版(日経)(適宜、コピーを配布)			
評価方法	期末試験 100%							

09年度以降	人的資源管理論 a		担当者	岡部 康弘		
講義目的、講義 人的資源管 びつき戦略・ 人事政策・の は自分達の見た人 な人材が企業 業人キャリア	概要 理論(HRM)は企業の経営戦略と結 履行するため能動的に人材育成などの 行を体系的に考えるものである。学生 から企業をみるが、講義では、企業の 材という観点で考えるので、どのよう に求められているのか、どのように職 を形成するべきかを考える示唆とな RMの理論的フレームワークから、キ	授業計画         1. ガイダンス         2. HRM とはなにか         3. 戦略的 HRM 環境         4. 法律的環境         5. グローバル環境         6. 人材計画と職務分析         7. 募集         8. 選別と配置         9. 評価管理         10. 教育訓練         11. キャリア計画と開発         12. キャリア計画の例         13. DVD (時事トピック)         14. 復習         15. Q&A				
針	業の人的資源管理に関する専門知識を習得する。	し、人材雇用や育	成等について	分析のうえ、解説できるよう		
事前・事後 学修の内容 講	講義は復習中心である。興味あるトピックに関しては講義中にあげる文献や資料を各自が読んでおくこと。					
テキスト 講	デキスト 講義資料は毎回配布する。					
参考文献 D	DeNisi & Griffin (2007) <i>Human Resource Management</i> . Houghton Mifflin Company 他					
<b>評価方法</b> 評	評価は学期末試験による。					

講義目的、講			人的資源管理論 b			岡部 康弘
神我ロリ、神	義概要		授業計	画		
後半は、報酬から最近のHRMの問題までを扱う。特に現在企業が変化させようとしている雇用制度に焦点を当てる。具体的には、日本企業の特徴であった終身雇用、年功制、企業別労働組合が転換期を迎えていると考えられている。その後に出てきている形態はどのようなものか、それは企業や従業員にどのような影響を与えるのか。日本企業の競争優位の源泉である全員参加型経営はどう変革するのかを考える。			<ol> <li>基</li> <li>3. イ</li> <li>4. 福</li> <li>5. 关</li> <li>6. 关</li> <li>7. 夕</li> <li>8. 多</li> <li>9. 新</li> <li>10. 目</li> <li>11. 日</li> <li>12. フ</li> </ol>	日本の成果 IRM の新 ブラック企 DVD (印 夏習	酬 イブ 管理 人 理 関係の管理 呈主義 しい課題	)
針	企業の <i>。</i> にする。	人的資源管理に関する専門知識を習得し 。	.、人材Ā	雇用や育品	<b>戈等について</b>	分析のうえ、解説できるよう
事前・事後 学修の内容	講義は行	復習中心である。興味あるトピックに関	しては講	義中にあ	げる文献や資	資料を各自が読んでおくこと。
テキスト	講義資料	料は毎回配布する。				
参考文献	DeNisi	& Griffin (2007) Human Resource I	Manage	ment. I	Houghton M	lifflin Company 他
評価方法	評価は	評価は学期末試験による。				

09 年度以降 国際経営論 a 担当者 小林 哲也

# 講義目的、講義概要

グローバリゼーションの原動力の一つは、国境を越えて活動する多国籍企業である。現代企業は、財の生産や流通だけでなく、情報や金融の世界でも、グローバル化を進めている。生産・流通・広告・金融など諸分野での新しい技術やビジネスモデルの登場により、国際分業が再編成されていると言える。AI やロボットなどの登場により、技術と人間との関係も、新たな段階を迎えている。現代では、グローバリゼーションの展開に関して、文明史的な再考が必要となってきているのではないか。

本講義では、企業の国際化に伴う諸問題を包括的に議論 し、グローバリゼーションを理解するための理論的枠組み を提供することを目的とする。前期で主として理論・歴史 を取り扱い、後期で産業や企業に関するケーススタディを 行うので、通年受講が望ましい。

#### 授業計画

- 1. グローバリゼーション---「フラット化」と「格差」
- 2. 現代経済における多国籍企業
- 3. 巨大企業と「豊かな社会」
- 4. コーポレートガバナンス
- 5. フォードシステム
- 6. 日本的生産システム
- 7. 情報技術革命と企業組織
- 8. 企業組織とビジネスのアーキテクチュア
- 9. イノベーションと競争優位
- 10. ハイテク産業と経営戦略
- 11. 国際的な産業の再編成
- 12. 暴走する資本主義
- 13. 温暖化・フラット化・過密化
- 14. グローバリゼーションと日本企業
- 15. まとめ

到達目標	企業の国際経営に関する専門知識を習得し、企業の国際化・グローバリゼーションの様相等について分析 のうえ、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	【予習】国際ビジネスに関する新聞・雑誌記事に日常的に眼を配るようにする。【復習】配付資料の用語やケースについて、各自整理・理解するようにしておく。
テキスト	適宜講義中に紹介する。
参考文献	ジェフリー·ジョーンズ『国際経営講義』有斐閣 J.K.ガルブレイス『ゆたかな社会』岩波書店 など
評価方法	授業参加(小レポート、コメントなど)30%、期末試験70%

09年度以降 国際経営論 b 担当者 小林 哲也 講義目的、講義概要 授業計画 秋学期は、多国籍企業の活動にかかわるケーススタディ 日本企業の国際化 を中心として、グローバリゼーションの現状を分析する。 日本企業の海外進出 戦後復興から 90 年代 日本企業の海外進出 「摩擦」の政治経済学 3. 特に新興国の台頭とともに、国際的な産業の再編成が進 日本企業の海外進出 アメリカ 4 行中である。主要産業の変遷が 10 年単位から数年単位の 5. 日本企業の海外進出 ヨーロッパ スピードになっていること、ビジネスモデルに関しても、 6. 日本企業の海外進出 アジアへの進出と撤退1 重厚長大で垂直統合的なものが変化を迫られていること、 日本企業の海外進出 アジアへの進出と撤退2 7. 携帯電話や液晶パネルなど新興国こそがハイテク製品の 「世界の工場」中国 8. フロンティアになっていることなど、現代の世界経済が大 9. IT 革命と世界的な産業の再編成 きな転換期に直面していることは間違いない。 10. ハイテク産業の動向 その1 日本企業の動向に関しては、「技術は優れているのにハ 11. ハイテク産業の動向 その2 イテク製品でのシェアを失っている」という議論が、まま 12. 主要産業の未来 自動車産業の再編 見られる。このような「技術」に対する理解が、イノベー 13. 主要産業の未来 新しいビジネスモデル 14. 日本企業の課題 ションの議論にとっては大問題であることも、解説してゆ 15. まとめ <。 企業の国際経営に関する専門知識を習得し、企業の国際化・グローバリゼーションの様相等について分析 到達目標 のうえ、解説できるようにする。 【予習】国際ビジネスに関する新聞・雑誌記事に日常的に眼を配るようにする。【復習】配付資料の用語や 事前・事後 学修の内容 ケースについて、各自整理・理解するようにしておく。 テキスト 適宜講義中に紹介する。 参考文献 川島博之『データで読み解く中国経済』東洋経済新報社 湯之上隆『日本型モノづくりの敗北』文春新書 など 評価方法 授業参加(小レポート、コメントなど)30%、期末試験70%

13 年度以降 12 年度以前		NPO マネジメント論 a 非営利組織マネジメント論 a			担当者	高松 和幸
講義目的、詞	講義概要	<b>E</b>	授業	計画		
に関して、は、は、基礎の対象をでは、このでは、とのでは、とのでは、とのでは、は、このでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	その知な基のでは、 で知れるものは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	マネジメント論は、NPOの事業や活動 営の多様性について講義する。春学期で 習得に努める。 いは、NPO などで期待される人材や組 歴を理解すると同時に、東日本大震災や PO事例を取り上げる。NPO は地域・企 支えられているが、その活動も多岐にわ でも多様な内容となる。そのため年間を ることが望ましい。 講義は、NPOの活動を、マネジメントの ることで、NPO本来の健全な活動ができ こある。	11. 12. 13. 14.	ー・NGO・NPO の成立 NPO の成立 NPO の規模 NPO の規模 NPO の規模 NPO の成立 NPO の経経 NPO の経経 NPO の経経 NPO の経済 NPO の経済 NPO の管理 NPO の会言	たででは、 でででは、 ででできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 でできます。 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 でいま、 で	ィア活動・NPO の萌芽 ィア革命 類・公益法人制度
到達目標	-	(非営利組織) に関する専門知識を習得 こする。	l, N	IPO の事業や	P活動等につ	いて分析のうえ、解説できる
事前・事後 学修の内容	<b>事後</b> 東前・経営学れどの基礎的学習・東海・組織全般のマネジメント能力を喜める				る	
テキスト	『市民社会とレジリエンス』創成社					
参考文献	ボ 『マッチングギフトと地域活性化』創成社					

平常点 30%、アクティブラーニング 40%、クイズ 10%、レポート 20%

13 年度以降 12 年度以前		NPO マネジメント論 b 非営利組織マネジメント論 b			担当者	高松	和幸
講義目的、講	購義概要	5	授業	計画			
講義目的、講義概要 講義概要: 非営利組織 (NPO) マネジメント論は、非営利組織の事業や活動、評価、レジリエンスについて取り上げる。 秋学期では、NPO 活動の事例に基づく学習と共に、NPOと地域・企業・行政との関係や協働について取り上げる。 その活動もフィランソロピーやボランティア活動と共に防災活動などで注目された。NPO活動がテーマを持って地域や社会を変えるためにボランティア活動の基礎を提供していることや、今後の地域を取り巻く環境を理解するためにも、現在の地域が抱えるレジリエンス理解が欠かせない。 講義目標: 春学期と同じ			11. 12. 13. 14.	NPO の国際 アメリカの イギリスの ドイツの N フランスの	営分析 責評価方法 責評価方法 務と非財 NPO NPO IPO NPO O の NPO C C C L と で で い で い で い で い で い で い で い で い の い の		
到達目標		(非営利組織) に関する専門知識を習得 ごする。	し、N	PO の事業や	P活動等につい	いて分析のうえ	、解説できる
事前・事後 学修の内容				全般のマネジメント能力を高める			
テキスト 『市民社会とレジリエンス』 創成社							
参考文献	『マッチングギフトと地域活性化』創成社						
評価方法	平常点 30%、アクティブラーニング 40%、						

 13 年度以降
 リスクマネジメント論 a
 担当者
 岡村 国和

 12 年度以前
 特殊講義 a (リスクマネジメント論)

# 講義目的、講義概要

リスク(危険)は、個人・企業・国家を取り巻く「最も気になるもの」のうちの最大級のもので、各主体にとって「人生」「環境」「経営」「政治」「戦争」「巨大災害」など、「いつ・どこで・どのように」起きるかは全く不確実な世界の中にあります。

リスクマネジメント(以下RM)は、1930年代に生成・発展した比較的新しい学問分野です。当初は「企業防衛の科学」として考えられ「保険の派生的存在」(担当者もほとんど保険学者)でした。しかし現在では保険の隣接分野として密接な関係にあり、「リスク」の「管理」と言う形で「経営学」の範疇に入っています。

この講義は「統計学」「経営学」「保険論」とも連携して 体系的に学べるように配慮していますので、「単独の科目」 として切り離さず、上記の科目の復習の意味を込めて講義 に参加して下さい。

# 授業計画

- 1. リスクとは その1 (概念・性格・性質)
- 2. リスクとは その2 (確率分布)
- 3. リスクとは その3 (定義・分類)
- 4. リスクの計量化とリスクプレミアム
- 5. リスクマネジメントとは何か(目的と体系)
- 6. 経営学とリスクマネジメント
- 7. 企業経営におけるリスクマネジメントの位置
- 8. リスクマネジメントのプロセスの史的展開
- 9. リスクマネジメントのプロセス
- 10. 保険とリスクに関する研究領域
- 11. 保険と ART (Alternative Risk Transfer)
- 12. 金融派生商品の構造と特徴
- 13. ERM (xyy-y-y-4x) RM (xyy-y-4x)
- 14. ERM (エンタープライズ RM その 2)
- 15. 春学期のまとめ

到達目標	経営のリスク・マネジメントに関する専門知識を習得し、経営上の様々なリスクについて分析のうえ、解 説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	配布したプリント末の「復習課題」を事前に読み、学習ポイントを理解しておいてください。
テキスト	なし。
参考文献	パワーポイントの印刷版を配布します。
評価方法	講義への参加度(20%)、および学期末の定期試験(80%)で評価します。

13 年度以降 12 年度以前	リスクマネジメント論 b 特殊講義 b (リスクマネジメント論)	担当者	岡村 国和
--------------------	-------------------------------------	-----	-------

# 講義目的、講義概要

前期で学んだ「リスクの概念」や「リスクマネジメント (RM) のプロセス」を下敷きにしながら、もう少し発展的・応用的な項目について学びます。

不確実性と利潤の関係を説いた F. ナイトを見るまでもなく、企業の死活問題に関わる「経営戦略」はこうした不確実性やリスクとは不可分の関係にあり、RM 無しでは収益獲得のための「戦略」も実行できません。

RMのおおかたは企業経営上の防衛論になりますが、BCP(災害後の事業継続計画)等も含まれ、かなり範囲が広いです。それだけ「組織をめぐるリスクの多様性」があると言えます。しかし、近年では経営戦略に従って積極的にリスクをテイクして収益を得る「ERM」が台頭してきています。この分野は「理論」と「ケーススタディ(事例)」の混在が多いため、本題に入る前に事前準備として前期で学んだ基礎のおさらいをすることもあります。

# 授業計画

- 1. 春学期の復習と未履修者への準備 その1
- 2. 春学期の復習と未履修者への準備 その2
- 3. リスク・ファイナンスとは (類型)
- 4. リスク・ファイナンスの種類 (資金調達)
- 5. 現代企業におけるリスクマネジメントの役割
- 6. 経営戦略とリスクマネジメント
- 7. コーポレート・ガバナンスとリスクマネジメント
- 8. 現代企業経営と BCM (事業継続管理)
- 9. リスク移転を伴うリスクマネジメント
- 10. リスク移転を伴わないリスクマネジメント
- 11. キャプティブ、ファイナイト、キャットボンド
- 12. プットオプション
- 13. 事例研究 1 製造物責任 (PL) と RM
- 14. 事例研究 2 家庭の RM と社会保障
- 15. 秋学期のまとめ

到達目標	経営のリスク・マネジメントに関する専門知識を習得し、経営上の様々なリスクについて分析のうえ、解 説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	配布したプリント末の「復習課題」を事前に読み、学習ポイントを理解しておいてください。
テキスト	なし。
参考文献	パワーポイントの印刷版を配布します。
評価方法	講義への参加度(20%)、および学期末の定期試験(80%)で評価します。

09 年度以降		研究・開発マネジメント a			担当者	鈴木 淳
講義目的、講	構義概要	5	授業計	十画		
企業の事業	美展開や	P成長、存続のためには新製品や新サー	1.	ガイダン	スと序論	
ビスの開発が	が重要で	です。特に変化の激しい現代では、いか	2.	研究・開	発と科学技術	:
に効果的にそ	これら0	開発と市場投入を行うかが大切です。	3.	商品開発	の本質とプロ	セス
このような	経営活	動の一つに研究開発(Research and	4.	商品とア	ーキテクチャ	
Developmen	ıt; R&I	<b>)</b> ) があります。	5.	研究・開	発と市場	
研究開発は	こ直接	<b>隽わるのはいわゆる理系と呼ばれる研</b>	6.	研究・開	発と知識マネ	ジメント
究者や技術者	皆たちて	ですが、事業として成立するためには、	7.	研究開発	組織のマネジ	メント
経営学の素素	養を持	った人がマネジメントの視点から企業	8.	研究開発	の拠点立地	
の研究開発の	り方向性	を示したり、研究開発プロジェクトの	9. イノベーションの歴史とパターン			
評価を行った	こりする	ことも必要です。	10. イノベーションの普及とキャズム			
この講義で	では、研	F究・開発と科学技術、商品開発の本質	11. イノベーションのジレンマ			
とプロセス、	商品と	アーキテクチャ、研究・開発と市場、	12. 研究・開発とビジネスモデル			
知識マネジァ	メント、	研究開発組織のマネジメント、拠点立	13.	13. アフターマーケット戦略		
地、イノベー	ーション	の主要な概念、ビジネスモデル、アフ	14.	イノベー	ションと両利	きの経営
ターマーケッ	ット戦略	5、両利きの経営などを学びます。	15.	今後の展	望と補足	
到達目標	研究開	発マネジメントに関する専門知識を習得	事し、イ	'ノベーシ:	ョンを引き起	こすために必要な事柄につい
乃是自你	て分析	「のうえ、解説できるようにする。				
事前・事後		:授業資料を予習してください。	15.2.46		(a.t.)	
学修の内容	客 事後に授業資料、講義内容、小テストや課題などを復習してください。					
テキスト	授業資料をポータルサイトから配布します。					
参考文献	参考文献は講義の際に随時紹介します。					
評価方法	期末診	<b>太験 50%、レポート 25%、小テストおよ</b>	び授業	中の課題 2	5%程度の基	準で評価する予定です。

09 年度以降	研究・開発マネジメント b			担当者	鈴木 淳	
講義目的、請	<b>講義概</b> 要	2	授業記	画		
企業の事業	美展開や	P成長、存続のためには新製品や新サー	1.	ガイダン	スと序論	
ビスの開発が	(重要で	です。特に変化の激しい現代では、いか	2.	需要予測		
に効果的にそ	れらの	開発と市場投入を行うかが大切です。	3.	生産マネ	ジメントの概	念
このような紀	経営活	動の一つに研究開発(Research and	4.	生産戦略	と拠点戦略	
Developmen	t; R&I	)) があります。現代の研究開発は、研	5.	商品戦略	とマーケティ	ング
究所や開発す	センタ	- だけではなく生産や流通との連携を	6.	調達:購	買と外注	
重視すること	で、よ	り効果的に消費者へ優れた商品やサー	7.	原価のマ	ネジメント	
ビスを提供す	つること	が求められます。	8.	品質のマ	ネジメント	
この講義で	がは、研	f究・開発と生産のマネジメントを学び	9.	設備投資と信頼性		
ます。扱う内	羽容は、	需要予測、生産マネジメントの概念、	10.	. 生産情報システム		
生産戦略と拠	1.点戦略	み、商品戦略とマーケティング、調達、	11.	1. 研究・開発・生産と環境のマネジメント		
原価マネジメ	いント、	品質マネジメント、設備投資と信頼性、	12.	サプライチェーンマネジメント		
生産情報シス	ベテム、	研究・開発・生産と環境のマネジメン	13.	サプライチェーンのグローバル化		
ト、サプライ	゚チェー	-ンマネジメント、プロジェクトマネジ	14.	. プロジェクトマネジメント		
メントなどて	ず。		15.	今後の展望と補足		
到達目標	,,, _,,	引発マネジメントに関する専門知識を習得 fのうえ、解説できるようにする。	<b>事し、</b> イ	゚ノベーショ	ョンを引き起	こすために必要な事柄につい
事前・事後	事前に	テキストと授業資料を予習してください	١,			
学修の内容	事後に	授業資料、講義内容、小テストや課題な	よどを復	夏習してく オ	<b>ごさい。</b>	
テキスト	大場允	晶・藤川裕晃編著『生産マネジメント概論 単	战略編』	文眞堂,2010	年。授業資料	をポータルサイトで配布。
参考文献 講義の際に随時紹介します。						
評価方法	期末試験 50%、レポート 25%、小テストおよび授業中の課題 25%程度の基準で評価する予定です。					

09年度以降	日本経営史 a		担当者	平井 岳哉		
業の発展要因を 過去に、 過去を事例に、 論理や原因にで ネジメンいて議論 非に左右よって 代によってとし えていきたいと	して、江戸期から現代に至るまでの日本企 学ぶものです。 、成長、失敗や倒産など激動期を経験した 企業の主体的行動の内容とその背景にある いて考察するとともに、主としてトップマ 限定されますが、先人達のとった選択の是 をします。この講義を通じて、時代の変遷 普遍的な経営システム、あるいは逆に、時 している経営システムについて、ともに考	授業計画	家夏代展 ほの 成業産営 (1) 成業産業 はの 成業産 長経業 よい 展 は 当 よい は は か は ま は ま は は か は ま は は か は ま か は ま か は ま か は か は			
▮╣達は樗	日本経営史に関する専門知識を習得し、日本の企業経営の形成・発展の歴史等について分析のうえ、解説できるようにする。					
事前・事後 学修の内容	事前における参考文献の購読と、事後における参加者の討議を通じた知識の再確認					
テキスト	特になし					
参考文献	宮本又郎ほか『日本経営史 新版』(有斐閣、2007年)					
<b>評価方法</b> 定	定期試験 80%、授業への参加度 20%					

09年度以降		日本経営史 b			平井 岳哉	
講義目的、講義概要 講義目的等の基本的なスタンスは、春期と同じです。 秋期は、第2次大戦後から現代までを範囲とします。主要 の産業を事例に取り上げて、各業界別の成長過程とその要 因を説明していきたいと思います。		2. 財閥のイギン 関のイ業本綱電動動動通通の 10. 11. 流通一社業 14. 14. 商社	1. 第2次大戦後の日本経済の概観 2. 財閥解体と企業分割 3. 横の企業集団 4. メインバンク (銀行業界) 5. 産業政策 6. 日本的経営 7. 鉄鋼業界 8. 家電業界 9. 自動車産業① (生産方式) 10. 自動車産業② (系列生産) 11. 流通産業② (コンビニエンスストア) 13. ビール業界			
到達目標		経営史に関する専門知識を習得し、日本 <i>0</i> 5ようにする。	の企業経営の形成	・発展の歴史	等について分析のうえ、解説	
事前・事後 学修の内容	事前に	こおける参考文献の購読と、事後における	る参加者の討議を済	通じた知識の	再確認	
テキスト	特になし					
参考文献	<b>                                      </b>					
評価方法	定期詞	<b>大験 80%、授業への参加度 20%</b>				

13 年度以降 12 年度以前		外国経営史 a 経営史 a			担当者	御園生 眞
講義目的、認	冓義概要	5 5 7	授業計	·画		
を講義する。シッスに主義す、株式の意味のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	具体的な大力を対しています。	のイギリスを対象とし、企業経営の歴史 的には、特権会社、問屋制、パートナー などをとりあげ、イギリスにおけるビジ と問題点を考察する。 スを第1回の授業で配布するので、履修 出席すること。 験期間中に、持ち込み無し、論述問題で 2年生、3年生、4年生ともに共通であ a, bの順に履修することを前提として	2. / 3. 株 4. / 5. 身 6. 苍 7. 光 8. 目 9. / 10. / 11. 挂 12. 】	制イ東別恵園イドンなり、株別別東野イリカ東の大学では、一個では、大学の大学では、大学の大学では、大学の大学では、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	お中特社社立発繊業 担パ度のとと展物革 いーのとと展物革 いーののとと展りを きょて命 手ト発 をする とナ展 かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん はんしん は	東インド会社を中心として 貿易 末事件 養を中心として 養展 養経営:パートナーシップを中 この熟練職人
到達目標		経営史に関する専門知識を習得し、外国の 3ようにする。	の企業経	営の形成	・発展の歴史	等について分析のうえ、解説
事前・事後 学修の内容	授業で紹介した参考文献を読む。 授業で学んだトピックの重要な点をまとめる。					
テキスト	第1回	第1回の授業で説明する。				
参考文献	第1回の授業で説明する。					

定期試験の成績が80%、授業への参加度が20%の基準で評価する。

13 年度以降 12 年度以前					担当者	御園生	眞	
講義目的、講	義概要	Ţ		授業	計画			
の歴史的展開 様な技術カス (注意最新望い (主意最新望いない) (主意を表現でする) (主意を表現を表現でする) (主意を表現を表現でする) (主意を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	を講義サンスギリンスのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	20世紀前半を対象時期でする。具体的には、対象でのよう。具体的には、対象では、対象では、対象では、対象を集に対象を第1回の授業で配出席すること。 後期間中に、持ち込みがは、1000では、対象の順に履修すること。	対象期における多 焦点をあて、ドイ 構義を進める。 布するので、履修 無し、論述問題で Eともに共通であ	7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	の変化鉄鋼米の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の大型の	t紀後半以降の 術革新と企業 そのとの 発展の立との 発展の立とで が 大型との 大型との 大型との 大型との 大型との 大型との 大型との 大型との	全営 工業 全営 全経営 全営 戦略 ビジネスの成立	と企業経営
		経営史に関する専門知記 ようにする。	職を習得し、外国 <i>0</i>	つ企業	経営の形成	・発展の歴史	等について分析の	うえ、解説
		「紹介した参考文献を記 「学んだトピックの重要						
テキスト	第1回の授業で説明する。							
参考文献	第1回の授業で説明する。							
評価方法	定期討	<b>、験の成績が 80%、授</b>	業への参加度が 20	%の基	装準で評価す	る。		

09年度以降	企業論 a		担当者	平井 岳哉		
無視できないも る問題意識は終 も断片的・表層 本講義では、 じて、企業の多 す。 春期は、主と	後概要  の進路として、就労の場である企業の存在は のがあります。しかし、学生の企業に対す ないて希薄であり、企業に関する情報や知識 弱的なものでしかないものと考えられます。 企業に関係する様々な項目の概要説明を通 の面的な性格を理解してもらいたいと思いま はして従業員の立場から企業内の人事労務関 が労環境に焦点を当てます。	授業計画1.オリ身規2.終正高少3.正属雇4.高女性5.年報酬利6.報7.報8.組9.月10.昇採11.採12.大13.大14.労15.人	<b>⊧正規雇用</b> ・定年			
到達目標 企	業に関する専門知識を習得し、企業に関係	する諸項目について	て分析のうえ	、解説できるようにする。		
事前・事後 学修の内容	事前における参考文献・新聞・雑誌等での情報収集と、事後における参加者の討議を通じた知識の再確認					
テキスト	特になし					
参考文献	佐藤博樹ほか『新しい人事労務管理第5版』(有斐閣アルマ、2015年)					
評価方法 定	定期試験 80%、授業への参加度 20%					

09年度以降		企業論 b	担当者	平井 岳哉	
講義目的、講	構義概要	5	授業計画		
講義目的等の基本的なスタンスは、春期と同じです。 秋期は、主として企業の構造や外部主体(ステークホルダー)との関係に焦点を当てます。		3. 専門経営者 4. 家族企業 5. 株主 6. コーポレー 7. コーポレー	的責任	(①歴史 (②比較	
到達目標	企業に	<ul><li>関する専門知識を習得し、企業に関係で</li></ul>	ける諸項目につい	て分析のうえ	、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	事前に	こおける参考文献・新聞・雑誌等での情報	収集と、事後にお	ける参加者の	)討議を通じた知識の再確認
テキスト	特になし				
参考文献	佐藤博樹ほか『新しい人事労務管理第5版』(有斐閣アルマ、2015年)				
評価方法	定期記	<b>大験 80%、授業への参加度 20%</b>			

13 年度以降 12 年度以前		ベンチャー企業論 a ベンチャービジネス論 a		担当者	上坂 卓郎
講義目的、講	購義概要	5	授業計画		
ベンチャー企業とは若いスタートしたばかりの企業で、成長志向の高い企業をいう。Google、Facebook、楽天などに代表されるベンチャー企業に関する固有の経営問題を取り上げつつ、より広く企業の創業プロセスやその特質を理解できるようになることが本科目の狙いである。講義は会社設立から始まって企業の発展段階に伴って起きる経営の事象を学んでいく。その際具体的な会社研究も取り上げていく。なお店舗経営の類は扱わない。講義の受講と評価は強い関係がある。各自判断のうえ受講すること。		2 会社のの誕生 3 会社のの設定と 4 会社のの政政を 5 会社とはのの資ヤヤヤヤ市の政政資ヤヤヤヤヤヤマンンンででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	(1) (2) ご組織 理業の支知財 を業業ととととととととととととととという。 一位のででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	特許)戦略(1) 特許)戦略(2) 市場の活用 管理体制	
	ベンヨ	「ヤー企業に関する専門知識を習得し、^	 ベンチャー企業特を	ちの経覚問題	や政策支援等について分析の
到達目標		解説できるようにする。	マノイ 正来的		(6)小人级可仁 2 (月刊9)
事前・事後 学修の内容		を修は松田修一『ベンチャー企業』日本紀 理解出来なかったところを補足したり、			、事後学修は講義ノートを整
テキスト	開始時に指定する予定。なお毎回関連資料を配布する				
参考文献	文献 上坂卓郎『日本の起業家精神』文眞堂(2014)				
評価方法	定期試験による。追試、レポートは行わない(4年生は注意すること)				

13 年度以降 12 年度以前		ベンチャー企業論 b ベンチャービジネス論 b		担当者	上坂 卓郎	
講義目的、講	購義概要	5	授業計画			
ベンチャービジネス論aと同様だが、より専門的な話題を盛り込んだ内容とする。ベンチャー企業に特有な金融問題、ベンチャー企業の価値評価、起業家精神などの内容を取り上げる。また企業買収など組織再編の関連テーマについても、ベンチャー企業の成長政策の一つとして触れていく。			5 ベンチャーコ 6 ベンチャーコ 7 ベンチャーコ 8 企業評価の付 9 起業家にとっ 1 0 ペンチャー 1 1 プライベー 1 2 ビンチャー 1 3 ビンチャー 1 5 ベンチャー	全業とととととして、 主業ととなった。 主業とというでは、 主業とは、 主要によりで、 主要によりで、 主要によりで、 でのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	精神(2) 仕組み・役割(1) 仕組み・役割(2) ) ) ) ) 策 ネスリスク ィとM&A、MBO 戦略 役割 問題	
到達目標		ー イャー企業に関する専門知識を習得し、 解説できるようにする。	ベンチャー企業特別	有の経営問題	や政策支援等について分析の	
事前・事後 学修の内容		を修は松田修一『ベンチャー企業』日本紀 理解出来なかったところを補足したり、	_ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		、事後学修は講義ノートを整	
テキスト	開始時	開始時に指定する予定。なお毎回関連資料を配布する				
参考文献	上坂卓郎『日本の起業家精神』文眞堂(2014)					
評価方法	定期記	<b>状験による。追試、レポートは行わない</b>	(4年生は注意する	らこと)		

09年度以降 有吉 秀樹 マーケティング論 a 担当者 講義目的、講義概要 授業計画 1. オリエンテーション マーケティングは、消費者のニーズを企業の目標である マーケティングとは 2. 利益獲得に結びつけるための経営上の重要なツールであ マーケティング戦略のフレームワーク 3. る。ただ単に「作れば売れる」という大量生産・大量消費 4. マーケティング戦略と経営戦略 の時代が終わりを告げた現在、消費者の嗜好はますます個 5. 目標と戦略の関係性 別化してきている。どのような消費者をターゲットとする 6. 顧客分析とは 7. 深層心理要素の抽出方法 のか、そのような消費者の手元に確実に自社商品・サービ 8. 仮説検証アンケート作成の手法 スを届けるためには、どのような手段を用いたらよいのか 9. ロイヤルティと顧客満足 といった問題について、マーケティングは答えを与えてく 10. ブランドと消費者心理 れる。講義では、マーケティング戦略と企業全体の戦略と 11. ポジショニング の関係を常に意識しながら、論理的かつ事例を交えて具体 12. SD ロジック 13. 事例研究~眼鏡購入にまつわる消費者心理 的に解説したいと思う。 14. 事例研究~学習塾選択にまつわる消費者心理 15. まとめ マーケティング戦略に関する専門知識を習得し、消費者のニーズにあった商品をつくり、消費者の手元に 到達目標 確実に届けるための方策等について分析のうえ、解説できるようにする。 事前・事後 双方向性やディスカッションを重視するので、教科書の該当箇所を事前に読んできていることが望ましい。 学修の内容

中央経済社 2007年

有吉秀樹著 『マーケティングの新視角』 創成社 2014年

有吉秀樹著 『企業価値向上のマーケティング戦略』

講義への参加度 30%、小テスト 70%

テキスト

参考文献

<u> </u>									
09年度以降	マーケティング論 b			担当者	有吉	秀樹			
講義目的、講	義概要	更			授業	計画			
マーケティングは、消費者のニーズを企業の目標である利益獲得に結びつけるための経営上の重要なツールである。ただ単に「作れば売れる」という大量生産・大量消費の時代が終わりを告げた現在、消費者の嗜好はますます個別化してきている。どのような消費者をターゲットとするのか、そのような消費者の手元に確実に自社商品・サービスを届けるためには、どのような手段を用いたらよいのかといった問題について、マーケティングは答えを与えてくれる。講義では、マーケティング戦略と企業全体の戦略との関係を常に意識しながら、論理的かつ事例を交えて具体的に解説したいと思う。			14.	内部環境組織点事例の研究の 事例研究の 事例の研究の のでの が のでの のでの のでで のでで のでで のでで のでで のでで	ング戦略ので 析とは の視点から見 から見る内部 で で が で が で が が が が が が が が が が が り が の れ が の れ の が ら り る の が が う で が り で が り で が り で が り で が り で が り で り で	D企業体質	析		
針	マーケティング戦略に関する専門知識を習得し、消費者のニーズにあった商品をつくり、消費者の手元に 確実に届けるための方策等について分析のうえ、解説できるようにする。								
事前・事後 学修の内容	双方向性やディスカッションを重視するので、教科書の該当箇所を事前に読んできていることが望ましい。								
テキスト	有吉秀樹著 『マーケティングの新視角』 創成社 2014年								
参考文献	有告秀	房樹著	『企業価値向上の	マーケティング	が戦略	』 中央経済	斉社 2007 <sup>年</sup>	F.	
評価方法	講義へ	への参加	『度 30%、小テスト	~ 70%					

09 年度以降		広告論 a			担当者	清水 公一	
講義目的、講	義概要	5 C	授業計画				
企業経営の	中でに	広告コミュニケーションの果たす役割	1.	広告の重	要性と世界の	CM:学問体系と広告論。	
は大きいもの	があり	ます。経済的機能でみても広告は消費	2.	広告の社	会的経済的機	能:プラス・マイナス機能。	
を促して、生活	産量を	増やし、コストを引き下げます。また、	3.	広告の定	義:AMA、V	W. Bolen、清水の定義。	
社会的機能で	みても	)マスコミを支え、多くのテレビ番組を	4.	広告の種	類:機能別分	類など。	
提供し、安価	に社会	除情報を伝達することができます。これ	5.	広告の発	展経緯:起源	一中世。	
らを理論化し	たもの	のを理解してもらうのが本講座の目的	6.	広告の発	展経緯:近代	40	
です。就職活	動のラ	ウニックも広告戦略で応用することが	7.	日本の戦	後広告の動向	]:電波媒体の台頭。	
出来ます。			8.	広告と共	生マーケティ	ング:4Pから4Cへ。	
広告論aは、	まず	世界のCM、広告の歴史、広告取引のし	9.	. コミュミケーションのプロセス:発信~受信。			
くみ、広告費	の国際	除比較、広告の予算編成などを学習しま	10. 広告組織:広告主、広告会社、媒体社の組織。				
す。			11. 消費者の権利と広告規制:公的・自主規制。				
ビデオやパ	ソコン	⁄などを使って、30分ごとにクライマッ	12. DLD法:高度論理デザイン法。				
クスを設け、	90分間	<b>『興味を持ち続けてもらえる授業を目指</b>	13.	3. 広告計画のプロセス:計画、媒体、表現、効果。			
します。			14.	14. 広告費と広告予算の設定:世界の広告費。			
			15.	まとめ。			
到達目標	広告に	<ul><li>関する専門知識を習得し、広告活動全船</li></ul>	受につい	て分析の	うえ、解説で	きるようにする。	
	テキストの指定された箇所を事前に精読しておいてください。実践するために課題をやってもらう場合が あります。					に課題をやってもらう場合が	
テキスト	テキスト 清水公一著 (2014) 『広告の理論と戦略』第 1			削成社。			
参考文献	清水生	公一著(2016)『共生マーケティング戦略					
半师 九法		忧験の結果 80%を素点にし、課題や授業∙ ぶ報われるような評価をします。	<b>美への参加度等授業態度 20%を加味して評価します。努力し</b>				

09年度以降	広告論 b			担当者	清水 公一	
講義目的、講	<b>講義概</b> 要	Ę	授業計	画		
広告論aの	ところ	で広告戦略が就職活動のテクニックに	1.	広告媒体	の種類:他の	媒体、インターネット広告。
応用できると	言い言	ましたが、広告論bでは、企業や非営利	2.	新聞・雑	誌媒体:特性	:、料金。
組織の経営や	管理に	ことって重要な「広告コミュニケーショ	3.	ラジオ・	テレビ媒体:	特性、CMの種類と料金。
ン戦略」につ	いて具	体的に学習することを目的としていま	4.	広告媒体	戦略:到達と	頻度、GRP、CPM。
す。			5.	広告表現	戦略:コピー	プラットフォーム。
内容として	は広告	f媒体戦略、インパクトのあるCM制作	6.	印刷広告	の制作プロセ	ス:サムネイル。
の方法、広告	5効果測	定法、消費者行動モデル、統合マーケ	7.	テレビCN	Mの制作:制作	作プロセス。
ティング・コ	ミュニ	-ケーション(IMC)などを理解しても	8.	広告効果	測定基準:D.	AGMAR、ARFモデル、6C。
らいます。			9.	広告効果測定法:視聴率の測定法、SD法。		
授業では、	パソコ	ンやビデオなどの視聴覚機材を効果的	10.	. 消費者意思決定プロセス:ニコシアモデル。		
に使い、30分	うごとに	こメリハリを付けて、90分間、受講生を	11.	消費者意思決定:ハワード/シェス・モデル。		
集中させるよ	こうにし	<b>、ます。</b>	12.	インボルブメントと新しい効果モデル。		
			13.	3. 統合マーケティング・コミュニケーション。		
			14. 販売促進、CI、PR、パブリシティ。			
			15.	広告論の	応用。	
到達目標	広告に	- 関する専門知識を習得し、広告活動全船	受につい	いて分析の:	うえ、解説で	きるようにする。
事前・事後 学修の内容	テキスありま	、トの指定された箇所を事前に精読して≯ ミす。	おいてく	ださい。多	実践するため	に課題をやってもらう場合が
テキスト	清水公	☆一著(2014)『広告の理論と戦略』第1	8版、創	削成社。		
参考文献	清水公	六一著(2016)『共生マーケティング戦略	論』第	5版、創成	<b></b>	
評価方法		忧験の結果 80%を素点にし、課題や授業 ぶ報われるような評価をします。	への参	加度等授業	態度 20%を力	加味して評価します。努力し

 09 年度以降
 保険論 a
 担当者
 岡村 国和

# 講義目的、講義概要

本講義の目的は、現実の保険現象を広く理解し、現在進行中の保険事業をめぐる環境変化を分析する能力を収得することにあります。

春学期の目標は保険理論の理解であり、主として保険の技術や原則を中心に、保険システムの全体像について講義します。保険の本質的機能を十分理解すれば、隣接他業との相互関係や環境変化・市場再編の方向が理解でき、また保険における契約者保護の重要性を知ることができます。

上記のことを理解する前提として、近代保険業がなぜ生まれたのか、またその性格はいかなるものであるのか、を理解することが重要です。

なるべく丁寧に講義を進めることを心がけますが、進度 やトピックスの挿入などによって、右記の授業計画の一部 を割愛することがあります。

### 授業計画

- 1. 講義の進め方、保険学の学問的位置づけなど
- 2. リスク理論と保険理論
- 3. 保険とリスクマネジメントの一般理論について
- 4. 期待効用に基づく保険モデルの解説
- 5. 保険の歴史(1): 原始共済と前近代的保険
- 6. 保険の歴史(2):近代保険の生成と発展
- 7. 保険の構造(1):保険の理論的構造
- 8. 保険の構造(2):「危険負担」「損害填補」の一般原則
- 9. 保険の構造(3):告知義務と通知義務など
- 10. 保険各論(1):生命保険の仕組みや機能
- 11. 保険各論(2):自動車損害賠償責任保険
- 12. 保険各論(3):火災保険、第3分野保険
- 13. 巨大災害と保険(地震保険・原子力損害賠償保険)
- 14. 補論:保険と金融派生商品の比較
- 15. 春学期のまとめ

到達目標	保険に関する専門知識を習得し、保険に関する理論や保険会社の経営等について分析のうえ、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	事前学習について。配布したプリントの内容でとくに聞きたいところをチェックしておいて下さい。
テキスト	テキスト 田畑康人・岡村国和 共編著『読みながら考える保険論』八千代出版、2016年。
参考文献	
評価方法	講義への参加度(20%)および学期末試験(80%)で評価します。

09 年度以降 保険論 b 担当者 岡村 国和

### 講義目的、講義概要

秋学期は保険会社の経営についての講義を中心に講義 を進めます。具体的には保険業の収益構造や保険市場の構 造的変化について、日米の保険業を比較検討します。

収益面では、バブル期までの生保業の中心的な収益源泉が、保険販売収益ではなく金融収益であり金融収益が保険収益を上回るという本業と副業の収益面での「ねじれ現象」が発生していたことを確認します。

バブル崩壊後に生命保険も損害保険も保険会社の収益 構造が大きく変容しましたが、重要であるにもかかわら ず、一般的な教科書には余り記載されていない事実などを 中心に解説します。

また、日本の大手生保会社は、「保険業法」に基づいて 設立された相互会社(非営利中間法人)であると言うこと を知らない人が多いと思いますので、これを機会に良く理 解してください。

### 授業計画

- 1. 秋学期の講義目的や内容について
- 2. 保険経営の一般的特徴
- 3. 保険企業の形態:株式会社と相互会社
- 4. 保険市場の主要な問題
- 5. 保険の販売チャネルについて
- 6. 保険経営の特殊性(1):保険技術的危険について
- 7. 保険経営の特殊性(2):保険料の算定について
- 8. 資金調達からみた保険の限界とその拡張
- 9. 保険の価格(保険料率)の構造
- 10. 保険会社の経営戦略
- 11. 損害保険会社の収益構造。
- 12. 保険収益のサイクルとコンバインドレシオ
- 13. 生命保険の主力商品の変遷
- 14. 生命保険会社の収益構造
- 15. 秋学期のまとめ

到達目標	保険に関する専門知識を習得し、保険に関する理論や保険会社の経営等について分析のうえ、解説できるようにする。
事前・事後 学修の内容	事前学習について。配布したプリントの内容でとくに聞きたいところをチェックしておいて下さい。
テキスト	テキスト 田畑康人・岡村国和 共編著『読みながら考える保険論』八千代出版、2016年。
参考文献	
評価方法	講義への参加度 (20%)、および学期末試験 (80%) で評価します。

09年度以降	路 証券市場論 a			担当者	髙橋 元	
講義目的、講	<b>講義概</b> 要	<u> </u>	授業計画			
本講義の目	的は、	証券と証券市場を巡る制度、歴史、理	1.講義の概要―	-授業の進め	方、評価方法等のガイダンス	
論などを体系	系的に 当	生ぶことで、その国民経済的な意義を明	2.日本経済と証券	學市場		
らかにするこ	ことでは	る。また、その過程では、実践的な解	3.証券とは何か?	?		
説を通じて、	金融リ	「テラシーの涵養も目指していく。	4.証券の意義(株	株式と債券を	中心に)	
近年は自己	<b>上責任</b> 原	原則の思想が定着し、個人は多くのリス	5.債券の区分			
クに晒されて	いる。	一方、貯蓄から投資へのシフトが促さ	6.債券の種類			
れており、こ	の面で	でもリスク制御は重要な課題となってい	7.株式会社			
る。金融リラ	ラシー	-の必要性が叫ばれる所以である。	8.証券市場の機能	もと沿革		
そこで、証	E券市場	湯論aでは、「守りのリテラシー」を意識	9.金融リテラシーと証券			
して学ぶ。こ	ここでに	は証券を貨幣の発展形態として捉え、そ	10.証券市場と証券取引			
の機能や証券	∲市場の	)メカニズムなど、基本的な領域につい	11.証券市場の構成者			
て幅広く学習	引する。		12.バブルと株式市場			
講義はスラ	ライドを	と用いた口述を中心に、板書を加えて進	13.国債と政府債務問題			
める。原則と	: して哲	受業計画に従って進行するが、金融資本	14.証券化の仕組みと課題			
市場の変化な	とどに点	なじて流動的に対応していく。	15.総括――まと	めと期末試験	険の案内	
到達目標		よらびに証券市場に関する専門知識を習得 らようにする。	<b>身し、証券価格の</b> 記	平価等に関し	て理論的に分析のうえ、解説	
事前・事後 学修の内容	何事に	こも好奇心を持って臨み、特に経済・金融	・証券に関する新	新聞記事など	に目を通すこと。	
テキスト	『おオ	コネとどう向き合うか〜金融リテラシーを	と身に付ける「おっ	カネの学校」』	髙橋元/著、きんざい/刊	
参考文献	必要に	に応じ授業の中で紹介する。				
評価方法		不定期に実施するレポートの提出状況と内容 0%を目途とする。	容、試験結果などを総合的に勘案し評価。評価ウエイトは前者 30%、			

09 年度以降	証券市場論 b			担当者	髙橋 元		
講義目的、講義	概要	5	授業計画				
本講義の目的	は、	証券と証券市場を巡る制度、歴史、理	1.講義の概要―	-授業の進め	方、評価方法等のガイダンス		
論などを体系的	ルこ学	生ぶことで、その国民経済的な意義を明	2.証券と証券市場	易			
らかにすること	であ	っる。また、その過程では、実践的な解	3.証券の価格形成	戈			
説を通じて、金	融リ	テラシーの涵養も目指していく。	4.債券投資理論	:利回り			
近年は自己責	任原	則の思想が定着し、個人は多くのリス	5.市場データに。	にる株価分析:	手法		
クに晒されてい	る。	一方、貯蓄から投資へのシフトが促さ	6.投資価値と企業	美財務データ			
れており、この	面で	ぎもリスク制御は重要な課題となってい	7.資本還元と配当	当割引モデル			
る。金融リテラ	シー	-の必要性が叫ばれる所以である。	8.代表的な投資月	尺度			
そうした認識	のも	っと、証券市場論bでは、「攻めのリテラ	9.ポートフォリオ理論				
シー」を意識し	て学	どぶ。特に、リスク資産である株式を中	10.ポートフォリオ理論の拡張				
心に証券価格の	評価	hなどに関わる理論的考察を行い、専門	11.デリバティブズ				
的且つ先端的な	高し	·ベルの知識習得を図る。	12.機械的投資手法とアノマリーズ				
講義はスライ	ドを	:用いた口述を中心に、板書を加えて進	13.新しい投資理論の展開				
める。原則とし	て授	受業計画に従って進行するが、金融資本	14.金融リテラシーについて				
市場の変化など	に応	にじて流動的に対応していく。	15.総括まとめと期末試験の案内				
到達月標		らびに証券市場に関する専門知識を習得 ようにする。	<b>尋し、証券価格の</b> 記	平価等に関し	て理論的に分析のうえ、解説		
事前・事後 学修の内容	一 一 一 一 一 一 面重に * が( 呑) なちって 悔り 「ちに 以 次 ・			新聞記事など	に目を通すこと。		
<b>テキスト</b> 『おカネとどう向き合うか〜金融リテラシーを			と身に付ける「お	カネの学校」』	髙橋元/著、きんざい/刊		
参考文献 必要に応じ授業の中で紹介する。							
評価方法   ***		不定期に実施するレポートの提出状況と内容 0%を目途とする。	、試験結果などを総	合的に勘案し	平価。評価ウエイトは前者 30%、		

09年度以降		行動科学論 a				担当者	有吉	秀樹
講義目的、講義	<b>養概要</b>			授業	計画			
たつもりで、消略を立案する。 説を導き出し、 講した意義は大 るように、本講 置付けられてい 明は一切行わな でなければ、講	費ロそき座るいを	者自身が企業の戦略担当のこの行動を論理的・科学的にタックを重視し、根拠のあるなを検証する力が養えれば、であろう。この講義概要をマーケティング論の上位科マーケティング論に関する。で、マーケティング論を受護論についてゆくのは極めなとを強く勧める!	分析し、戦 推測からを 見と 見と を も わ て し な <b>基本的な 説 講 済みの者</b>	11. 12. 13. 14.	顧客データ層 顧客の深深で でででででででででででででででででででででででででででです。 ででででできます。 ないでは、 でででできます。 でででできます。 のででできます。 のででは、 のででできます。 のででは、 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のででででいる。 のででででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででいる。 のでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	業界構造の名の収集 の理の課ででは、 心理のででである。 心理では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	考察 5仮説の設定 F成 5の分析 0分析	
■ 糾 達 日 樗	f動科 にす	学論に関する専門知識を習る。	得し、人間の	り行動	を論理的・和	科学的に分析	のうえ、戦略を	立案できるよ
事前・事後 学修の内容 講義時間はディスカッションの時間として使用する				ため、	講義時までに	議論に必要な	データや資料を準	備すること。
テキスト有	有吉秀樹著 『マーケティングの新視角』				2014年			

参考文献

評価方法

授業中に紹介

グループへの貢献度30%、期末レポート70%

09年度以降	行動科学論 b				有告	秀樹
講義目的、講	<b>養概</b> 要	5	授業計画			
たつもりで、 略を立案する 説を導き出し 講した意義は るように、本 置付けられて <b>明は一切行れて</b> でなければ、	消費者 っ。それ 大きい は大きい ないの <b>講義</b> や	日本自身が企業の戦略担当の立場になったの行動を論理的・科学的に分析し、戦ジックを重視し、根拠のある推測から仮れを検証する力が養えれば、本講義を受いであろう。この講義概要を見てもわかはマーケティング論の上位科目として位マーケティング論に関する基本的な説ので、マーケティング論を受講済みの者を議論についてゆくのは極めて困難であことを強く勧める!	<ol> <li>4. 顧客データ</li> <li>5. 顧客の深層</li> <li>6. 顧客の深層</li> <li>7. 仮説検証フ</li> </ol>	学業界構造の名の 一業界構造の名の のの理の関係では ののでは、シーツをでは、シーツをでは、シーツをでは、 では、シーツをできる。 のは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	考察 5 仮説の設定 F成 5 の分析 0 分析 2 案作業	
到達目標	行動科 うにす	斗学論に関する専門知識を習得し、人間の −る。	)行動を論理的・	科学的に分析	のうえ、戦略を	:立案できるよ
事前・事後 学修の内容	講義時	間はディスカッションの時間として使用する。	ため、講義時までに	に 議論に必要な	データや資料を準	備すること。
テキスト	有吉秀	京樹著 『マーケティングの新視角』 倉	川成社 2014 年			_
参考文献	授業中	で紹介				
評価方法	グルー	-プへの貢献度 30%、期末レポート 70%	,			

09年度以降	上級簿記(工業)a		担当者	香取 徹
講義目的、講		授業計画		
を下げて利益ること、下げたマネジメント)とこの講義で技法や考え方を期のテー的ってすっき、ことが戦略的	は、今までどのようにして良い製品の原価を上げてきたのでしょうか。この原価を下げ原価を維持することなどを原価管理(コストいいます。は、日本企業の様々なコストマネジメントのを解りやすく講義します。一マは戦略的コストマネジメントです。戦略か? それは顧客のことを一番に考えるといつまり、顧客が欲しがる製品の原価を下げクコストマネジメントです。簿記や会計の知も理解できるように管理会計の基礎を講義	1.ガイダンス 2.コストマネジ 3.環境コストマネジ 4.ライフサイク/ 5.ベンチマーキン 6.価格決定 7.バランスト・ス 8.テスト 9.解説 10.ABC/ABM 11.品質コストマ 12.サプライチェ 13.制約条件の理 14.テスト 15.解説	ネジメント レ・コスティ ノグ スコアカード ネジメント ーン・マネシ	
숙  ·폭 너 755	L業簿記または商業簿記の専門知識(日商簿記 者表の内容を理解のうえ、記帳できるようにす		度の知識) を	習得し、原価計算および財務
事前・事後 学修の内容	事前に Quiz、講義後に Exercises を提出			
テキスト	n登・李 著 ケースブック コストマネジメント	、第2版 新世社	±	
参考文献	参考資料を配布します。			
評価方法(	Quiz:20 点 Exercises:20 点,テスト各:30 点			

09年度以降	上級簿記(工業)b			担当者	香取 徹		
講義目的、講	冓義概要	Ę	授業計画				
原価を原価のでは、下下ででででででででででででででででいます。これでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	て利益といる。でやー何つのなくない。	今までどのようにして良い製品の を上げてきたのでしょうか。この 、下げた原価を維持することなど トマネジメント)といいます。 日本企業の様々なコストマネジメ 方を解りやすく講義します。 、管理的コストマネジメントです。 か? それは会社の内部で効率を高 )原価を削減することです。 簿記や 八にも理解できるように管理会計 す。	1.ガイダンス 2.資本予算 1 N 3.資本予算 2 II 4.CVP 分析 5.予算管理 6.テスト 7.解説 8.ミニ・プロフィ 9.業績評価 10.連結管理会計 11.標準原価計算 12.在庫管理 13.輸送計画 14.展望 15.テスト	RR 法 ィットセンタ			
到達目標		算記または商業簿記の専門知識(日商簿記 の内容を理解のうえ、記帳できるようにで		度の知識) を	習得し、原価計算および財務		
事前・事後 学修の内容	事前に	こ Quiz、講義後に Exercises を提出					
テキスト	加登•	加登・李 著 ケースブック コストマネジメント 第2版 新世社					
参考文献	参考文献 参考資料を配布します。						
評価方法	評価方法 Quiz:20 点 Exercises:20 点,テスト各:30 点						

09年度以降	上級簿記(商業)a			担当者	山﨑 尚	
講義目的、認	講義概要	<del>2</del>	授業計画			
講義目的:			1. オリエンテー	-ション		
本講義では	は、主と	して商品売買業やサービス業を営む企	2. 株式の発行			
業の経済活動	動を貨幣	烙額で記録・計算・報告する比較的高度	3. 剰余金の配当	iと処分		
な複式簿記の	の技術の	)習得を目的とする。具体的には、日本	4. 株主資本の計	数変動と税金	金	
商工会議所領	簿記検知	定試験2級(商業)レベルの技術につい	5. 商品売買(仕	:入割引・クロ	レジット売掛金)	
て学ぶ。			6. 商品売買(売	上原価の算足	定)・電子記録債権 (債務)	
講義概要:			7. 銀行勘定調整表			
日商簿記	検定2級	は、最も企業に求められる資格の1つ	8. 中間試験			
であるとい	われてい	いるので、在学中にぜひ取得してほし	9. 有形固定資産(割賦購入・減価償却・売却)			
い。講義は、	、項目ご	ごとに講師がPower Pointを使って説明	10. 有形固定資産(買換え・除却・圧縮記帳など)			
し、その後受	受講生が	確認問題を解くかたちで進める。なお、	11. 有形固定資産(リース取引)			
受講には複	式簿記は	こ関する基礎知識が必要である( <u>少なく</u>	12. 無形固定資産と有価証券(取得・売却)			
とも簿記原理	理a,bの	単位を(比較的優秀な成績で)取得済み	13. 有価証券(端数利息・期末評価)			
であることだ	が望まし	<u>_ (                                   </u>	14. 引当金			
			15. 春学期のま	とめ		
到達目標	工業簿記または商業簿記の専門知識(日商簿記検定試験2級程度の知識)を習得し、原価計算および財務 諸表の内容を理解のうえ、記帳できるようにする。					
事前・事後 学修の内容	211 42 411		問題(3級レベル)を事前に解いておくこと。また、日商簿 価計算論」の講義を同時に履修するとよい。			
テキスト	初回講	構義で指定する。				
	_					

滝澤ななみ著『みんなが欲しかった簿記の教科書(日商2級・商業簿記)』(最新版)、TAC出版

授業参加度:20%、中間試験:40%、期末試験:40%

参考文献

09年度以降		上級簿記(商業)b			山﨑 尚			
講義目的、請	冓義概要	Į.	授業計画					
講義目的:			1. 収益・費用の認識基準(サービス業の処理)					
春学期と同	司じ		2. 外貨建取引					
講義概要:			3. 精算表の作成		Fy (			
春学期と同	春学期と同じ。なお、受講には複式簿記の基礎知識と春			貸借対照表の	の作成			
学期に学んだ内容に関する知識が必要である(少なくとも			5. 税効果会計					
-		簿記(商業)aの単位を(比較的優秀な	6. 帳簿の締切 7. 中間試験					
成績で)取得	成績で) 取得済みであることが望ましい)。							
				8. 本支店会計(本支店間の取引)				
			9. 本支店会計(合併財務諸表の作成・帳簿の締切)					
			10. 連結会計(投資と資本の相殺消去)					
			11. 連結会計(投資と資本の相殺消去以外)					
			12. 連結会計(部分所有・アップストリームの場合)					
			13. 連結会計(連結精算表・連結財務諸表の作成)					
			14. 製造業会計					
			15. 秋学期のま					
到達目標		記または商業簿記の専門知識(日商簿) )内容を理解のうえ、記帳できるように		度の知識) を	習得し、原価計算および財務			
事前・事後 学修の内容	春学期	と同じ						
テキスト	春学期	1と同じ						
参考文献	春学其	と同じ						
評価方法	授業参加度:20%、中間試験:40%、期末試験:40%							

09年度以降	会計学原理 a			担当者	内倉 滋
講義目的、講義概要	講義目的、講義概要				
目的のため、わが ルールを直接の分 と、それを支えてい。 講義計画は右に打 学原理a」では、会 てきた伝統的な部分 なお、履修に際り (1)複式簿記の基準	としての会計'の解明を目的とする。その国における企業会計に関する慣習的な諸析対象に選び、その規定している内容いる理論的な背景の紹介をしていきた場げるとおりであるが、おおむね「会計学の領域のうちで従来から議論されいの概要を紹介していく予定である。し次の条件を課すこととしたい:本的知識を前提に議論を出発させるた記原理b 両科目を修得していること(まあること)。	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	複式簿記原語の企業会の企業会ののののののののののののののののののののののののののののののの	理の復習の「会計学」(6 基本的枠組み 基本的枠について について 側定ーーチー について、費 について、費	構義の 目的,目標 等)  (5)問題;いわゆる「損益算」  その1:動態論  その2:資産負債アプローチ  アプローチと期待キャッシュ  中用と原価の違いについて  トライアングル体制について  十算構造

(2) 経営学科	中生以外の者が履修する場合には、会計学a、会目を修得していること。	13 企業云前原則について 14 連結財務諸表について 15 総復習:第2回講義~第14回講義の総復習							
到達目標	到達目標								
事前・事後 学修の内容	講義は、当日配付するハンドアウト資料の要点料を通読し、自分なりの整理をしておくこと。	まだけを説明していく形で行う。講義のあとハンドアウト資							
テキスト	特定の教科書は無し。								
参考文献	必要に応じ そのつどハンドアウトの中で指示する。								
評価方法	6割前後は期末試験の結果で、残りは平常点(講義中の小テスト等)で評価する。その詳細は、最初の講義 時に説明したい。								

	4	-,, ,					
09年度以降		会計学原理 b			担当者	内倉 滋	
講義目的、調	<b>帯義 概</b> 勇	<u> </u>	授業	計画			
この「会計学報」 という では できます できます できます できます できます できます できます できます	この「会計学原理b」では、「会計学原理a」の伝統的な会計学領域に関する知識を前提として、'連結財務諸表','税 効果会計','リース会計','外貨換算会計'といった 比較的新しい問題(ないし、最近においてその制度的中身が大幅に改変された領域)を講義の対象としたい。会社法の計算規定の解説にも、ウェイトを置きたいと考えている。 なお、履修に際し次の条件を課すこととしたい: (1) 複式簿記の基本的知識を前提に議論を出発させるため、簿記原理a,簿記原理b 両科目を修得していること(または同等の知識のあること)。 (2) 経営学科生以外の者が履修する場合には、会計学a,会計学b 両科目を修得していること。				算書 その1: 算書 その2: 側定ルール の1:減価 にの2:減価 にでで にでで にでで が が かれますが にで が で にで にで にで にで にで にで にで にで にで	構義の 目的,目標 等) : 間接法による作成 : 直接法による作成 認識時の測定ルール 賞却方法 特に 200%定率法に ・部」の中身について 配当 ・ス使用権モデル(基本) ・子側会計処理について 第14回講義の総復習	
到達目標	を踏ま	国における企業会計ルールについて専門矩 ミえ分析のうえ、解説できるようにする。					
事前・事後 学修の内容	F14 424	t、当日配付するハンドアウト資料の要点 直読し、自分なりの整理をしておくこと。		を説明してい	いく形で行う	。講義のあとハンドアウト資	
テキスト	特定の	)教科書は無し。					
参考文献	必要に	こ応じ そのつどハンドアウトの中で指示	する。				
評価方法	6割前後は期末試験の結果で、残りは平常点(講義中の小テスト等)で評価する。その詳細は、最初の講義 時に説明したい						

時に説明したい。

09年度以降		国際会計論 a			担当者	橋本 尚		
講義目的、講郭	義概要	ī C	授美	<b></b> 				
国際会計は、	、企業	美活動の国際化、資金調達の国際化、多	1	オリエンテー	ーション			
国籍企業の出	現な。	どにより新たに展開された企業会計の	2	IFRSをめぐる内外の動向				
領域です。企業	業活重	かや資本市場のグローバル化とともに、	3	IFRS財団の	組織			
ビジネスの言詞	語であ	る会計の領域においても、国際比較可	4	IFRSの構成				
能性を有する	グロー	-バル・スタンダードが必要とされるよ	5	5 IFRSの特徴				
うになりました	た。目	国際会計基準審議会(IASB)が開発し	6					
ている国際財産	ている国際財務報告基準 (IFRS) は、質の高い単一の世界			公正価値お。	よび現在価値	の概念		
共通のモノサシとして、わが国においても2010年3月期か			8	3 IFRSに基づく財務諸表				
ら上場企業(特定会社)の連結財務諸表に任意適用が認め			9	収益				
られています。	<b>o</b>		10	10 棚卸資産				
本講義におい	いては	は、IFRSをめぐる内外の動向を概観する	11	有形固定資産①				
とともに、IFR	RSの#	特徴や基本的な内容について、日本の企	12	2 有形固定資産②				
業会計基準とは	比較し	しながら解説していきます。	13	3 無形資産				
授業は講義用	形式で	で行います。	14	減損				
			15	リース				
判注日標		会計に関する専門知識を習得し、国際財務 はと比較しながら分析のうえ、解説できる。			)の動向や特	徴等について、日本の企	企業会	
		)講義に関連するテキストの該当箇所を事 )練習問題を解いて復習しておいてくださ		ニ精読しておい	ハてください	。また、講義終了後は、	該当	
テキスト	テキスト:橋本 尚・山田善隆 『IFRS 会計学基本テキスト(第 5 版)』 中央経済社 2017年							
参考文献	参考文献:講義の中で適宜紹介します。							
評価方法	講義への取り組み状況などの平常点(30%)と試験の結果(70%)に基づいて総合的に判定します。							

09年度以降	国際会計論 b				担当者	橋本	台		
講義目的、講	購義概要	, ,	授第	<b>Ě計画</b>					
国際会計に	は、企業	芝活動の国際化、資金調達の国際化、多	1	引当金、偶多	発負債および	偶発資産			
国籍企業のと	出現な	どにより新たに展開された企業会計の	2	従業員給付					
領域です。企	<b>È業活動</b>	かや資本市場のグローバル化とともに、	3	ストック・ス	ナプション				
ビジネスの言	言語では	ある会計の領域においても、国際比較可	4	金融商品①					
能性を有する	るグロー	-バル・スタンダードが必要とされるよ	5						
うになりまし	した。 <b>[</b>	国際会計基準審議会(IASB)が開発し	6	120 0011100					
ている国際則	オ務報告	号基準 (IFRS) は、質の高い単一の世界	7	7 企業結合					
共通のモノサシとして、わが国においても2010年3月期か			8	8 連結①					
ら上場企業(特定会社)の連結財務諸表に任意適用が認め			9	連結②					
られています	ト。		10	連結③					
本講義にお	さいてに	は、IFRSをめぐる内外の動向を概観する	11	持分法					
とともに、II	FRSの#	寺徴や基本的な内容について、日本の企	12	12 外貨換算					
業会計基準と	と比較し	しながら解説していきます。	13	3 セグメント情報					
授業は講義	髪形式で	で行います。	14	IFRSの初度	度適用				
			15	IFRSの将来像					
到達目標		会計に関する専門知識を習得し、国際財務 書と比較しながら分析のうえ、解説できる	• , , , ,		の動向や特	徴等について、日	本の企業会		
事前・事後 学修の内容		○講義に関連するテキストの該当箇所を¶ ○練習問題を解いて復習しておいてくだ?		ニ精読しておい	ハてください	。また、講義終了行	後は、該当		
テキスト	テキス	スト:橋本 尚・山田善隆 『IFRS 会計	学基	本テキスト	(第 5 版)』	中央経済社 2017	7年		
参考文献	参考文献:講義の中で適宜紹介します。								
評価方法	講義への取り組み状況などの平常点(30%)と試験の結果(70%)に基づいて総合的に判定します。								

09年度以降		財務会計論 a	5会計論 a				
講義目的、詞	冓義概要	<b>E</b>	授業計画				
講義目的:			1. オリエンテーション				
本講義では	ま、企業	活動を貨幣額で記録し、企業の儲け(利	2. 財務会計の役	:割			
益) などを記	計算し、	利害関係者に報告する「財務会計」の	3. 財務会計への法規制				
理論の習得を	を目的と	とする。したがって、講義では具体的か	4. 財務会計の情報処理システム				
つ詳細な会割	計処理	(仕訳など) というよりも、その処理の	5. 利益計算にお	ける基本原則	IJ		
背後にある記	倫理を中	<b>卜心に取り上げる。</b>	6. 財産計算にお	ける基本原則	IJ		
講義概要:			7. 企業の設立				
前半では、	財務会	会計の大枠(財務会計の重要性、それゆ	8. 中間試験				
えの法規制の	の存在、	情報処理システム(複式簿記)との関	9. 資金調達				
係、利益と則	材産の記	†算を支える基礎概念など)を学ぶ。後	10. 売上の認識・測定				
半では、具体	本的な企	è業活動を取り上げ、その会計処理と背	11. 売上原価の認識・測定				
後にある論理	里を学る	ぶ。講義は、講師がPower Pointを使っ	12. 売上債権・棚卸資産				
て説明する刑	形で進め	める。なお、受講には複式簿記に関する	13. 人材の雇用と人件費				
基礎知識が必	必要では	ある(少なくとも簿記原理 a ,bの単位を	14. 設備投資				
取得済みでも	あること	とが望ましい)。	15. 春学期のま	とめ			
到達目標	財務会にする	≷計理論に関する専門知識を習得し、企業 る。	美の経済的活動の2	<b>犬況を財務諸</b>	表にまとめ、提示できるよう		
事前・事後 学修の内容							
テキスト	桜井久勝・須田一幸著『財務会計・入門―企業活動を描き出す会計情報とその活用法』(最新版)、有斐閣アルマ						
参考文献	桜井ク						

授業参加度:20%、中間試験:40%、期末試験:40%

09年度以降		財務会計論 b		担当者	山﨑 尚			
講義目的、詞	冓義概要	Ę	授業計画					
講義目的:	7.10		1. オリエンテー		芝期の復習)			
春学期と同じ			2. 減損会計・研究開発活動					
**********	講義概要: 前半では、春学期の後半に引き続き、具体的な企業活動			3. 有価証券投資 4. デリバティブ投資とヘッジ会計				
	- •		4. アリハティノ投資とヘッン会計         5. 国際活動					
_ , _ ,	を取り上げ、その会計処理と背後にある論理を学ぶ。後半では、利害関係者に報告される各種の会計情報(財務諸表)			6. 企業にかかる税金				
の様式等につ	ついて肖	学ぶとともに、財務諸表を利用した企業	6. 企業にがかる税金 7. 中間試験					
分析を行う。	なお、	受講には複式簿記に関する基礎知識と	8. 株主への配当と純資産会計					
財務会計の力	財務会計の大枠に関する知識が必要である(少なくとも簿			9. 連結会計 (1)				
記原理a, b	上財務会	会計論aの単位を取得済みであることが	10. 連結会計 (2)					
望ましい)。			11. 財務諸表の開示と体系(1)					
			12. 財務諸表の開示と体系 (2)					
			13. 財務諸表による経営分析(1)					
			14. 財務諸表による経営分析(2)					
	H <b>→</b> ₹/F /	、記.m=☆)を目よって古田をn=数よ。羽/日) へっ	15. 秋学期のまとめ					
到達目標	財務会にする	≳計理論に関する専門知識を習得し、企動 う。	<b>巣の経済的活動の</b>	入仇 を知 務諸	衣にまとめ、旋示でさるより 			
事前・事後 学修の内容	春学其	月と同じ						
テキスト	春学其	月と同じ						
参考文献	春学期と同じ							
評価方法	<b>方法</b> 授業参加度:20%、中間試験:40%、期末試験:40%							

09年度以降		原価計算論 a			担当者	大坪	史治	
講義目的、講	義概要	5	授業計画					
本講義は、	日商簿	奪記検定試験2級の科目「工業簿記」を	1. 講義概要					
カバーしており、2級取得を目標としている。講義では、			2.	原価計算の	意義と目的			
丁寧な説明を	心がに	け、反復練習と解説をつうじて理解の定	3.	原価計算の	種類と手続き			
着を図ってい	< o to	はお、日商2級を取得するために、「上級	4.	材料費の計	算①			
簿記 (商業)」	を並	行して履修することが望ましい。	5. 材料費の計算②					
「簿記原理」	」を履	髲修済みのこと。「原価計算論a」と「原	6. 労務費の計算 7. 終典の計算					
価計算論b」に	は、連	続して履修すること。	7. 経費の計算					
			8.	単純個別原	価計算			
			9. 製造間接費の配賦①					
			10. 製造間接費の配賦②					
			11. 部門別個別原価計算①					
			12. 部門別個別原価計算②					
			13. 総合原価計算の基礎					
			14. 工程別総合原価計算					
			15. 春学期まとめ					
到達目標	原価計	算に関する専門知識を習得し、財務諸詞	長の作	成や経営管理	里に応用でき	るようにする。		
	事前学	学修:わからない箇所を明確にしておくこ	こと。					
学修の内容	事後学	└修:テキストの問題を解き、理解の定績	昏を図	ること。				
テキスト	オリコ	ンテーションで指示する						
参考文献 渋谷武夫編著『スタディガイド原価計算』(中				¬央経済社)				
評価方法	小ティ	スト (20%)、期末試験 (80%)						

09年度以降		原価計算論 b	価計算論 b				史治
講義目的、講	<b>講義概</b> 要	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	授業計画				
カバーしており、2級取得を目標としている。講義では、 丁寧な説明を心がけ、反復練習と解説をつうじて理解の定 着を図っていく。なお、日商2級を取得するために、「上級 簿記(商業)」を並行して履修することが望ましい。 「簿記原理」を履修済みのこと。「原価計算論a」と「原 価計算論b」は、連続して履修すること。 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.			3. その代 4. 減損・馬 5. 標準場所 7. 標準場所 8. 直接房 9.	也也・原原原原原の分別別のの仕価価価価価価価析析題題総総損計計計計算算	章の基礎 算(原価差異 算(原価差異 算の意義 算(演習①) 算(演習②)	) :分析①)	
到達目標	原価計	†算に関する専門知識を習得し、財務諸君	長の作成や経	Z営管理	里に応用でき	るようにする。	
事前・事後 学修の内容	3 13 3	<ul><li> ≥修:わからない箇所を明確にしておくこ </li><li> ≥修:テキストの問題を解き、理解の定着 </li></ul>	0	•			
テキスト	オリコ	ニンテーションで指示する					
参考文献	参考文献 渋谷武夫編著『スタディガイド原価計算』(中央経済社)						
評価方法	小テス	スト (20%)、期末試験 (80%)					

09年度以降	管理会計論 a			担当者	香取 徹	
講義目的、詞	授業計画					
す会ではつ さ行金単す題と利な上、でいるっと倒方つとがなる、 でいるっでをり	ばをご利益、すってで学短用管活出し、益と将がは行ってが期いで用では、	会計の知識を経営に生かす勉強でで倒産。この言葉を知っていますか。これでいるのに、倒産してしまうことなことが起きるのでしょうか。それて会社の経営とは異なるからです。その意思決定は利益を基準にしているのです。この講義では、管いシュフローをうまく効率的に管理した。本期はすぐに効果が表れる問めな業務的意思決定について具体的に解説し、演習を行います。会計に関する専門知識を習得し、企業の経ざきるようにする。	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第1111111111111	キ失輸会取在力制中金歩キ複最ツサリが開けて終行をできまれる。	題と減価償却 曽えると、利益 (改善)と制約 緩めると スト 効率、どちら いフローを生 案件で選ぶ スト	える 失敗コスト の受注 とき 黒字・赤字製品 も増える? 在庫の損失 らで選ぶのか? か む製品とは何か
テキスト	『意思決定の管理会計』改訂版 香取 徹、創成社					

『キャッシュフロー管理会計』伊藤・香取ほか 中央経済社

Quiz:20 点 Exercises:20 点,テスト各 30 点

参考文献

1						
09年度以降		管理会計論 b			担当者	香取 徹
講義目的、講	義概要		授業計画			
学びます。 の計画はどいって学びま 理解して、 を深めるた。	秋期は、長期にわたるプロジェクトなどの問題を 学びます。どうやって長期的な計画を立てるか、そ の計画はどのくらい利益をだすのか、などExcelを使 って学びます。そのために、貨幣の時間価値概念を 理解して、戦略的意思決定へ進めていきます。理解 を深めるために、具体的に数値例を用いて解説し、 演習を行います。電卓を持参すること。				寺点をそろえる 率か期間か で考えよう を作ろう 資は採算が取る	年いくら? DCF 法 う れますか? 択 1 独立案
- 소川-子 口 7堂		≋計に関する専門知識を習得し、企業の経 ぎきるようにする。	済的意思決定	に役	さ立つキャッ	ンュフロー情報を分析のうえ、
事前・事後 学修の内容	同上					
テキスト	同上					
参考文献	同上					
評価方法	同上					

09年度以降	社会会計論 a			担当者	大坪	史治	
講義目的、講	購義概要	₹	授業	計画			
本講義では	は、「企	業」と「社会」の関わりについて会計	1.	講義概要			
学のアプロー	ーチから	5学習する。景気後退、雇用問題、地球	2. 会計学と社会会計				
環境問題、気	. 候変重	問題、企業の不祥事などの社会的課題	3.	社会会計の	歴史的展開と	論点	
とそれに対す	トる 企業	美の社会的責任が強く議論されるなか、	4.	社会会計に	求められてい	る現代的意義	
社会会計は、	とても	関心が高まっている会計領域の一つで	5.	Corporate s	ocial Respor	nsibility概論	
ある。国内外	トのトレ	ンンドを正確に把握するために、最新の	6.	B. CSRと私的利益の関係性			
データや資料、企業の実践例を多く紹介し、理論と並行し			7.	7. CSRと雇用問題			
てわかりやす	トく 講郭	<b>衰する。</b>	8.	B. CSR会計の理論			
また、本詩	講義は、	①企業と社会との間に介在する課題を	9.	O. CSR会計の企業実践			
理解する、②	)現代公	企業の社会的性格を理解し、企業と社会	10.	10. 企業のサステナビリティ			
の関係性につ	ついて記	<b>論理的に説明することができる、③会計</b>	11.	1. 企業のサステナビリティとリスクマネジメント			
学の基礎知	識およ	び社会に出たときに役立つ確かな知	12.	2. 企業の利害関係者			
識・教養を養	をう、@	長期的かつ広範な視野を養うことを意	13.	3. 地球環境問題概論(人口、資源、格差、生活水準)			
識している。			14.	14. 気候変動問題に対する世界の認識			
春学期と利	k学期を	を連続して履修することが望ましい。	15. 環境問題と企業活動の関わり				
到達目標	社会会計に関する専門知識を習得し、環境経営、環境会計、およびCSR会計等を通じて、企業の社会的活動を評価できるようにする。						
事前・事後 学修の内容	事前:講義内容について予備知識を持ち、分からない点を明らかにしておくこと。事後:講義内容を整理し、問題意識を持った点やキーコンセプトについてより詳しく調べること。						
テキスト	テキスト 湯田雅夫、大坪史治『講義ノート』						

講義への参加度(40%)と期末試験(60%)により評価する。

参考文献

09年度以降	社会会計論 b			担当者	大坪 史治		
講義目的、講	<b>義概</b> 要	Ę	授業	計画			
		業」と「社会」の関わりについて会計	1.	講義概要			
		ラ学習する。景気後退、雇用問題、地球 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	-		マネジメント		
		が問題、企業の不祥事などの社会的課題	•	>10 July 47 C C 1	会計学の接点		
		巻の社会的責任が強く議論されるなか、	4.	環境会計の	理論と実践		
社会会計は、	とても	」関心が高まっている会計領域の一つで	5.	3つのタイフ	『の環境会計		
		ンンドを正確に把握するために、最新の		環境関連コニ			
, , , , , , , , ,		巻の実践例を多く紹介し、理論と並行し				·義・測定・評価	
てわかりやす			8. 統合評価手法の活用と事例				
311-( ) #1		①企業と社会との間に介在する課題を	9. 伝統的原価計算と環境原価計算				
	, ,	主業の社会的性格を理解し、企業と社会	10. 環境に特化した活動基準原価計算				
		<b>論理的に説明することができる、③会計</b>	11. 意思決定とフロー原価計算の理論と実践				
3	,.	び社会に出たときに役立つ確かな知	12. 経済性-環境性を評価するEco-Efficiencyの理論				
	きう、(4	長期的かつ広範な視野を養うことを意	13. 財務情報と非財務情報				
識している。			14. 環境報告書・CSR報告書等の非財務報告書の発展経緯				
春学期と秋		と連続して履修することが望ましい。	15. 企業の非財務情報開示をめぐる国際的動向				
到達目標		≷計に関する専門知識を習得し、環境経営 ≧評価できるようにする。	営、環:	境会計、お。	tびCSR会	計等を通じて、企業の社会的	
事前・事後 学修の内容	事前:講義内容について予備知識を持ち、分からない点を明らかにしておくこと。事後:講義内容を整理し、問題意識を持った点やキーコンセプトについてより詳しく調べること。						
テキスト	湯田雅夫、大坪史治『講義ノート』						
参考文献							
評価方法	講義への参加度(40%)と期末試験(60%)により評価する。						

 09 年度以降
 会計監査論 a
 担当者
 福薗 健

## 講義目的、講義概要

本講義では、大学生にとってはイメージし辛い『監査』というものについて『理屈』だけでなく『監査現場の状況』などを話すことで、監査の現実的な役割をイメージしてもらうことを目的とします。また、関連のある新聞記事、雑誌記事、DVDなども用いて、会計や監査を通じて、経済社会をイメージできればとも思っています。春学期の講義では、監査の基礎的な考え方から実際の監査手続きなどを中心に学習していく予定です。会計監査論の受講を通じて、『会計監査の基礎』について理解するだけでなく、『経済社会に対しての興味』をもって実社会に出る前の大切な学生生活にプラスになればと思います。

#### (講義概要)

本講義は、テキストと補助レジメを利用した講義形式で進めますが、通り一遍の受け身受講では、受講時間が無駄になるため、 参加意識を前提として出席してください。

#### 授業計画

- 1. 監査のイメージ~監査は何のために必要か?
- 2. 財務諸表監査の前提~会社とはなにか?
- 3. 財務諸表監査の意義と目的~監査はなぜ必要か?
- 4. 日本における監査制度の発展~監査はどのように発展した のか?
- 5. 監査基準、監査の目的と二重責任~監査ルールはどのように なっているか?
- 6. 監査人の資質と適格性~監査はだれがやるのか?
- 7. 監査の実施〜リスク・アプローチ〜監査がどのような発想で やるか?
- 8. 監査の実施~監査計画と内部統制~監査の進め方
- 9. 監査の実施~監査手続論1~監査の進め方
- 10. 監査の実施~監査手続論2~同上
- 11. 監査の実施~監査手続論3~同上
- 12. 監査の実施〜監査判断と監査証拠、監査調書〜調べたものを どのように判断してまとめるか?
- 13. 監査事例研究1~実際の事例を考えてみよう①
- 14. 監査事例研究2~実際の事例を考えてみよう②
- 15. 春学期まとめ

, <u>,</u>	
到達目標	会計監査に関する専門知識を習得し、監査業務および監査制度等にまつわる問題を理論的に分析したうえで、見解を提示できるようにする。
事前・事後 学修の内容	テキストの指定された箇所を事前に精読しておいてください。
テキスト	監査論テキスト〈第6版〉山浦久司(著)中央経済社
参考文献	
評価方法	レポート (70%)、授業への参加度 (30%) による。

09 年度以降 会計監査論 b 担当者 福薗 健

### 講義目的、講義概要

本講義では、大学生にとってはイメージし辛い『監査』について、『理屈』だけでなく『監査現場の状況』などを交えて講義することによって、監査の現実的な役割をイメージしてもらうことを目的とします。また、関連のある新聞記事、雑誌記事、DVDなども用いて、会計や監査を通じて、経済社会をイメージできればとも思っています。秋学期の講義では、監査の報告論、内部統制から新たな監査の領域までを幅広く学習していく予定です。会計監査論の受講を通じて、『会計監査の基礎』について理解するだけでなく、『経済社会に対しての興味』をもって実社会に出る前の大切な学生生活にプラスになればと思います。

### (講義概要)

本講義は、テキストと補助レジメを利用した講義形式で進めますが、通り一遍の受け身受講では、受講時間が無駄になるため、 参加意識を前提として出席してください。

# 授業計画

- 1. 後期開講にあたって~監査のイメージ
- 2. 監査報告:監査意見~監査意見の種類は?
- 3. 監査報告:監査報告書~監査意見の伝え方は?
- 4. 監査関連問題:四半期レビュー~四半期決算に対応するか?
- 5. 監査関連問題:内部統制監査~内部統制ってなに?①
- 6. 監査関連問題:内部統制監査~内部統制ってなに?②
- 7. 監査関連問題:継続企業の前提についての監査〜会社の継続性について監査するとは?
- 8. 監査関連問題:会社法監査、連結財務諸表監査~グループ会 社監査
- 9. 監査関連問題:内部監査と監査役監査〜会社内部の監査機関 との外部監査の連携関係は?
- 10. 監査関連問題~環境監査、非営利法人等に関する監査
- 11. 監査関連問題~監査の国際的動向、監査周辺の職業
- 12. 監査からの広がり~コンサルティングと監査はどのように 関連するか?
- 13. 株式公開と会計監査~公開と会計監査の関係は?
- 14. 関連トピックについて
- 15. 秋学期授業のまとめ

到達目標会計監査に関する専門知識を習得し、監査業務および監査制度等にまつわる問題を理論的に分析したうえで、見解を提示できるようにする。事前・事後 学修の内容テキストの指定された箇所を事前に精読しておいてください。テキスト監査論テキスト〈第6版〉山浦久司(著)中央経済社参考文献評価方法レポート (70%)、授業への参加度 (30%) による。

09 年度以降	税務会計論 a	担当者	平 仁	
講義目的、講義概要	講義目的、講義概要			
に会計制度に対し 準の意味を理解し 特にIFRSの進展 面が増大する可能 の本質を学ぶことの 本講座では、秋い に、税法を概観する 簡単に触れていく また、本講座でい 時事問題等につき、 頂きたいテーマに	に伴い、企業会計と税法に齟齬を来す場 生が大きいだけに、会計を学ぶ者が税法 の意味は小さくない。 学期の税務会計論bで法人税法を学ぶ前 るとともに、所得税・消費税についても	1. ガ税 (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (4) (4) (5) (4) (4) (5) (6) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	義義制度	?

/~ V ·。						
到達目標	税務会計に関する専門知識を習得し、企業課税および税務会計制度等にまつわる問題を理論的に分析した うえで、見解を提示できるようにする。					
事前・事後 学修の内容	事前学習は特に求めないが、授業を受講後、レジュメを読み返し、レジュメに記載された判例を参考に、 何が問題となったのかを考え、自分の意見をまとめておくことが望ましい。					
テキスト	テキストは使用せず、毎回出版予定の原稿をレジュメとして配布する。					
参考文献	参考書として、三木義一「よくわかる税法入門第10版」有斐閣選書などの税法の入門書がある。					
評価方法	定期試験 $100\%$ (持込不可・論述式、最終講義時に $4$ 問を指定、内 $2$ 問(各 $50$ 点)を出題)の絶対評価に、任意提出の加算点レポート(講義内で指示、講義内で回収)を課す。					

09年度以降		税務会計論 b		担当者	平仁	
踏を上げる。	またりけいつこりは多事をおうだった。 またり はっこう はらい たんしん ない これ ほいい のいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	生期の税務会計論 a で学んだ税法概論を 法を講義する。 いとは異なる税法基準が、中小企業におっているのが現実であるが、会計監査を ことって、適正性・適時性を旨とする企 強行法規である税法基準に従うことは	授業計画  1. ガメタンスス計2. オスス計3. 益年 1. カスス計3. 益年 1. 大人金本 1.	算構造 準 金、繰戻還付 脱制、連結納 脱		
到達目標事前・事後						
学修の内容	何が問題となったのかを考え、自分の意見をまとめておくことが望ましい。 テキストは使用せず、毎回出版予定の原稿をレジュメとして配布する。					
参考文献 評価方法	定期記	書として、三木義一「よくわかる法人税? 式験 100%(持込不可・論述式、最終講義 是出の加算点レポート(講義内で指示、詞	時に4問を指定、	内 2 問(各 5		

17 年度以降 16 年度以前					担当者	鵜川 正樹		
講義目的、講義概要				<b>禁計画</b>				
この講義では、財務会計論の応用領域として、政府・地			1 ガイダンス					
方自治体の会	会計制度	夏(公会計)の現在を理解し、政府等が	2	公会計の領域	或と特徴			
作成する財務	答諸表を	之利用し、評価・分析するための基礎的	3 公会計改革の動向					
な知識を学び	びます。		4	地方自治体の	り財政と予算	会計制度①		
公会計のフ	フレール	スワークについて、諸外国の発展状況、	5	地方自治体の	り財政と予算	会計制度②		
会計基準の概	既要を理	<b>Ľ解し、我が国においても、政府等の会</b>	6	地方自治体の	の財務諸表と	事例分析①		
計基準や開え	示基準0	)検討が急速に進められていますので、	7	地方自治体の	の財務諸表と	事例分析②		
これらをフォ	ナローし	<ul><li>、財務情報のケーススタディーを行い</li></ul>	8 中間レポート					
ます。特に政	女府等0	)パブリックセクターの財源には税金が	9 地方自治体の事業別コストと事例分析①					
用いられてい	いること	こから、パブリックアカウンタビリティ	10 地方自治体の事業別コストと事例分析②					
の意義を学び	びます。		11 国の財政と予算会計制度①					
			12 国の財政と予算会計制度②					
前提科目:会	会計学(	経済学科)または会計学原理(経営学科)	13 国の財務書類①					
を履修してレ	いること	0	14 国の財務書類②					
	1		15 レポート提出と発表					
到達目標	公会計(政府・自治体の会計)に関する専門知識を習得し、政府・自治体が作成する財務諸表を評価・分析できるようにする。					作成する財務諸表を評価・分		
事前・事後 学修の内容	事前学習は特にありません。事後学習としては、授業で提示された課題を調べたり、その結果を発表したりすることが求められます。							
テキスト	適時資料を配布							
参考文献	『公会計・公監査の基礎と実務』鈴木豊監修著 法令出版 2013							
評価方法	授業0	D出席及び授業内の課題への対応( <b>50</b> %)	、レ	ポート及び発	表(50%)	を総合的に評価します。		

17 年度以降 16 年度以前		公会計論 b 特殊講義 b (公会計論)			担当者	鵜川	正樹
講義目的、講義概要			授第	<b>業計画</b>			
正の講義では、財務会計論の応用領域として、政府・地方自治体の会計制度(公会計)の現在を理解し、政府等が作成する財務諸表を利用し、評価・分析するための基礎的な知識を学びます。 公会計のフレームワークについて、諸外国の発展状況、会計基準の概要を理解し、我が国においても、政府等の会計基準や開示基準の検討が急速に進められていますので、これらをフォローし、財務情報のケーススタディーを行います。特に政府等のパブリックセクターの財源には税金が用いられていることから、パブリックアカウンタビリティの意義を学びます。			1 ガイダンス         2 国の財政と会計制度(復習)         3 地方自治体の財政と会計制度(復習)         4 国の財務書類と事例分析①         5 国の財務書類と事例分析②         6 アメリカの公会計制度         7 イギリスの公会計制度。         8 中間レポート         9 地方公営企業の会計制度①         10 地方公営企業の会計制度②         11 非営利法人の会計制度②         12 非営利法人の会計制度②				
前提科目:会計学(経済学科)または会計学原理(経営学科) を履修していること。			13 14 15	公監査① 公監査② レポート提	出と発表		
到達目標		∤(政府・自治体の会計)に関する専門矩 きるようにする。	旧識を	ど皆得し、政府	守・自治体が	作成する財務諸	音表を評価・分 
事前・事後 学修の内容	事前学習は特にありません。事後学習としては、授業で提示された課題を調べたり、その結果を発表したりすることが求められます。						
テキスト	適時資料を配布						
参考文献	『公会計・公監査の基礎と実務』鈴木豊監修著 法令出版 2013						
評価方法	授業の出席及び授業内の課題への対応(50%)、レポート及び発表(50%)を総合的に評価します。						

13 年度以降 12 年度以前		コンピュータ・アーキテクチャ コンピュータアーキテクチャ		_	担当者	今福 啓	
講義目的、講義概要			授業計画				
コンピュータを活用するためのスキルは、現代社会の多くの場面で役立てることができます。そのためには、ハードウェア構成を詳細に知り、コンピュータで何ができるかを正しく理解することが必要です。 講義を通じて、利用の可能性を自分自身で見つけられるようになることを目標とします。			1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.	<ol> <li>コンピュータの構成:5大装置</li> <li>情報の表現1:2進数、負の値、実数</li> <li>情報の表現2:文字、画像、音声</li> <li>コンピュータの演算:算術、論理、シフト演算</li> <li>回路をつくる:カルノー図</li> <li>組み合わせ回路1:半加算器、全加算器</li> <li>組み合わせ回路2:デコーダ、マルチプレクサ</li> <li>順序回路:カウンタ、フリップフロップ</li> <li>記憶装置:SRAM、DRAM</li> </ol>			
			12. 13. 14. 15.	命令の種質を担めなり、信単なコ	類	をみる:CASL つくる	
到達目標	コンピュータアーキテクチャに関する専門知識を習得し、論理演算など、コンピュータを幅広く活用できるようにする。					ンピュータを幅広く活用でき	
<b>事前・事後                                   </b>			、質問や自習で解決するようにしてください。				
テキスト 使用しません							
参考文献 藤原秀雄『コンピュータ設計概論』 工学図書				社			
評価方法	講義問	時間内の実習(20%)と試験(80%)の <sub>位</sub>	合計で評	平価します。			

			担当者	
講義目的、講義概要	要	授業計画		
到達目標				
事前・事後 学修の内容				
テキスト				
参考文献				
評価方法				

09年度以降	降 アルゴリズム論 a			担当者	木村 昌史	
講義目的、講	義概要	Ţ	授業計	十画		
アルゴリズ	ムとに	は、狭い意味ではコンピュータを用いた	1.	コンピュ	ータとアルゴ	`リズムの役割
問題解決のた	めの処	L理方法のことであり、目的のプログラ	2.	インター	ネットとアル	ゴリズム
ミングを行う.	上での	前段階のものである。コンピュータに	3.	論理表現	とアルゴリズ	Ĩ.A.
よる処理は、	必ずし	も人間の思考による処理のプロセスと	4.	グラフ表	現とアルゴリ	ズム
は同一ではな	< 、 =	ンピュータ特有に単純化されたものが	5.	データ構	造とアルゴリ	ズム
多い。ここでは	は比較	め処理方法が確立されているコンピュ	6.	探索のア	ルゴリズム	
ータ科学の基	礎を7	なしている決定的アルゴリズムについ	7.	文字列の	探索のアルゴ	`リズム
て学ぶ。春学	期aで	は「問題解決とは何か」の考え方から	8.	整列のア	ルゴリズム(	(1) クイックソート等
始め、結果が	予測で	できる問題について、アルゴリズムの視	9.	整列のアルゴリズム (2) ヒープソート等		
覚化、図式化:	を行い	つつその方法を理解する。基本的なア	10.	10. アルゴリズムと計算量		
ルゴリズムは	大きな	問題を扱う上での要素的方法であり、	11.	ハッシュ法のアルゴリズム		
多くの分野に	適用で	できるものである。授業では余裕があれ	12.	12. 木構造と索引付け		
ば一部PCによ	こる実	習または課外での演習を取り入れ、テー	13.	ダイクストラ・アルゴリズム		
マごとにExce	elやW	eb上での基本的操作程度でアルゴリズ	14.	ネットワ	ークとソーシ	(ヤルグラフ
ムの実行を体験	験して	[みるものとする。	15.	決定論的	アルゴリズム	のまとめと補足
		。ユータ科学の基礎をなすアルゴリズムに	こ関する	専門知識を	を習得し、こ	れを駆使して様々な問題を処
		るようにする。				
	授業用 Web サイトに資料を置く予定であるので予習復習に活用のこと。 ポータルサイトに定期的に課題が提示されるので期限までに提出のこと。					
テキスト	テキスト 特に指定しない。授業時に Web 教材などを提示する。			>		
参考文献	文献 授業時に適宜紹介する。					
評価方法	試験または前半・後半レポート 60%、ポータルサイトなどによる各回演習への参加度 40%で評価する。					

09年度以降		アルゴリズム論 b			担当者	木村	昌史
講義目的、講	義概要	Ē	授業語	計画			
春学期aでは	は狭い	意味での決定的アルゴリズムを扱った	1.	決定的アノ	レゴリズムと	非決定的アルゴ	リズム
が、秋学期b	ではや	や広い意味での問題解決へのアプロー	2.	ゲームにお	おけるアルゴ	リズム	
チとして非決	:定的フ	アルゴリズムを中心に採り上げる。コン	3.	最適配置問	引題と枝刈り:	探索	
ピュータの処	理によ	る解決が困難な問題に対しては、処理	4.	囚人のジロ	ノンマとゲー	ムの理論	
を適用する以	人前に	問題に対する正しい分析と洞察が必要	5.	乱数とモン	/テカルロ法		
である。例と	してク	「一ムの必勝法や現象の予測などが挙げ	6.	株価変動の	つ問題とシミ	ュレーション	
られるが、そ	れぞれ	1のルールや条件を分析する必要があ	7.	在庫管理の	つ問題とシミ	ュレーション	
る。そして困	難な男	区とアルゴリズムの関係を示す。問題	8.	待ち行列の	つ問題とシミ	ュレーション	
解決へのアプ	゜ローチ	には分析的手法に加えて、コンピュー	9.	巡回セールスマン問題			
タ特有の発見	法的手	法やシミュレーションが加わる。困難	10.	ナップザック問題			
な問題に対し	て、こ	れらは近似的な方法であるものの十分	11.	困難な問題と NP 完全問題			
に実用的価値	を持つ	っことを理解する。また例として経済・	12.	遺伝的アルゴリズム			
経営分野に関	連した	アルゴリズムの例題を取りあげる。春	13.	現代暗号のアルゴリズム			
学期同様に演	習も耳	うり入れ、テーマごとにExcelやWebに	14.	ニューラルネットワークとディープラーニング			
よりアルゴリ	ズムを	:体験するものとする。	15.	非決定論的	りアルゴリズ	ムのまとめと補	足
■判注日標		゚ュータ科学の基礎をなすアルゴリズムに : るようにする。	こ関する	る専門知識を	を習得し、こ	れを駆使して様	々な問題を処
	45 45 1 47 1	Web サイトに資料を置く予定であるの ルサイトに定期的に課題が提示されるの			- 0		
テキスト	特に指定しない。授業時に Web 教材などを提示する。						
参考文献	大 授業時に適宜紹介する。						
評価方法	試験ま	たは前半・後半レポート 60%、ポータ	ルサイ	トなどによ	る各回演習へ	- の参加度 40%	で評価する。

09 年度以降		プログラミング論 a			担当者	柏原 賢二		
講義目的、講	<b>義概</b> 要	5	授業計画					
コンピュータ	コンピュータを使って、初歩的なプログラミングの演習を			コンピュ	ータプログラ	ムとは		
行なう。それ	を通じ	こて、コンピュータ上でプログラムの動	2.	Javaのコ	ンパイルの力	<b>i</b> 法		
く仕組みを学	£\$. [	言語としては、Javaを用いる。	3.	変数の宣	言と、結果の	出力		
			4.	キーボー	ドからの入力			
		)ようなプログラミングの基本の構造を	5.		と条件分岐			
		5、結果の出力の仕方、変数の使い方、	6.	- •	んをするプロ	グラム		
★件分岐、繰	ぬり返し	.処理の方法とはなにかについて。	7.	繰り返し				
	- 1 1 H			8. 繰り返し処理の応用				
	ぶは、共	用末試験と同様な形式で、問題を解いて	9. ループの入れ子の基本					
もらう。			10. ループの入れ子の応用					
			11. 素数判定					
			12.     素因数分解       13.     数あてゲーム					
			13. 数の Cケーム					
			15. プレテスト					
到達目標	プロナ	 「ラミング言語に関する専門知識を習得」	<b>中</b>	なたプログミ	ラミンガボベ	キスト らに 十ス		
到连日保	749	ノミング言語に関する専門和職を自行	ン、 天 li	示にノログ	/ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	さるようにする。		
事前・事後 学修の内容					をしておくこと			
テキスト	特にな	:L						
参考文献 特になし								
評価方法	演習部	<b>界題 70% 期末試験 30%</b>						

09年度以降	予 プログラミング論 b			担当者	柏原 賢二			
講義目的、講	冓義概要		授業記	†画				
春学期に引き	き続いて	、Javaを用いた、初歩的なプログラミ	1.	春学期の	受業内容の復	習		
ングの演習を	をする。	そして、オブジェクト指向の基本的な	2.	変数の型	こついて。浮	動小数点型。		
考え方も学る	<i>y</i> ,°		3.	円周率を	求める。			
			4.	文字列の	処理			
		ようなプログラミングの基本の構造を	5.	文字型				
		<ul><li>、配列変数について、メソッド呼び出</li></ul>	6.	配列の宣				
しについて、	オブシ	ジェクトとクラスなど。	7.		甲(平均と分散	*		
			8.	H=2 4 1 7 2 7	用(カレンダー	-)		
	では、其	末試験と同様な形式で、問題を解いて	9.	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
もらう。			10.	7 7 7 1 3 74 713 (2003 )				
			11.	, , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
			12.	\(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\) \(\frac				
			13.	. , , , , , ,				
			14.	, , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
			15.	5. プレテスト				
到達目標	プロク	<ul><li>ラミング言語に関する専門知識を習得</li></ul>	し、実際	際にプログラ	ラミングがで	きるようにする。		
事前・事後 学修の内容	事前:	指定された個所を事前に精読すること、	事後:	授業内容に	こついて復習	をしておくこと		
テキスト	特になし							
参考文献	参考文献 特になし							
評価方法	演習課題 70% 期末試験 30%							

09年度以降		プログラミング論 a			担当者	各担当教員		
講義目的、請	購義概要	ī,	授業計画					
あげる。プログションがどの。 にプログラミン Windows の機 あるVisual Ba アプリケーショ 体得する。ここ め、それらを維 かを、例を挙じ 演習を行う。言 イト (PorTa) 簡単なアプリを	この授業では、Visual Basicをプログラミング言語として採りあげる。プログラムを実際に作成することで、様々なアプリケーションがどのように開発されているかを理解し、実際にどのようにプログラミングすればよいかを理解する事を目標としている。Windows の機能をフルに活用できるオブジェクト記述型言語であるVisual Basicで実際に例題を通じてプログラミングを行い、アプリケーションソフトウェア(アプリ)とはどういうものかを体得する。ここでは、プログラミング言語の 基本的な命令から始め、それらを組み合わせてどのように プログラミングすればよいかを、例を挙げて講義し、それらの1つ1つの命令に対して解説と演習を行う。課題として、1週間に1度の課題を自分のポータルサイト(PorTa)から提出する。春学期課題は自分でテーマを決め、簡単なアプリを作成する。なお、各テーマが取り扱われる順序や、課題の出し方については、担当教員によって異なることがある。			授業のガイダンスとコンピュータ概説 Visual Basicの概略:講義および実習 文字の表示:講義および実習 文字の入力と型:講義および実習 数値の入力と変数:講義および実習 数値の計算:講義および実習 数値の計算:講義および実習 後性判断による分岐:講義および実習 複数の条件判断による分岐:講義および実習 ラジオボタンによる分岐:講義および実習 リストボックスによる分岐:講義および実習 回数指定による繰り返し:講義および実習 条件指定による繰り返し:講義および実習 ラストデータの処理と繰り返し:講義および実習 多重ループ:講義および実習				
到達目標	プロク	「ラミング言語に関する専門知識を習得し	し、実際	ミにプログラ	ラミングがで	きるようにする。		
事前・事後 学修の内容	『一】アキストで特定された簡明を単面に特談すること。また。毎回レポートを PovTo に特用すること				PorTa に提出すること。			
テキスト	キスト 立田ルミ著:文科系大学生のための Visual Basic			ログラミン	グ、創成社、	2010		
参考文献								
評価方法	レポー	-ト 50%、試験 50%						

09 年度以降		プログラミング論 b			担当者	各担当教員
講義目的、	講義概要	<u> </u>	授業計	画		
ラム作成方法。 発されているでは、 の機だ、ないなをでいるでは、 の機だ、でいるでは、 の機だ、でいるでは、 では、でいるでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	をこか解し音いにど分ト で理るVi と ないい。 でと	ログラミング論 a で学んだ基礎的なプログ こ、より複雑なプログラムを作成 することを は、様々なアプリケーションがどのように開 遅し、実際にどのようにプログラミングすれ 遅を目標としている。そのために、Windows sual Basic で実際にプログラミングを行う。 どのマルチメディアがファイルとしてどのよ に、ファイルや Windowsの他のアプリケーシ こ、さらにネットワーク対応のプログラムを うな命令が必要かを理解することを目的とす ーマを決めてアプリケーションの製作を行い な。なお、各テーマが取り扱われる順序や、 には、担当教員によって異なることがある。	2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13.	プ配配文文図画画音フメイVisual Ba	ム理出処寅画大ニ理ののネのま、出土処寅画大ニ理ののまま、は講統一講理理とのなる。まま、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	よび実習 よび実習 よび実習 び実習 :義および実習 :講義および実習 び実習 び実習
到達目標	プロク	ブラミング言語に関する専門知識を習得し	し、実際に	にプログラ	ラミングがで	きるようにする。
事前・事後 学修の内容	テキス	ストで指定された箇所を事前に精読するこ	こと。まれ	た、毎回し	ンポートを P	orTa に提出する
テキスト	立田ルミ著: 文科系大学生のための Visual Basi			ュグラミン	グ、創成社、	2010
参考文献						
評価方法	レポー	-ト 50%、試験 50%				

13年度以降	プログラミング応用 a			担当者	白井 裕		
講義目的、講義	養概要	5	授業計	画			
テーマ:Java			2. Ja	21			
,	, , , , ,	マな環境のOSやスマートフォンなどの				て), コンソール入力	
		でも動作するため、幅広い分野で応用が			件分岐2(sw		
		では、Javaプログラミングの基礎的な		*****	り返し1(for	/	
概念である変数   いて演習を通し		御文, 配列, メソッドなどの内容につ		『御又:樑 『御文の演 <sup>》</sup>		ile文·do-while文)	
	•	ーじゅる. ラミング応用bと連携し、最終的にACM-		*****	白		
1 414 474		ログラミングコンテスト)の予選問題	8. 配列 9. メソッド1 (引数など)				
		コグラミング能力を身に付けることを	10. メソッド2 (戻り値など)				
,		プログラミング応用aの位置付けはその	11. 配列・メソッドの演習				
ための土台作り			12. 総合演習1 (過去のACM- ICPCの予選問題)				
			13. 総合演習2 (過去のACM- ICPCの予選問題)				
※プログラミン	ング諸	の履修済みの学生が対象	14. 総合演習3(過去のACM· ICPCの予選問題)				
			15. まとめ				
到達目標	プロク	· ラミング言語に関する専門知識を習得し	し、応用	的なプロク	グラミングが	できるようにする。	
					事後学修については講義中の		
<b>テキスト</b> 講義中にプリントを配付							
参考文献 三谷 純『Java 第2版 入門編 ゼロからはじ			めるプログラミング』(翔泳社)				
評価方法	構義へ	への参加度 30%,提出課題 70%により総	合的に評	平価する.			

13 年度以降	プログラミング応用 b		担当者	白井 裕	
講義目的、講	購義概要	ī S	授業計画		
組み込み機器 可能であるクッド, GUIな 本講義的に る. 最終的に ンテスト)の を身に付ける	は、様、 場の上で ・ラス、 ・プログ こ、AC ・ 予選とを	な環境のOSやスマートフォンなどのでも動作するため、幅広い分野で応用がいでは、Javaプログラミングの基礎的な継承、例外処理、ファイル処理、スレビ客について演習を通じて学修する。ラミング応用aの履修を前提に実施すM・ICPC(大学対抗プログラミングは別題を解ける程度のプログラミング能力	<ol> <li>Java言語の</li> <li>クラスとイ</li> <li>継承</li> <li>抽象クラス</li> <li>例外処理と</li> <li>スレッド</li> <li>GUI~基礎</li> <li>GUI~基礎</li> <li>会員習</li> <li>総合演習</li> <li>総合演習</li> </ol>	とインターフ ファイル処理 ファイル処理 1 (ボタンやT ント処理〜 2 (メニュー/ (過去のACM (過去のACM	)確認 エース !
			15. まとめ		
到達目標	プロク	<ul><li>ラミング言語に関する専門知識を習得し</li></ul>	ン、応用的なプロ·	グラミングが	できるようにする。
事前・事後 学修の内容	事前学修については関連内容を参考書やインターネット等で確認しておき,事後学修については講義中の 内容を見直しておくこと.				
テキスト	講義中にプリントを配付				
参考文献 参考文献: 三谷 純『Java 第2版 実践編 アプリケーション作りの基本』(翔泳社			翎泳社)		
評価方法	講義^	- の参加度 30%,提出課題 70%により総	合的に評価する.		

09年度以降	情報システム論 a		担当者	今福 啓	
講義目的、講義概要 社会におけるコンピュータの役割は、解決できる問題の 規模に応じて大きくなってきました。 この講義では、定番となっているデータ構造や、コンピュータで解く必要がある問題がどのようなものであるのかを学びます。 そして、さまざまな問題を効率的に解く手法の詳細を学び、各手法の効率性について検討します。 講義を通じて、コンピュータを用いた問題解決方法の基本を身につけることを目標とします。		2. コンピュータ 3. 配列、リスト 4. マップ、木、 5. グラフ、ネッ 6. ポーランド記 7. 問題解決方法	の の スタシー が は の は の は の は の に は の に は の に い に が に が に が に に の に に に に に に に に に に に に に	構成 キュー ランド記法 計算量 ル ン問題 素	
到達日標	ンピュータ内部でのデータ構造、情報処理手順 法等に関して専門知識を習得し、コンピュータ				
事前・事後 学修の内容	- **				
テキスト	テキスト 使用しません				
参考文献	・考文献:石田保輝、宮崎修一『アルゴリフ	ム図鑑 絵で見てわかる 26 のアルゴリズム』翔泳社			
評価方法	構義時間内の実習(20%)と試験(80%)の	)合計で評価します。			

09 年度以降		情報システム論 b		担当者	今福 啓
人工知能というキーワードを、多くの場面で耳にします。それらの技術は、すでに社会で実用化されています。 2. ここかし、どれだけ効果的な手法であっても、どのようなデータを、どういった処理を行っているのかがわからなければ、自在には利用できません。 この講義では、人工知能で扱われる手法の詳細を学びます。具体的には、「進化計算」「機械学習」「強化学習」とはばれる枠組みに焦点をあて、各手法の構造を身につけます。 またコンピュータを用いた実習により、各手法の性能について検討します。 10. ラコンピュータを用いた実習により、各手法の性能について検討します。 12. は 13. T 14. 様			接業計画  1. 講義の目的、 2. コンピュータ 3. 遺伝的アルコ 4. 遺伝的プログ 5. GRAMMAT 6. 進根計算の長 7. 機械学習、中 9. ニューラルネ 10. ディートト 11. サード・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	内部での進 ゴリズング ICAL EVOL 具体の 製化の サントングマン マーコー フィー は で は で で の は に の に の に の に の に の に の に の に の の に に の に に の に に に に に に に に に に に に に	化計算 UTION マップ 体例
到達目標		ュータ内部でのデータ構造、情報処理手順、 に関して専門知識を習得し、コンピュータを			
事前・事後 学修の内容	講義で	で理解できなかった点をそのままにせず、	質問や自習で解決	夬するように	してください。
テキスト	使用しません				
参考文献	<b>考文献</b> 脇森浩志、杉山雅和、羽生貴史『クラウドではじめる機械学習』リックテレコム				
評価方法	<b>7法</b> 講義時間内の実習 (20%) と試験 (80%) の合計で評価します。				

09年度以降	データベース論 a		担当者	堀江 郁美
の仕組みを学習 その後、関係 表計算ソフト(! 習をしながらラ 実際のデータ 一首を利用し、	データベースの歴史を概観し、データベース	<ol> <li>データベーン</li> </ol>	スススススススススススススススススススススススススススススススススススス	データベースの三層スキーマデータベース管理システム MS-Excel の基礎知識 レコードの分類と集計 レコードの抽出 論理関係、比較・照合関係 ワイルドカードと検索 条件検索(1) 文字列データ 条件検索(2) 数値データ 条件検索演習
到達日標に	データベース理論に関する専門知識を習得し、 こする。		-スの作成、	および管理運用ができるよう
テキスト	青報活用とアカデミック・スキル、松山美恵-	子ほか、共立出版		
参考文献	受業中に適宜指示します。			
<b>評価方法</b> 定	E期試験(60%)、レポート(20%)、授業態度(20	%)を基本に総合的	に評価する。	

09年度以降		データベース論 b		担当者	堀江 郁美
データベース 理論として に、関係代数 学習する。 実践として で MS-Excel 成や問い合わ	野及して は、関 なやデー ては、MS 上に作	にいる関係データベースに焦点をあて、論と実践を学習する。 別係データベースの特徴からはじめ、順子タ構造、問い合わせ言語 SQL について Access を使用し、「データベース論 a」 或したデータを用い、データベース作 での実際の操作を学ぶ。 は「データベース論 a」の既習が前提と	2. 関係デデータクタクタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタタ	<ul><li>ベース理論(2)</li><li>ベース理論(3)</li><li>ベース理論(4)</li><li>バース実習(1)</li><li>バース来要習(2)</li><li>ベースス理理論(5)</li><li>ベース理理論(6)</li><li>ベース理理論(8)</li><li>ベースの実際(5)</li><li>ベースの実際(5)</li><li>ベースの実際(5)</li></ul>	: Access へのインポート : 主キーの設定、関係間の関連 : QBE による検索 : 関係代数の演算 : 関係代数と SQL : SQL の基礎 : SQL の応用
到達目標	にする	•		ースの作成、:	および管理運用ができるよう
事前・事後学修の内容		テキストや与えられた資料を精読する。 授業内容を復習すること。	- と。 		
テキスト	情報活用とアカデミック・スキル、松山美恵子ほか、共立出版				
参考文献	授業中	に適宜指示します。			
評価方法	定期詞	☆験(60%)、レポート(20%)、授業態度(20	%)を基本に総合的	に評価する。	

09年度以降		データベース論 a			担当者	根本 貴弘	
講義目的、講	義概要	5	授業計	十画			
この講義で	は, 今	日の情報化社会を支える主要な基盤技	1.	講義の進	め方について	, データベース概観	
術の一つであ	るデー	-タベースについて学ぶ. データベース	2.	データベ	ースの種類と	歴史	
は,大量のデ	ータを	対率よく扱うための技術であり、例え	3.	データ管:	理システム		
ば、通販サイ	トの商	品情報や図書館の書籍情報などの管理	4.	データモ	デル		
にもデータベ	ニースに	t用いられる.	<b>5</b> .	スキーマ	と変換		
この講義で	は,ラ	ータベースの基本的な知識の習得を目	6.	キーと制	約,情報無損	失分解	
的とし,代表	めなう	データベースの1つであるリレーショナ	7.	正規化			
ルデータベー	・スを主	Eに取り上げ, データベースの仕組みや	8.	集合演算			
データモデリ	ング,	データベースに登録するデータの操作	9.	関係演算			
	-	また、知識習得を補助する目的で演習	10.	. $SQL$			
を行い、実際	ミにデー	-タベースを設計・構築し、そこに登録	11.	11. SQLによるデータ操作(1)			
したデータの	操作を	:行ってもらう.	12. SQLによるデータ操作(2)				
			13.	13. SQLによるデータ操作(3)			
			14.	4. データベースにおけるセキュリティ			
			15.	課題作成	と講義のまと	め	
1111年日標	データにする	/ベース理論に関する専門知識を習得し、 。	実際に	ニデータベー	ースの作成、	および管理運用ができるよう	
事前・事後 学修の内容	必要に	上応じて復習を行うこと.コンピュータ <i>0</i>	)基本的	な操作は	事前に習得し	ておくこと.	
テキスト	授業内で適宜紹介する						
参考文献	参考文献 授業内で適宜紹介する						
評価方法	法 平常点 (20%), 課題 (40%), 最終試験 (40%) による総合評価						

09 年度以降	データベース論 b			担当者	根本 貴弘		
講義目的、講	<b>義概</b> 要	Ę _	授業記	計画			
この講義で	: は, 「	データベース論a」に続き、データベー	1.	講義の進	め方について		
スの設計理論	やデー	-タの操作方法について学ぶ. また, こ	2.	前期の復	P		
の講義ではテ	データー	ベースと連携したアプリケーションの	3.	WHERE	句と各種演算		
作成を課題と	: し, こ	れまで習得してきた知識や技能を応用	4.	データベ	ースと連携し	たWebページの仕組み	
するための技	比能習得	骨も目的とする.	<b>5</b> .	HTML (	1)		
アプリケー	ーション	ン作成にあたり、この講義ではHTMLと	6.	HTML (	2)		
PHPという技	支術につ	ついて学ぶ. さらに, 作成したデータベ	7.	PHP (1)			
ースと連携し	たアフ	プリケーションは、インターネット上で	8.	PHP (2)			
の公開を想定	<b>E</b> してお	らり、その手順についても学ぶ.	9.	データベースと連携したWebページ作成(1)			
また,イン	ノター	ネット上に作品を公開するにあたり、	10.	データベースと連携したWebページ作成(2)			
WWWやイン	ターネ	ベットの仕組みの概要を理解し, 不用意	11.	. 情報発信と情報倫理			
な情報発信に	こよる	トラブルを避けるための知識や知的所	12.	課題作成の準備			
有権(著作権	(重) 等に	こついても学習する.	13.	3. 課題作成(1)			
なお,この	講義に	は「データベース論a」の既習を前提と	14.	. 課題作成 (2)			
する.			15.	. 課題作成(3)と講義のまとめ			
到達目標	データ にする	マベース理論に関する専門知識を習得し、 う.	実際に	ニデータベー	ースの作成、	および管理運用ができるよう	
事前・事後 学修の内容	必要に	工応じて復習を行うこと. コンピュータ <i>0</i>	)基本的	力な操作は	事前に習得し	ておくこと.	
テキスト	スト 授業内で適宜紹介する						
参考文献	参考文献 授業内で適宜紹介する						
評価方法	評価方法 平常点 (20%), 課題 (80%) による総合評価						

13年度以降		データマイニング論 a			担当者	松田 源立	
講義目的、講	義概要	ī C	授業計画				
講義目的:収	集され	た大量のデータにひそむ、構造や関係、	1.	ガイダン	ス		
規則などの有	用な情	青報を、コンピュータを用いて発見(採	2.	データマ	イニングの基	碰	
掘=マイニン	′グ) す	「る手法を学びます。	3.	データマ	イニングの応	用事例	
			4.	相関ルー	ル(1)*解訪	1*	
講義概要:近	年、社	会のIT化の進展に伴い、多くの分野で、	5.	相関ルー	ル(2)*実習	1*	
膨大な量の電	子的ラ	ータ(いわゆるビッグデータ)が利用	6.	クラスタ	リング(1):	<b>*解説*</b>	
可能となりま	した。	それらのデータの中には様々な有用な	7.	クラスタ	リング (2) :	'実習*	
情報が含まれ	ている	らと期待されますが、人手だけで見つけ	8.	ルール学	習(1)*解訪	1*	
出すのは困難	忙です。	そこで、ビッグデータからの情報抽出	9.	9. ルール学習 (2) *実習*			
をコンピュー	-タによ	(り支援する方法(データマイニング)	10.	0. 决定木(1)*解説*			
が発展してき	ました	こ。この授業では、データマイニングに	11.	1. 決定木(2)*実習*			
おける基本的	」な手法	まを学びます。テキストに基づく解説だ	12.	ナイーブ・	ベイズ(1):	<b>*解説*</b>	
けでなく、具	体的な	お事例による手計算実習を通して、コン	13.	ナイーブ・	ベイズ (2) ;	'実習*	
ピュータによ	こる高層	度な知的処理の仕組みと原理を理解す	14.	その他の	手法		
ることを目標	きとしま	きす。	15.	まとめ			
到達目標	データ	マイニングに関する専門知識を習得し、	巨大集	積データる	を解析、分析	できるようにする。	
事前・事後 学修の内容	テキストの指定された箇所の予習復習をしておいてください。						
テキスト	元田浩 他著『データマイニングの基礎』(オーム社、2006年)						
参考文献	必要に応じて授業で紹介します。						
評価方法	最終レポート (40%)、授業内実習 (30%)、授業への参加度 (30%) をもとに総合的に判断します。						

13年度以降		データマイニング論 b			担当者	松田源立
講義目的、講	構義概要	ξ	授業計	画		
講義目的: 名	<b>予人が</b>	味ある分析対象を選び、コンピュータ	1.	ガイダン	スと春学期の	復習
を利用してラ	データ収	収集と分析を行うことで、データマイニ	2.	データの	前処理法	
ングの手順を	と実践的	りに学びます。	3.	獲得知識	の評価法	
			4.	データマ	イニングツー	・ルの紹介とインストール
		Kでは、データマイニング論aで習得し	5.	サンプル	データの分析	・実習(1)*教師有り学習*
		データマイニングにおける「目標設定」	6.	サンプル	データの分析	実習(2)*教師無し学習*
	-	ータ分析」「結果の整理と発表」の各手	7.			・実習(3)*結果の評価*
順を、実習を	を通して	[学んでいきます。まず、コンピュータ	8.	データ作り	<b>龙実習(1)*</b>	・分析対象の選択*
上でのデータ	タマイニ	ニングツールの利用方法を、サンプルデ	9.	データ作り	<b>戏実習(2)*</b>	・収集方法の検討*
ータ分析を通	通して習	胃得します。そして、自分の興味のある	10.	データ作り	<b>戏実習(3)*</b>	実際のデータ収集*
		選定し、必要なデータの収集を行いま	11.	データ分	<b>炘実習(1)*</b>	データの成形*
		)整理や分析の方法を、実習を通して学	12.	データ分	<b>炘実習(2)*</b>	・手法の適用*
		終的に、一連の手順と分析結果をスライ	13.		V1 > C L (=)	・分析結果の整理*
	- /	「プレゼンテーションを行うことで、デ	14.		ゼンテーショ	
ータマイニン	/グの슄	全体の流れを習得します。	15.	最終プレ	ゼンテーショ	ン
到達目標	データ	マイニングに関する専門知識を習得し、	巨大集	種データる	を解析、分析	できるようにする。
事前・事後 学修の内容	データ	<b>作成やスライド作成等の課題が出され</b> か	こ場合に	 は、指定期 I	     までに提出	してください。
テキスト	元田浩	も 他著『データマイニングの基礎』(オー	ーム社、	2006年)		
参考文献	必要に	応じて授業で紹介します。				
評価方法		プレゼンテーションによる評価(60%)を ↑的に加味して判断します。	基本と	しつつ、各	実習課題(2	0%)、授業への参加度(20%)

09年度以降	情報検索論 a			担当者	福田 求
講義目的、講義概要	<del>2</del>	授業計	画		
ての情報検索につい	報を効果的に選択・入手する行為とし いて理解を深める。特に,コンピュータ 食索システムの知識を,解説および実習	2. 3. 4. 5.	情報検索の データベー 情報検索が	種類, 歴史 -スの定義, 意 らまくできな ワードの選	限検索の定義;情報検索関連の資格 義,構成要素,種類,歴史 いときの対処法 び方
基礎的な概念につい	論a(春学期)では、情報検索に関するいて解説し、情報検索を取り巻くシステナる。授業中では、情報検索についての	8. 9.	就職に役立 情報検索関		受付 セス(1): 索引作成 セス(2): 検索業務

理解を深めるために、教員による講義だけでなく、コンピ 11. 検索式(1): 論理演算子、優先順位 ュータを使った簡単な実習も行う。また,情報検索の「プ 12. ロ」である図書館員に,「就職に役立つ情報検索」という テーマのもと、学内外のデータベースやその利用テクニッ クについて教えていただく予定である。

学修の内容

テキスト

参考文献

評価方法

検索式(2):部分一致,位置演算子,フィールド識別子 検索結果の評価

13. 14. 学術情報の検索

15. 授業全体のまとめ;質問受付

到達目標	情報検索に関する専門知識を習得し、必要な情報を効果的に選択・入手できるようにする。
事前・事後 学修の内容	指示された情報源については、次回までに入手/アクセスし、参照しておくこと。 また、前回の授業中に赤や青の文字で示されたキーワードの意味を説明できるように復習しておくこと。
テキスト	適宜紹介する。授業の性格上、印刷メディアのみでなく電子メディアを多数紹介する。
参考文献	適宜紹介する。授業の性格上、印刷メディアのみでなく電子メディアを多数紹介する。
評価方法	期末レポート (50%)。平常授業における課題レポートなどの実績 (50%)。

09 年度以降	情報検索論 b			担当者	福田 求
講義目的、講	義概要	授美	業計画		
検索を報じていてする。 「大きない」では、 でからないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	な情報を効果的に選択・入手する行為として 解を深める。特に、コンピュータ技術に基 の知識を、解説および実習を通して体得する。 検索論b(秋学期)では、主にウェブ上の検 のの仕組みについて解説する。誰もが何気な 対索エンジンであるが、どのようにウェブ上 生集め、瞬時に検索できるようにしているの 反結果では、どのような情報が優先的に表示 に即の上でも就職活動の上でも情報収集時に のくり考える機会となるよう、検索エンジ が作について説明する。 ニンジンの解説の合間に、CD-ROMデータベ データベースを用いた情報検索の実習を行 いぎり、受講者が今後の調査/研究活動で利 通を紹介する予定である。	づく情 3. 4. 5. 4. 5. 6. 7. 6. 7. 6. 7. 6. 7. 6. 7. 6. 7. 6. 7. 6. 7. 6. 7. 6. 7. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 17. 18. 19. 19. 19. 19. 19. 19. 19. 19	CD-ROM イインター イクター イクター イクター イクター イクター イン 大変報 大 アーデー		アンド検索, 検索履歴の利用 と検索エンジン 構造 受付 索 え) のウェブサイト構築: SEO
到達目標 情報検索に関する専門知識を習得し、必要な情報を効果的に選択・入手できるようにする。					るようにする。
事前・事後 指示された情報源については、次回までに入手/アクセスし、参照しておくこと。					こと。

適宜紹介する。授業の性格上、印刷メディアのみでなく電子メディアを多数紹介する。

適宜紹介する。授業の性格上、印刷メディアのみでなく電子メディアを多数紹介する。

期末レポート (50%)。平常授業における課題レポートなどの実績 (50%)。

また、前回の授業中に赤や青の文字で示されたキーワードの意味を説明できるように復習しておくこと。

09年度以降		情報通信ネットワーク b			担当者	三宅 真
講義目的、講	義概要	5	授業計	十画		
情報通信ネ	ットワ	ワークは、社会の重要なインフラストラ	1.	講義のガ	イダンス,概	論
クチャとして	発展を	:続けています。現実世界とサイバー世	2.	情報通信	ネットワーク	と社会の発展
界が融合され	て, <b>賃</b>	94次産業革命の時代が始まりました。	3.	情報通信	の信号(1):	ディジタル信号と2進数
携帯電話・ス	マー	、フォンは,第5世代に向かって進化し	4.	情報通信	の信号 (2):	正弦波信号とフーリエ変換
ようとしてい	ます。	これからも日常生活と社会のさまざま	5.	情報通信	の信号 (3):	電波と周波数
なところで情	報通信	言が活用されて,新しいソリューション	6.	情報通信	システム(1)	:システムの構成
の開発と新し	い価値	直の創造が続いてゆくことでしょう。	7.	情報通信	システム (2)	:システムの進化
情報通信ネ	ットワ	ワークの全体像を学び、情報通信を正し	8.	情報伝送	(1):ディジ	ジタル信号伝送
く、有効に活	用する	ための知識を身に付けることが、この	9.	情報伝送(2):パケット通信とインターネット		
講義の目標で	す。諱	<b>葬義では、携帯電話・スマートフォンな</b>	10.	情報理論(1): 情報と情報量		
どの身近な例	を取り	上げて、情報通信のシステムとテクノ	11.	情報理論	(2):情報と	符号化
ロジーの基本	的なこ	とがらをわかりやすく解説します。情	12.	情報理論	(3):情報と	確率
報通信と社会	の関係	系,情報通信と私達人間の関係について	13.	暗号通信		
も考察を行い	ます。		14.	量子情報	通信と量子コ	ンピュータ
他学部の学	生諸君	けの受講も歓迎します。	15.	講義のま	とめ, 試験	
소川・辛 口 7堂		紀の重要なインフラストラクチャとなっ				
到是山脉	信技術	Fの活用ならびにネットワーク環境の構 <mark>築</mark>	終につい	いて分析の:	うえ、見解を	提示できるようにする。
	*****	前にテキストをよく読んでおいてくださ	- 0			
	学修の内容 授業の後,学んだ内容を確認し,疑問を復習と質問で解決してください。					
<b>テキスト</b> 教科書は指定しません。授業においてテキストを事前に配布します。				ます。		
参考文献	総務省	`『情報通信白書平成 29 年版』(日経印刷	剧,201	7年)など	。詳細は授業	<b>業中に紹介します。</b>
評価方法	レポー	- ト (50%), 試験 (25%), 授業への参加	加度(2	25%)に課	題への回答を	かえて総合評価します。

09年度以降		情報通信ネットワーク a			担当者	今福 啓	
講義目的、講	購義概要	ξ	授業計	一画			
た通信機器を 獲得する るとが 講義で は、 的な に が は に が は が は が は が は が は が は り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	を使いていた。 と使があれています。 とないですり でかりですり でかっただいていている。 ではいる。	スマートフォン、タブレット端末といってネットワークに接続し、必要な情報をたり前になっています。それらを支える技術についての知識を身につけるこで。、ワークを使ったデータの送受信で標準いるTCP/IPの詳細を中心に、関連する技能についての理解を深めるため、通信機ら情報や、送受信している内容を実習に	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.	ネットワトポロジ 伝送方式 通信手順 TCP/IP1 TCP/IP3 TCP/IP4 TCP/IP5 デフォル IPアドレ	、ケーブル : か : か : か : か : ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<ul> <li>:集中処理、分散処理</li> <li>ジド、ベースバンド</li> <li>:OSI参照モデル、TCP/IP</li> <li>ク層、MACアドレス</li> <li>ク層、IPアドレス</li> <li>ート層、ポート</li> <li>ション層</li> <li>イ、ルータの役割</li> <li>AT、NAPT、DNS</li> </ul>	
			14. 15.	クライアント・サーバとP2P 実習:ネットワーク機器の情報をみる			
到達目標		紀の重要なインフラストラクチャとなっ 所の活用ならびにネットワーク環境の構	た情報は	通信ネット	ワークに関す	る専門知識を習得し、情報通	
事前・事後 学修の内容	講義で	で理解できなかった点をそのままにせず、	質問や	自習で解え	央するように	してください。	
テキスト	使用し	ません					
参考文献	参考文献 法雲後邑、井戸伸彦『新しい情報ネットワーク教科書』株式会社オーム社						
評価方法	講義時	辞間内の実習(20%)と試験(80%)の	合計で記	呼価します。	。実習に不参	加の場合は評価しません。	

09年度以降		マルチメディア論 a		担当者	李 凱
講義目的、詞	冓義概要	ξ C	授業計画		
を通して、で理に関する事主にマルジャンを利用し、気法、の理に関する。とソフトはにのいるが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが	マルチェンを持し宿むチェンになり、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	アルチメディア作品の鑑賞・企画・制作 ボディアの表現、デザイン、デジタル処 成を習得することを目的とする。 イア作成のために必要なハードワェア のいて講義し、写真撮影、画像の取り込 習を行う。また、専用アプリケーション で字、画像、音声など情報のデザイン方 品制作について講義と演習を行う。静止 でいて講義と演習を行う。静止 でいて講義と演習を行う。静止 でいて講義と演習を行う。静止 でいて講義と演習を行う。静止 でいて講義と演習を行う。 の機能を学ぶ。また、音楽作成、音声処 実習を行う。最後に独自のマルチメデ 発表する。	10. Photoshop	アとソア 文理 とハファン でででででいる。 アとソファン ででででいる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	フェア +と表現 ! (1) ツールボックスの概要 理 (2) 文字 理 (3) レイヤー 理 (4) マスク
<b>到達目標</b> マルチメディアシステムに関する専門知識を 作品を制作できるようにする。			習得し、静止画、真	動画、音声な	どを編集したマルチメディア
事前・事後 学修の内容	事前・事後 / 小関盗料を事前に予翌すること また 毎回			フォルダに提	出すること。

テキスト

参考文献

評価方法

特に指定しない

演習課題 60% 期末試験 40%

授業中に紹介

1					1
09年度以降		マルチメディア論 b		担当者	李 凱
講義目的、講	購義概要		授業計画		
講義目的、講義概要  春学期で学んだ静止画、音声などマルチメディア情報の表現技術、処理手法を基本に、より動的マルチメディアコンテンツを制作するため、アニメーション、映像、インタラクティブコンテンツの表現・処理について講義と演習を行う。アニメーション処理に関しては、アプリケーション(Flash)、映像処理に関しては、アプリケーション(Premiere)に関する処理手法を習得する。また、VR、プロジェクションマッピング、フィジカル・コンピューティング技術を利用したインタラクティブコンテンツ、マルチメディアコンテンツの制作も演習を含めて講義する。最後に受講生が独自の作品を企画、制作、プレゼンテーションを行う。			2. アニメーショ 3. アニメーショ 4. 3DCGの作成 5. 3DCGの作成 6. 3DCGの作成 7. 3DCGの作成 8. 映像の設計と 9. 映像の設計と 10. 映像の設計 11. 映像の設計 11. 映像の設計 12. VRコンテン 13. プロジェク	ン作成(2) 3 ン作成(3) 4 (1) モデリン (2) マテリン (3) テースラー (4) 現(1) 世 表現現(3) 3 とと、ツョコンピュー シ・コンピュー	ActionScript  ノグ アル チャー ーション 像の原理 デオの編集 エフェクト 字幕の作成  ングコンテンツの作成 -ティングコンテンツの作成
到達目標		〜メディアシステムに関する専門知識を習 と制作できるようにする。	習得し、静止画、真	動画、音声な	どを編集したマルチメディア
事前・事後 学修の内容	公開資	資料を事前に予習すること。また、毎回  の	演習課題を共有ご	フォルダに提	出すること。
テキスト	キスト 特に指定しない				
参考文献	参考文献 授業中に紹介				
評価方法	<b>净価方法</b> 演習課題 60% 期末試験 40%				

09年度以降	マルチメディア論 a			担当者	柏原 賢二	
講義目的、講義	· 養概要	授業計画	授業計画			
コンテンツ作成 第 3 週より Photoshop ele イヤーを使った 第 7,8 週。ワ チメディアからり 用いたもらい、 てもらう。 実習と平行し	この授業では、コンピュータを用いて、マルチメディアコンテンツ作成に関する理論と実習を行う第3週より第6週まで。画像加工ソフト(Paint, Photoshop elements)を用いた静止画像の作成と加工。レイヤーを使った静止画像の加工方法を学ぶ。第7,8週。ワープロソフト(Word)を用いて、文書にマルチメディアコンテンツを組み込む方法を学ぶ。第9週から第15週まで。プレゼンテーションソフトを用いたプレゼンテーション。PowerPointでスライドを作成してもらい、実際に教室の前でプレゼンテーションをし		の画画画チエゼゼゼゼゼゼデ像像像像メ曲ンンンンン	イジタル表現の作成(Pair の作成(Pho の作成(Pho とレイヤク とマイによションション・ マーショョン ション コン の アーション アテーション のの アテーション ののの アテーション のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	デジタルとアナログ) (暗号化、情報圧縮) nt) ([理論]画像について) toshop Elements) 作成([理論]文書について) ター画像の作成 作成1 作成2([理論]著作権について) 作成3([理論]先端技術) 発表1(発表のコツ) 発表1(発表のコツ) 発表2(IT技術の発展) 発表3(前回の感想) プレゼンテーションの発表4	
	ァルチメディアシステムに関する専門知識を育 F品を制作できるようにする。	習得し、静止	画、真	動画、音声な	どを編集したマルチメディア	
事前・事後 学修の内容	B前:指定された個所を事前に精読すること、	事後:授業	内容は	こついて復習	をしておくこと	
テキスト	テキスト 特に指定しない					
参考文献	参考文献 特になし					
評価方法	<b>資習課題 70% 期末試験 30%</b>					

09年度以降	を マルチメディア論 b			担当者	柏原 賢二
講義目的、講義概	援要	授業計画			
講義目的、講義概要授箋この授業では、コンピュータを用いて、マルチメディア コンテンツ作成に関する理論と実習をさらに深く行う。 第1週 パワーポイントを使ったアニメーション 3. 第2週より第4週まで。Blender を使った 3DCG 4. 第5週より第7週 Premiere Elements を使った動画編集の基礎。動画クリップをつなげたり、文字を入れたり、時像に効果をいれる方法を学ぶ。 7. 88週から第15週まで。総合演習と題して、Blenderや Premiere などのソフトウェアを用いて、自由にコンテンツを制作してもらい、最後に制作物を発表してもらう。実習と平行して、関連する理論を講義する。たとえば、コンピュータにおける音声データの表現法や、映像の規格などについてである。 14. 15.			でプログライントアニメーション   Blenderによるモデリング   Blenderによるアニメーション   Blenderによるアニメーション   動画の編集1 ([理論]映像規格について)   動画の編集2 ([理論]音声のデータについて)   動画の編集3 ([理論]インターネットの仕組み)   総合演習1 ([理論]ウェブの仕組みについて)   総合演習2 ([理論]インターネットサービス)   総合演習3 ([理論]放送について)   総合演習4 ([理論]モバイルと通信)   総合演習5 (理論]セキュリティーについて)   総合演習発表1 ([理論]電子マネー)   総合演習発表2 ([理論]地理情報システム)   総合演習発表3		
▮╣達は樗	νチメディアシステムに関する専門知識を₹ 品を制作できるようにする。	9得し、静止口	<b>븨、</b>	切囲、音声な	どを編集したマルナメディア
事前・事後 学修の内容	前:指定された個所を事前に精読すること、	事後:授業四	内容に	こついて復習	をしておくこと
テキスト特に	に指定しない		•		
参考文献特征	こなし				
<b>評価方法</b> 演習	習課題 70% 期末試験 30%				

13年度以降		ウェブデザイン論 a	担当者	李 凱	
講義目的、講	冓義概要	5. 5.	授業計画		
新しいデバイスの登場でインターネットの世界が変わり始めている。従来は「見ること」を中心としたWebサイトは、今では「使うもの」として進化している。この授業は、Webサイトのデザインに必要な知識を講義するとともに、デバイスの多様化に対応するWebサイトの制作手法について講義と演習を行う。主に今後の標準となっていくと思われるHTML5やCSS3を紹介しながら、Webデザインを深く理解した上で、Webページを制作する。またWebブラウザ上で動作させることのできる代表的なプログラミング言語であるJavaScriptを用い、モーショングラフィックスを含む様々な技術を学ぶ。			7. HTML入門( 8. CSS入門(1)	スタイルガイ と色彩出 トとサーバー 1) 基本イパー 2) ハデをサーバー 3) オマデギッ がリイアが グレイ変数と (1) 関数とラ	の概要 リンク、リスト、テーブル の表現 インする デザインとボックスモデル を考える (算
到達目標		デザインに関する専門知識を習得し、ウ グで設計できるようにする。	ウェブサイトやウ <i>:</i>	ェブページを	管理者、利用者それぞれに適
事前・事後 学修の内容	公開資	資料を事前に予習すること。また、毎回 <i>0</i>	演習課題をサーク	ベーにアップ	ロードすること。
テキスト	狩野 袮	古東『いちばんよくわかる HTML5&CSS3 デザイ	ンきちんと入門 (De	sign&IDEA)』	(SB クリエイティブ 2016 年)
参考文献	授業中	中に紹介			
評価方法	演習護	<b>果題 60% 期末試験 40%</b>			

13 年度以降	<b>ウェブデザイン論 b</b>			李凱		
講義目的、講義	概要	授業計画				
単に動的、イン 学ぶ。jQueryを グラフ化、数値 動的にWebペー とMySQLを使っ その他、Webサ 用したCMSの棒 この授業はW インターネット 成及び将来ビシ	春学期で学んだ基礎知識を基本に、より簡タラクティブなWebデザイン・制作方法を使った動的表現手法、及びD3.jsを使った計算などデータ可視化手法を学ぶ。また、ジを作るためのプログラミング言語PHPって、データベースとの連携手法を学ぶ。イトの構築・運営及びオープンソースを利力ないても演習を含めて講義する。をサイトの設計に関する技術だけでなく、利用者の使いやすさを意識したサイト構ジネスでWebデザインする際に知っておくっ実践に役立つノウハウと注意点について	1. jQuery入門(2. jQuery入門(3. D3.js入門(1. 4. D3.js入門(2. 5. PHPの概要6. 簡単なPHPプ7. MySQLの概要8. PHPとMySQ9. データの検索10. Webサイトの11. サーバーのが12. 検索エンジ13. CMSの導入14. ネットShop15. サイトの構	2) プラグイ ) データの可 ) アニメーシ ログラミンク E Lの連携 の構築・運営 ご母 で の で で で で で で で で で で で で で で で が う で で が う で と の で も で が も で が も で り で り で り た り で り し く り と り し い り と り し い り と り と り と り り り り り り り り り り り り り	ンの利用 視化 ョン ř EO)		
	ェブデザインに関する専門知識を習得し、 た形で設計できるようにする。	ウェブサイトやウェ	ェブページを	管理者、利用者それぞれに適		
事前・事後 学修の内容	開資料を事前に予習すること。また、毎回の	)演習課題をサーノ	ベーにアップ	ロードすること。		
テキスト 西	畑一馬『Web 制作の現場で使う jQuery デサ	デイン入門』(KAI	OOKAWA,201	16)		
参考文献 授	授業中に紹介					
評価方法演	習課題 60% 期末試験 40%					

13 年度以降 12 年度以前		シミュレーション論 a コンピュータシュミレーション論 a		担当者	市川新		
講義目的、詞	講義概要	<del>2</del>	授業計画				
シミュレ	ーション	ン論bと合わせて受講すると、授業計画	1. 小売業発注と	ごジネスゲー。	ム:ガイダンスに代えて		
の各項目に表	示すよう	っに、店長などのミドルマネジメントか	2. 経営環境理解	解のための操(	乍法		
ら始まり、糺	経営者の	フトップマネジメントが遭遇する主要な	3. 経営環境理解	解のための基準	本例題		
経営問題まで	でを模換	<b>桑経験する。言い換えれば、企業内研修</b>	4. 経営環境理解	解のための応見	用問題		
を先取り修行	得するこ	ことになる。	5. 社会情報デー	-タの収集法の	の基礎		
実社会には	おいて直	直面するマネジメント問題(企業などの	6. 社会情報データの収集と応用				
中間経営管理	理者が責	<b>賃任を持つ課題)に取り組むためには、</b>	7. 階層分析シミュレーションの基本操作				
複雑な利害の	の場面を	を仮想し演習する思考、すなわち、シミ	8. 階層分析シミュレーションによる基本例題				
ュレーション	ン思考が	が求められる。この科目では、人間の思	9. 階層分析シミュレーションによる応用問題				
考力である	脳内情	報処理とそれを補完するコンピュータ	10. 日程管理シミュレーション初級				
シミュレージ	ションの	つ両方を学ぶことによって、仮想演習思	11. 日程管理シミュレーション中級				
考力の修得る	をめざす	₸.	12. 日程管理シミュレーション応用				
春学期でに	は、ミト	バルマネジメントが直面する日々の業務	13. 顧客創造マッピングとプレゼン				
にかかわる	事例研究	に重点をおく。	14. 組織参加マッピングとプレゼン				
			15. 経営意思決定	ごのためのシ	ミュレーション思考		
到達目標		プュータシミュレーションのモデルや作成 \て様々なシミュレーションができるよう		戦を習得し、	ソフトやプログラミング言語		
事前・事後 学修の内容	毎回演習した内容を発展させた自習課題を提示する。次回にその結果を提出すること。						
テキスト	毎回フ	プリントを配付する。					
A	#11						

# 单 日 的							
13 年度以降 12 年度以前		シミュレーション論 b コンピュータシュミレーション論 b		担当者	市川新		
評価方法	<b>評価方法</b> 毎回の課題と作品の提出状況(60%)と内容(40%)によって評価する。						
参考文献	教材で	教材アプリを配付するので、専用の USB メモリを用意することが望ましい。					
テキスト	毎回フ	毎回プリントを配付する。					
学修の内容	毎回復	毎回演習した内容を発展させた自習課題を提示する。次回にその結果を提出すること。					

シミュレーション論aと合わせて受講すると、授業計画 の各項目に示すように、店長などのミドルマネジメントか ら始まり、経営者のトップマネジメントが遭遇する主要な 経営問題までを模擬経験する。言い換えれば、企業内研修 を先取り修得することになる。

実社会において直面するマネジメント問題(企業などの 中間経営管理者が責任を持つ課題)に取り組むためには、 複雑な利害の場面を仮想し演習する思考、すなわち、シミ ュレーション思考が求められる。この科目では、人間の思 考力である脳内情報処理とそれを補完するコンピュータ シミュレーションの両方を学ぶことによって、仮想演習思 考力の修得をめざす。

秋学期では、トップマネジメントが直面する日々の業務 にかかわる事例研究に重点をおく。

- 1. 製造業発注ビジネスゲーム:ガイダンスに代えて
- 2. 価格戦略ビジネスゲーム初級
- 3. 価格戦略ビジネスゲーム中級
- 4. 価格戦略ビジネスゲーム応用
- 5. サイコロとシミュレーションの基礎
- 6. サイコロとシミュレーションの応用
- 7. 流通シミュレーションモデルの操作
- 8. 流通シミュレーションモデルの基礎
- 9. 流通シミュレーションモデルの応用
- 10. インターネットビジネスゲーム操作実習
- 11. インターネットビジネスゲーム損益分岐点
- 12. インターネットビジネスゲーム需要予測
- 13. インターネットビジネスゲーム戦略計画
- 14. インターネットビジネスゲーム新商品開発 15. 経営意思決定のためのシミュレーション思考

到達目標	コンピュータシミュレーションのモデルや作成に関する専門知識を習得し、ソフトやプログラミング言語 を用いて様々なシミュレーションができるようにする。
事前・事後 学修の内容	毎回演習した内容を発展させた自習課題を提示する。次回にその結果を提出すること。
テキスト	毎回プリントを配付する。
参考文献	教材アプリを配付するので、専用の USB メモリを用意することが望ましい。
評価方法	毎回の課題と作品の提出状況(60%)と内容(40%)によって評価する。

				担当者		
講義目的、詞	講義概要	<u> </u>	授業計画			
到達目標 事前・事後						
学修の内容						
テキスト  参考文献						
評価方法						
13 年度以降 12 年度以前		情報と職業 情報と職業 a		担当者	小林 哲也	
講義目的、詞			授業計画			
イどよ議 IoT (Intern クようなを IoT (Intern が知るける性も でであるだめ、 ででは、 ででは、 でででは、 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でいる。	トののい net of TP・ののい net of TP・ののい net of TP・ののかく of TP・ののとのであるが はいの情 からない かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん かっぱん		<ol> <li>1. IT 事命と企業組織</li> <li>5. 国境を越える IT 空間</li> <li>6. クラウド・コンピューティング</li> <li>7. 知的財産権をめぐって</li> <li>8. 知的財産権:パブリックドメイン</li> <li>9. 情報化社会の諸問題 1 サイバー空間のセキュリティ</li> <li>10. 情報化社会の諸問題 2 人工知能</li> <li>11. 情報化社会の諸問題 2 IoT ビッグ・データ</li> <li>12. プレゼンテーション演習 1 情報社会の諸問題</li> <li>13. プレゼンテーション演習 2 知財とイノベーション</li> <li>14. プレゼンテーション演習 3 人工知能</li> <li>15. プレゼンテーション演習 4 情報社会の可能性</li> </ol>			
到達目標		獲得・利用する職業の概要や職業人として情 し、情報化社会に伴う職業上の諸問題につい				
事前・事後学修の内容		引】日常的に IT 関連ニュースに注意を払				

授業参加(小レポート+プレゼンテーション,70%) および期末レポート、30%

テキスト 参考文献

評価方法

総務省『情報通信白書』各年版、 近藤勲『情報と職業』丸善、 中山信宏『著作権法』有斐閣 クリス・アンダーソン『Makers21 世紀の産業革命が始まる』NHK 出版、松尾豊『人工知能は人間を越えるか』角川選書など

			担当者	
講義目的、講義概要	要	授業計画		
到達目標				
事前・事後 学修の内容				
テキスト				
参考文献				
評価方法				

13年度以降		情報メディア論			担当者	福田 求
講義目的、調	冓義概要	ē -	授業計画			
サービス によて という できない はい しいの 報書 でいって かい 来きる 授を のと をのと をのと をのと との といい といい といい といい といい といい といい といい とい	っき々媒雑の情すに学 ま特選アてたが介誌は報るつ習 で性択のいす の、目情り	ット、そしてその上で展開されたさまざまな は量かつ多様な情報がやりとりされたり蓄積 記子的な通信メディアや記録メディアによっ にユニケーションを行っているのである。し ものは電子的なものに限らない。たとえばいった印刷メディアは簡単に思いつくことが どのようなメディアが存在するのだろうか。 「乗り物」であるメディアの体系を理解する に、情報の発信、収集、交換といったメデ で関連するトピック(学校教育/図書館ない。 メディアの発達と変化、メディアの分類およ 自的や状況(例:学校教育/図書館)に応じ 報の発信・収集・交換という3つの情報利用 り扱いについて注意すべき点、などを、講義 目した演習を通して学んでいく。	2. メメ 4. メ 5. 6. メ 7. 前デデイ 8. デデイ 10. 11. 獨ス情 11. 3. 14. メ	デデTTデデの半ーーン協;報りディイTP、アイイのタタタ大教検扱イアと、ににかまべべ一学育家いアと	Definition of the control of the	<ul> <li>2 発信(1)ウェブの標準技術を例として信(2)ハイパーテキスト再考換:コミュニケーションの場とし(1):情報収集の例として(2):簡単な検索式の作成情報の検索て利用できる多様なデータベー</li> </ul>
到達目標	114 11	ディアに関する専門知識を習得し、情幸 fのうえ、自らの見解を提示できるように		が持つ類	見時点での課	題や将来の可能性などについ
事前・事後 学修の内容		れた情報源については、次回までに入り 前回の授業中に赤や青の文字で示された。				
テキスト	適宜紹	召介する。授業の性格上、印刷メディア <i>0</i>	りみでなく	電子メラ	ディアを多数	紹介する。
参考文献	献 適宜紹介する。授業の性格上、印刷メディアの			電子メラ	ディアを多数	紹介する。
評価方法	期末レ	ンポート(50%)。平常授業における課題	レポートな	どの実	績(50%)。	

13 年度以降 12 年度以前		経営意思決定論 a 経営システム工学 a			担当者	鈴木 淳	
講義目的、講	義概要	Į.	授業計	†画			
経営では様々	々な局	B面で解決すべき問題が生じ、解決策を	1.	ガイダン	スと序論		
選ぶために意思	思決定	どが求められます。このとき、考えるべ	2.	意思決定	と経営科学ア	プローチ	
き問題を定量値	化・モ	デル化し、数理的な手法を用いて科学	3.	問題解決	とモデル化		
的に意思決定	を行っ	う経営科学アプローチの適用が効果的	4.	ABC分析	とパレート図		
である場合が生	少なく	ありません。	5.	シミュレ	ーション		
この講義では	は、経	経営科学で研究されてきたABC分析、シ	6.	待ち行列	の理論		
ミュレーション	ン、得	お行列、線形計画法、動的計画法、経	7.	線形計画	法と生産計画	問題	
V V	,	oせ最適化などの手法を紹介し、毎回実	8.	線形計画	法と輸送問題	、四半期単位生産販売計画	
際に練習問題	を解り	いてみて、習得することを目指していま	9. 線形計画法とソルバーを利用した解決法				
す。			10. 動的計画法				
			11.	11. 資金の時間的価値、現価と終価			
			12. 年価と時間換算の諸公式				
			13. 複数年に渡る投資の経済性評価				
			14. 組み合わせ最適化				
			15.	15. アルゴリズムとその応用			
針達日標		気思決定に関する専門知識を習得し、意思			,	問題要素を分析のうえ、個人	
7		いは組織にとって最も合理的な意思決定な	ができる	ようにする	5.		
		「授業資料を読んで予習してください。	). /A TT \				
	事後に授業資料、講義内容、小テストや課題を復習してください。						
テキスト	授業資料をポータルサイトから配布します。						
参考文献	考文献 日下泰夫『経営意思決定-価値創造への経営工学ア				学アプローチー』中央経済社, <b>2009</b> 年。		
評価方法	定期記	<b>、験 50%、授業中に出された練習問題や</b>	課題への	り取り組み	50%の比重で	*評価します。	

13 年度以降 12 年度以前		経営意思決定論 b 経営システム工学 b			担当者	鈴木 淳	
講義目的、講	義概要	ξ	授業詞	十画			
経営では様々	々な月	局面で解決すべき問題が生じ、解決策を	1.	ガイダン	スと序論		
選ぶために意思	思決定	Eが求められます。このとき、経営をシ	2.	階層分析	法と多基準評	価問題	
ステムとして。	とらえ	た、多様な価値基準を統合してシステム	3.	階層分析	法とサービス	選択問題	
的なアプロー	チを	とることで最適性の保証はないものの	4.	包絡分析	法による多基	準評価問題	
効果的に意思	決定を	支援できる場合があります。	5.	PCを用い	た多基準評価	<b></b>	
この講義では	は、降	皆層分析法、包絡分析法、問題解決プロ	6.	問題解決	プロセス(1)	パラダイムと問題構造	
		受のための情報システム、バイアスとヒ	7.	問題解決	プロセス(2)	組織階層と解決過程	
		よどを紹介し、練習問題を解くことやグ	8.			織の意思決定	
		<b>理解を深め、習得を目指します。また、</b>	9.	9. 経営情報システムによる意思決定支援			
		起こすための組織と意思決定のあり方	10.				
について検討	します		11.				
			12.	1.4.2.4,000			
			13.				
			14.	A Maria Calabara Cala			
	47 N/ +		15.	7 00 - 700	110 m/c		
針		st思決定に関する専門知識を習得し、意思 いは組織にとって最も合理的な意思決定な				問題要素を分析のうえ、個人	
		- 投業資料を読んで予習してください。	- ( - 6	J & J (C y 1	ه م		
		- 授業資料、講義内容、小テストや課題を	と復習し	してください	\`\_\o		
テキスト	授業資料をポータルサイトから配布します。						
参考文献	日下寿	夫『経営意思決定ー価値創造への経営』	[学アプ	プローチー』	中央経済社	,2009年	
評価方法	定期詞	⊀験 50%、授業中に出された練習問題や詩	果題への	の取り組み	50%の比重で	ゔ評価します。	

09 年度以降		オペレーションズ・リサーチ a			担当者	白井 裕
講義目的、講義	義概要	; ;	授業	<b>美計画</b>		
オペレーショ	ョンフ	ズ・リサーチ (OR) は、計画や管理の	1.	ガイダンス		
数理的側面に無	焦点を	とあて、社会や企業の活動の中に内在す	2.	データの整	理	
る法則性を知り	<b>り</b> , 3	これを意思決定の一助とするものであ	3.	確率		
る.			4.	条件付き確	率と離散的な	:確率分布
本講義では確	確率的	カモデルを中心にして, 前半で確率的モ	5.	連続的な確	率分布	
デルを学ぶため	めの基	k礎的事項,後半で確率的モデルについ	6.	基本的な確	率分布1(二)	項分布・ポアソン分布)
て理解を深める	ること	を目的とする. 前半の確率的モデルに	7.	基本的な確	率分布2(正	規分布・指数分布)
関する基礎的事	事項と	こしては、平均や分散などの基本的統計	8.	8. 在庫管理1(基礎)		
量の計算からに	はじめ	ら, ヒストグラムの作成, 条件付き確率,	9.	9. 在庫管理2 (例題)		
確率変数,離背	散的な	な確率分布,連続的な確率分布,そして	10.	10. 需要予測・時系列解析		
基本的な確率を	分布に	こついて学習する.後半では、ORの確	11.	11. 信頼性工学		
率的モデルで碁	基本と	なる在庫管理,需要予測・時系列解析,	12.	12. 待ち行列理論1 (基礎)		
信頼性工学, シ	シミュ	レーション、待ち行列理論について学	13. 待ち行列理論2(例題)			
習する.			14.	シミュレー	ション	
講義内容は,	,受諱	はないしている。 はいない はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	15.	確率的モデ	ル全体のまと	め
到達目標	オペレ	/ーションズ・リサーチに関する専門知詞	哉を習	得し、制約の	条件のもとで	各種の問題をモデル化し、効
到在口际	率よく	目的を達成する方法を導き出すことがで	できる	ようにする。		
		修については関連内容を参考書やインク	ターネ	ベット等で確認	忍しておき,	事後学修については講義中に
学修の内容 配付したプリントを見直しておくこと.						
テキスト 請	講義中	ロロアリントを配付 <u>ロールールールールールールールールールールールールールールールールールールール</u>				
参考文献	森雅夫	そ 他『オペレーションズ・リサーチⅡ』	(朝倉	(書店)		

講義への参加度 (20%), 演習課題 (30%), 期末レポート (50%) により総合的に評価する.

評価方法

09年度以降		オペレーションズ・リサーチ b			担当者	白井	裕
講義目的、講	冓義概要	ξ	授第	<b>Ě計画</b>			
オペレーシ	ションス	ズ・リサーチ(OR)は、計画や管理の	1.	ガイダンス			
数理的側面に	こ焦点を	かて、社会や企業の活動の中に内在す	2.	線形計画法	1(グラフに。	よる解法)	
る法則性を知	知り,	これを意思決定の一助とするものであ	3.	線形計画法:	2(単体法(	シンプレックス法	.))
る.			4.	線形計画法:	3(単体表を月	用いた計算)	
本講義では	は確定的	カモデルを中心にして, 数理計画法およ	5.	線形計画法	4(Excelを用	いた計算)	
		の実務的問題に対する解法について理	6.	輸送計画問	題		
解を深めるこ	ことを目	目的とする.数理計画法に関しては,線	7.	最短経路問	題1(ダイク)	ストラ法)	
形計画問題は	こよる気	定式化やExcelを用いた解法などについ	8.	最短経路問	題2(ベルマ)	ン-フォード法)	
て学習する.	また,	その応用に関しては, 実務的に重要な	9.	9. 日程計画			
具体的な問題	題を取	り上げ,社会におけるオペレーション	10. ナップザック問題(動的計画法)				
ズ・リサーチ	チの果た	こす役割について学習する.	11. スケジューリング問題1(フローショップ)				
講義内容に	は,受講	<b>孝生のレベルに応じて調整する.</b>	12. スケジューリング問題2(ジョブショップ)				
			13. 階層分析法(AHP)				
			14. AHPの演習				
	1		15. 確定的モデル全体のまとめ				
到達目標		<ul><li>ーションズ・リサーチに関する専門知</li></ul>				各種の問題をモテ	「ル化し、効
		目的を達成する方法を導き出すことが					
事前・事後 学修の内容		学修については関連内容を参考書やイン	ターネ	ペット等で確認	忍しておき,	事後学修について	は講義中に
	Hall Oley To Table O Cas Vale.						
テキスト	講義中にプリントを配付						
参考文献	<b>献</b> 森雅夫 他『オペレーションズ・リサーチ I 』(朝倉書店)						
評価方法	講義〜	講義への参加度 (20%), 演習課題 (30%), 期末レポート (50%) により総合的に評価する.					

13 年度以降 12 年度以前		システムズ・エンジニアリング a システムズエンジニアリング a			担当者	広瀬	啓雄
講義目的、講義概要 経営・経済や社会において、企業機密の漏洩や温暖化あるいは非正規雇用労働者の増加や成果主義への移行など、さまざまな現象が現れている。このような問題を解決するためのひとつのアプローチとしてシステム論的なアプローチとそれを支援する方法論がある。 理論を実証する意味で、実際問題をPHP & MySQLによるWebベースのプログラミングで解く演習を行う。プログラミングに関しては、基礎から学習するので本講義を受講するための前提となる必修科目はない。 プログラミング環境にはEclipseを使うため、2G程度の			1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9.	授業方法等の注意事項についての説明  2. システムズエンジニアリングの概念  3. システムと特性およびシステム分類  4. システム認識プロセス(1)問題点の把握  5. システム認識プロセス(2)システムモデリング  6. グラフ理論の基礎  7. グラフ理論によるシステムモデリング  8. システムモデリングのケーススタディ  9. PHPの基礎知識(1)変数と逐次処理  10. PHPの基礎知識(2)分岐処理			
プログラミング環境にはEclipseを使うため、2G程度の空きがあるUSBドライブが必要となる。また、教材やレポートの提出は独自サーバを活用する。		11.PHP の基礎知識(3)繰り返し処理12.PHP の基礎知識(4)配列変数13.PHP の基礎知識(5)関数14.PHP によるケーススタディ15.まとめ 授業の総括と理解度の確認					
到達目標		/ステムに関する専門知識を習得し、経 : るようにする。	斉や企業	業に関する記	諸問題を数理	的に分析のう <i>え</i>	、解決策を提
事前・事後 学修の内容	授業約	る了時に授業のまとめと確認問題が出される。	hる。}	欠回までに	指定されたサ	ーバに提出する	) <sub>0</sub>
テキスト	授業ごとに Web サーバによる提示する。						
参考文献	天笠美	知夫・崔冬梅著『経営システム的考え』	方』創月	<b></b>			
評価方法	授業ご	ごとのレポート 50%、期末試験またはレ	ポート	50%			

1 50.5 111	システムズ・エンジニアリング b システムズエンジニアリング b		担当者	広瀬 啓雄
講義目的、講義概要		授業計画		

経営・経済や社会において、さまざまな現象が現れてい る。このような問題を解決するためのひとつのアプローチ としてシステム論的なアプローチとそれを支援する方法 論がある。

本講義では、問題解決のアプローチとして,機械学習お よび人工知能,統計的方法論,品質管理的方法論などによ るアプリケーションを構築することを目的とする。構築 は、PHP & MySQLによるWebベースのプログラミングで 解く演習を行う。

プログラミングに関しては、基礎から学習するので本講 義を受講するための前提となる必修科目はない。プログラ ミング環境にはEclipseを使うため、2G程度の空きがある USBドライブが必要となる。また、教材やレポートの提出 は独自サーバを活用する。

- MySQL の基本操作(1)DB の基礎
- 2. MySQL の基本操作(2)SELECT 文
- MySQL の基本操作(3)集計関数 3.
- 4. 機械学習 決定木(1)
- 5. 機械学習 ナイーブベイズ(2)
- 6. 機械学習 ベイジアンネットワーク(3)
- 7. 人工知能 ニューラルネットワーク(4)
- 8. 統計的処理・基本統計量処理(1)平均と分散
- 9. 統計的処理・基本統計量処理(2)散布図と相関
- 10. 統計的処理·回帰分析
- 11. 統計的処理·検定処理(1)推定問題
- 12. 統計的処理・検定処理(2)仮説の検定
- 13. 品質管理アプリケーション・工程管理(1)実績
- 14. 品質管理アプリケーション・工程管理(2)予測
- 15. まとめ 授業の総括と理解度の確認

到達目標	経営システムに関する専門知識を習得し、経済や企業に関する諸問題を数理的に分析のうえ、解決策を提示できるようにする。					
事前・事後 学修の内容	授業終了時に授業のまとめと確認問題が出される。次回までに指定されたサーバに提出する。					
テキスト	授業ごとに Web サーバによる提示する					
参考文献	天笠美知夫・崔冬梅著『経営システム的考え方』創成社					
評価方法	授業ごとのレポート 50%、期末試験またはレポート 50%					

13年度以降	<b>地域調査論</b>				担当者	大竹	伸郎
講義目的、講	義概要	Ē	授業	計画			
地域調査は	、地理	学や社会学を始め多くの実証的学問分	1	オリエンテ	ーション		
野において広	く取り	入れられている研究手法である。本講	2	地域の選定			
義では、地理	学を基	盤とした地域調査の方法について、具	3	文献・資料	の収集方法1	図書館データベ	ースの利用法
体的・体験的	に習得	<b>身するとともに、地域の抱える様々な課</b>	4	文献・資料	の収集方法25	先行研究の収集	と分析
題を見つけ、	それを	:解決するための思考法を身につけるこ	5	統計資料の	収集と分析1[	国勢調査データ	を使って
とを目的とす	る。		6	統計資料の	収集と分析2~	センサスデータ	を使って
講義では、	地域調	骨査を行うための事前準備として、文献	7	地図・空中	写真の収集と	読図1測量と空	撮の仕組み
や資料の収集	方法、	地形図や空中写真の読み方、統計資料	8	地図・空中	写真の収集と	読図2立体視の	習得と読図力
やGISの活用に	による	主題図の作成方法などを取り上げる。	9 現地調査の準備 調査票の作成				
※現地調査は	夏季休	、業中に実施するため。現地調査に参加	10 現地調査(1)地域の概観				
できないも	のは履	<b>賃修不可。詳細については、第一回目の</b>	11 現地調査 (2) 地域の自然環境				
講義で説明	する。		12 現地調査 (3) 産業の特徴				
			13 現地調査(4)土地利用図の作成				
			14 現地調査(5) 聞き取り調査・アンケート調査の実施				
			15	15 まとめレポートの作成			
	_ ,,	査に関する専門知識を習得し、対象となるようにする。	よる地	域について記	<b>適確な現地調</b>	査、ならびに文	献・情報調査
事前・事後 学修の内容	講義の	際に課す課題について事前学習を行う。	講義	後は講義内名	容について復	習する。	
<b>テキスト</b> 講義の際、プリントを配布する。							
参考文献	考文献						
評価方法	講義時	Fの平常点( <b>20</b> %)と調査状況(40%)、	レポ	ート課題の内	溶(40%)	で評価する。	

			担当者	
講義目的、講義概要	要	授業計画		
到達目標				
事前・事後 学修の内容				
テキスト				
参考文献				
評価方法				

		担当者	
講義目的、講義概要	授業計画		
到達目標			
事前・事後 学修の内容			
テキスト			
参考文献			
評価方法			

13 年度以降		地理情報システム論		担当者	秋本 弘章	
講義目的、講	購義概要	ξ	授業計画			
に関する情幸 理・加工、分 はGISの基本 を目的とする ちに、実際の 断面図の作品 析(オーバー	地理情報システムとは、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ(空間データ)を統合的に管理・加工、分析し、視覚的表現する技術である。本講義ではGISの基本原理の理解と基礎的な技能を身につけることを目的とする。GISの原理と活用事例について解説したのちに、実際の空間データを用いて地図表現(標高図、地形断面図の作成、分布図の作成、統計地図の作成)、地域分析(オーバーレイ、バッファリング、ボロノイ分割)に関する講義と実習を行う。			l情報 基本取 情報 標高 ディング 1理空間データ ータの扱い 済データの扱 の作成 アー分析 レイ分析	- 手(基盤地図情報) 質目 数値モデル タの入手 はい ボロノイ分割	
	批押	を起いフテルに関する声明知識を羽得し	第15回:まとめとレポートの作成 、様々な目的に応じたマッピングなど、地理情報システムを			
到達目標		育報システムに関する専門知識を自得し、 ごきるようにする。	138ペ / 4 日日パに小い		ノなこ、地柱用取ノハノムと	
事前・事後 学修の内容						
テキスト	テキスト 授業中に示される。					
参考文献	参考文献 授業中に示される。					
評価方法	提出された課題(8割)と授業参加度(2割)を総合的に評価する。					

13 年度以降	Introductory Lectures			担当者	木原 隆司
講義目的、講	購義概要	5 7	授業計画		
This class wil	l introd	uce the overview, theoretical framework	1. Introduction	(My CV on E	Conomic Policies)
and empirical	results	s on the economic development, assistance,	2. History of Wo	rld Economy	y (incl. Demography)
growth and po	olicies.	The first part of this class will discuss the	3. History of Jaj	oanese Econ	omy (Before WWII)
economic grov	wth of t	he world and Japan from historical	4. Economic Gro	owth (1) (The	eory and Empirical Results)
perspectives,	which a	also includes theories and empirical	5. Economic Gro	owth (2) (Jap	oanese experience)
studies. The s	second r	part will discuss on the developing	6. Economic Gro	owth (3) (Wh	y did Japan stop growing?)
countries and	develo	pment assistance. It will overview the	7. What are the	Developing	countries?:(Overview)
developing co	untries	and the selected models of economic	8. Comparative	Economic D	evelopment
development,	and ex	amine theories and empirical works on	9. Economic Growth and Development (Selected Models)		
official develo	pment	assistance. Macroeconomic and financial	10. Capital Flows and Development Assistance		
consequences	of agin	g in East Asia will also be discussed.	11. Effective Development Assistance (1)		
The lectures a	and dis	cussions in this class will be conducted in	12. Effective Development Assistance (2)		
		、経済開発・援助・成長及び政策につい			
		E結果を英語で紹介します。履修者の英			
語力に応じ、	適宜日	日本語での解説を加えます。	15. Summery and Further Discussion		
到達目標	国際環	環境経済分野の専門領域について、英語の	)講義内容を理解	<sub>ン、</sub> 英語で議	論できるようにする。
事前・事後 学修の内容	Students are supposed to review the key words and contents of the lecture after each class. 各回の講義の「重要語句」(配布)と内容を、講義後復習してください。				
テキスト					
参考文献	参考文献 Ito. The Japanese Economy/Maddison. The World Economy/ Todaro&Smith. Economic Development ほか				
評価方法		exam, <u>mid-term essay</u> on a selected iss 20% and 20%.respectively. 定期試験(6			

			担当者	
講義目的、講義概要	要	授業計画		
到達目標				
事前・事後 学修の内容				
テキスト				
参考文献				
評価方法				

13年度以降	英語ビジネス・コミュニケーション (水 3)			担当者	信 達郎
講義目的、講義	概要	授業計	画		
運用力のある講演者 中のののでは、 英しりすほでものでは、 大の方 英しりすほぞれでは、 そ解。 毎スまがは、 そ解。 毎スまがは、 でがまれている。 第2. はずあれている。 第3. はずるに、 と言いる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 は	環境でのビジネスの為に必要とされる英語コミュニケーション技能の習得を目的とした研の実務体験と大学教員としての経験をベー英語、日本語の二カ国語による。具体的にはご行う。英検準1級程度のレベル。  語のナレーションのDVDをほぼ毎回上演容を理解する。そのため、毎回ノートを取らの場合にはウェブなどにより知識を補充  DVDの内容に関し、日本語、英語によるションを行う。 講者の参加型の授業なので、それなりの心となる。  認識して、英検準1級程度	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	ビジネスッ マー本企 ア・ ASEAN 選 リー 際 リー に 通 り に ほ り に り に り に り に り に り に り に り に り	現場の関係の国の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関	イズ2) ス展望 アニメ) ズ3)
※同一学期に同一	一教員の重複履修不可	15	15 期末テスト		
	語ビジネス・コミュニケーション(貿易) に きるようにする。	こ関する	基本知識を	を習得し、ビ	ジネス英文書の読み・書きが
事前・事後 学修の内容	レビ、インターネットでの経済ビジネスニョ	ュースのネ	視聴		
テキスト テキ	テキスト テキストは使用せず、DVD を使用				
参考文献 必要	参考文献 必要に応じて指示する。				
<b>評価方法</b> 期	末テスト 40%、クイズと課題 30%、授業への	の参加度	30%		

13年度以降	英語ビジネス・コミュニケーション (水 3)				担当者	信 達郎
講義目的、講	冓義概勥	Ę.	授業計	一画		
<ul><li>運用力のに力のに力でした方</li><li>一方のに力がし、方ののは、</li><li>一方のに力がでした方ができる。</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、</li><li>一方のは、<th>と講は習 日の不 回力で前と講はを 本内足 、ッ受提 受 一型の語行 語容の ひシ講と 講</th><th>境でのビジネスの為に必要とされる英語ュニケーション技能の習得を目的とした。実務体験と大学教員としての経験をベー、日本語の二カ国語による。具体的にはう。英検準1級程度のレベル。のナレーションのDVDをほぼ毎回上演を理解する。そのため、毎回ノートを取場合にはウェブなどにより知識を補充VDの内容に関し、日本語、英語によるョンを行う。者の参加型の授業なので、それなりの心なる。  レベル:英検準1級程度 数員の重複履修不可</th><th>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14</th><th>ビジネスス マー本アジネケ企業市: ASEAN等 進化する 進場取び 国易 世 国際通貨</th><th>現場の国の関係の国際の理の関係の国のの国の関係の理の関係を関係が関係を関係が関係を関係が関係の理解を関係が関係の理解を対象によるといる。</th><th>イズ2) ス展望 アニメ) ズ3)</th></li></ul>	と講は習 日の不 回力で前と講はを 本内足 、ッ受提 受 一型の語行 語容の ひシ講と 講	境でのビジネスの為に必要とされる英語ュニケーション技能の習得を目的とした。実務体験と大学教員としての経験をベー、日本語の二カ国語による。具体的にはう。英検準1級程度のレベル。のナレーションのDVDをほぼ毎回上演を理解する。そのため、毎回ノートを取場合にはウェブなどにより知識を補充VDの内容に関し、日本語、英語によるョンを行う。者の参加型の授業なので、それなりの心なる。  レベル:英検準1級程度 数員の重複履修不可	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	ビジネスス マー本アジネケ企業市: ASEAN等 進化する 進場取び 国易 世 国際通貨	現場の国の関係の国際の理の関係の国のの国の関係の理の関係を関係が関係を関係が関係を関係が関係の理解を関係が関係の理解を対象によるといる。	イズ2) ス展望 アニメ) ズ3)
到達目標		ごジネス・コミュニケーション(貿易) l 3ようにする。	こ関する	基本知識を	を習得し、ビ	ジネス英文書の読み・書きが
事前・事後 学修の内容	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
テキスト	テキスト テキストは使用せず、DVD を使用					
参考文献	必要に	に応じて指示する。				
評価方法	期末を	テスト 40%、クイズと課題 30%、授業へ	の参加原	王 30%		

13年度以降	英語ビジネ	ス・コミュニケーション(ス	火 4)		担当者	信	達郎
講義目的、講	<b>養概要</b>		授業計	画			
この科目は企業環境でのビジネスの為に必要とされる英語 運用力の向上とコミュニケーション技能の習得を目的とした ものである。講師の実務体験と大学教員としての経験をベースにし、講義は英語、日本語の二カ国語による。具体的には 次の方法で演習を行う。英検準1級程度のレベル。  1. 英語、日本語のナレーションのDVDをほぼ毎回上演し、その内容を理解する。そのため、毎回ノートを取り理解不足の場合にはウェブなどにより知識を補充する。  2. ほぽ毎回、DVDの内容に関し、日本語、英語によるディスカッションを行う。  3. あくまで受講者の参加型の授業なので、それなりの心構えが前提となる。  「受講レベル:英検準1級程度		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	2       ビジネス現場に必要とされる英語力         3       ビジネス現場のコミュニケーション         4       マーケットの特性 (クイズ1)         5       日本企業の国際依存度         6       アジア市場の重要性         7       ASEAN等の理解 (クイズ2)         8       進化する中国のビジネス展望         9       貿易取引の理解         10       サービス産業 (映画、アニメ)         11       国際通貨の理解 (クイズ3)         12       国際金融と為替の理解		Z		
※同一学期に同	司一教員の重複履	修不可	14 15	まとめ 期末テス	<b>F</b>		
	英語ビジネス・コ できるようにする。	ミュニケーション(貿易)	こ関する	基本知識を	を習得し、ビ	ジネス英文書の	り読み・書きが
事前・事後学修の内容	事前・事後 テレビ インターネットでの経済ビジネスニュースの組織						
テキスト	テキストは使用せ	ず、DVD を使用					
参考文献	必要に応じて指示 <sup>、</sup>	 する。					
<b>評価方法</b>	朗末テスト 40%、	ウイズと課題 30%、授業へ	の参加原	£ 30%			

13年度以降		英語ビジネス・コミュニケーション(	水 4)		担当者	信 達郎
講義目的、講	購義概要	<u>.</u>	授業計	·画		
正の科目は企業環境でのビジネスの為に必要とされる英語 運用力の向上とコミュニケーション技能の習得を目的とした ものである。講師の実務体験と大学教員としての経験をベースにし、講義は英語、日本語の二カ国語による。具体的には 次の方法で演習を行う。英検準1級程度のレベル。  1. 英語、日本語のナレーションのDVDをほぼ毎回上演し、その内容を理解する。そのため、毎回ノートを取り理解不足の場合にはウェブなどにより知識を補充する。  2. ほぼ毎回、DVDの内容に関し、日本語、英語によるディスカッションを行う。 あくまで受講者の参加型の授業なので、それなりの心構えが前提となる。  受講レベル:英検準1級程度		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	2       ビジネス現場に必要とされる英語力         3       ビジネス現場のコミュニケーション         4       マーケットの特性 (クイズ1)         5       日本企業の国際依存度         6       アジア市場の重要性         7       ASEAN等の理解 (クイズ2)         8       進化する中国のビジネス展望         9       貿易取引の理解         10       サービス産業 (映画、アニメ)         11       国際通貨の理解 (クイズ3)         12       国際金融と為替の理解         13       TPP、FTAとは			
到達目標		·ジネス・コミュニケーション(貿易)/ ようにする。	こ関する	基本知識。	を習得し、ビ	ジネス英文書の読み・書きが
事前・事後 学修の内容	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
テキスト	テキス	トは使用せず、DVD を使用				
参考文献	必要に	応じて指示する。				
評価方法	期末テ	- スト 40%、クイズと課題 30%、授業へ	の参加度	£ 30%		

13年度以降	英語ビジネス・コ	コミュニケーション(ス	木 1)		担当者	土川 孝
講義目的、詞	<b>講義概要</b>		授業	計画		
本講義は、	本格的なビジネスレター	-の書き方を分かりや	1.	講義概要(	ガイダンス)	
すく解説する	る、実践的なBusiness Wi	ritingの講義です。将	2.	ビジネスレ	ターの形式&	放練習問題
来、外資系企	2業、航空業界、貿易業界	『、国際物流業界、メ	3.	効果的なビ	ジネスレター	-の書き方(1)&練習問題
ーカーの国際	祭部、金融業界、ホテル・	観光業界等で英語を	4.	効果的なビ	ジネスレター	-の書き方(2)&練習問題
使用して働き	たいと考える学生を対象	食にしています。	5.	取引の申込	み&練習問題	fig
具体的には	は、テキストを使用して、	取引関係の樹立から	6.	取引申込み	に対する応答	\$&練習問題
成立・履行	求償・解決までの貿易の	)基本的なプロセスに	7.	引合い(具体的な問い合わせ)&練習問題		
沿って、それ	沿って、それぞれの段階における英文ビジネスレターの書			中間試験、	復習	
き方を学びる	ミす。また、新聞・インタ	アーネットなどから収	9.	オファー(	売手からの申	日込み) &練習問題
集した英文	己事を題材に、Readingの	)スキルアップを行う	10.	オファーに	対する応答&	と練習問題
と同時に、「	ごジネスの実践の場で役に	こ立つ情報も習得して	11.	信用状&練	習問題	
いきます。			12.	積出し&練	習問題	
なお、授業	<b>美計画は、授業の進捗等の</b>	)理由で多少変更する	13.	クレーム&	練習問題	
こともありる	きす。		14.	クレームに	対する応答&	と練習問題
			15.	まとめ		
到達目標	英語ビジネス・コミュニ	ニケーション(貿易)に	こ関す	る基本知識を	を習得し、ビ	ジネス英文書の読み・書きが
기도니까	できるようにする。					
事前・事後		箇所を事前に予習してお	さいて	下さい。また	こ、復習をし	、課題が出された場合には次
字修の内容	<mark>学修の内容  </mark> 回に提出してください。					

海老沢達郎著『BUSINESS WRITING-英文ビジネスレター入門』(金星堂、2007 年・2011 年重版)

中間試験 30%、定期試験 60%、授業貢献度 10%、欠席は原則 5 回まで。

テキスト

参考文献

評価方法

都度、紹介

13年度以降		英語ビジネス・コミュニケーション(ス	木 1)		担当者	土川 孝	
講義目的、講	購義概要	<del>2</del>	授業計画				
本講義は、	本講義は、本格的なビジネスレターの書き方を分かりや			講義概要(	ガイダンス)		
すく解説する	5、実践	浅的なBusiness Writingの講義です。将	2.	2. ビジネスレターの形式&練習問題			
来、外資系企	è業、船	立空業界、貿易業界、国際物流業界、メ	3.	効果的なビ	ジネスレター	・の書き方(1)&練習問題	
ーカーの国際	祭部、金	<b>を融業界、ホテル・観光業界等で英語を</b>	4.	効果的なビ	ジネスレター	の書き方(2)&練習問題	
使用して働き	きたいと	さ考える学生を対象にしています。	5.	取引の申込	み&練習問題	Į	
	•	Fストを使用して、取引関係の樹立から	6.	取引申込み	に対する応答	&練習問題	
成立・履行・	・求償・	<ul><li>解決までの貿易の基本的なプロセスに</li></ul>	7.	引合い(具	体的な問い合	わせ)&練習問題	
沿って、それぞれの段階における英文ビジネスレターの書 8. 中間試験、復習							
		また、新聞・インターネットなどから収	9. オファー(売手からの申込み)&練習問題				
		<b>昼材に、Reading</b> のスキルアップを行う	10.	オファーに	対する応答&	練習問題	
	ごジネス	スの実践の場で役に立つ情報も習得して	11.	信用状&練			
いきます。			12.	DOMESTIC CONTRACTOR			
		は、授業の進捗等の理由で多少変更する	13. クレーム&練習問題				
こともありま	<b>ます。</b>		14. クレームに対する応答&練習問題				
			15.	0, C :>			
到達目標	<b>到達目標</b> 英語ビジネス・コミュニケーション(貿易)に関する基本知識を習得し、ビジネス英文書の読み・書きができるようにする。			ジネス英文書の読み・書きが			
事前・事後 学修の内容	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			、課題が出された場合には次			
テキスト	海老洲	R達郎著『BUSINESS WRITING-英文	ビジ	ネスレター入	門』(金星堂	、2007年・2011年重版)	
参考文献	都度、	紹介					
評価方法	中間診	<b>忒験 30%、定期試験 60%、授業貢献度 1</b> 0	)%、/	欠席は原則 5	回まで。		

13 年度以降	   英語ビジネス・コミュニケーション(木 <b>2</b> )	担当者	土川 孝
- 1 - 2 - 1 1		,	

# 講義目的、講義概要

本講義は、将来、外資系企業、航空業界、貿易業界、国 際物流業界、メーカーの国際部、金融業界、ホテル・観光 業界等で英語を使用して働きたいと考える学生を対象に、 ビジネス英文メールの書き方を中心に、ビジネス英語に馴 染のない学生に英文Business Writingの基本を分かりやす く解説し、指導していきます。

具体的には、テキストに沿ってPart1「大手旅行会社の 世界支店長会議を想定した社内連絡メールの作成」、Part2 「食料品専門商社とアメリカのワインメーカーとの商取 引を想定した社外向けメールの作成」、Part3「大手製造業 の国際展示会出展の準備を想定した社内外向けメールの 作成」を1年を通して習得しますが、春期はそのうちPart1 とPart2の前半を学びます。

また、新聞・インターネットなどから収集した英文記事 を題材に、Readingのスキルアップを行うと同時に、ビジ ネスの実践の場で役に立つ情報も習得していきます。

#### 授業計画

- 講義概要 (ガイダンス)
- (Prt1)ビジネス英文メールの形式 2.
- 3. 世界主要支社長会議開催のお知らせ&練習問題
- 世界主要支社長会議への出席通知&練習問題 4.
- 5. 販売本部長の営業報告&練習問題
- 宣伝部長報告&練習問題 6.
- 7. 企画部長報告&練習問題
- 中間試験、復習 8.
- 9. 議事録送付
- 10. (Part2)カリフォルニアワイン見本輸入&練習問題
- 見本商品の発送通知&練習問題 11.
- 12. 引き合い&練習問題
- オファー&練習問題 13.
- カウンター・オファー&練習問題 14.

なお、授業語	十画は、多少変更することもあります。 15. まとめ
到達目標	英語ビジネス・コミュニケーション(貿易)に関する基本知識を習得し、ビジネス英文書の読み・書きができるようにする。
事前・事後 学修の内容	テキストの指定された箇所を事前に予習しておいて下さい。また、復習をし、課題が出された場合には次回に提出してください。
テキスト	海老沢達郎・功力義雄著『ENGLISH FOR BUSINESS』(DTP 出版、2014)
参考文献	都度、紹介
評価方法	中間試験 30%、定期試験 60%、授業貢献度 10%。欠席は原則 5 回まで。

13年度以降 英語ビジネス・コミュニケーション (木2) 担当者 十川 孝

### 講義目的、講義概要

講義は、将来、外資系企業、航空業界、貿易業界、国際 物流業界、メーカーの国際部、金融業界、ホテル・観光業 界等で英語を使用して働きたいと考える学生を対象に、ビ ジネス英文メールの書き方を中心に、ビジネス英語に馴染 のない学生に英文Business Writingの基本を分かりやすく 解説し、指導していきます。

具体的には、テキストに沿ってPart1「大手旅行会社の 世界支店長会議を想定した社内連絡メールの作成」、Part2 「食料品専門商社とアメリカのワインメーカーとの商取 引を想定した社外向けメールの作成」、Part3「大手製造業 の国際展示会出展の準備を想定した社内外向けメールの 作成」を1年を通して習得しますが、秋期は春期に引き続 きPart2の後半とPart3を学びます。

また、新聞・インターネットなどから収集した英文記事 を題材に、Readingのスキルアップを行うと同時に、ビジ ネスの実践の場で役に立つ情報も習得していきます。

なお、授業計画は、多少変更することもあります。

### 授業計画

- 講義概要 (ガイダンス)
- 2. カウンター・オファー受託通知&練習問題
- 3. 信用状開設準備&練習問題
- 4. 船積通知&練習問題
- 5. クレーム&練習問題
- クレームの解決&練習問題 6.
- 7. (Part3)国際展示会及び営業会議招待&練習問題
- 中間試験、復習 8.
- 9. 国際展示会及び営業会議への出席通知&練習問題
- 10. 営業会議出席者の宿泊等の申し込み&練習問題
- 有力販売店主の工場視察&練習問題 11.
- 12. ホテルへの苦情&練習問題
- 顧客のホテル苦情への返信&練習問題 13.
- 14. 有力販売店主の工場長宛礼状練習問題
- 15. まとめ

英語ビジネス・コミュニケーション(貿易)に関する基本知識を習得し、ビジネス英文書の読み・書きが 到達目標 できるようにする。 事前・事後 テキストの指定された箇所を事前に予習しておいて下さい。また、復習をし、課題が出された場合には次 学修の内容 回に提出してください。 テキスト 海老沢達郎・功力義雄著『ENGLISH FOR BUSINESS』(DTP 出版、2014) 参考文献 都度、紹介 評価方法 中間試験30%、定期試験60%、授業貢献度10%。尚、欠席は原則5回まで。

13 年度以降	英語ビジネス・コミュニケーション(ス	木 3)	担当者	杉山	晴信
講義目的、講義概	既要	授業計画			
時系列的な貿易取引の流れに沿って、各取引段階における英語のビジネス通信文(Business Correspondence)を読解し作成する技術を身につけるとともに、貿易実務に関する基礎知識を幅広く習得することがねらいです。 具体的には、まず、貿易取引の段階ごとに(右記参照)、下記のテキストに収録されているビジネス通信文の内容を詳細に検討します。さらに、それぞれの単元(春学期はUnit1~12)における実務知識、通信文のスケルトン・プラン(skeleton plan)、および専門語彙(technical terms)を学ぶとともに、通信文の読解(英文和訳)と作成(和文英訳)の訓練を行います。 なお、右記の授業計画は、授業の進捗状況によって多少の変更があるかもしれません。		1. 春学期の授業 2. ビジネス・コース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロ	コミュニケー !先の発見)  先の発見)  の発見)  の形会) ハンいにー) アンター・オー 大いの要諾) 文の謝絶) 約)	ションの概念、 返信) ファー)	目的等
	語ビジネス・コミュニケーション(貿易)に きるようにする。	<b>ご関する基本知識</b> を	を習得し、ビ	ジネス英文書の	読み・書きが
	事前・事後 各 Unit の Sample Email および解説を熟読するとともに、Exercises を解いて学習成果を必ず確認して下さい。ま				
テキスト 杉山	山晴信『英文ビジネス通信実践演習 21 講(	四訂版)』(三恵社	こ、2016年)		
参考文献 杉口	杉山晴信『貿易実務の英語 ビジネス英文メール パーフェクトブック』(すばる舎、2009年)				
■ 評価 万法	r試験の結果(概ね 80%の比重)および平常 重)を合計して評価します。	対授業における小う	テストや課題	レポートの実績	〔(概ね 20%の

13 年度以降		英語ビジネス・コミュニケーション(ス	木 3)	担当者	杉山	晴信
講義目的、講	冓義概劽	E C	授業計画			
時系列的な貿易取引の流れに沿って、各取引段階における英語のビジネス通信文(Business Correspondence)を 読解し作成する技術を身につけるとともに、貿易実務に関する基礎知識を幅広く習得することがねらいです。 具体的には、まず、貿易取引の段階ごとに(右記参照)、下記のテキストに収録されているビジネス通信文の内容を詳細に検討します。さらに、それぞれの単元(秋学期は Unit13~21)における実務知識、通信文のスケルトン・プラン(skeleton plan)、および専門語彙(technical terms)を学ぶとともに、通信文の読解(英文和訳)と作成(和文英訳)の訓練を行います。 なお、右記の授業計画は、授業の進捗状況によって多少の変更があるかもしれません。		<ol> <li>秋学期の授業内容と授業計画の説明</li> <li>ビジネス・コミュニケーションの概念、目的等</li> <li>Unit13 (信用状の開設と訂正)</li> <li>Unit14 (海上保険)</li> <li>Unit15 (輸出手配)</li> <li>Unit16 (船積み)</li> <li>Unit17 (決済)</li> <li>Unit18 (輸入手配)</li> <li>Unit19 (クレーム)</li> <li>Unit20 (クレーム調整)</li> <li>Unit21の1 (会社社交文①:推薦状)</li> <li>Unit21の2 (会社社交文②:案内状)</li> <li>Unit21の3 (会社社交文③:礼状)</li> <li>Unit21の4 (会社社交文④:見舞い状)</li> <li>秋学期の総復習と質疑応答</li> </ol>				
到達目標		ごジネス・コミュニケーション(貿易) l 5ようにする。	こ関する基本知識を	を習得し、ビ	ジネス英文書の	読み・書きが
事前・事後 学修の内容	各 Unit の Sample Email および解説を熟読するとともに、Exercises を解いて学習成果を必ず確認して下さい。また、					
テキスト	杉山晴	<b></b> 情信『英文ビジネス通信実践演習 21 講(	[四訂版]』(三恵社	こ、2016年)		
参考文献	杉山晴	情信『貿易実務の英語 ビジネス英文メー	ール パーフェク	トブック』(す	上ばる舎、2009	年)
評価方法	ま 期末試験の結果(概ね80%の比重)および平常授業における小テストや課題レポートの実績(概ね20%の 比重)を合計して評価します。					

13 年度以降	   英語ビジネス・コミュニケーション(木 4)	担当者	杉山 晴信
- 1 2 2 2 11 1		,	12 1 1 1 1 1 1 1

# 講義目的、講義概要

国際商取引、特に貿易取引を学ぶために必要なことは、端的に言って、モノ(貨物)・カネ(決済資金)・カミ(情報)の流れを理解することに尽きます。この授業は、このうちの「カミ」、すなわち貿易関係書類および関連する英語のビジネス文書の読解と作成の要領を学びながら、貿易実務の基礎知識を習得することを目標とします。

春学期は、契約書等の法律文書に用いられる英語の特徴(法文体、legalese)についての基礎知識を学習した後、レター・オブ・インテント、スポット売買契約書、長期売買契約書などのサンプルを教材に用いて、各々の書類の意義と目的、作成者と提出先、記載事項、読解と作成の注意点等、書類に関する実務的な知識を学びながら貿易取引の流れを理解し、仕上げにそれらの書類を実際に読解あるいは作成する実習を行います。また、英語圏(特に米国)のPlain English Actに適合した英文取扱説明書(マニュアル)を作成する方法も検討します。

#### 授業計画

- 1. 春学期の授業内容と授業計画の説明
- 2. 法律英語の文体の特徴
- 3. レター・オブ・インテントのサンプル検討
- 4. レター・オブ・インテントの作成演習(1回目)
- 5. レター・オブ・インテントの作成演習(2回目)
- 6. スポット売買契約書のサンプル検討(タイプ条項)
- 7. スポット売買契約書のサンプル検討(裏面約款)
- 8. スポット売買契約書のサンプル検討(書式の戦い)
- 9. 長期売買契約書のサンプル検討(実質条項)
- 10. 長期売買契約書のサンプル検討(一般条項)
- 11. 長期売買契約書のサンプル検討(定義条項ほか)
- 12. "Plain English Act"の趣旨と具体的内容
- 13. 英文取扱説明書作成上の注意点
- 14. 英文取扱説明書の作成演習
- 15. 春学期の総復習と質疑応答

到達目標	英語ビジネス・コミュニケーション(貿易)に関する基本知識を習得し、ビジネス英文書の読み・書きが できるようにする。
事前・事後 学修の内容	配布されたテキスト、資料等は事前に必ず精読しておいて下さい。また、実習で作成した貿易関連書類や関連文書は必ず提出して下さい。
テキスト	当方で用意する和文と英文の資料プリント
参考文献	杉山晴信『貿易実務の英語 ビジネス英文メール パーフェクトブック』(すばる舎、2009年)
評価方法	期末試験の結果(概ね80%の比重)および平常授業における小テストや課題レポートの実績(概ね20%の 比重)を合計して評価します。

 13 年度以降
 英語ビジネス・コミュニケーション(木 4)
 担当者
 杉山 晴信

### 講義目的、講義概要

国際商取引、特に貿易取引を学ぶために必要なことは、端的に言って、モノ(貨物)・カネ(決済資金)・カミ(情報)の流れを理解することに尽きます。この授業は、このうちの「カミ」、すなわち貿易関係書類および関連する英語のビジネス文書の読解と作成の要領を学びながら、貿易実務の基礎知識を習得することを目標とします。

秋学期は、貿易取引の履行および決済の段階に登場する代表的な書類として、商業送り状、船荷証券、保険証券、原産地証明書等の船積書類(Shipping Documents; S/D)、為替手形(draft)、信用状(letter of credit; L/C)などを学びます。また、基本的な通関実務の演習も行い、実際に輸出申告書と輸入(納税)申告書を作成する機会ももうけます。

なお、右記の授業計画は、春学期、秋学期ともに、授業の進捗 状況によって多少の変更があるかもしれません。

### 授業計画

- 1. 秋学期の授業内容と授業計画の説明
- 2. 各種の船積書類の意義と目的
- 3. 商業送り状と包装明細書のサンプル検討
- 4. 商業送り状と包装明細書の作成演習
- 5. 船荷証券のサンプル検討
- 6. 船荷証券の読解演習
- 7. 保険証券のサンプル検討
- 8. 保険証券の読解演習
- 9. 原産地規則の概要と原産地証明書のサンプル検討
- 10. 輸出通関と輸入通関の基礎知識
- 11. 輸出申告書のサンプル検討と作成演習
- 12. 輸入(納税) 申告書のサンプル検討と作成演習
- 13. 荷為替信用状による決済の仕組みの概要
- 14. 荷為替信用状のサンプル検討とディスクレの対処法
- 15. 秋学期の総復習と質疑応答

到達目標英語ビジネス・コミュニケーション (貿易) に関する基本知識を習得し、ビジネス英文書の読み・書きができるようにする。事前・事後 学修の内容配布されたテキスト、資料等は事前に必ず精読しておいて下さい。また、実習で作成した貿易関連書類や関連文書は必ず提出して下さい。テキスト当方で用意する和文と英文の資料プリント参考文献杉山晴信『貿易実務の英語 ビジネス英文メール パーフェクトブック』(すばる舎、2009 年)評価方法期末試験の結果 (概ね 80%の比重) および平常授業における小テストや課題レポートの実績 (概ね 20%の比重) を合計して評価します。

13 年度以降	英語ビジネス・コミュニケーション実務	担当者	杉山 晴信
---------	--------------------	-----	-------

# 講義目的、講義概要

英語と日本語による豊富な参考資料を活用して、実務的な文書を取り扱う実力を養成しながら、貿易実務に関する一巡の手続き、制度、法令等を学びます。貿易や国際物流、ロジスティクス

(logistics) に興味のある人、貿易や物流関係の企業への就職を希望する人、日本貿易実務検定協会の貿易実務検定試験や日商ビジネス英語検定試験を目指す人、通関士国家試験の受験を検討している人などに有益な情報を提供できるように、貿易実務全般にわたり満遍なく、かつ、詳細に勉強することをねらいとします。

具体的には、春学期は、貿易の基本概念に加え、貿易取引の流れを特に輸出者の視点から時系列的に6つのステージに区分して、右記のように、その前半(貿易マーケティングの段階、取引関係創設の段階、成約段階)に属するテーマを詳しく学習します。

履修者はあらかじめ参考資料の所定の箇所を丹念に読んでくるものとし、授業は参考資料の内容を講義で敷衍する形で進めます。また、固有名詞の変更など若干の調整を加えた現物のビジネス文書に実際に触れていただき、それらを読解したり、新規に作成したりする実習の機会も可能な限り作ります。なお、右記の授業計画は、授業の進捗状況によって多少の変更があるかもしれません。

#### 授業計画

- 1. 春学期の授業内容および授業計画の説明
- 2. 貿易の基本概念(1):貿易の意義、貿易の主体など
- 3. 貿易の基本概念(2):貿易実務の遂行手順の概観
- 4. 貿易の基本概念(3):種々の貿易形態、貿易関係機関
- 5. 貿易の基本概念(4):貿易管理制度、関係法令など
- 6. 貿易マーケティングの段階(1):海外市場調査
- 7. 貿易マーケティングの段階(2):販売戦略調査
- 8. 取引関係創設の段階(1):取引先選定と引合い
- 9. 取引関係創設の段階(2):信用照会
- 10. 成約段階(1): 一般取引条件の取り決め
- 11. 成約段階(2): オファーと承諾、注文と受注
- 12. 成約段階(3): 品質と数量に関する条件
- 13. 成約段階(4): 価格と決済に関する条件
- 14. 成約段階(5): 船積みと保険に関する条件
- 15. 春学期の授業の総復習および質疑応答

到達目標	英語ビジネス・コミュニケーション(貿易)に関する応用知識を習得し、実際の貿易で用いる英文書を作 成できるようにする。
事前・事後 学修の内容	配布されたテキスト、資料等は事前に必ず精読しておいて下さい。また、税関、JETRO、経済産業省等のサイトに頻繁にアクセスし、貿易関連の最新情報(特に法令改正や通達)を入手するように努めて下さい。
テキスト	当方で用意する和文と英文の資料プリント
参考文献	杉山晴信『貿易実務の英語 ビジネス英文メール パーフェクトブック』(すばる舎、2009年)
評価方法	期末試験の結果(概ね80%の比重)および平常授業における小テストや課題レポートの実績(概ね20%の比重)を合計して評価します。

13年度以降 英語ビジネス・コミュニケーション実務 担当者 杉山 晴信

### 講義目的、講義概要

英語と日本語による豊富な参考資料を活用して、実務的な文書を取り扱う実力を養成しながら、貿易実務に関する一巡の手続き、 制度、法令等を学びます。 貿易や国際物流、ロジスティクス

(logistics) に興味のある人、貿易や物流関係の企業への就職を希望する人、日本貿易実務検定協会の貿易実務検定試験や日商ビジネス英語検定試験を目指す人、通関士国家試験の受験を検討している人などに有益な情報を提供できるように、貿易実務全般にわたり満遍なく、かつ、詳細に勉強することをねらいとします。

具体的には、<u>秋学期は、貿易取引の流れを特に輸出者の視点から時系列的に6つのステージに区分して、右記のように、その後半(履行段階、決済段階、クレームおよびクレーム調整の段階)</u>に属するテーマを詳しく学習します。

履修者はあらかじめ参考資料の所定の箇所を丹念に読んでくる ものとし、授業は参考資料の内容を講義で敷衍する形で進めます。 また、固有名詞の変更など若干の調整を加えた現物のビジネス文 書に実際に触れていただき、それらを読解したり、新規に作成し たりする実習の機会も可能な限り作ります。なお、右記の授業計 画は、授業の進捗状況によって多少の変更あるかもしれません。

# 授業計画

- 1. 秋学期の授業内容および授業計画の説明
- 2. 履行段階(1): "Incoterms 2010"の各貿易条件の概観
- 3. 履行段階(2):外為法に基づく輸出許可と輸出承認
- 4. 履行段階(3):輸出通関手続き
- 5. 履行段階(4): 海上運送に関する実務知識と手続き
- 6. 履行段階(5): 航空運送に関する実務知識と手続き
- 7. 履行段階(6):複合運送に関する実務知識と手続き
- 8. 履行段階(7):貨物海上保険に関する実務知識と手続き
- 9. 履行段階(8):輸出 PL 保険に関する実務知識と手続き
- 10. 履行段階(9):各種運送書類
- 11. 履行段階(10): 為替リスクの種々の回避法
- 12. 決済段階(1): 荷為替信用状による決済の仕組み
- 13. 決済段階(2):信用状によらない決済の仕組み
- 14. クレームおよびクレーム調整の段階: クレームの種類、クレームの予防、クレームの解決法など
- 15. 秋学期の授業の総復習および質疑応答

到達目標英語ビジネス・コミュニケーション (貿易) に関する応用知識を習得し、実際の貿易で用いる英文書を作成できるようにする。事前・事後 学修の内容 学修の内容 サイトに頻繁にアクセスし、貿易関連の最新情報 (特に法令改正や通達)を入手するように努めて下さい。テキスト当方で用意する和文と英文の資料プリント参考文献杉山晴信『貿易実務の英語 ビジネス英文メール パーフェクトブック』(すばる舎、2009 年)評価方法期末試験の結果 (概ね 80%の比重) および平常授業における小テストや課題レポートの実績 (概ね 20%の比重) を合計して評価します。

小林 哲也 13年度以降 メディア英語 担当者 (コーディネイター) 授業計画 講義目的、講義概要 Course Aim 1. Orientation / Introduction This course is intended to improve student familiarity with the English language media 2. Listening to&watching the news, Summary writing and its role in society. It will also enhance students' ability to understand, interpret and discuss the current affairs. To these ends, students will explore news stories in various formats such as print, internet, video and audio. The stories used in class will feature 3. Speculating about and reading the news 4. Current Topics (Domestic): Part 1 topics from around the world, including Japan. 5. Current Topics (Domestic): Part 2 The goals of the course are as follows: To help foster students' media literacy. 6. Guest speaker (a reporter from Japan Times) To enhance their reading comprehension and listening comprehension. 7. Essay writing workshop To develop students' speaking and discussion skills. 8. Japan from abroad: Part 1 To learn how to gather, asses and present information. 9. Japan from abroad: Part 2 To develop students' speaking and discussion skills enabling them to express their 10. Japan from abroad: Part 3 11. Japan from abroad: Part 4 Course Goals 12. Current Topics (International): Part 3 The goals of the course are as follows: To help foster students'  $\boldsymbol{media\ literacy}-$  for example to identify and 13. Current Topics (International): Part 4 understand differences in perspective, depending on nationality, culture, historical background, objectivity, bias, etc. 14. Guest speaker (an editor of the Japan Times) To enhance students' reading comprehension and listening 15. Review Lesson comprehension through the use of various formats To develop students' **speaking and discussion skills** enabling them to express their opinions clearly and persuasively. Students should have all assignments completed by each To learn how to gather, assess, summarise and present information deadlines. 到達目標 事前・事後 学修の内容 テキスト 参考文献 評価方法 (上欄の続き) 担当者 講義目的、講義概要 授業計画 Course Aim Course Structure The course will focus on the following areas This course is intended to improve student familiarity with the English How Japan is presented around the world language media and its role in society. It will also enhance students' ability to Current topics (domestic economic) understand, interpret and discuss the current affairs. To these ends, students Current topics (international economic) will explore news stories in various formats such as print, internet, video and Much of the course comprises of discussions, question and answer sessions. This is not a lecture based course: students are expected to take an active part in audio. The stories used in class will feature topics from around the world,

including Japan.

# Homework

Each week students write a summary about a recent news article. From week1 to week7 students pick one article from the Japan Times ST and write a summary of it. From week8, students pick two articles on the same topic, one from the Japan Times ST and one from foreign news source, analyze the similarities/differences of the two articles and write a summary about them. In terms of the topics, articles should be related to economics—for example, this may include unemployment, third world debt, global trade, etc. News stories with economic significance can also be used (e.g. Brexit, US Presidential Election, etc.)

Students are supposed to carefully read and summarize the article(s) outside of class so that they can discuss about them in the following lesson. Therefore students should choose articles they are able to understand, briefly summarize and give their opinions on without too much difficulty.

Instructors provide students with key concepts and ideas on a given theme, using various media resources such as print, radio, television and online news. Students will use this theory to broaden their understanding of the media and improve their English skills through various speaking, reading, listening and writing activities. Since discussion plays a fundamental role in the course, the instructor will provide guidance and key phrases for a variety of specific discussion skills such as giving opinion, partial agreement, interrupting and interjecting, paraphrasing and summarising.

Occasionally, a guest speaker, such as a Japanese or foreign journalist, will be invited to lead the class. Students should prepare for these lessons by familiarising themselves with the speaker's newspaper and specialized area of journalism. Stories sourced for Lesson 2 and 3 can be from any media outlet; domestic or Stories sourced for Lessons 4-7 should be from international media organizations. Stories sourced for Lessons 4-7 should be from international media organizations. Stories sourced should be selected to give students a view of how Japan is viewed

around the world.

Students should prepare for Lessons 8 and 14 by familiarising themselves with the media divisions in which the guest speakers work Students are Economics majors, therefore the stories sourced for Lessons 9-13

should have a tangible link to the world of economics

英字新聞の講読や記者・編集者による講義を通じて、英語で語られる社会情勢の情報収集と発信ができる 到達目標 ようにする。 事前・事後 Students should have all assignments completed by each deadlines. 学修の内容 学生は The Japan Times ST を購読し、宿題やプロジェクトの文献として活用する。 テキスト 参考文献 授業の中で適宜プリントを配布する。 Participation 30%, Discussion 20%, Reading 20%, Writing 30% Students who miss 4 or more than 4 times 評価方法 will fail. 原則として4回以上欠席した学生は成績評価の対象とならない。

13 年度以降 地域生態論 a 担当者 犬井 正 12 年度以前 特殊講義 a (地域生態論) 講義目的、講義概要 授業計画 1. オリエンテーションー講義の概要 本講義では地域差が自然環境と経済環境、および社会環 境と文化環境がどのように関連して生み出されてきたの 2. 地域生態論と自然生態論 かを、地理学・地誌学の視点から地域生態システムとして 3. 地域生態論とは-地理学と地誌学 明らかにする。まず、環境の諸要素を概観し、特に気候・ 4. 環境の諸要素(1)気候環境 植生の特色、成因、構造について学習する。その後、エコ 5. 環境の諸要素(2)緯度帯別降水量・蒸発量・気温 ツーリズムが地域資源の保全や地域振興に果たす役割を 6. 環境の諸要素(3) 植生と生きもの 取り上げ、人間の活動の舞台である自然環境と、そこで繰 7. 地域生態論とエコツーリズム り広げられている人々の生活様式をスライド、VTRを用 8. 熱帯地域(1)熱帯林と伝統的生活様式

いながら説明する。基本的には、自然資源の適正利用に関 9. 熱帯地域 (2) 熱帯林の開発 わる持続性は、地域の生態的基盤と経済的基盤、および社 10. 熱帯地域(3)熱帯林の環境問題 会的基盤の相互関係からなるフレームワークで捉えるこ 11. 熱帯地域(4)熱帯林の保全 とが可能となることを学修する。 12. マングローブの生態 13. マングローブ林の保全とエコツアー 14. キャリングキャパシティーとゾーニング 15. 講義のまとめー自然生態系と社会生態 地域生態に関する専門知識を習得し、地域における自然環境の再生や保全、および持続可能な資源・環境 到達目標 等について分析のうえ、見解を提示できるようにする。

事前・事後 テキストの指定された箇所を事前に精読する。授業後には配布資料により学修内容を整理する 学修の内容 テキスト 大井正著『エコツーリズムこころ躍る里山の旅―飯能エコツアーに学ぶ』(丸善出版、2017年) 参考文献 講義時に紹介 定期試験の結果に(80%)によって評価するが、平常授業におけるレポートなどの実績(20%)も評価対 評価方法 象とする。

13 年度以降 地域生態論 b 担当者 犬井 正 12 年度以前 特殊講義 b (地域生態論)

## 講義目的、講義概要

「地域生態論a」に続いて、「地域生態論b」では人間社 会をシステム概念を用いて捉え、地形の成因、構造、人間 生活とのかかわりを学習し、人間の活動の舞台である自然 環境と、そこで繰り広げられている人々の生活様式を説明 し自然生態系と社会生態系の枠組みを理解する。その際 に、エコツーリズムを取り上げ地域資源の保護や保全にど のような役割が果たせるのかを、埼玉県飯能市を取り上げ エコツーリズムの実態と方法について学修する。

授業の際にスライド、VTRを用いながら説明する。基 本的には、そのような資源の適正利用に関わる持続性は、 地域の生態的基盤と経済的基盤、および社会的基盤の相互 関係からなるフレームワークで捉えることが可能となる。

地域における資源や環境の持続的な利用の仕組みを、エ コツーリズムを取り上げながら明らかにし、それらの資源 の存在形態や存在意義を的確に捉える。

### 授業計画

- 1. オリエンテーションー講義の概要
- 2. エコツーリズムと地域生態論
- 3. 山地のエコツアー(1)山地の自然環境
- 4. 山地のエコツアー(2)山地の自然生態系の特徴
- 5. 山地のエコツアー (3) 高度帯の利用と伝統的生業
- 6. 山地のエコツアー(4) 山地資源の開発と観光化
- 7. 山地利用のゾーニング
- 8. 山地の環境容量と脆弱性
- 9. 埼玉県飯能市のエコツアーの事例 (1)
- 10. 埼玉県飯能市のエコツアーの事例 (2)
- 11. 埼玉県飯能市のエコツアーの事例 (3)
- 12. 埼玉県飯能市のエコツアーの事例(4)
- 13. 世界の環境問題 地球環境問題の諸相
- 14. 世界の環境問題とツーリズムー環境破壊と保全
- 15. 講義のまとめー持続可能な生活様式

地域生態に関する専門知識を習得し、地域における自然環境の再生や保全、および持続可能な資源・環境 到達目標 等について分析のうえ、見解を提示できるようにする。 事前・事後 テキストの指定された箇所を事前に精読する。授業後には配布資料により学修内容を整理する 学修の内容 テキスト 大井正著『エコツーリズムこころ躍る里山の旅―飯能エコツアーに学ぶ』(丸善出版、2017年) 参考文献 講義時に紹介 定期試験の結果に(80%)によって評価するが、平常授業におけるレポートなどの実績(20%)も評価対 評価方法 象とする。

 13 年度以降
 環境ビジネス論 a
 担当者
 山根 一眞

 12 年度以前
 特殊講義 a (環境ビジネス論)

## 講義目的、講義概要

私たちの文明は繁栄を実現した一方で、地球環境に危機的な破綻をもたらしています。それは、ひたすら成長を目指してきた資本主義経済の帰結です。今後は、ヒト、そしてあらゆる生物が将来にわたり生存可能とする環境を実現するための、まったく新しい経済のありようを構築する必要があります。それは何かを探りながら、皆さんが環境を基軸にすえた新しい経済の担い手として、多種多様な環境ビジネスに取り組むため「今、現場で何が起こっているか」を報告しつつ正しい「ものの見方」を伝えます。

私は、ジャーナリスト、ノンフィクション作家としてこの課題に取り組み「環業革命」を提唱してきました。20世紀型経済は化石燃料による「産業革命」によってもたらされましたが、これからは環境という価値観を基軸にした新・産業革命を興す、興すことができるという思いを込めて創った言葉が「環業革命」です。講義では国内外の取材で得てきた成果を映像と写真で立体的に紹介、スマホでは得られないわくわくする「生」の世界を実感として学べる講義を目指します。環境に関する事件や大ニュースが発生すれば、即、授業はそれに対応した内容にします。

# 授業計画

以下の内容を含みますが、春学期・秋学期の内容入れ替え、 大幅変更、最新時事的要素による追加があります。

01.グアテマラ:マヤ文明衰退と気候変動の現地調査02.インドネシア:パーム油増産と森林喪失の現地調査03.ボルネオ:CO2大量排出の泥炭地大火災の現地調査04.アルプス・氷河大規模喪失とアイスマンの現地調査05.アマゾン・熱帯雨林開発と保護を見てきた40年調査06.アマゾン・熱帯雨林開発と保護を見てきた40年調査07.アマゾン・殺人アリで滅亡、密林廃墟の真実を調査08.アマゾン・日本力で広がる新エコビジネス、森林農業09.グリーンランド・温暖化と氷床減少危機(調査予定)10.原発:柏崎刈羽、大飯、高浜、福島第一の深部調査11.原子力・廃炉技術最前線、日本のロボットとVR技術12.原子力・放射性物質の消滅処理目指す最先端科学13.原子力・放射性物質の消滅処理目指す最先端科学13.原子力・放射能対策で売上増のスーパー店の挑戦14.エコ建築・日本トップ、獨協大学エコキャンパス15.エコ建築・山根自宅エコハウス20年の実験と検証

到達目標	環境ビジネスに関する専門知識を習得し、ビジネスとして環境問題を扱っていく上での課題等について分析のうえ、見解を提示できるようにする。
事前・事後 学修の内容	新聞や「日経ビジネスオンライン」などで5~6本の報告記事の連載を担当しており、授業で紹介します。
テキスト	『環業革命』(山根一眞著・講談社) など関連著書に韓国語版や中国語版があり留学生にも役立つでしょう。
参考文献	授業内容に応じて、随時、紹介します。
評価方法	レポート(書き方を詳しく伝えます。そのノウハウは他の講義、就活にも確実に役立ちます)。

 13 年度以降
 環境ビジネス論 b
 担当者
 山根 一眞

 12 年度以前
 特殊講義 b (環境ビジネス論)

### 講義目的、講義概要

およそ150年にわたる化石燃料の大量消費によってもたらされた温室効果ガスは、人類史上経験したことのないほどの量が大気中に増加。地球温暖化=気候変動は予想を上回る環境危機をもたらしています。地域を破壊し尽くす巨大台風や竜巻、激しい集中豪雨による浸水や洪水、大規模な森林火災。世界経済の中心地のひとつ東京が水没すれば、世界経済も破綻します。極寒や豪雪が見舞うことが多くなったため、「地球は温暖化ではなく寒冷化だ」という意見がありますが、極寒や豪雪も「温暖化=北極の異変」であるという科学的知見を見逃してはいけません。温暖化対策は(1)温室効果ガスの削減(Mitigation=緩和・削減)と(2)温暖化時代に備える努力(Adaptation=適応)の2面で進める必要がありますが、環境ビジネスはその両者を担う仕事でもあります。講義ではそれらを探ることを目指し、春学期、秋学期を通して同じ趣旨のもとで進めます。

# 授業計画

以下の内容を含みますが、春学期・秋学期の内容入れ替え、 大幅変更、最新時事的要素による追加があります。

01.エネルギー・世界最新・石炭火力発電所の日本技術 02.エネルギー・水素運搬巨大船の開発と実験プラント 03.エネルギー・水素プラントと燃料電池の現場 04.エネルギー・洋上風力発電のエネルギー革命課題 05.エネルギー・人工光合成時代への超最先端科学 06.省エネ・防災力も備えるエコオフィスビル都市 07.省エネ・電力購入92%減を実現、コマツ巨大工場 08.省エネ・スパコンと加速器で1、エコ大賞のタイヤ 09.省エネ・海抜3000mのチリ銅鉱山で無人重機建機 10.リサイクル・世界最大・北九州循環産業プラント 11.リサイクル・巨大火災を起こした産廃施設の犯罪 12.産業革命・ゴム産業史を辿った世界一周取材 13.生物資源・回転寿司と低廉鰻丼の地球規模生物絶滅 14.生物資源・・合成クモの糸がもたらす巨大素材革命 15.温暖化災害:北部九州豪雨、岩手台風被害の現場教訓

到達目標 環境ビジネスに関する専門知識を習得し、ビジネスとして環境問題を扱っていく上での課題等について分析のうえ、見解を提示できるようにする。 新聞や「日経ビジネスオンライン」などで5~6本の報告記事の連載を担当しており、授業で紹介します。 テキスト 『環業革命』(山根一眞著・講談社)など関連著書に韓国語版や中国語版があり留学生にも役立つでしょう。 参考文献 授業内容に応じて、随時、紹介します。 レポート (書き方を詳しく伝えます。そのノウハウは他の講義、就活にも確実に役立ちます)。

13年度以降		環境マネジメント論 a			担当者	大坪 史治		
講義目的、詞	講義概要	Ę	授第	<b>詳</b> 画				
本講義では	は、「企	業」と「社会」の関わりについて会計	1.	講義概要				
学のアプロー	ーチから	学習する。景気後退、雇用問題、地球	2.	会計学と社	会会計			
環境問題、領	気候変重	加問題、企業の不祥事などの社会的課題	3.	社会会計の	歴史的展開と	論点		
とそれに対す	する企業	ぎの社会的責任が強く議論されるなか、	4.	社会会計に	求められてい	る現代的意義		
社会会計は、	とても	関心が高まっている会計領域の一つで	5. Corporate social Responsibility概論					
ある。国内タ	外のトレ	ンドを正確に把握するために、最新の	6. CSRと私的利益の関係性					
データや資料	料、企業	きの実践例を多く紹介し、理論と並行し	7. CSRと雇用問題					
てわかりやっ	すく講乳	をする。	8. CSR会計の理論					
また、本語	講義は、	①企業と社会との間に介在する課題を	9. CSR会計の企業実践					
理解する、	②現代公	主業の社会的性格を理解し、企業と社会	10. 企業のサステナビリティ					
の関係性につ	ついて訴	論理的に説明することができる、③会計	11.	企業のサス	テナビリティ	とリスクマネジメント		
学の基礎知識および社会に出たときに役立つ確かな知				企業の利害	関係者			
識・教養を養う、④長期的かつ広範な視野を養うことを意				地球環境問	題概論(人口	、資源、格差、生活水準)		
識している。				14. 気候変動問題に対する世界の認識				
春学期と和	対学期を	<ul><li>連続して履修することが望ましい。</li></ul>	15. 環境問題と企業活動の関わり					
到達目標	環境へ	マネジメントに関する専門知識を習得し、	経営	的視点から	自然環境の保	全について分析のうえ、見解		
<b>封建日</b> 保	を提示	できるようにする。						
車前,車後	重前.	講義内容について予備知識を持ち 分析	ふらナ	い占を明らえ	かにしておく	・レ 車谷・講義内容を敷理		

	C 1/C/							
事前・事後 学修の内容		事前:講義内容について予備知識を持ち、分からない点を明らかにしておくこと。事後:講義内容を整理 し、問題意識を持った点やキーコンセプトについてより詳しく調べること。						
テキスト	湯田邪	湯田雅夫、大坪史治『講義ノート』						
参考文献								
評価方法	講義⁄	講義への参加度(40%)と期末試験(60%)により評価する。						
13年度以降	環境マネジメント論 b 担当者 大坪 史治							
講義目的、認	義目的、講義概要				授業計画			
本講義では、「企業」と「社会」の関わりについて会計				1. 講義概要				
学のアプロー	ーチから	ラ学習する。景気後退、雇用問題、地球 ・	2. 二つの環境マネジメント思考					
1 - 2 / 2 .	- ) N 1	0子首9つ。京风仮返、准用问題、地球	⊿.	- 200 MOTE	. 1	10.7		

とそれに対する企業の社会的責任が強く議論されるなか、 社会会計は、とても関心が高まっている会計領域の一つで | 5. 3つのタイプの環境会計 ある。国内外のトレンドを正確に把握するために、最新の データや資料、企業の実践例を多く紹介し、理論と並行し てわかりやすく講義する。

また、本講義は、①企業と社会との間に介在する課題を 理解する、②現代企業の社会的性格を理解し、企業と社会 の関係性について論理的に説明することができる、③会計 学の基礎知識および社会に出たときに役立つ確かな知 識・教養を養う、④長期的かつ広範な視野を養うことを意 識している。

春学期と秋学期を連続して履修することが望ましい。

- 4. 環境会計の理論と実践
- 6. 環境関連コストの測定
- 7. 環境パフォーマンスの定義・測定・評価
- 8. 統合評価手法の活用と事例
- 9. 伝統的原価計算と環境原価計算
- 10. 環境に特化した活動基準原価計算
- 11. 意思決定とフロー原価計算の理論と実践
- 12. 経済性-環境性を評価するEco-Efficiencyの理論
- 13. 財務情報と非財務情報
- 14. 環境報告書・CSR報告書等の非財務報告書の発展経緯
- 15. 企業の非財務情報開示をめぐる国際的動向

H 1 791 C 1	(1) 加色是加色(极色)
到達目標	環境マネジメントに関する専門知識を習得し、経営的視点から自然環境の保全について分析のうえ、見解 を提示できるようにする。
事前・事後 学修の内容	事前:講義内容について予備知識を持ち、分からない点を明らかにしておくこと。事後:講義内容を整理 し、問題意識を持った点やキーコンセプトについてより詳しく調べること。
テキスト	湯田雅夫、大坪史治『講義ノート』
参考文献	
評価方法	講義への参加度(40%)と期末試験(60%)により評価する。

13 年度以降	環境法 a		担当者	磯田 尚子		
講義目的、講義概		授業計画				
(講義目的)		1序:環境問題~	への多元的ア	プローチ		
さまざまな環境	問題について、環境法学はどのような理	2 公害法の生成	: 足尾鉱毒事	件から四大公害訴訟まで		
念と手法と仕組る	みをもって対応してきたかを学ぶととも	3四大公害訴訟の	の法理論:過	失論		
に、エコロジカル	で持続可能な経済社会システムを構築す	4 四大公害訴訟の	の法理論:因	果関係論他		
るために必要な考	え方について論ずる。	5 差止訴訟への別	展開:騒音振	動と大気汚染		
		6 差止訴訟への原	展開:受忍限	度論と功利主義		
(講義概要)		7 環境基本法の制	訓定と環境基	本計画		
「環境法a」では	、公害法から環境法へと至る歴史のほか、	8 環境保全手法:規制的手法				
環境保全手法、環	境法の理念・原則等、環境影響評価等の	9 環境保全手法:経済的手法、非規制的手法				
環境法総論を学習	する。	10 持続可能な開発/発展				
		11 環境権				
		12 汚染者負担原則				
		13 予防原則				
		14 環境影響評価制度				
		15 総括:環境と経済				
	環境法の意義や機能、環境法に関する事例、重要な判例・学説を正確に解釈し、個別の事象について見解 を示すことができるようにする。					
事前・事後 学修の内容 事前	7に教科書の該当箇所を読んでおくとともに	に、事後には講義中に指示した課題をまとめる。				
テキスト 柳急	三一郎・森永由紀・磯田尚子編著『多元的5	環境問題論』増補改訂版、ぎょうせい 2006 年。				
参考文献 授業	中にその都度、指示する。					
<b>評価方法</b> 期末	試験の成績8割、平常点(授業への積極的	的参加と小テストの	の成果)2 割	の割合で評価する。		

講義目的、	13年度以降		環境法 b		担当者	磯田	尚子		
さまざまな環境問題について、環境法学はどのような理 念と手法と仕組みをもって対応してきたかを学ぶととも に、エコロジカルで持続可能な経済社会システムを構築するために必要な考え方について論ずる。  (講義概要) 「環境法b」では、大気、水、土壌、廃棄物、化学物質、 生物等の個別的なテーマを題材に、環境法各論を学習する。  (講教授)  ( 古	講義目的、講	購義概要	Ę	授業計画					
念と手法と仕組みをもって対応してきたかを学ぶととも に、エコロジカルで持続可能な経済社会システムを構築するために必要な考え方について論ずる。  (講義概要) 「環境法b」では、大気、水、土壌、廃棄物、化学物質、生物等の個別的なテーマを題材に、環境法各論を学習する。  (講義概要) 「環境法b」では、大気、水、土壌、廃棄物、化学物質、生物等の個別的なテーマを題材に、環境法各論を学習する。  (講義概要) 「環境法b」では、大気、水、土壌、廃棄物、化学物質、生物等の個別的なテーマを題材に、環境法各論を学習する。  (講義概要) 「環境法の意義や機能、環境法を論を学習する。  (	(講義目的)			1序:環境問題~	への多元的ア	プローチ			
に、エコロジカルで持続可能な経済社会システムを構築するために必要な考え方について論ずる。  (講義概要) 「環境法b」では、大気、水、土壌、廃棄物、化学物質、生物等の個別的なテーマを題材に、環境法各論を学習する。  (講教の種別的なテーマを題材に、環境法各論を学習する。  (講教の権利) (13 自然環境保全:自然環境保全制度) (14 自然環境保全:里山保全) (15 総括:人間中心主義と人間非中心主義)  (2 事前・事後学修の内容) 「環境法の意義や機能、環境法に関する事例、重要な判例・学説を正確に解釈し、個別の事象について見解を示すことができるようにする。  事前・事後学修の内容 「事前・教科書の該当箇所を読んでおくとともに、事後には講義中に指示した課題をまとめる。  テキスト 柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子編著『多元的環境問題論』増補改訂版、ぎょうせい 2006 年。  参考文献 授業中にその都度、指示する。	さまざまな	は環境問	問題について、環境法学はどのような理	2 大気汚染					
るために必要な考え方について論ずる。	念と手法と作	土組み	をもって対応してきたかを学ぶととも	3酸性雨とオゾン	/層破壊				
(講義概要) 「環境法b」では、大気、水、土壌、廃棄物、化学物質、 生物等の個別的なテーマを題材に、環境法各論を学習する。  10 廃棄物: リサイクル関連法、循環基本法 11 化学物質管理 12 自然の権利 13 自然環境保全: 自然環境保全制度 14 自然環境保全: 里山保全 15 総括: 人間中心主義と人間非中心主義 を示すことができるようにする。  事前・事後 学修の内容 事前に教科書の該当箇所を読んでおくとともに、事後には講義中に指示した課題をまとめる。 テキスト 柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子編著『多元的環境問題論』増補改訂版、ぎょうせい 2006 年。 参考文献 授業中にその都度、指示する。	に、エコロシ	ジカルで	で持続可能な経済社会システムを構築す	4 気候変動:京都	常議定書まで				
(講義概要) 「環境法b」では、大気、水、土壌、廃棄物、化学物質、 生物等の個別的なテーマを題材に、環境法各論を学習する。  7 土壌汚染: 特徴と対策の歴史 8 土壌汚染対策法 9 廃棄物: 廃棄物処理法 10 廃棄物: リサイクル関連法、循環基本法 11 化学物質管理 12 自然の権利 13 自然環境保全: 自然環境保全制度 14 自然環境保全: 里山保全 15 総括: 人間中心主義と人間非中心主義  到達目標 環境法の意義や機能、環境法に関する事例、重要な判例・学説を正確に解釈し、個別の事象について見解を示すことができるようにする。 事前・事後 学修の内容 事前に教科書の該当箇所を読んでおくとともに、事後には講義中に指示した課題をまとめる。 テキスト 柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子編著『多元的環境問題論』増補改訂版、ぎょうせい 2006 年。 参考文献 授業中にその都度、指示する。	るために必要	要な考え	た方について論ずる。	5 気候変動:パリ	リ協定				
「環境法b」では、大気、水、土壌、廃棄物、化学物質、 生物等の個別的なテーマを題材に、環境法各論を学習する。 8 土壌汚染: 土壌汚染対策法 9 廃棄物: Pサイクル関連法、循環基本法 10 廃棄物: リサイクル関連法、循環基本法 11 化学物質管理 12 自然の権利 13 自然環境保全: 自然環境保全制度 14 自然環境保全: 里山保全 15 総括: 人間中心主義と人間非中心主義 野前・事後 学修の内容 事前に教科書の該当箇所を読んでおくとともに、事後には講義中に指示した課題をまとめる。 テキスト 柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子編著『多元的環境問題論』増補改訂版、ぎょうせい 2006 年。 参考文献 授業中にその都度、指示する。				6 水質汚濁					
生物等の個別的なテーマを題材に、環境法各論を学習する。  9 廃棄物: 廃棄物処理法 10 廃棄物: リサイクル関連法、循環基本法 11 化学物質管理 12 自然の権利 13 自然環境保全: 自然環境保全制度 14 自然環境保全: 里山保全 15 総括: 人間中心主義と人間非中心主義  到達目標 環境法の意義や機能、環境法に関する事例、重要な判例・学説を正確に解釈し、個別の事象について見解を示すことができるようにする。 事前・事後 学修の内容 事前に教科書の該当箇所を読んでおくとともに、事後には講義中に指示した課題をまとめる。  テキスト 柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子編著『多元的環境問題論』増補改訂版、ぎょうせい 2006 年。  参考文献 授業中にその都度、指示する。	(講義概要)					史			
る。	2,112=11-112	•		0 11301 3710 1 1111	201 9 2 10 7 17 10 10 10				
11 化学物質管理 12 自然の権利 13 自然環境保全:自然環境保全制度 14 自然環境保全:里山保全 15 総括:人間中心主義と人間非中心主義  到達目標 環境法の意義や機能、環境法に関する事例、重要な判例・学説を正確に解釈し、個別の事象について見解を示すことができるようにする。 事前・事後 学修の内容 事前に教科書の該当箇所を読んでおくとともに、事後には講義中に指示した課題をまとめる。  テキスト 柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子編著『多元的環境問題論』増補改訂版、ぎょうせい 2006 年。 参考文献 授業中にその都度、指示する。		別的な	テーマを題材に、環境法各論を学習す	- 3-7,777					
12 自然の権利 13 自然環境保全:自然環境保全制度 14 自然環境保全:里山保全 15 総括:人間中心主義と人間非中心主義  到達目標 環境法の意義や機能、環境法に関する事例、重要な判例・学説を正確に解釈し、個別の事象について見解を示すことができるようにする。  事前・事後 学修の内容 事前に教科書の該当箇所を読んでおくとともに、事後には講義中に指示した課題をまとめる。  テキスト 柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子編著『多元的環境問題論』増補改訂版、ぎょうせい 2006 年。 参考文献 授業中にその都度、指示する。	る。								
13 自然環境保全:自然環境保全制度 14 自然環境保全:里山保全 15 総括:人間中心主義と人間非中心主義  到達目標 環境法の意義や機能、環境法に関する事例、重要な判例・学説を正確に解釈し、個別の事象について見解を示すことができるようにする。  事前・事後 学修の内容 事前に教科書の該当箇所を読んでおくとともに、事後には講義中に指示した課題をまとめる。  テキスト 柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子編著『多元的環境問題論』増補改訂版、ぎょうせい 2006 年。  参考文献 授業中にその都度、指示する。				11 化学物質管理					
14 自然環境保全:里山保全 15 総括:人間中心主義と人間非中心主義  到達目標 環境法の意義や機能、環境法に関する事例、重要な判例・学説を正確に解釈し、個別の事象について見解を示すことができるようにする。 事前・事後 学修の内容 事前に教科書の該当箇所を読んでおくとともに、事後には講義中に指示した課題をまとめる。  テキスト 柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子編著『多元的環境問題論』増補改訂版、ぎょうせい 2006 年。  参考文献 授業中にその都度、指示する。									
15 総括:人間中心主義と人間非中心主義  到達目標 環境法の意義や機能、環境法に関する事例、重要な判例・学説を正確に解釈し、個別の事象について見解を示すことができるようにする。  事前・事後 学修の内容 事前に教科書の該当箇所を読んでおくとともに、事後には講義中に指示した課題をまとめる。  テキスト 柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子編著『多元的環境問題論』増補改訂版、ぎょうせい 2006 年。  参考文献 授業中にその都度、指示する。									
到達目標 環境法の意義や機能、環境法に関する事例、重要な判例・学説を正確に解釈し、個別の事象について見解を示すことができるようにする。 事前・事後 学修の内容 事前に教科書の該当箇所を読んでおくとともに、事後には講義中に指示した課題をまとめる。 テキスト 柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子編著『多元的環境問題論』増補改訂版、ぎょうせい 2006 年。 参考文献 授業中にその都度、指示する。									
到達日標       を示すことができるようにする。         事前・事後 学修の内容       事前に教科書の該当箇所を読んでおくとともに、事後には講義中に指示した課題をまとめる。         テキスト       柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子編著『多元的環境問題論』増補改訂版、ぎょうせい 2006 年。         参考文献       授業中にその都度、指示する。				- 1-11		***			
学修の内容 事前に教科書の該当箇所を読んでおくとともに、事後には講義中に指示した課題をまとめる。  テキスト 柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子編著『多元的環境問題論』増補改訂版、ぎょうせい 2006 年。  参考文献 授業中にその都度、指示する。	到達目標								
参考文献       授業中にその都度、指示する。		事前に	こ教科書の該当箇所を読んでおくとともん	こ、事後には講義。	中に指示した	課題をまとめる	0 0		
	テキスト	柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子編著『多元的環境問題論』増補改訂版、ぎょうせい 2006 年。							
評価方法 期末試験の成績 8 割、平常点(授業への積極的参加と小テストの成果)2 割の割合で評価する。	参考文献	授業中にその都度、指示する。							
	評価方法	期末試験の成績8割、平常点(授業への積極的参加と小テストの成果)2割の割合で評価する。							

13年度以降		国際環境法 a		担当者	井上 秀典		
講義目的、講郭	養概要	Ţ	授業計画				
〔講義目的〕			1. ガイダンス				
国際社会に	おける	る環境問題に対処するための国際環境	2. 国際環境法の	歴史			
法のしくみを概	既観し	、同時に国際環境法が私たちの生活と	3. 国際環境法の	持徴			
どのように関連	車して	いるのかを理解する。	4. 国際環境保全	と条約、慣習	国際法		
			5. 国際環境保全	とソフト・ロ	_		
〔講義概要〕			6. 領域使用の管理	理責任			
講義では総計	論にあ	たる部分を扱う。国際社会における環	7. 予防原則				
		めの法の歴史、諸原則、規範の構造、	8. 通報·協議義	務			
紛争解決などを	を考察	きする。	9. 持続可能な開発				
			10. 共通だが差異ある責任				
			11. 国際環境保全と事後救済				
			12. 国際環境保全と国家責任				
			13. 国際環境保全と紛争解決				
			14. 国際環境法の履行・遵守				
			15. まとめ				
針達日標	国際環境法の意義および機能に関する基本的知識のうえに、国際環境法に関する重要な判例、学説を正確に解釈し、個別の事象について見解を示すことができるようにする。						
事前・事後 請	冓義終	了後、疑問点がある場合、教員に質問し	、また図書館等は	こおいて参考	文献を自分で調べた内容をノ		
学修の内容	ートに	書き込み、整理すること。					
テキスト	枚科書	は使用せず。適宜、資料を配付する。					
参考文献	公井芳	郎『国際環境法の基本原則』東信堂、国	国際環境条約・資料	斗集 東信堂			
評価方法 学期末試の成績験 100%で評価する。							

13年度以降		国際環境法 b		担当者	井上 秀典		
講義目的、講	義概要		授業計画				
〔講義目的〕			1. ガイダンス				
国際社会に	おけん	る環境問題に対処するための国際環境	2. 気候変動1	『都議定書ま	で		
法のしくみを	概観し	<ul><li>、同時に国際環境法が私たちの生活と</li></ul>	3. 気候変動2	(都議定書以)	<b></b>		
どのように関	連して	「いるのかを理解する。	4. オゾン層保護	、酸性雨			
			5. 海洋汚染1 船				
〔講義概要〕			6. 海洋汚染2 淮	序洋投棄			
	/	かを扱う。国際社会における環境問題に	7. 生物多様性				
ついて気候変	動、淮	経済にはいる。	8. 漁業資源				
			9. 南極地域の環境保護				
			10. 有害廃棄物の越境移動				
			11. 化学物質				
			12. 原子力 13. 環境影響評価				
			13. 環境影響計算   14. 貿易と環境	Ц			
			15. まとめ				
針達日標		環境法の意義および機能に関する基本的な でし、個別の事象について見解を示すこと	口識のうえに、国際		する重要な判例、学説を正確		
W 15 - 1 -							
テキスト	教科書は使用せず。適宜、資料を配付する。						
参考文献	国際環境条約・資料集 東信堂						
評価方法	<b>方法</b> 学期末試の成績験 100%で評価する。						

13年度以降 国際公共政策論 a 担当者 木原 降司 12年度以前 特殊講義 a (国際経協政策論) 講義目的、講義概要 授業計画 1. イントロダクション (講義目的) 国際公共政策論では、一国のみでは解決困難な経済 社会問題に対して、より良い状況を生み出すために各国が広域 2. 国際政治と国際公共政策 的・地球規模で協力して行うべき政策・機関・枠組みの形成等に 3. マクロ経済学と国際公共政策(国際金融論等) ついて学びます。国際相互依存が高まり制度・政策の調整が必要 4. ミクロ経済学と国際公共政策(国際貿易論等) な現在、「国際公共政策論a」では、国際公共政策に応用可能な国 5. 経済成長理論と国際公共政策 (開発援助論等) 際政治、国際経済、公共財、経済成長などの基礎理論を学んだ上 6. 国際政策協調と国際機関(国際相互依存等) で、国際経済政策・政策協調の態様を、国際経済協力・貿易・通 7. 国際機関概説 (分類・設立動因等) 8. 国際機関の構造・機能・意思決定 貨金融・環境などの普遍的・地域的国際機関や協力の枠組みに焦 9. 国際公共財としての国際機関 点をあてながら検討します。 (講義概要) 講義形式。国際公共政策の策定・評価に用いる経済 10. 国際経済協力の枠組み (G20 、ASEAN+3等) 理論を復習した上で、国際公共政策の核となっている国際機関の 11. 貿易面の国際協調(1)(WTO等) 一般的な態様について学習します。その後、貿易・通貨金融・環 12. 貿易面の国際協調 (2) (FTA,等) 13. 通貨・金融面の国際協調(1)(IMF等) 境など個別の国際公共政策を形成している国際機関・協力の枠組 みについて学びます。担当教員の実務経験を踏まえた講義としま 14. 通貨・金融面の国際協調 (2) (CMI、ABMI等) 15. 持続可能な成長のための国際協調 (GEF等) 国際公共政策に関する専門知識を習得し、各種の国際公共政策に関する問題点や将来の展望等について分 到達目標 析のうえ、見解を提示できるようにする。 各回の講義後、図や数式展開を含め、講義内容を良く復習してください。 事前・事後 学修の内容 講義後半に講義の「ポイント」を配布しますので、これらを用いながらポイントを理解してください。 テキスト 特定のテキストは用いず、授業の各回に講義のレジメを配布します

評価方法	講義~	への貢献	(20%),	中間レポート	もしくは小	テスト	(20%),	定期試験	(60%)	により許	平価します	
_												
13年度以降		国際公共		b 数奴妇扣贴签录()				担当者		木原	隆司	

最上敏樹『国際機構論』、横田洋三『新国際機構論』、橋本他『国際金融論をつかす』ほか

### 講義目的、講義概要

参考文献

12年度以前

**(講義目的)** 国際公共政策論では、一国のみでは解決困難な経済 社会問題に対して、より良い状況を生み出すために各国が広域 的・地球規模で協力して行うべき政策・機関・枠組みの形成等に ついて学びます。

特殊講義 b (国際経協政策論)

アジアなど新興国が高成長を示す一方、途上国間の格差が大きくなる中、「国際公共政策論b」では、国際公共政策の一つである開発援助に焦点を当て、開発途上国の実態、近年の国際援助潮流、ドナー間の援助協調、地球環境保全などのための国際公共財援助、内戦の経済効果と紛争後支援、東アジアへの高齢化対策支援、我が国援助の開発効果などを詳細に検討します。

### (講義概要)

講義形式。開発援助の概念・基礎を説明した上で、開発援助協力の各トピックについて、理論・実証結果・援助実態を理解できるようバランスよく講義します。担当教員の実務経験を踏まえた講義とします。

### 授業計画

- 1. 開発援助概観(1)(開発途上国・開発援助って何?)
- 2. 開発援助概観(2)(開発援助アキテクチュア等)
- 3. 開発援助の新潮流(1)(制度政策環境の重視等)
- 4. 開発援助の新潮流(2)(脆弱国支援、債務問題等)
- 5. 援助協調の政治経済学(1)(援助動機、協調の理論等)
- 6. 援助協調の政治経済学(2)(援助協調の実態等)
- 7. 国際公共財援助(1)(国際公共財援助の理論等)
- 8. 国際公共財援助(2)(地球環境、GMS等)
- 9. 内戦の開発経済学と紛争後支援(1)(理論等)
- 10. 内戦の開発経済学と紛争後支援(2)(実証等)
- 11. 高齢化する東アジア(1)(現状・要因、影響等)
- 12. 高齢化する東アジア (2) (金融市場・協力等)
- 13. 援助効果(1)(援助と成長、短期成長促進援助)
- 14. 援助効果(2)(援助の拡散・細分化等)
- 15. まとめ、援助を巡る国際政治と経済

m+42 C O A )	10. 发色的 极为它是专国的权情已胜历
到達目標	国際公共政策に関する専門知識を習得し、各種の国際公共政策に関する問題点や将来の展望等について分析のうえ、見解を提示できるようにする。
事前・事後 学修の内容	各回の講義後、図や数式展開を含め、講義内容を良く復習してください。 講義後半に講義の「ポイント」を配布しますので、これらを用いながらポイントを理解してください。
テキスト	木原隆司『援助ドナーの経済学』2010年(授業の各回に講義のレジメを配布します)
参考文献	西垣他『開発援助の経済学』(第4版)2009年ほか
評価方法	講義への貢献 (20%)、中間レポートもしくは小テスト (20%)、定期試験 (60%) により評価します。

13 年度以降 12 年度以前		国際開発論 a 特殊講義 a(国際開発論)		担当者	木原 隆司	
講義目的、講	購義概要	5	授業計画			
(講義目的)	国際開発	論では、開発経済学のみならず開発社会学・	1. イントロダク	ション		
開発政治学等	を用いて	(経済発展に伴う開発課題を分析し、持続可	2. 開発途上国と	は(一人当た	りGDP,人口等)	
能(Sustaina	able) ~	ですべての人々にその恩恵が行き渡る	3. 国際開発論:	開発経済学が	らのアプローチ (歴史等)	
(Inclusive)	開発のカ	とめの戦略・政策を検討することにより、開	4. 開発経済学か	らのアプロー	・チ(成長・格差・貧困の関連)	
発途上国の経	済・社会	会・制度上の問題と処方箋を包括的に理解し	5. 国際開発論:	開発政治学が	らのアプローチ	
ます。			6. 国際開発論:	開発社会学が	らのアプローチ	
「国際開発	論a」で	は、貧困・ガバナンス・社会開発などの開発	7. 経済成長論(1)(新古典派成長理論等)			
問題に対する	経済学、	政治学、社会学等のアプローチ手法を学ぶ	8. 経済成長論(2)(内生的成長理論等)			
とともに、こ	れらの理	<b>理論や実証分析を基に、成長、貧困、格差、</b>	9. 貧困と格差(1)(所得分配(ジニ係数)等)			
制度、財政、	金融、資	全プローなどのマクロ経済的な開発課題を	10. 貧困と格差(2)(クズネッツの逆U字等)			
検討します。			11. 財政・金融システムと開発(マイクロ金融・税制等)			
<u>(講義概要)</u>	講義形式	、開発途上国の概要を学んだ上で、国際開	12. マクロ経済と開発(オーストラリア・モデル等)			
発論への経済	学・政治	台学・社会学からのアプローチを検討し、途	13. 国際金融と開発(1)(国際収支等)			
上国の成長・	貧困・マ	マクロ経済政策・国際金融への適用を学びま	14. 国際金融と開発(2)(対外債務等)			
す。担当教員	の実務経	K験を踏まえた講義とします。	15. まとめ			
到達目標	国際開発に関して専門知識を習得し、開発途上国が直面する課題とその解決方法等について分析のうえ、 見解を提示できるようにする。					
事前・事後 学修の内容	各回の講義後、図や数式展開を含め、講義内容を良く復習してください。 講義後半に講義の「ポイント」を配布しますので、これらを用いながらポイントを理解してください。					
テキスト	特定のテキストは用いず、授業の各回に講義のレジメを配布します					
参考文献	大坪等	序(2009)『国際開発学入門』、Todaro & S	mith (2015) Eco	onomic Deve	lopment ほか	
·		•	-			

_						
13 年度以降 12 年度以前		国際開発論 b 特殊講義 b (国際開発論)			木原 隆司	
講義目的、詞	構義概要	Ę	授業計画			
(講義目的)	国際開発	論では、開発経済学のみならず開発社会学・	1. イントロダク	ション		
開発政治学等	を用いて	(経済発展に伴う開発課題を分析し、持続可	2. 国際開発論へ	のアプローチ	・(前期の復習)	
能 (Sustaina	able)	ですべての人々にその恩恵が行き渡る	3. 人口動態・都	市化と開発(	(1)(人口転換等)	
(Inclusive)	開発のオ	こめの戦略・政策を検討することにより、開	4. 人口動態・都	市化と開発(	(2) (人口移動等)	
発途上国の経	済・社会	・制度上の問題と処方箋を包括的に理解し	5. 農業・産業化と開発(二重構造経済発展等)			
ます。			6. 人的資本と開発(1)(教育、ジェンダー等)			
「国際開発	論b」で	は、人口動態・都市化、農業・産業化、教育、	7. 人的資本と開発(2)(保健・医療等)			
医療保健、労	働、人的	的資本、貿易·投資など社会セクターや開発	8. 環境と開発(1)(持続可能な開発等)			
のミクロ経済	的側面の	)ほか、環境 (持続可能な開発)、紛争 (内戦・	9. 環境と開発(2)(都市環境、地球温暖化等)			
テロ)、開発政	対策と援	助などについて検討します。	10. 貿易・投資と開発(1)(貿易構造等)			
(講義概要)	講義形式	、国際開発論への経済学・政治学・社会学	11. 貿易・投資と開発(2)(直接投資等)			
からのアプロ	ーチを復	夏習した後、途上国の人口動態、産業構造、	12. 紛争と開発(内戦の開発経済学、テロ等)			
人的資本、環境、貿易・投資、内戦やテロの問題への適用を学び、			13. 開発政策の策定(開発戦略、MDBs等)			
最後に持続可能な開発政策・援助政策を検討します。担当教員の			14. 開発援助の役割と効果(ODA等)			
実務経験を踏まえた講義とします。			15. まとめ			
到達目標 国際開発に関して専門知識を習得し、開発途上国が直面する課題とその解決方法等について分析のうえ、 見解を提示できるようにする。						

講義への貢献 (20%)、中間レポートもしくは小テスト (20%)、定期試験 (60%) により評価します。

評価方法

事前・事後

学修の内容

テキスト 参考文献

評価方法

Todaro&Smith (2015) Economic Development、大坪等 (2009) 『国際開発学入門』、ほか

講義後半に講義の「ポイント」を配布しますので、これらを用いながらポイントを理解してください。

講義への貢献(20%)、中間レポートもしくは小テスト(20%)、定期試験(60%)により評価します。

各回の講義後、図や数式展開を含め、講義内容を良く復習してください。

特定のテキストは用いず、授業の各回に講義のレジメを配布します。

見解を提示できるようにする。

13 年度以降 12 年度以前	国際 NPO 論 a 特殊講義 a(国際 NPO 論)	担当者	長瀬 理英
--------------------	--------------------------------	-----	-------

# 講義目的、講義概要

学修の内容

テキスト

参考文献

評価方法

国際的なNPO(Non-Profit Organization:非営利組織)または NGO(Non-Governmental Organization:非政府組織)について、 その主な活動形態-①要支援者への直接支援と②政府の政策や企 業の方針への働きかけ(アドボカシー)―から見ていきます。

具体的な事例は主に、①人道支援(自然災害および紛争)、②開 発協力および③ソーシャルビジネスの分野からとりあげます。

各分野のNPO活動に関するドキュメンタリーなどの映像を見 ることで現場の実相に近づき、当事者にとってどのような効果や 影響が生じているかについて議論、検討を加えます。

国際NPOが果たしている意義・役割およびその変化について、 具体的な文脈から理解するとともに、「Non/非」の視点から批判 的に検討していきます。その際、NPOが抱えるディレンマについ て、自分がNPOメンバーであればどうするか考えてもらいます。

# 授業計画

- 1. イントロダクション/オリエンテーション
- 2. 国際 NPO とは何か
- 人道支援の実際(1): 自然災害と NPO 3.
- 4. 人道支援の実際(2):紛争と NPO
- 人道支援の実際(3):各アクターの取り組み比較と効果・影響 5.
- 人道支援の実際(4):国際 NPO の取り組みに関する評価 6.
- 開発協力の実際(1):東南アジアメコン河流域の生活 7.
- 8. 開発協力の実際(2): 大メコン圏地域経済協力プログラム
- 開発協力の実際(3):各アクターの取り組み比較と効果・影響
- 10. 開発協力の実際(4):国際 NPO の取り組みに関する評価
- ソーシャルビジネスの実際(1): フェアトレード
   ソーシャルビジネスの実際(2): フェアトレードの仕組みと ディレンマ
- 13. ソーシャルビジネスの実際(3):マイクロファイナンスの意 義と課題
- 14. ソーシャルビジネスの実際 (4): NPO の意義と役割
- 15. 国際 NPO に関するまとめと将来展望

到達目標	国際 NPO (非営利組織) に関する専門知識を習得し、国際的な NPO の事業や活動等について分析のうえ、 見解を提示できるようにする。				
事前・事後 学修の内容	授業で配布されるプリントを精読し、次回の授業に質問や意見を述べられるように準備しておいてください。自分自身で考えてみることを重視します。				
テキスト	毎回、プリントを配布。				
参考文献	長瀬理英「『普遍的価値』と『人間の安全保障』」甲斐田他共編著『小さな民のグローバル学』SUP 上智大学出版、2016				
評価方法	平常点 30%、期末レポート 70%				

13 年度以降 12 年度以前	国際 NPO 論 b 特殊講義 b(国際 NPO 論)		担当者	長瀬 理英			
講義目的、講義	· 隻概要	授業計画					
論的背景について に取り上げ、国際 困」に取り組むで 主流にあるテント イパ的実践とや「権利 また、アーチもはな生計」や「権利 また、アーチも対して 概念的な実際になった。	なり組みについて具体的事例を踏まえながらも理て考察していきます。すなわち、「貧困」をテーマ 機関・援助国、学界、NPOを含む実践者らが「貧アプローチを比較します。主なアプローチには、成長アプローチ、新しい枠組みを提供しているケアプローチおよびこれに基づく「人間開発」や具国際 NPOを中心に取り組まれている「持続可能的に基づくアプローチ」があります。 かシーとして政府や企業の政策に影響を与えていこうしたアプローチを越え企業と協働するアプます。 だけでなく、具体的な事例を踏まえ、各々のアプます。	2. 「貧困とは何 3. 「貧困とは何 4. 「貧困とは何 5. 「貧困とは何 6. ケイパリラ 7. 同上(2):2 8. 同上(3):2 9. ケイ発協力型目 11. 同上ボカシー 12. ア上はフラー 13. 同上に変して 14. ことBOP	Jか」(1):ヴ Jか」(2):ヴ 可か」(3):貸 可か」(4):回 ディーンで ディーンで 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 で で で に に に に	Oの取り組み(1): G-CAP			
■判准日標	国際 NPO (非営利組織) に関する専門知識を習得し、国際的な NPO の事業や活動等について分析のうえ、 見解を提示できるようにする。						
事前・事後	受業で配布されるプリントを精読し、次回の技	受業に質問や意見る	を述べられる	ように準備しておいてくださ			

長瀬理英「『普遍的価値』と『人間の安全保障』」甲斐田他共編著『小さな民のグローバル学』SUP 上智大学出版、2016

い。自分自身で考えてみることを重視します。

毎回、プリントを配布。

平常点 30%、期末レポート 70%

13 年度以降 国際経済法 a 担当者 箭内 彰子

## 講義目的、講義概要

テキスト

参考文献

評価方法

教科書は特に指定しません。

原則として定期試験により評価します(100%)。

本講義では、国際経済法の基本的構造やルールの原則及びその例外について学び、とりわけ WTO 協定を中心とする通商に関する国際法制度について包括的な理解を得ることを目的とします。

経済のグローバル化が進む中、各国の利害対立が生じやすい分野であることから、できるだけ具体的なケーススタディを取り入れ、わかりやすく解説していきます。そして、WTO 法の基本的なルールを身につけることにより、実際に生じている事例に対して実践的な検討ができることを目指します。

また、国際経済法に関してより広い知識を得るために、 秋学期の国際関係法特講(国際関係法)を併せて受講する ことを勧めます。

### 授業計画

- 1. 国際経済法の概念
- 2. GATT/WTO 体制
- 3. WTO の機能—関税の譲許、数量制限の禁止
- 4. WTO の基本原則―無差別原則①:最恵国待遇
- 5. WTO の基本原則―無差別原則②: 内国民待遇
- 6. 貿易救済措置①一アンチ・ダンビング
- 7. 貿易救済措置②—補助金相殺関税
- 8. 貿易救済措置③―セーフガード
- 9. 非関税障壁の規律①—貿易の技術的障害 (TBT)
- 10. 非関税障壁の規律②—衛生植物検疫措置(SPS 措置)
- 11. 地域貿易協定①
- 12. 地域貿易協定②
- 13. 紛争解決手続①
- 14. 紛争解決手続②
- 15. まとめ

到達目標	国際経済法に関する基礎知識のうえに、特に、GATT、WTO に関する基本を正確に解釈し、個別の事象について見解を示すことができるようにする。
事前・事後 学修の内容	事前に参考書等の講義該当箇所を通読し、授業内容を踏まえて要点整理などの復習を行ってください。
テキスト	教科書は特に指定しません。
参考文献	中川淳司他『国際経済法(第2版)』有斐閣(2012年)など。その他は授業中に紹介します。
評価方法	原則として定期試験により評価します(100%)。

13年度以降 国際経済法 b 担当者 箭内 彰子 講義目的、講義概要 授業計画 本講義では、国際経済法の中心的な位置を占める WTO 1. WTO と周辺領域との関係 2. 貿易と環境―自由貿易の推進と環境保護① 法体制とその他の法分野との関係について、基本的な理解 3. 貿易と環境―自由貿易の推進と環境保護② を得ることを目的とします。 4. 貿易と環境―自由貿易の推進と環境保護③ 環境の保護、途上国の経済開発、抗 AIDS 薬などに対す 5. 貿易と環境―自由貿易の推進と環境保護④ る特許制度、労働環境などの問題が貿易とどのように関わ 6. 貿易と開発―無差別原則と途上国に対する優遇措置① り、WTO のルールとの間にどのような法的問題を生じさ 7. 貿易と開発―無差別原則と途上国に対する優遇措置② せているのかを理解することにより、WTO が直面してい 8. 貿易と開発―無差別原則と途上国に対する優遇措置③ る課題について具体的な議論ができることを目指します。 9. 貿易と公衆衛生—薬の特許と WTO の TRIPS 協定① 本講義での内容をよりよく理解・把握するために、春学 10. 貿易と公衆衛生—薬の特許と WTO の TRIPS 協定② 期の国際関係法を併せて受講することを勧めます。 11. 貿易と公衆衛生—薬の特許と WTO の TRIPS 協定③ 12. 貿易と労働—WTO と ILO、ビジネスと人権① 13. 貿易と労働-WTO と ILO、ビジネスと人権② 14. 貿易と労働—WTO と ILO、ビジネスと人権③ 15. まとめ 国際経済法に関する基礎知識のうえに、特に、GATT、WTO に関する基本を正確に解釈し、個別の事象に 到達目標 ついて見解を示すことができるようにする。 事前に授業で紹介する参考書等の講義該当箇所を通読し、授業内容を踏まえて要点整理などの復習を行っ 事前・事後 学修の内容 てください。

箭内・道田編『途上国からみた貿易と環境』アジア経済研究所(2014年)など。その他は授業中に紹介します

13年度以降	国際政治経済学 a			担当者	大串 敦	
講義目的、講義概	既要	授業計画				
本講義では、スロシア以外の旧と独特な体制である解体、新体制の反る。比較政治学の制論、政党政治、に関する事実関で義の目的は達成さ	2.       3         4.       5         5.       6         7.       8         9.       10         11.       0         12.       0         13.       0         14.       0	命体主シ代制制邦法治党家の主主ョ化転転制体体政産理義義ナ論換の制制治制	論体とり、のの理の転の国とも制共ズ社理理論理換理家となる論論と論と論とにとっと経として経済といる発達して、一様ののでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは	リン体制 制 帝国としてのソ連 展と共産主義体制 解体1 解体2 の連邦制 連諸国の憲法体制 制転換 連諸国の政党政治		
■ 糾達日標    ̄ ̄	R政治経済学に関する専門知識を習得し、国 Rを提示できるようにする。	際社会にお	おける政	治と経済の関	関連性等について分析のうえ、	
事前・事後 学修の内容	犬リストを配布しますので、できるだけ目を	ーーー	ださい。			
テキスト特は	こなし。					
参考文献 文献	<b>ポリストを配布します。</b>					
<b>評価方法</b> 期末	E試験による。					

13 年度以降	国際政治経済学b			担当者	大串 敦	
講義目的、講義	概要	授業計	一画			
本講義では、	ロシアを中心とした外交・国際関係を論じ	1.	イントロ	ダクション、	ロシアの外交思想	
る。冷戦の一方	の極であったソ連時代は言うまでもなく、	2.	帝政時代	のロシア外交		
地域大国として	復活を遂げたロシアは、現代の国際関係で	3.	第一次世	界大戦とロシ	ア	
も主要なアクタ	ーである。本講義では、ロシア外交を通時	4.	ロシア革	命と革命外交		
的に論じるだけ	でなく、体制転換の国際的波及など、比較	5.	第二次世	界大戦、冷戦	の開始	
政治学と国際関	係をつなぐような論点も取り上げていく。	6.	雪解け・	スターリン批	判、キューバ危機	
ロシア外交の基	本的な志向とその展開と、ロシアとその周	7.	多極化・	デタントとそ	の崩壊・新冷戦	
辺地域を巡る国	際関係の新しい問題を理解できるような	8.	ゴルバチ	ョフの新思考	外交と冷戦の終焉	
ることが目的で	ある。最後に日露関係にも簡単に触れる。	9.	. エリツィン時代			
		10.	10. プーチン時代:地域大国ロシアの復活			
		11.	l. ロシアと旧ソ連諸国:覇権、専制的平和			
		12.	2. 体制変動の国際的波及			
		13.	3. ウクライナ危機とロシア			
		14.	. 日露関係の諸問題			
		15.	まとめ			
■判職日標	際政治経済学に関する専門知識を習得し、 解を提示できるようにする。	国際社会	における政	治と経済の関	<b>掲連性等について分析のうえ、</b>	
事前・事後 学修の内容	献リストを配布しますので、できるだけ目	 を通して	てください。			
テキスト特	特になし。					
参考文献 文	文献リストを配布します。					
評価方法 期	末試験による。					

13 年度以降	国際協力論 a			担当者	片岡	貞治	
講義目的、講義	<b>遠概要</b>		授業計	画			
論理的思考に	こ基~	づく理論的枠組の構築と現実の国際社	1)	イントロ	ダクション		
会の政治現象の	の実記	正的分析とが有機的に組み合わされた	2	発展途上	国問題と国際	開発	
形で研究が行わ	つれる	ことが不可欠である。	3	日本の経	済協力政策の	史的展開(1)	
国際社会とは	は何カ	、国際社会における様様なアクターと	4	日本の経	済協力政策の	史的展開(2)	
は何かを理解し	した」	こで、「国際協力」を理論的に定義し、	(5)	日本の経	済協力政策決	:定形成過程	
考察していく。	法学	部の学生に対しては、授業を通して、	6	日本の経	済協力政策の	今後の課題	
国家とは何か、	国際	社会とは何かを理解し、国際協力に関	7	主要国の	経済協力政策	I(米国、イギ	リス)
する基本的な知	旧識と	意識を会得し、現代国際社会の様々な	8	主要国の	径済協力政策	II(フランス、	EU等)
政治経済現象を	と自分	なりに理解し、実証的に分析し、政治、	⑨ 多国間開発援助の仕組み				
経済の両面にお	おける	る現在の国際協力のあり方について自	10	⑩ 国際社会における援助協調のあり方			
分なりの意見を	持つ	て貰うことを目的としていく。	(1)	グローバリゼーションと開発			
前期は、経済	き面に	おける国際協力、即ち、経済協力及び	12	② ガバナンスと開発			
開発援助政策に	こつい	ての分析を行う。	13	$ ext{I3} \qquad  ext{MDGs} \succeq  ext{SDGs}$			
			14)	④ 今後の課題			
			15	総括			
針		5力に関する基本的な知識のうえに、世界 とができるようにする。	早の様々	な問題を正	E確に解釈し	、個別の事象に	こついて見解を
	外務省の開発援助政策に関するホームページ(http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/index.html)を閲覧してください。						
テキストな	ょし。						
参考文献な	なし。講義の PPT を熟読してください。						
評価方法 試	<b>式験、</b>	授業態度等で総合的に判断する。					

13 年度以降	国際協力論 b				担当者	片岡 貞治
講義目的、講	<b>講義概</b> 要	Ę	授業計	·画		
会ので国際社会とは考しては何ので国際がしたとは本のでは「大き」では、大きないでは、大きないでは、大きないが、まないが、大きないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、	論理的思考に基づく理論的枠組の構築と現実の国際社会の政治現象の実証的分析とが有機的に組み合わされた形で研究が行われることが不可欠である。 国際社会とは何か、国際社会における様様なアクターとは何かを理解した上で、「国際協力」を理論的に定義し、考察していく。法学部の学生に対しては、授業を通して、国家とは何か、国際社会とは何かを理解し、国際協力に関する基本的な知識と意識を会得し、現代国際社会の様々な政治経済現象を自分なりに理解し、実証的に分析し、政治、経済の両面における現在の国際協力のあり方について自分なりの意見を持って貰うことを目的としていく。後期は、政治面の国際協力、即ち、国際平和協力、国連の集団安全保障の問題、集団的自衛権、安保法制、国連の集団安全保障の問題、集団的自衛権、安保法制、国連			国連システム 集団安全保障と集団的自衛権(1) 集団安全保障と集団的自衛権(2) 集団安全保障と集団的自衛権(3) 集団的自衛権と日本(1) 集団的自衛権と日本(2) 集団的自衛権と日本(3) 安保法制(1) 安保法制(2) 湾岸戦争と日本の対応 集団安全保障の変形としての国連平和維持活動 国際平和協力法の成立 日本と国際平和協力(PKO) 積極的平和主義		
到達目標		3力に関する基本的な知識のうえに、世界 ことができるようにする。	界の様々	な問題を正	E確に解釈し	、個別の事象について見解を
事前・事後 学修の内容		î及び内閣府の PKO に関するホームペー こください。	・ジ(htt	p://www.p	ko.go.jp/pko_	_j/operations/pko.html)を閲
テキスト	なし。					
参考文献	なし。	講義の PPT を熟読してください。				
評価方法	試験、授業態度等で総合的に判断する。					

13 年度以降	国際組織論 a			担当者	鈴木 淳一	
講義目的、講	義概要	Ē	授業計	画		
〔講義目的〕			1.	はじめに		
本講義の目的	内は、国	際社会が抱える地球規模の問題(たとえば、	2.	国際組織	と国際法	
安全保障、テロ	コ、世界	見規模の感染症等)とそれへの国際社会(特	3.	紛争の平	和的解決に関	わる国際組織(1)
に国際組織) 0	の取り組	lみについて理解することです。	4.	紛争の平	和的解決に関	わる国際組織(2)
〔講義概要〕			5.	安全保障	こ関わる国際	組織(1)
国際社会には	は世界政	(府は存在しません。しかし、多様な国際組	6.	安全保障	こ関わる国際	組織 (2)
織が、国家とも	ともに、	国際社会の共通利益の実現のために重要な	7.	軍備管理	<ul><li>軍縮・不拡</li></ul>	散に関わる国際組織
役割を担ってい	います。	本講義では、これら国際組織の様々な活動	8.	人権問題にかかわる国際組織		
分野をとりあり	げて、国	際組織が各分野で果たしている機能を具体	9.	人道・難民問題に関わる国際組織		
的に説明します	t.		10.	国際貿易・国際金融に関わる国際組織		
本講義の履信	多にあた	こっては、国際法の知識は必ずしも必要では	11.	開発援助と南北問題に関わる国際組織		
ありませんが、	講義の	中では主に国際法の視点から分析を行うた	12.	教育・文化に関わる国際組織		
め、一連の講義	&に先立	互ち、国際社会と国際法についての簡単なレ	13.	国際保健に関わる国際組織		
クチャーを行い	ハます(	なお国際教養学部や経済学部の学生が履修	14.	海洋に関わる国際組織		
する場合は2年	生以上	で受講することをお勧めします)。	15.	まとめ		
到達目標		1織に関する専門知識を習得し、それぞオ ↑析のうえ、見解を提示できるようにする		経組織が果た	こしている役	割、現在抱える問題点等につ
事前・事後 学修の内容	①事前学習:あらかじめ配布された資料の該当箇所を熟読。②講義中:教員から提示される今日のポイントを授業レポートとして提出。③事後学習:教員の添削・コメントを読んで復習。					
テキスト	レジュ	- メを配布します。				
参考文献						
評価方法	学期末	ミに実施する試験により評価し(100%)、 <sup>3</sup>	平常点を	上加点材料	 とします(たた	ごし上限 10%)。

13 年度以降		国際組織論 b			担当者	鈴木 淳一	
講義目的、講	義概要	ī,	授業記	画			
〔講義目的〕			1.	はじめに			
本講義は、国	際連合	を中心とする国際組織を規律している法に関す	2.	国際組織	の概念と歴史		
る講義を提供する	ることを	を目的とします。	3.	国際法の	基礎知識		
〔講義概要〕			4.	国際組織	の設立と解散		
今日、国際連合	合をはじ	めとした多くの国際組織が活動し、多くの人々	5.	国際組織	の国際法上の	地位	
がいわゆる「国	際公務	員」として活躍しています。しかし、これらの	6.	国際組織	の国内法上の	地位	
活動は、国際組織	織の設	立条約や地位協定、職員規則などのルールに従	7.	国際組織	と加盟国		
っています。本	講義は、	国際組織や国際公務員の活動を規律している	8.	国際組織	間の連携・協	力	
ルールについて、	、主に	国際連合を例として分析を行います。	9.	国際組織とNGO(民間団体)			
本講義は、国	際法や[	国際組織法1を履修していなくても履修できま	10.	国際公務員			
す(主に国際法の	視点か	ら国際組織の分析を行うため、全学共通授業科	11.	国際組織の意思決定			
目の国際法や法	学部の[	国際法も同時に受講することを奨励します)。ま	12.	国際組織と財政・分担金・運営上の諸問題			
た、この講義では	は、教室	で行う通常の授業を補うため、授業レポート・	13.	国際組織に関する事例研究(1)			
システム等を活	用して、	教員とのコミュニケーションを図ります。	14.	国際組織に関する事例研究(2)			
			15.	まとめ			
		1織に関する専門知識を習得し、それぞオ ↑析のうえ、見解を提示できるようにする		系組織が果力	たしている役	割、現在抱える問題点等につ	
事前・事後 学修の内容	①事前学習:あらかじめ指定されたテキストの箇所を熟読。②講義中:教員から提示される今日のポイントを授業レポートとして提出。③事後学習:教員の添削・コメントを読んで復習。						
テキスト	浦部・望月編『国際機構論[総合編]』(国際書院、2015年)						
参考文献	参考文献						
評価方法	学期末に実施する試験により評価し(100%)、平常点を加点材料とします(ただし上限 10%)。						

13 年度以降	地域メディア論		担当者	岡村 圭子	
講義目的、講義	概要	授業計画			
Think Globally, Act locallyというフレーズを一度は耳にしたことがあるだろう。それに示されているように、多文化共生やグローバル化、さらには現代の環境問題や社会福祉のあり方を考えるうえで、「地域」もしくは「ローカル」は重要なキーワードのひとつである。それを頭に置いたうえで、本講義を受講してほしい。本講義で扱う地域メディアは、ある特定のエリアにおける情報を伝える地域情報誌や、各地域・地方で発行されているミニコミ誌やフリーペーパー、コミュニティFMなどである。それらが、多文化が共生する社会においてどのような役割を果たしてきた/いる/いくのか、また将来的に、どういった機能がそのメディアに要求されているのかについて、受講者とともに考えてゆきたい。学期のさいごには、受講者自身が制作したローカル・メディアを提出・		3. 地域・地方 4. 各地の地域 5. 各地の地域 6. メディアに 7. メディアに 8. メディアに	化という 1 という 1 という 1 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	) ) どの創造(1) どの創造(2) どの創造(3) ) ) ア (1)	
	・ 域メディアに関する専門知識を習得し、各種 解を提示できるようにする。	重の地域メディア	がもつ意義や	役割等について分析のうえ、	
事前・事後学修の内容	自分がよく読んだり視聴したりするローカル・メディアについて調べておく。			0	
テキスト 岡	岡村圭子『ローカル・メディアと都市文化』ミネルヴァ書房				
参考文献	授業の中で指定する				
<b>評価方法</b> 授	授業時間内での発表・質問など (50%)、期末試験 (50%)				

			担当者	
講義目的、講義概要	Ę	授業計画		
到達目標				
事前・事後 学修の内容				
テキスト				
参考文献				
評価方法				

			担当者	
講義目的、講義概要	要	授業計画		
到達目標				
事前・事後 学修の内容				
テキスト				
参考文献			-	
評価方法				

13年度以降		地域づくり論		担当者	中野	美季
講義目的、講	購義概要	5	授業計画			
「食と農によるイタリアの地域振興を概観します。 農業の持つ多面的機能を活かしたイタリア農村における 経営多角化(アグリツーリズモ、教育農場、社会的農業)、 スローフード運動、イタリアの地産地消、新たなフードネットワーク等、近年見られる地域性へと向かう動きを考察 します。講義の参加者数、進度によりシラバスに記載の内 容・順序は変更されます。		6. 農業の多面的 7. 農業の多面的 8. 農業の多面的 9. スローフート 10.イタリアの 11.イタリアの 12.イタリアの 13.フードネッ 14.フードネッ	タリアの概要         タリアの地域性         Uとイタリア         タリアの都市と農村         業の多面的機能1 (アグリツーリズモ)         業の多面的機能2 (食育と教育農場)         業の多面的機能3 (社会的農業)			
到達目標		うくりに関する専門知識を習得し、個々々 ∂析のうえ、見解を提示できるようにする		自性のある地	域づくりに必要	でな事柄等につ
事前・事後 学修の内容	毎回り	「アクションペーパーを提出する				
テキスト	定めない					
参考文献	適宜約	日介する				
評価方法	定期記	<b>大験</b> (50%)、学期中課題(50%)				

			担当者	
講義目的、講義概要		授業計画		
到達目標				
事前・事後学修の内容				
テキスト				
参考文献				
評価方法				
13 年度以降 12 年度以前	地域活性化論 特殊講義 b(地域活性化論)		担当者	瀬川 翠
講義目的、講義概要	要 ·	授業計画		

日本の人口は2008年の1億2808万人をピークに減少に転じ、 すでに本格的な人口減少時代がはじまっています。日本全体の 人口が減少するなか、東京都区部、大阪市、名古屋市、福岡市 など大都市圏ではおおむね社会増が続いています。大都市圏、 とくに東京一極集中が進んでおり、地方では、自然減と社会減 によって急速に人口が減少しています。経済のグローバル化、 深刻化する人口減少、少子高齢化などの影響を受け、日本の地 域社会には大きな変化が起きています。

これから地域社会はどのような役割を担うでしょうか。今、 地域資源・地域産業の再発見や新たな価値の創出が必要とされ ます。すでに観光などを基軸に活性化にのりだしているまちも あれば、消滅の危機に瀕しているところもあります。本講義で は、全国の事例を知り、手法や問題点を理解し、自分たちのま ちを多角的に捉える能力を養うことを目的としています。

- 1. 講義の概要
- 2. 我々はどのような社会に生きているのか
- 3. 地域活性化とは何か
- 4. 私たちの暮らしの変化
- 5. 真の公共性とは何か
- 6. まちの経営 仕組みと課題
- 7. 地域活性化の事例(地域資源編)
- 8. グループディスカッション
- 9. 地域活性化の事例(地域産業編)
- 10. なぜクリエイティブが求められるのか
- 11. 地域活性化の事例(新たな価値編)
- 12. 地域活性化の課題
- 13. グループディスカッション
- 14. まちでの起業 15. 講義のまとめ

到達目標	地域活性化に関する専門知識を習得し、経済的、文化的、社会的に地域を活性化するために必要な事柄等について分析のうえ、見解が提示できるようにする。
事前・事後 学修の内容	国内外事例の調査研究
テキスト	特にありません
参考文献	
評価方法	レポートの結果(80%)と平常授業における参加姿勢(20%)

13年度以降 12年度以前	Pin St		担当者	瀬川 翠
講義目的、講	義概要	授業計画		
が中ま まを供 ジまの境も 本地の はいない まり 解にざ利り解でそれす解題 はいれい はいれい はいれい はいれい はいれい はいれい はいれい はいれ	年これに代わるものとして、社会的課題にビ で立ち向かおうとする起業家が増加してい ャル・ビジネスの扱うテーマは、格差や貧困 的弱者の救済、地域の活性化、文化芸術、環 福祉などさまざまであり、そのビジネス手法	<ol> <li>講義の概要</li> <li>現代社会が抱</li> <li>ソーシャル・</li> <li>SBの発展過程</li> <li>シェアリング</li> <li>子育てとビジネ</li> <li>環境とビジネ</li> <li>まちづくりと</li> <li>まちづくりと</li> <li>SBは社会講</li> <li>SBはビジネ</li> <li>SBの起業1</li> <li>SBの起業2</li> </ol>	ビジネス(SE エコノミー ネス ス ビジネス 1 とビジネス 2 と関解決の切り スとして継続	り札となりうるか 売可能か
1 到译日標	ソーシャル・ビジネスに関する専門知識を習得し、 問題が自律的・永続的に解消されるために必要な事			
事前・事後 学修の内容	国内外事例の調査研究			
テキスト 4	特にありません			
参考文献				

レポートの結果(80%)と平常授業における参加姿勢(20%)

評価方法

13 年度以降 12 年度以前		ソーシャル・ビジネス論 b 特殊講義 b (ソーシャル・ビジネス論)		担当者	瀬川 翠		
講義目的、講義概要			授業計画				
「ソーシャル・ビジネス論 a」に続いて、この講義では、 実際にソーシャル・ビジネスの起業を体験してみようという関心を持つ皆さんを対象に、具体的な方法論を伝えます。講義には、プレゼンテーション、対話型形式、フィールドワーク、ワークショップ形式を取り入れ、より現実に近い形でSB 起業を疑似体験できます。			<ol> <li>社会のニーズ</li> <li>フィールドワ</li> <li>フィールドワ</li> <li>事業戦略を策</li> <li>事業計画を作</li> <li>申間ブラッシ</li> <li>マーケティン</li> <li>事業計画を作</li> </ol>	<ol> <li>講義の概要</li> <li>社会的起業とは何か</li> <li>社会のニーズ、市場のニーズを把握する</li> <li>フィールドワークの着眼点と手法</li> <li>フィールドワーク</li> <li>事業戦略を策定する</li> <li>事業計画を作ってみる(1)</li> <li>事業計画を作ってみる(2)</li> <li>中間ブラッシュアップ</li> <li>マーケティングと資金計画の重要性</li> <li>事業計画を作ってみる(3)</li> <li>自分で起業するには何が必要か</li> <li>プレゼンテーションの手法</li> </ol>			
到達目標	ソーシャル・ビジネスに関する専門知識を習得し、従来、行政が担ってきた社会事業に市民や企業が参加し、社会的な 問題が自律的・永続的に解消されるために必要な事柄等について分析のうえ、見解を提示できるようにする。						
事前・事後 学修の内容	国内外事例の調査研究						
テキスト	特にありません						
参考文献							
評価方法	レポートの結果(80%)と平常授業における参加姿勢(20%)						

# シラバス 経済学部

2018年4月1日発行 獨協大学教務課

〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1 電 話 048-946-1657



学	科	学年	氏	名	
	学科	年			